

平成 22 年度

事業実績及び主要施策成果説明書

小 布 施 町

地方自治法第 233 条第 5 項の規定により、平成 22 年度決算に係る主要施策  
成果説明書を次のとおり提出する。

平成 23 年 8 月 29 日

小布施町長 市 村 良 三

## 目 次

1. はじめに	1
2. 平成22年度決算の概要	1
3. 平成22年度会計別歳入歳出決算の状況	2
4. 普通会計決算の状況	3
普通会計決算状況調書（決算カード）	9
5. 平成22年度重点施策の成果・概要	11
6. 会計別決算概要	
I 一般会計	13
歳入	16
歳出	
款1 議会費	項1 議会費 30
款2 総務費	項1 総務管理費 33
	項2 徴税費 56
	項3 戸籍住民基本台帳費 57
	項4 選挙費 60
	項5 統計調査費 62
	項6 監査委員費 64
款3 民生費	項1 社会福祉費 65
	項2 児童福祉費 91
	項3 災害救助費 101
款4 衛生費	項1 保健衛生費 102
	項2 環境保全費 117
款5 農林水産業費	項1 農業費 124
	項2 林業費 135
款6 商工費	項1 商工費 137
款7 土木費	項1 土木管理費 148
	項2 道路橋梁費 149
	項3 河川費 156
	項4 都市計画費 159
	項5 まちづくり費 163
	項6 住宅費 170
款8 消防費	項1 消防費 171
款9 教育費	項1 教育総務費 174
	項2 小学校費 177
	項3 中学校費 179
	項4 幼稚園費 181
	項5 社会教育費 182
	項6 保健体育費 197
	項7 給食センター費 200
款10 公債費	項1 公債費 202
款11 予備費	項1 予備費 202
II 国民健康保険特別会計	203
III 老人保健特別会計	217
IV 後期高齢者医療特別会計	220
V 介護保険特別会計	224
VI 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	241
VII 霊園事業特別会計	244
VIII 下水道事業特別会計	246
IX 農業集落排水事業特別会計	250
X 水道事業会計	254
7. 第四次総合計画・後期基本計画評価指標の達成度	259

## 1. はじめに

本説明書（事業実績及び主要施策成果説明書）は、地方自治法第 233 条第 3 項の規定に基づき、町長が決算を議会の認定に付すにあたり、同法同条第 5 項の規定により施策の成果を説明するものです。

一般会計ほか 9 会計の各決算概要および総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計、同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計、霊園事業特別会計の各特別会計の合計額から会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要とそれらの平成 22 年度の主要な施策の成果について取りまとめたものです。

なお、予算科目区分と施策の目的、成果をよりわかりやすくするため、成果を示す事業の区分については、原則として「平成 22 年度小布施町予算事業説明書 ここに使います ことしの予算！」にあわせて作成しています。

## 2. 平成22年度決算の概要

平成22年度各会計歳入歳出決算の状況は、「3. 平成22年度 会計別歳入歳出決算の状況」のとおりとなっています。

普通会計の歳入は、基幹収入である町税は法人町民税が789万4千円（前年比24.4%）の増となったものの、個人町民税などの減により全体で3,371万2千円（前年比3.1%）の減となりました。同じく基幹収入である地方交付税（普通交付税）は8,342万4千円（前年比5.5%）の増となりました。また、定額給付金やまちづくり交付金の減により国庫支出金が1億8,793万2千円（前年比31.2%）の減となったことなどにより、歳入全体では2億9,220万3千円（前年比5.7%）減の47億9,808万5千円となりました。

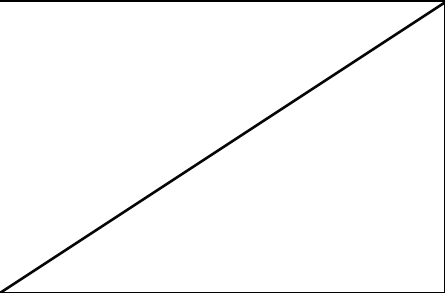
歳出では、性質別に見ると、普通建設事業費が2億8,244万8千円（前年比41.8%）の減となりました。その他、公債費が1億9,217万1千円（前年比25.9%）、補助費等が1億5,930万5千円（前年比23.8%）の減となり、歳出全体では2億3,673万6千円（前年比5.0%）減の45億1,732万1千円となりました。

また、目的別歳出を見ると、公債費が1億9,217万1千円（25.9%）、総務費が1億4,691万2千円（18.3%）、教育費が1億4,354万9千円（前年比15.6%）、衛生費が1,446万3千円（前年比5.4%）の減などとなりました。

地方債残高は、臨時財政対策債の発行抑制などにより、前年より2億5,029万8千円減り、41億8,227万円となり、毎年減少しています。

### 3. 平成22年度 会計別歳入歳出決算の状況

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	平成22年度	4,803,700	4,519,319	284,381	66,730	217,651	△ 104,124
	平成21年度	5,092,298	4,755,098	337,200	15,425	321,775	△ 11,625
	差引	△ 288,598	△ 235,779	△ 52,819	51,305	△ 104,124	△ 92,499
国民健康保険特別会計	平成22年度	1,125,755	1,098,644	27,111	-	27,111	2,934
	平成21年度	1,110,339	1,086,162	24,177	-	24,177	5,280
	差引	15,416	12,482	2,934	-	2,934	△ 2,346
老人保健特別会計	平成22年度	1,022	1,022	-	-	-	△ 520
	平成21年度	22,539	22,019	520	-	520	△ 20,480
	差引	△ 21,517	△ 20,997	△ 520	-	△ 520	19,960
後期高齢者医療特別会計	平成22年度	91,784	88,793	2,991	-	2,991	2,483
	平成21年度	90,892	90,384	508	-	508	345
	差引	88,355	87,285	1,070	907	163	163
介護保険特別会計	平成22年度	818,835	796,938	21,897	-	21,897	△ 1,595
	平成21年度	794,517	771,025	23,492	-	23,492	△ 2,693
	差引	24,318	25,913	△ 1,595	-	△ 1,595	1,098
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	平成22年度	1,227	1,187	40	-	40	17
	平成21年度	1,300	1,277	23	-	23	23
	差引	△ 73	△ 90	17	-	17	△ 6
霊園事業特別会計	平成22年度	6,161	218	5,943	-	5,943	486
	平成21年度	5,690	233	5,457	-	5,457	467
	差引	471	△ 15	486	-	486	19
下水道事業特別会計	平成22年度	436,726	436,252	474	-	474	65
	平成21年度	469,964	469,555	409	-	409	△ 158
	差引	△ 33,238	△ 33,303	65	-	65	223
農業集落排水事業特別会計	平成22年度	50,838	50,337	501	-	501	20
	平成21年度	50,157	49,676	481	-	481	△ 102
	差引	681	661	20	-	20	122
計	平成22年度	7,336,048	6,992,710	343,338	66,730	276,608	△ 100,234
	平成21年度	7,637,696	7,245,429	392,267	15,425	376,842	△ 28,943
	差引	△ 301,648	△ 252,719	△ 48,929	51,305	△ 100,234	△ 71,291
水道事業会計 (収益的収支)	平成22年度	218,238	183,117	35,121			
	平成21年度	216,963	188,420	28,543			
	差引	1,275	△ 5,303	6,578			
水道事業会計 (資本的収支)	平成22年度	3,581	67,415	△ 63,834			
	平成21年度	4,725	60,773	△ 56,048			
	差引	△ 1,144	6,642	△ 7,786			

#### 4. 普通会計歳入歳出決算の状況

##### 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
町 税	1,057,265	22.0%	1,090,977	21.4%	△ 33,712	△ 3.1%
個人町民税	427,292	8.9%	468,959	9.2%	△ 41,667	△ 8.9%
法人町民税	40,297	0.8%	32,403	0.6%	7,894	24.4%
固定資産税	512,625	10.7%	514,466	10.1%	△ 1,841	△ 0.4%
軽自動車税	28,735	0.6%	28,233	0.6%	502	1.8%
町たばこ税	45,334	0.9%	43,849	0.9%	1,485	3.4%
入 湯 税	2,982	0.1%	3,067	0.1%	△ 85	△ 2.8%
地方譲与税	59,584	1.2%	61,223	1.2%	△ 1,639	△ 2.7%
利子割交付金	5,494	0.1%	5,695	0.1%	△ 201	△ 3.5%
配当割交付金	1,388	0.0%	1,374	0.0%	14	1.0%
株式等譲渡所得割交付金	515	0.0%	707	0.0%	△ 192	△ 27.2%
地方消費税交付金	95,168	2.0%	95,332	1.9%	△ 164	△ 0.2%
自動車取得税交付金	13,218	0.3%	14,669	0.3%	△ 1,451	△ 9.9%
地方特例交付金	18,495	0.4%	14,538	0.3%	3,957	27.2%
地方交付税	1,724,878	35.9%	1,635,305	32.1%	89,573	5.5%
普通交付税	1,605,766	33.5%	1,522,342	29.9%	83,424	5.5%
特別交付税	119,112	2.5%	112,963	2.2%	6,149	5.4%
交通安全対策特別交付金	1,714	0.0%	1,811	0.0%	△ 97	△ 5.4%
分担金及び負担金	4,276	0.1%	4,485	0.1%	△ 209	△ 4.7%
使用料	141,291	2.9%	153,209	3.0%	△ 11,918	△ 7.8%
手数料	6,375	0.1%	6,497	0.1%	△ 122	△ 1.9%
国庫支出金	414,561	8.6%	602,493	11.8%	△ 187,932	△ 31.2%
県支出金	260,168	5.4%	186,364	3.7%	73,804	39.6%
財産収入	34,385	0.7%	27,764	0.5%	6,621	23.8%
寄 付 金	3,229	0.1%	6,211	0.1%	△ 2,982	△ 48.0%
繰 入 金	213,385	4.4%	144,933	2.8%	68,452	47.2%
繰 越 金	336,231	7.0%	564,605	11.1%	△ 228,374	△ 40.4%
諸 収 入	185,465	3.9%	186,280	3.7%	△ 815	△ 0.4%
町 債	221,000	4.6%	285,816	5.6%	△ 64,816	△ 22.7%
うち臨時財政対策債	150,000	3.1%	236,916	4.7%	△ 86,916	△ 36.7%
合 計	4,798,085	100.0%	5,090,288	100.0%	△ 292,203	△ 5.7%

※ 普通会計：決算統計上の分類で、町の会計のうち、企業会計、収益事業会計等を除いた、一般会計、同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計、霊園事業特別会計を合算したもの

【歳 出】

目的別決算状況

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
議 会 費	64,228	1.4%	66,863	1.4%	△ 2,635	△ 3.9%
総 務 費	655,499	14.5%	802,411	16.9%	△ 146,912	△ 18.3%
民 生 費	1,164,902	25.8%	974,307	20.5%	190,595	19.6%
衛 生 費	254,203	5.6%	268,666	5.7%	△ 14,463	△ 5.4%
労 働 費	33,812	0.7%	35,526	0.7%	△ 1,714	△ 4.8%
農林水産業費	194,416	4.3%	177,359	3.7%	17,057	9.6%
商 工 費	72,812	1.6%	68,619	1.4%	4,193	6.1%
土 木 費	576,069	12.8%	532,397	11.2%	43,672	8.2%
消 防 費	178,000	3.9%	168,809	3.6%	9,191	5.4%
教 育 費	775,006	17.2%	918,555	19.3%	△ 143,549	△ 15.6%
公 債 費	548,374	12.1%	740,545	15.6%	△ 192,171	△ 25.9%
災害復旧費	-	-	-	-	-	-
合 計	4,517,321	100.0%	4,754,057	100.0%	△ 236,736	△ 5.0%

性質別決算状況

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
人 件 費	669,156	14.8%	676,830	14.2%	△ 7,674	△ 1.1%
うち職員給	418,231	9.3%	431,571	9.1%	△ 13,340	△ 3.1%
扶 助 費	476,545	10.5%	352,654	7.4%	123,891	35.1%
公 債 費	548,374	12.1%	740,545	15.6%	△ 192,171	△ 25.9%
元利償還金	548,374	12.1%	740,545	15.6%	△ 192,171	△ 25.9%
一時借入金利子	-	-	-	-	-	-
物 件 費	800,324	17.7%	736,475	15.5%	63,849	8.7%
維持修繕費	60,878	1.3%	66,779	1.4%	△ 5,901	△ 8.8%
補 助 費 等	511,004	11.3%	670,309	14.1%	△ 159,305	△ 23.8%
うち一組負担金	144,279	3.2%	154,073	3.2%	△ 9,794	△ 6.4%
繰 出 金	692,146	15.3%	556,648	11.7%	135,498	24.3%
積 立 金	331,905	7.3%	246,380	5.2%	85,525	34.7%
投資及び出資金・貸付金	34,000	0.8%	32,000	0.7%	2,000	6.3%
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	-
投資の経費	392,989	8.7%	675,437	14.2%	△ 282,448	△ 41.8%
うち人件費	-	-	-	-	-	-
内 普 通 建 設 事 業 費	392,989	8.7%	675,437	14.2%	△ 282,448	△ 41.8%
うち単独事業費	215,195	4.8%	273,341	5.7%	△ 58,146	△ 21.3%
内 災 害 復 旧 事 業 費	-	-	-	-	-	-
内 失 業 対 策 事 業 費	-	-	-	-	-	-
合 計	4,517,321	100.0%	4,754,057	100.0%	△ 236,736	△ 5.0%

### 【財政構造】

平成22年度普通会計決算における各財政指標は次のとおりです。

- ・ 財政の豊かさを計る財政力指数（過去3ヵ年平均）は0.40（平成21年度0.40）
- ・ 財政の堅実度を見る実質収支比率は6.8%（平成21年度10.5%）
- ・ 財政の弾力性を判断する経常収支比率は86.3%（平成21年度86.5%）

### 【財政の健全化】

財政健全化法に基づき平成19年度決算より公表と審査が義務付けられた、健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）は次のとおりです。

- ・ 普通会計における実質収支の赤字比率を示す実質赤字比率、全会計の実質収支の赤字比率を示す連結実質赤字比率は実質収支が黒字であったため、数値はありません。
- ・ 公営企業会計や一部事務組合の公債費も考慮した、実質公債費比率は13.4%（平成21年度16.3%）
- ・ 第三セクター等の負債も含めた、町の将来にわたる負債の規模を示す将来負担比率は17.6%（平成21年度39.5%）

各指数がそれぞれの基準を上回る場合は、早期健全化計画や財政再生計画の策定が必要となります。

財政健全化法における基準

	平成21年度 決算数値	平成22年度 決算数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	15%	20%
連結実質赤字比率	—	—	20%	40%
実質公債費比率	16.3%	13.4%	25%	35%
将来負担比率	39.5%	17.6%	350%	—

※市町村の財政規模によって異なります。

### 【地方債現在高】

平成22年度末における地方債の現在高は41億8,227万円となり、前年度に比べ2億5,029万8千円減少しました。これは、新規発行額を償還額以下に抑えたことによるもので、平成22年度は臨時財政対策債の発行可能額3億592万2千円のうち借入を1億5,000万円に抑えました。なお、借入地方債残高は平成11年度から毎年減少し続けています。

### 【基金残高】

基金の平成22年度末現在高（積立基金、定額運用基金）は、18億7,393万4千円で、前年度末に比べ2億3,959万1千円増加しました。これは、財政調整基金に1億6,247万1千円、教育文化施設資金積立基金に1億6,691万3千円の積立て等と、財政調整基金5,000万円、教育文化施設資金積立基金1,714万円、大規模建設事業資金積立基金4,100万円の取崩しを行ったためです。



## 町 債 の 概 要（普通会計）

### [町債発行額の推移]

（単位：千円）

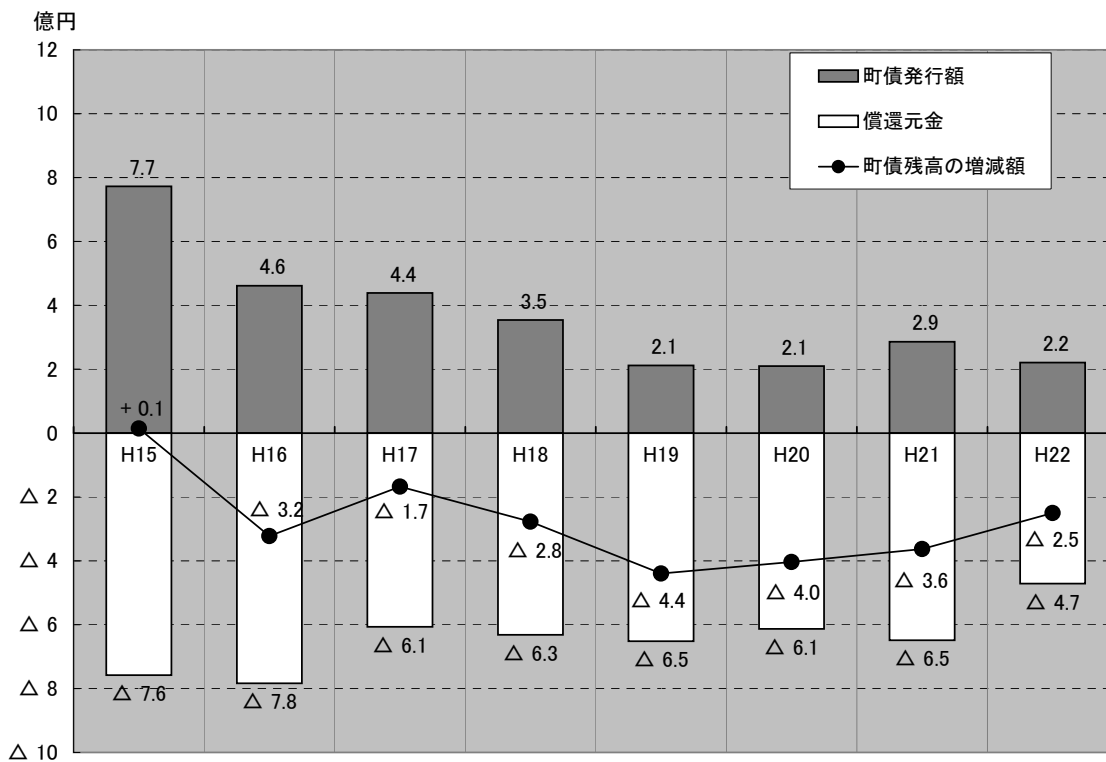
	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算
町債発行額	772,400	461,100	438,900	354,200	211,877	209,748	285,816	221,000
うち減税補てん債	14,100	13,500	13,300	9,100	－	－	－	－
うち臨時財政対策債	368,100	253,100	196,300	179,600	162,977	152,648	236,916	150,000

### [公債費(町債元利償還金額)の推移]

（単位：千円）

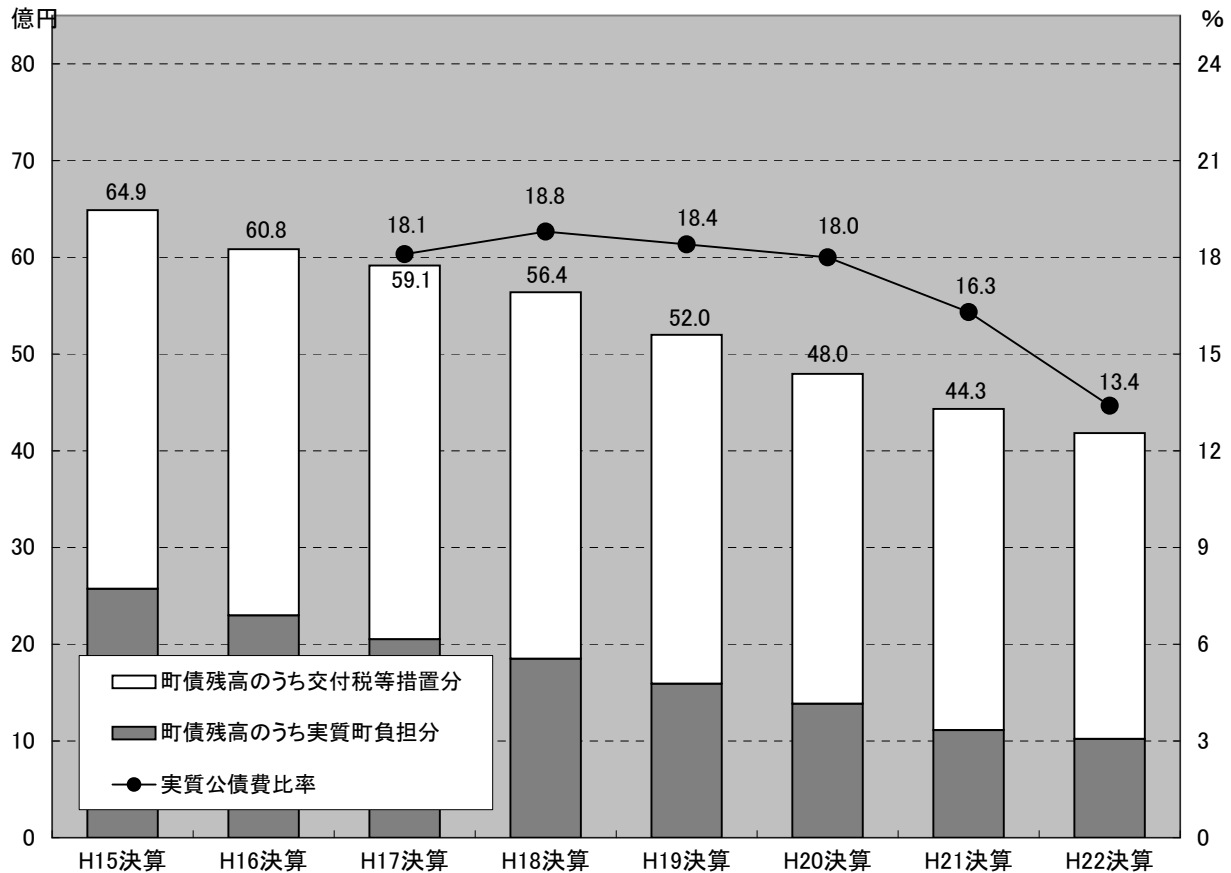
	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算
町債元利償還金額	923,850	935,748	740,365	758,184	767,838	716,683	740,545	548,374
償還元金	758,015	783,332	606,376	631,493	651,563	613,209	648,742	471,298
うち繰上償還分	90,932	114,430	－	9,459	24,130	18,823	94,933	－
支払利子	165,835	152,416	133,989	126,691	116,275	103,474	91,803	77,076

※ H16は、減税補てん債の借り換え(1億3,000万円)を除いた実質的な元利償還金額



## 町 債 の 概 要（普通会計）

〔年度末町債残高と実質公債費比率の推移〕



### ○町債残高：

新たな起債を極力抑え、計画的に繰上償還を実施してきた結果、普通会計の町債残高は、平成11年度の75億1千万円をピークに年々減少しています。

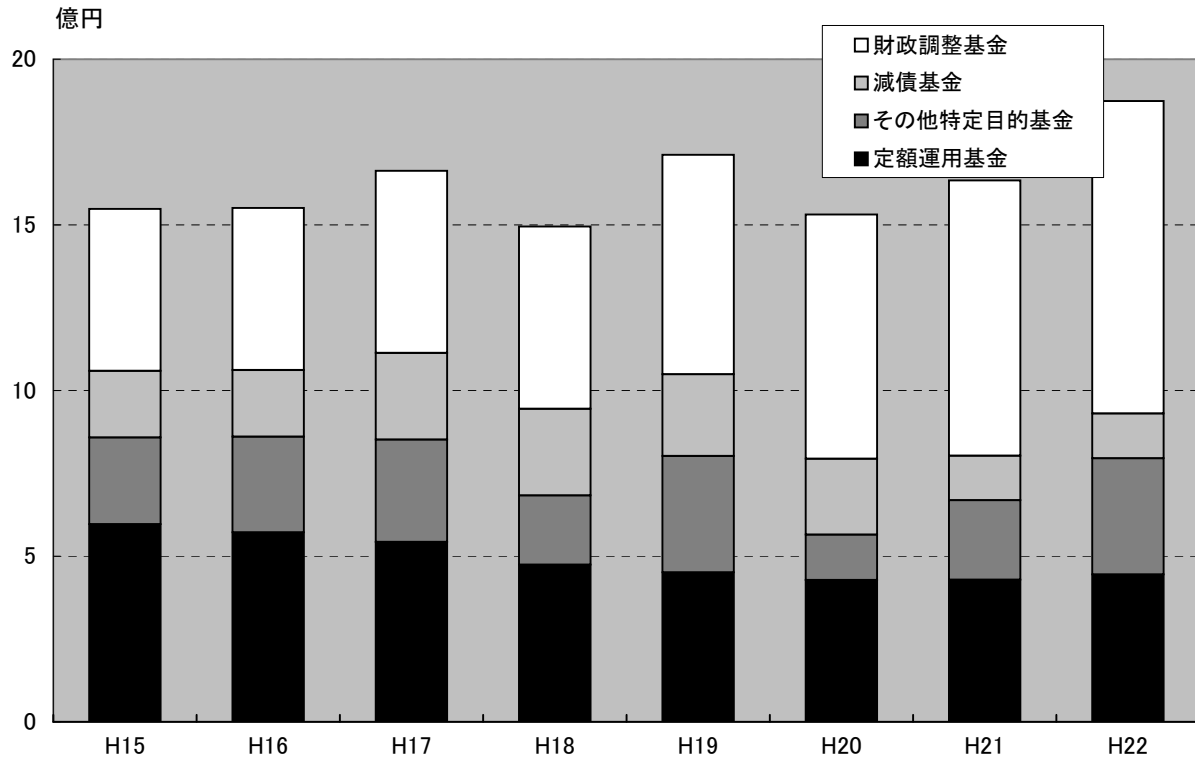
平成22年度末の残高41億8千万円のうち、31億6千万円(75.6%)程度は、後年度に地方交付税で措置されたり、貸付金の回収金や住宅家賃など特定の収入でまかなうなど、実質的には町の負担となりません。

### ○実質公債費比率：

地方債協議制度への移行に伴い新設された指標です。従来の起債制限比率の算定においては対象とされていなかった公営企業会計（上水道事業、下水道事業等）の公債費に充当した繰出金や、一部事務組合の公債費に係る負担金等を含め、実質的な公債費が標準財政規模に占める割合を示したものです。18%以上の場合は、地方債の発行に際し許可が必要となります。

(H21県平均：12.8%)

## 基金残高の推移（普通会計）



- 財政調整基金**： 年度間の財源の不均衡を調整し、財政の健全な運営を図るための基金
- 減債基金**： 町債償還の財源を確保し、計画的な償還と信用維持を図るための基金
- その他特定目的基金**： 教育文化基金、社会福祉積立基金、大規模建設事業積立基金 ほか
- 定額運用基金**： 土地開発基金、芸術文化振興基金、育英金貸付基金 ほか

### [年度末基金残高の推移]

（単位：千円）

	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算
財政調整基金	488,908	489,447	549,901	550,165	662,497	737,322	830,775	943,246
減債基金	200,882	200,993	261,164	261,255	246,884	228,891	134,712	135,129
その他特定目的基金	261,653	288,840	309,279	209,459	351,223	137,483	239,656	350,533
定額運用基金	596,828	572,157	543,014	474,170	451,146	427,789	429,200	445,026
計	1,548,271	1,551,437	1,663,358	1,495,049	1,711,750	1,531,485	1,634,343	1,873,934

平成22年度 普通会計決算状況調書 （決算カード）		国 調 人 口	H22年国調	11,074人	世 帯 数		
			H17年国調	11,477人	H17年国調	3,406世帯	
			増 減 率	△ 3.5%	H12年国調	3,264世帯	
		住 民 基 本 台 帳 人 口	H23. 3.31	11,458人	人口集中地区人口		
			H22. 3.31	11,465人	H17年国調	0人	
			増 減 率	△ 0.1%	H12年国調	0人	
歳 入 の 状 況 (単位 千円・%)							
区 分		決 算 額	構 成 比	増 減 率	経常一財等	構 成 比	
地 方 税		1,057,265	22.0	△ 3.1	1,057,265	36.3	
地 方 譲 与 税		59,584	1.2	△ 2.7	59,584	2.0	
利 子 割 交 付 金		5,494	0.1	△ 3.5	5,494	0.2	
配 当 割 交 付 金		1,388	0.0	1.0	1,388	0.0	
株式等譲渡所得割交付金		515	0.0	△ 27.2	515	0.0	
地 方 消 費 税 交 付 金		95,168	2.0	△ 0.2	95,168	3.3	
自 動 車 取 得 税 交 付 金		13,218	0.3	△ 9.9	13,218	0.5	
地 方 特 例 交 付 金		18,495	0.4	27.2	18,495	0.6	
地 方 交 付 税		1,724,878	35.9	5.5	1,605,766	55.2	
普通交付税		1,605,766	33.5	5.5	1,605,766	55.2	
特別交付税		119,112	2.5	5.4			
（一般財源計）		2,976,005	62.0	1.9	2,856,893	98.1	
交通安全対策特別交付金		1,714	0.0	△ 5.4	1,714	0.1	
分 担 金 及 び 負 担 金		4,276	0.1	△ 4.7			
使 用 料		141,291	2.9	△ 7.8	3,836	0.1	
手 数 料		6,375	0.1	△ 1.9			
国 庫 支 出 金		414,561	8.6	△ 31.2			
県 支 出 金		260,168	5.4	39.6			
財 産 収 入		34,385	0.7	23.8	3,922	0.1	
寄 附 金		3,229	0.1	△ 48.0			
繰 入 金		213,385	4.4	47.2			
繰 越 金		336,231	7.0	△ 40.4			
諸 収 入		185,465	3.9	△ 0.4	44,982	1.5	
地 方 債		221,000	4.6	△ 22.7			
うち都道府県貸付金							
うち減税補てん債							
うち臨時財政対策債		150,000	3.1	△ 36.7			
歳 入 合 計		4,798,085	100.0	△ 5.7	2,911,347	100.0	
性 質 別 歳 出 の 状 況 (単位 千円・%)							
区 分		決 算 額	構 成 比	増 減 率	充当一財等	経常経費充当一財等	経常収支比率
人 件 費		669,156	14.8	△ 1.1	579,378	572,534	18.7
うち職員給		418,231	9.3	△ 3.1	333,400	-	-
扶 助 費		476,545	10.5	35.1	155,927	133,939	4.4
公 債 費		548,374	12.1	△ 25.9	497,275	490,793	16.0
元利償還金		548,374	12.1	△ 25.9	497,275	490,793	16.0
一時借入金利息							
（義務の経費計）		1,694,075	37.5	△ 4.3	1,232,580	1,197,266	39.1
物 件 費		800,324	17.7	8.7	617,374	519,110	17.0
維 持 補 修 費		60,878	1.3	△ 8.8	58,260	58,260	1.9
補 助 費 等		511,004	11.3	△ 23.8	479,190	426,367	13.9
うち一組負担金		144,279	3.2	△ 6.4	142,854	142,854	4.7
繰 出 金		692,146	15.3	24.3	649,258	442,368	14.5
積 立 金		331,905	7.3	34.7	186,832		
投資及び出資金・貸付金		34,000	0.8	6.3	1,000	経常経費充当一般財源等計	
前年度繰上充用金						2,643,371千円	
投 資 的 経 費		392,989	8.7	△ 41.8	204,549	経常収支比率	
うち人件費						(臨時財政対策債含む)	
内 訳	普通建 事業費	392,989	8.7	△ 41.8	204,549	86.3%	
	うち単独事業費	215,195	4.8	△ 21.3	176,430		
	災害復旧事業費						
	失業対策事業費						
歳 出 合 計		4,517,321	100.0	△ 5.0	3,429,043	歳入一般財源等	
3,709,807千円							

面 積		19.07km <sup>2</sup>		人 口 密 度 (H22年国調)		580.7人		指定団体等 の指定状況	都道府県名		団 体 名		市町村類型										
産 業 構 造									新 産 産 工 特 低 開 発 産 炭 山 振 離 島 過 疎 半 島 首 都 近 畿 中 部 市 町 村 圏 特 定 農 山 村 財 政 再 建 指 数 表 選 定 財 源 超 過	20		5419		Ⅲ - 0									
区 分		H17年国調 (構成比)		H12年国調 (構成比)				ナガノケン		オブセマチ		地方交付税種地											
第1次産業		1,592人		23.9%		1,587人		23.6%		長野県		小布施町		Ⅱ - 2									
第2次産業		1,865人		28.0%		2,149人		31.9%															
第3次産業		3,203人		48.1%		2,997人		44.5%															
市 町 村 税 の 状 況 (単位 千円・%)								山 振	区 分	H22年度(千円)		H21年度(千円)											
区 分		徴 収 済 額		構 成 比		増 減 率		基準税額×100/75		歳 入 総 額		4,798,085		5,090,288									
										歳 出 総 額		4,517,321		4,754,057									
市 町 村 民 税	個人均等割	16,463		1.6		△ 3.3		16,581		歳 入 歳 出 差 引		280,764		336,231									
	所 得 割	410,829		38.9		△ 9.1		450,163		翌 年 度 繰 越 財 源		66,730		15,425									
	法人均等割	18,177		1.7		△ 8.8		20,331		実 質 収 支		214,034		320,806									
	法 人 税 割	22,120		2.1		77.3		9,371		単 年 度 収 支		△ 106,772		△ 13,365									
固定資産税		512,625		48.5		△ 0.4		511,772		積 立 金		162,471		143,453									
うち純固定資産税		512,366		48.5		△ 0.4		511,772		繰 上 償 還 額				94,933									
軽自動車税		28,735		2.7		1.8		28,380		積 立 金 取 崩 し 額		50,000		50,000									
市町村たばこ税		45,334		4.3		3.4		42,955		実 質 単 年 度 収 支		5,699		175,021									
鉱 産 税																							
特別土地保有税										ラ ス パ イ レ ス 指 数		92.4		91.3									
(法定普通税計)		1,054,283		99.7		△ 3.1		1,079,553		一 般 職 等 数		給 料 月 額 (百円)		1人当給料月額 (百円)									
法定外普通税										一 般 職 員		77		220,195		2,860							
旧法による税										議 員 公 務 災 害		×		う ち 技 能 労 務 職		1		2,629		2,629			
目 的 税		2,982		0.3		△ 2.9				非 常 勤 公 務 災 害		○		教 育 公 務 員		5		12,429		2,486			
入 湯 税		2,982		0.3		△ 2.9				退 職 手 当		○		消 防 職 員									
事 業 所 税										事 務 機 共 同		×		臨 時 職 員									
都市計画税										税 務 事 務		×		合 計		82		232,624		2,837			
水利地益税										老 人 福 祉		○		特 別 職 等 数		適 用 開 始 年 月 日		1人当平均月額 (百円)					
										伝 染 病		×		市 区 町 村 長		1		H19. 4. 1		7,150			
										し 尿 処 理		○		副 市 区 町 村 長		1		H19. 4. 1		6,060			
合 計		1,057,265		100.0		△ 3.1		1,079,553		ご み 処 理		○		教 育 長		1		H19. 4. 1		5,300			
適 用 税 率 の 状 況	個人均等割 (H23.4.1)	3,000円		個人所得割		6.0%		固定資産税		1.4%		火 葬 場		○									
	法人均等割											常 備 消 防		×		議 会 議 長		1		H19. 4. 1		2,640	
	1号法人	2号法人		3号法人		4号法人		5号法人		小 学 校		×		議 会 副 議 長		1		H19. 4. 1		1,930			
	50,000円	120,000円		130,000円		150,000円		160,000円		中 学 校		×		議 会 議 員		12		H19. 4. 1		1,720			
	法人税割	6号法人		7号法人		8号法人		9号法人		そ の 他		○											
	12.3%	400,000円		410,000円		1,750,000円		3,000,000円															
目 的 別 歳 出 の 状 況 (単位 千円・%)																							
区 分		決 算 額 (A)		構 成 比		増 減 率		(A)のうち普通建設		(A)の充当一財等		H22年度		基準財政収入額		969,651							
														基準財政需要額		2,575,419							
														標準税収入額等		1,230,871							
														標準財政規模 (臨財償含む)		3,142,559							
議 会 費		64,228		1.4		△ 3.9				64,228		財政力指数 (H20～22年度)				0.40							
総 務 費		655,499		14.5		△ 18.3		17,954		583,220		実質収支比率 (%)				6.8							
民 生 費		1,164,902		25.8		19.6		79,971		633,565		經常一般財源等比率 (%)				92.6							
衛 生 費		254,203		5.6		△ 5.4		21,013		240,090		実質赤字比率 (%)				-							
労 働 費		33,812		0.7		△ 4.8				812		連結実質赤字比率(%)				-							
農林水産業費		194,416		4.3		9.6		10,177		161,699		実質公債費比率 (%)				13.4							
商 工 費		72,812		1.6		6.1		16,102		58,879		将来負担比率 (%)				17.6							
土 木 費		576,069		12.8		8.2		207,117		488,765		積 立 金 現 在 高		財政調整基金		943,246							
消 防 費		178,000		3.9		5.4		4,162		169,116				減 債 基 金		135,129							
教 育 費		775,006		17.2		△ 15.6		36,493		531,394				その他特定目的基金		350,533							
災害復旧費												地方債現在高				4,182,270							
公 債 費		548,374		12.1		△ 25.9				497,275				うち政府資金		1,920,133							
諸 支 出 金												債 務 負 担 行 為 (支出予定額)		物件等購入									
歳 出 合 計		4,517,321		100.0		△ 5.0		392,989		3,429,043				保証・補償									
へ 公 の 営 事 業 緑 業 出 等 (千円)	上水道事業	1,009												そ の 他		134,517							
	下水道事業 (農集排含む)	263,500												収益事業収入									
	国民健康保険事業会計	64,446												土地開発基金現在高		239,586							
	老人保健医療事業会計	498												徴 収 率 (%)		市町村民税		97.2					
	介護保険事業会計	113,322														純固定資産税		93.3					
	後期高齢者医療事業会計	129,554														町税全体		94.2					
	基金、その他	120,826																					
	合 計	693,155																					

※正式なものは数値確定後に総務省にて公表

## 5. 平成 22 年度重点施策の成果・概要

### 職員力と組織力の向上 ～「すべては町民のために」行政改革への挑戦～

職員の「意識改革」と「行動変革」を進め、組織の活性化、戦略的な「人財」の育成を図るため、「小布施町人材育成実施計画」に基づき職員の能力向上に努めました。

⇒ 2.1.1 職員研修費 P38

### 危機管理体制の充実 ～地震・感染症への備え～

安心安全なまちづくりを進めるため、災害時行動マニュアルや地域支えあいマップの作成、新型インフルエンザ対策など、小布施町独自の危機管理体制の充実を図りました。

⇒ 2.1.9 防災対策費 P54

3.1.3 高齢者福祉事業費 P73

4.1.1 新型インフルエンザ対策事業費 P104 ほか



### 産み、育てやすい町へ ～子育て支援の一層の充実～

小布施町で安心して子育てができるよう福祉・医療・教育・産業などあらゆる面から子育て支援を充実させるとともに、「一貫教育」の仕組みづくりにも取り組み「産み、育てやすい町」づくりを進めました。

⇒ 3.2.1 児童福祉総務費 P91

9.1.2 教育委員会事務局費 P175

9.1.2 幼保小中一貫教育事業費 P176 ほか



### 心と体の健康づくり ～若者からお年寄りまで心身ともに健康に～

若者からお年寄りまで誰もが心身ともに健康に過ごしていただくため、また、将来の交流事業に繋げるため、各種事業を行いました。

⇒ 4.1.1 健康と交流事業費 P104

4.1.1 青少年引きこもり対策推進費 P105

4.1.2 がん検診等事業費 P109 ほか



### 企業との協働によるにぎわい ～まちづくりの新たな拠点～

小布施のまちづくりの理念に共感、賛同いただける企業や、CSR（社会的貢献活動）に熱心な企業との協働により、農業をはじめ商工業全般の振興を図り、活力あるまちづくりを企業とともに進めました。

⇒ 5.1.3 小布施ブランド戦略事業費 P127

7.5.1 まちづくり総務費 P163   ほか

### まちじゅうをキャンパスに ～さらなる大学との協働～

東京理科大学・まちづくり研究所をはじめ、多くの大学が小布施のまちづくりに賛同し、様々な分野で参画しています。まちじゅうをキャンパスに、町民の皆さんと学生がともに学ぶ、大学との協働を進めました。

⇒ 2.1.6 交流事業費 P49

4.2.1 環境総務費 P117

7.5.1 官学協働のまちづくり事業費 P164



### 「花」溢れるまちづくり ～北斎巴錦をまちじゅうに～

これまで取り組んできた、地域の花づくりやオープンガーデンなど花を通じた交流に加え、新たなシンボルとして、巴錦保存会の皆さんの協力をいただきながら、北斎巴錦の普及を図りました。

⇒ 6.1.3 花のまちづくり事業費 P143

7.5.1 沿道花壇維持管理費 P167

9.5.1 花づくり推進事業費 P183

9.5.11 文化振興事業費 P192   ほか



## 6. 会計別決算概要

### I 一般会計

#### 1 決算規模及び収支

平成22年度の町財政は、経済情勢の悪化により町税は3,371万2千円（前年比3.1%）の減となりましたが、地方交付税が8,957万3千円（前年比5.5%）増加したことなどにより、一般財源収入は前年度に比べ増となりました。また、繰越金の2億2,663万3千円（前年比40.2%）の減や、定額給付金やまちづくり交付金の減による国庫支出金の1億8,793万2千円（前年比31.2%）の減などにより、歳入全体では2億8,859万8千円（前年比5.7%）の減となりました。

歳出は普通建設事業費の2億8,244万8千円（前年比41.8%）の減や、公債費の1億9,217万1千円（前年比26.0%）の減などにより、前年より2億3,577万8千円（前年比5.0%）の減となりました。

歳入から歳出を差し引いた形式収支額は2億8,438万1千円で、翌年度に繰り越すべき財源6,673万円を控除した実質収支額は2億1,765万1千円となりました。

#### 2 収支状況

##### （1）形式収支

歳入決算額と歳出決算額の差、すなわち形式収支は、2億8,438万1千円の黒字（前年度3億3,720万1千円の黒字）となりました。

##### （2）実質収支

形式収支から平成23年度への繰越事業に充当すべき財源6,673万円を差し引いた額、すなわち実質収支（剰余金）は、2億1,765万1千円の黒字（前年度3億2,177万6千円の黒字）となりました。

##### （3）単年度収支

実質収支には、平成21年度からの剰余金が含まれているので、これを差し引いた平成22年度だけの収支、すなわち単年度収支は1億412万5千円の赤字（前年度1,162万5千円の赤字）となりました。

##### （4）実質単年度収支

一般会計の年度間調整の役割を持つ財政調整基金への積立金と地方債の繰上償還金を黒字要因とみなし、財政調整基金の取崩額を赤字要因とみなして単年度収支に加えた額、すなわち実質単年度収支は、834万6千円の黒字（1億7,676万1千円の黒字）となりました。



### 3 歳入

#### (1) 町税

町税収入は、10 億 5,726 万 5 千円で、前年比 3.1% (3,371 万 2 千円) の減になりました。  
法人町民税と軽自動車税、町たばこ税が増、個人町民税、固定資産税、入湯税が減となっています。

#### (2) 地方交付税

地方交付税収入は、普通交付税が 16 億 576 万 6 千円で前年度比 5.5% (8,342 万 4 千円) の増、特別交付税が 1 億 1,911 万 2 千円で前年比 5.4% (614 万 9 千円) の増となり、地方交付税全体では、17 億 2,487 万 8 千円で前年比 5.5% (8,957 万 3 千円) となりました。

#### (3) 国庫支出金

国庫支出金は 4 億 1,456 万 1 千円で、前年比 31.2% (1 億 8,793 万 2 千円) の減となりました。これは、定額給付金やまちづくり交付金の減などによるものです。

#### (4) 県支出金

県支出金は 2 億 6,016 万 8 千円で、前年比 39.6% (7,380 万 4 千円) の増になりました。これは、介護基盤緊急整備特別対策事業補助金などによるものです。

#### (5) 町債

町債の発行額は、2 億 2,100 万円で、前年比 22.7% (6,481 万 6 千円) の減となりました。これは、臨時財政対策債の発行抑制によるものです。

#### (6) その他

各種基金等からの繰入金は、前年比 47.1% (6,836 万 6 千円) 増の 2 億 1,338 万 5 千円となり、前年度からの繰越金は、前年比 40.2% (2 億 2,663 万 3 千円) 減の 3 億 3,720 万 1 千円となりました。

### 4 歳出

#### (1) 目的別経費

増減の大きいものを目的別で見ると、公債費が 1 億 9,217 万 1 千円の減、総務費が 1 億 4,337 万 1 千円の減となりました。

#### (2) 性質別経費

増減の大きいものを性質別に見ると、普通建設事業費が 2 億 8,244 万 8 千円の減、公債費が 1 億 9,217 万 1 千円の減となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

# 一般会計歳入歳出決算の状況

## 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
町 税	1,057,265	22.0%	1,090,977	21.4%	△ 33,712	△ 3.1%
個人町民税	427,292	8.9%	468,959	9.2%	△ 41,667	△ 8.9%
法人町民税	40,297	0.8%	32,403	0.6%	7,894	24.4%
固定資産税	512,625	10.7%	514,466	10.1%	△ 1,841	△ 0.4%
軽自動車税	28,735	0.6%	28,233	0.6%	502	1.8%
町たばこ税	45,334	0.9%	43,849	0.9%	1,485	3.4%
入 湯 税	2,982	0.1%	3,067	0.1%	△ 85	△ 2.8%
地方譲与税	59,584	1.2%	61,223	1.2%	△ 1,639	△ 2.7%
利子割交付金	5,494	0.1%	5,695	0.1%	△ 201	△ 3.5%
配当割交付金	1,388	0.0%	1,374	0.0%	14	1.0%
株式等譲渡所得割交付金	515	0.0%	707	0.0%	△ 192	△ 27.2%
地方消費税交付金	95,168	2.0%	95,332	1.9%	△ 164	△ 0.2%
自動車取得税交付金	13,218	0.3%	14,669	0.3%	△ 1,451	△ 9.9%
地方特例交付金	18,495	0.4%	14,538	0.3%	3,957	27.2%
地方交付税	1,724,878	35.9%	1,635,305	32.1%	89,573	5.5%
交通安全対策特別交付金	1,714	0.0%	1,811	0.0%	△ 97	△ 5.4%
分担金及び負担金	72,598	1.5%	77,753	1.5%	△ 5,155	△ 6.6%
使用料及び手数料	79,692	1.7%	85,737	1.7%	△ 6,045	△ 7.1%
国庫支出金	414,561	8.6%	602,493	11.8%	△ 187,932	△ 31.2%
県支出金	260,168	5.4%	186,364	3.7%	73,804	39.6%
財産収入	34,384	0.7%	27,758	0.5%	6,626	23.9%
寄 付 金	3,229	0.1%	6,211	0.1%	△ 2,982	△ 48.0%
繰 入 金	213,385	4.4%	145,019	2.8%	68,366	47.1%
繰 越 金	337,201	7.0%	563,834	11.1%	△ 226,633	△ 40.2%
諸 収 入	189,763	4.0%	189,682	3.7%	81	0.0%
町 債	221,000	4.6%	285,816	5.6%	△ 64,816	△ 22.7%
うち臨時財政対策債	150,000	3.1%	236,916	4.7%	△ 86,916	△ 36.7%
合 計	4,803,700	100.0%	5,092,298	100.0%	△ 288,598	△ 5.7%

## 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
議 会 費	66,552	1.5%	68,179	1.4%	△ 1,627	△ 2.4%
総 務 費	627,032	13.9%	770,403	16.2%	△ 143,371	△ 18.6%
民 生 費	1,166,621	25.8%	981,593	20.6%	185,028	18.8%
衛 生 費	261,908	5.8%	275,431	5.8%	△ 13,523	△ 4.9%
農林水産業費	198,633	4.4%	181,478	3.8%	17,155	9.5%
商 工 費	107,089	2.4%	104,719	2.2%	2,370	2.3%
土 木 費	577,658	12.8%	538,057	11.3%	39,601	7.4%
消 防 費	185,295	4.1%	176,086	3.7%	9,209	5.2%
教 育 費	781,328	17.3%	919,777	19.3%	△ 138,449	△ 15.1%
公 債 費	547,203	12.1%	739,374	15.5%	△ 192,171	△ 26.0%
災害復旧費	-	-	-	-	-	-
合 計	4,519,319	100.0%	4,755,097	100.0%	△ 235,778	△ 5.0%

歳入歳出差引額      284,381 千円      337,201 千円  
(うち繰越明許費繰越額)      (66,730) 千円      (15,425) 千円

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績						
1	町税	1,057,264,657							
当初予算額 1,057,027,000 円 最終予算額 1,037,567,000 円 決算額 1,057,264,657 円									
(1) 主な収入の内訳									
・ 町民税		4億6,759 万円							
・ 固定資産税		5億1,263 万円							
(2) 活動指標									
・ 町税の状況									
1) 町税決算額の推移			(単位：万円)						
税 目		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度			
町個人税人	均 等 割	1,624	1,680	1,739	1,703	1,646			
	所 得 割	35,106	47,277	47,452	45,193	41,083			
	計	36,730	48,957	49,191	46,896	42,729			
町法人税人	均 等 割	1,813	1,840	1,897	1,993	1,818			
	法人税割	1,779	2,811	1,902	1,247	2,212			
	計	3,592	4,651	3,799	3,240	4,030			
固定資産税		51,742	52,433	54,011	51,447	51,263			
軽自動車税		2,673	2,735	2,791	2,823	2,874			
町たばこ税		4,876	4,826	4,533	4,385	4,533			
入 湯 税		51	171	359	307	298			
合 計		99,664	113,773	114,684	109,098	105,727			
2) 個人町民税課税状況（現年課税分調定額）			(単位：万円)						
区分	普通徴収		給与特別徴収		年金特別徴収		計		構成比 (%)
	納税義務者数(人)	税 額	納税義務者数(人)	税 額	納税義務者数(人)	税 額	納税義務者数(人)	税 額	
均 等 割	2,648	705	2,408	729	453	219	5,509	1,653	3.9
所 得 割	2,096	13,230	2,328	25,954	324	2,031	4,748	41,215	96.1
計(実人数)	2,709	13,935	2,434	26,683	453	2,250	5,596	42,868	100.0
※ 特別徴収義務者数 885事業所									
所得状況（平成22年度課税状況調べより）			(単位：万円)						
所 得 区 分		所 得 額		人 数（人）		1人当り所得額			
給 与		998,225		3,624		275			
営 業		57,271		174		329			
農 業		15,942		87		183			
そ の 他 所 得		121,278		715		170			
譲 渡 等		6,555		31		211			
計（実人数）		1,199,271		4,631		259			
※ 1. 所得額は、町民税（所得割）が課せられた者の所得額です。									
2. 人数は2以上の所得を有する場合いずれか多い所得に算入しました。									

## 3) 法人町民税課税状況（現年課税分調定額）

（単位：万円）

区 分	法 人 数 (社)	税 額	構 成 比 (%)
均 等 割	241	1,829	45.3
法 人 税 割	65	2,212	54.7
計（実法人数）	241	4,041	100.0

## 法人数の内訳

1号法人	2号法人	3号法人	4号法人	5号法人	6号法人	7号法人	8号法人	9号法人	計
189	1	34	2	7	-	8	-	-	241

## 4) 固定資産税の課税状況等（現年課税分）

## ① 土地、家屋別課税の内容

## ・土 地（非課税除く）

（単位：万円）

地 目	総評価地積 (㎡)	筆 数 (筆)	総評価額	課税標準額
田	2,013,095	1,459	24,296	24,296
畑	6,201,724	11,032	604,479	152,964
宅 地	2,014,589	12,421	3,441,204	1,153,248
鉱 泉 地	3	1	130	130
山 林	1,008,522	454	2,011	2,011
原 野	292,996	162	222	222
雑 種 地	232,553	566	194,949	135,053
計	11,763,482	26,095	4,267,291	1,467,924

## ・家 屋（非課税除く）

（単位：㎡）

区 分	在 来 分		新增築分		計	
	棟 数	床面積	棟 数	床面積	棟 数	床面積
木 造	6,919	647,163	42	5,280	6,961	652,443
非 木 造	1,859	248,831	5	390	1,864	249,221
計	8,778	895,994	47	5,670	8,825	901,664

## ② 課税状況

（単位：万円）

区 分	納税義務者数 (人)	固定資産税額 (賦課決定)
土 地	3,431	20,432
家 屋	3,663	25,773
償 却 資 産	136	5,571
合 計 (実人数)	4,629	51,776

## ③ 新增築分家屋評価状況

（単位：万円）

区 分	棟 数	床 面 積 (㎡)	総評価額	㎡当り単価
木 造	45	5,169	29,632	5.7
非 木 造	11	5,191	28,258	5.4
計	56	10,360	57,890	5.6

5) 国有資産等所在市町村交付金及び納付金1件 25.9 万円

6) 軽自動車税の車種別台数推移

(単位：台)

車 種		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
原動機付自転車	50cc以下	752	721	710	656
	90cc以下	71	67	65	66
	125cc以下	22	22	25	27
	ミニカー	11	10	12	13
軽 自 動 車	二輪小型(250以下)	139	132	135	133
	四輪貨物	営業用	11	16	16
		自家用	2,004	2,009	1,993
	四輪乗用	自家用	2,213	2,281	2,348
	ボートトレーラー		1		
小型特殊自動車	農 耕 用	999	990	983	993
	そ の 他	36	36	37	35
二輪小型 (250cc超)		135	129	132	133
合 計		6,393	6,414	6,456	6,482
調定額 (万円)		2,752	2,796	2,838	2,889

7) たばこ税の推移

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
消費本数 (千本)	14,894	13,948	13,551	11,890
調 定 額 (万円)	4,826	4,533	4,385	4,533
前年調定比 (%)	一	93.9	96.7	103.4

8) 入湯税の課税状況

(単位：万円)

特別徴収義務者数	税 率	入湯客数 (人)	税 額
2	日帰り 50円、宿泊 100円	33,456	168

## 9) 収入未済額の推移

(単位：万円)

税 目		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		未収額	徴収率	未収額	徴収率	未収額	徴収率	未収額	徴収率	未収額	徴収率
町個人 税人	現年課税額	142	99.6	527	98.9	370	99.2	403	99.1	355	99.2
	滞納繰越額	195	26.5	263	17.6	607	22.6	761	22.1	946	18.6
	計	337	99.1	790	98.4	977	98.0	1,164	97.6	1,301	97.0
町法 民 税人	現年課税額	17	99.5	10	99.8	18	99.5	28	99.1	22	98.3
	滞納繰越額	0	100	7	58.0	12	31.0	30	0.0	47	19.7
	計	17	99.5	17	99.6	30	99.2	58	98.2	69	98.3
資 固 産 税 定	現年課税額	793	98.5	1,056	98.0	690	98.7	886	98.3	983	98.1
	滞納繰越額	895	49.1	1,394	17.4	1,951	20.4	2,275	13.9	2,717	14.0
	交付金等	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100
	計	1,688	96.8	2,450	95.5	2,641	95.3	3,161	94.2	3,700	93.3
軽 自 動 車 税	現年課税額	11	99.6	22	99.2	19	99.3	23	99.2	27	99.1
	滞納繰越額	18	28.5	22	18.5	29	32.4	40	17.5	52	16.8
	計	29	98.9	44	98.3	48	98.3	63	97.8	79	97.3
町たばこ税		0	100	0	100	0	100	0	100	0	100
入 湯 税	現年課税額	0	100	1,248	8.5	0	100	0	100	0	100
	滞納繰越額	623	0	569	8.8	1,679	7.6	1,547	7.9	1,418	8.4
	計	623	7.6	1,817	8.6	1,679	17.6	1,547	16.5	1,418	17.4
合 計		2,694		5,118		5,375		5,993		6,567	
合計徴収率		97.4%		95.7%		95.5%		94.8%		94.2%	

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
2	地方譲与税	59,584,041				
当初予算額 59,000,000 円 最終予算額 59,000,000 円 決算額 59,584,041 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 地方揮発油譲与税			1,753 万円			
・ 自動車重量譲与税			4,205 万円			
(2) 活動指標						
・ 地方譲与税の状況			(単位：万円)			
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
地方揮発油譲与税		-	-	-	988	1,753
自動車重量譲与税		5,160	5,100	5,047	4,456	4,205
地方道路譲与税		1,776	1,762	1,622	679	-
所得譲与税		8,676	-	-	-	-
合 計		15,612	6,862	6,669	6,123	5,958
※ 国に納めた税金のうちから、特別の理由により町が譲り受けるものです。						
地方揮発油譲与税 … ガソリンなどの購入時に国に納めた地方道路税の一部を譲り受けるものです。						
自動車重量譲与税 … 国に納めた自動車重量税の一部を譲り受けるもので、道路の維持管理に要する経費などに充てます。						

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
3	利子割交付金	5,494,000				
当初予算額 4,500,000 円 最終予算額 4,500,000 円 決算額 5,494,000 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 利子割交付金			549 万円			
(2) 活動指標						
・ 利子割交付金の状況			(単位：万円)			
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利子割交付金		447	595	599	570	549
※ 預金利子などの収入があったときに納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。						

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
4	配当割交付金	1,388,000				
当初予算額 1,000,000 円 最終予算額 1,000,000 円 決算額 1,388,000 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 配当割交付金			139 万円			
(2) 活動指標						
・ 配当割交付金の状況			(単位：万円)			
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
配当割交付金		416	456	173	137	139
※ 株式の配当があった方に納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。						

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績				
5	株式等譲渡所得割交付金	500,000					
当初予算額			500,000 円	最終予算額	500,000 円	決算額	515,000 円
(1) 主な収入の内訳							
・ 株式等譲渡所得割交付金 52 万円							
(2) 活動指標							
・ 株式等譲与取得割交付金の状況 (単位：万円)							
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
株式等譲渡所得割交付金		315	269	64	71	52	
※ 株式などの譲渡所得があった方に納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。							

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績				
6	地方消費税交付金	95,168,000					
当初予算額			93,000,000 円	最終予算額	93,000,000 円	決算額	95,168,000 円
(1) 主な収入の内訳							
・ 地方消費税交付金 9,517 万円							
(2) 活動指標							
・ 地方消費税交付金の状況 (単位：万円)							
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
地方消費税交付金		9,711	9,653	9,180	9,533	9,517	
※ 5 %の消費税のうち、地方分の 1 %の一部を譲り受けるものです。							

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績				
7	自動車取得税交付金	13,218,000					
当初予算額			14,000,000 円	最終予算額	14,000,000 円	決算額	13,218,000 円
(1) 主な収入の内訳							
・ 自動車取得税交付金 1,322 万円							
(2) 活動指標							
・ 自動車取得税交付金の状況 (単位：万円)							
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
自動車取得税交付金		2,992	2,759	2,490	1,467	1,322	
※ 自動車を取得したときに納めていただく県税の一部を譲り受けるもので、道路の維持管理などに要する経費に充てます。							



款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
8	地方特例交付金	18,495,000				
当初予算額 18,947,000 円 最終予算額 18,947,000 円 決算額 18,495,000 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 地方特例交付金 1,850 万円						
(2) 活動指標						
・ 地方特例交付金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
地方特例交付金		2,611	541	547	1,269	1,850
特別交付金		-	178	178	185	-
合 計		2,611	719	725	1,454	1,850
※ 国の政策により町に納めていただく町民税が減税されているので、町の収入が減った分を国が補てんするものと、児童手当及び子ども手当の支給要件が変更になったため、その経費に充てるためのお金として交付されます。						

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
9	地方交付税	1,724,878,000				
当初予算額 1,430,000,000 円 最終予算額 1,605,766,000 円 決算額 1,724,878,000 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 普通交付税 16億577 万円						
・ 特別交付税 1億1,911 万円						
(2) 活動指標						
・ 地方交付税等の状況 (単位：千円)						
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
A	基準財政需要額(算定額)	2,743,406	2,763,166	2,766,212	2,789,223	2,881,341
B	臨時財政対策債発行可能額	179,637	162,977	152,648	236,916	305,922
C	錯誤措置額(※1)	-	5	-	-	18
D	基準財政需要額 A-B+C	2,563,769	2,600,194	2,613,564	2,552,307	2,575,437
E	基準財政収入額(算定額)	1,024,954	1,041,951	1,066,368	1,027,670	969,651
F	錯誤措置額(※1)	-	△ 1,426	-	-	20
G	基準財政収入額 E+F	1,024,954	1,040,525	1,066,368	1,997,341	969,671
H	普通交付税交付基準額 D-G	1,538,815	1,559,669	1,547,196	554,966	1,605,766
I	調整額 (※2)		4,447	1,146	2,295	-
J	普通交付税決定額 H-I	1,538,815	1,555,222	1,546,050	552,671	1,605,766
K	(普通交付税+臨時債発行額) J+B	1,718,452	1,718,199	1,698,698	789,587	1,911,688
L	特別交付税	92,966	117,333	116,238	112,963	119,112
M	地方交付税相当額 K+L	1,811,418	1,835,532	1,814,936	2,933,350	2,030,800
N	地方特例交付金	26,108	7,189	12,905	14,538	18,495
O	減税補てん債発行額	9,100	-	-	-	-
P	財政力指数 (3カ年平均)	0.39	0.39	0.40	0.40	0.40
※1 地方交付税法第17条の3第2項等に基づき3年に一度行われる地方交付税等検査による修正額						
※2 普通交付税の算定上、各地方団体の財源不足額の合算額が普通交付税の総額を超える場合、財源不足額の合算額を普通交付税の総額にあわせるために減額した額						

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績				
10	交通安全対策特別交付金	1,714,000					
当初予算額			1,600,000 円	最終予算額	1,600,000 円	決算額	1,714,000 円
(1) 主な収入の内訳							
・交通安全対策特別交付金			171 万円				
(2) 活動指標							
・交通安全対策特別交付金の状況			(単位：万円)				
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
交通安全対策特別交付金		179	184	174	181	171	
※ 交通反則金が町に交付されるもので、交通安全施設の設置費などに要する経費に充てます。							

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績				
11	分担金及び負担金	72,598,263					
当初予算額			76,490,000 円	最終予算額	76,490,000 円	決算額	72,598,263 円
(1) 主な収入の内訳							
・高齢者施設入所負担金			143 万円				
・保育料負担金			5,735 万円				
・衛生費負担金			75 万円				
・教育費負担金			1,307 万円				
(2) 活動指標							
・分担金及び負担金の状況			(単位：万円)				
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
民生費負担金		6,862	6,706	6,109	6,261	5,878	
衛生費負担金		-	-	92	75	75	
民生費負担金		-	-	421	-	-	
教育費負担金		1,358	1,819	1,388	1,439	1,307	
合 計		8,220	8,525	8,010	7,775	7,260	
・保育料負担金の状況			(単位：万円・％)				
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
調 定		6,657	6,657	6,104	6,178	5,852	
収 入		6,442	6,442	5,856	6,032	5,736	
徴 収 率		96.8	96.8	95.9	97.6	98.0	
・教育費負担金（幼稚園入園料、授業料）の状況			(単位：万円・％)				
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
調 定		1,508	1,508	1,392	1,444	1,307	
収 入		1,500	1,500	1,388	1,439	1,307	
徴 収 率		99.5	99.5	99.7	99.7	100.0	

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績				
12	使用料及び手数料	79,692,167					
当初予算額			89,038,000 円	最終予算額	89,038,000 円	決算額	79,692,167 円
(1) 主な収入の内訳							
・ 社会教育使用料			3,223 万円				
・ 公営住宅使用料			1,903 万円				
・ 戸籍住民基本台帳手数料			484 万円				
(2) 活動指標							
・ 使用料及び手数料の状況			(単位：万円)				
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
民生使用料		233	348	119	207	170	
農業使用料		147	147	147	141	100	
観光使用料		777	516	627	1,002	899	
土木使用料		2,580	2,455	2,412	2,503	2,453	
教育使用料		4,629	3,676	4,143	4,071	3,710	
総務手数料		604	624	593	579	567	
衛生手数料		73	75	72	67	67	
農林水産業手数料		2	1	1	1	1	
土木使用料		4	2	3	3	2	
合 計		9,049	7,844	8,117	8,574	7,969	
・ 公営住宅使用料（町営住宅駐車場使用料含む）の状況			(単位：万円・％)				
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
調 定		2,117	2,094	2,165	2,190	2,131	
収 入		1,957	1,843	1,868	1,956	1,903	
徴 収 率		92.4	88.0	86.3	89.3	89.3	

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績				
13	国庫支出金	414,561,566					
当初予算額			280,902,000 円	最終予算額	519,958,000 円	決算額	414,561,566 円
(1) 主な収入の内訳							
・ 子ども手当負担金			1億4,037 万円				
・ 障害者自立支援給付費負担金			8,043 万円				
・ 住民生活に光を注ぐ交付金			7,328 万円				
(2) 活動指標							
・ 国庫支出金の状況			(単位：万円)				
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
民生費国庫負担金		6,450	10,260	11,147	12,372	23,304	
衛生費国庫負担金		360	352	－	－	－	
保険基盤安定国庫負担金		369	375	299	－	－	
災害復旧国庫負担金		6,220	－	－	－	－	
総務費国庫補助金		－	－	3,649	35,969	11,535	
民生費国庫補助金		5,678	648	301	997	4,626	
衛生費国庫補助金		－	－	－	303	96	
農林水産業費国庫補助金		－	－	1,818	－	－	
土木費国庫補助金		8,955	7,697	7,639	9,119	164	
教育費国庫補助金		1,498	19	8	548	245	
災害復旧国庫補助金		501	－	－	－	－	
総務費委託金		17	538	14	601	466	
民生費委託金		344	355	337	340	310	
土木費委託金		1	－	－	－	－	
教育費委託金		－	－	－	－	710	
合 計		30,393	20,244	25,212	60,249	41,456	

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績				
14	県支出金	260,167,773					
当初予算額			241,576,000 円	最終予算額	276,412,000 円	決算額	260,167,773 円
(1) 主な収入の内訳							
・ 障害者自立支援給付費負担金			3,707 万円				
・ 介護基盤緊急整備特別対策事業補助金			3,200 万円				
・ 県民税取扱事務費交付金			2,336 万円				
(2) 活動指標							
・ 県支出金の状況			(単位：万円)				
区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
民生費県負担金	6,229	8,312	9,245	9,619	10,074		
衛生費県負担金	322	292	－	－	－		
総務費県補助金	545	172	456	993	4,033		
民生費県補助金	4,298	3,564	3,174	3,363	6,883		
衛生費県補助金	200	－	76	247	547		
農林水産業費県補助金	545	501	507	1,866	519		
商工費県補助金	－	－	－	50	750		
土木費県補助金	30	21	260	93	45		
教育費県補助金	30	158	177	136	130		
総務費委託金	1,767	2,858	2,922	2,127	2,769		
民生費委託金	85	95	110	110	112		
衛生費委託金	－	－	－	－	124		
農林水産業費委託金	46	41	36	32	31		
土木費委託金	－	－	105	－	－		
教育費委託金	－	－	83	－	－		
合 計	14,097	16,014	17,151	18,636	26,017		

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
15	財産収入	34,384,160				
当初予算額 33,142,000 円 最終予算額 33,620,000 円 決算額 34,384,160 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 土地売却収入 2,426 万円						
・ 利子及び配当金 364 万円						
(2) 活動指標						
・ 財産収入の状況 (単位：万円)						
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
財産貸付収入		365	362	362	359	389
利子及び配当金		73	542	506	508	364
不動産売却収入		6	-	305	1,909	2,685
物品売却収入		-	-	87	-	-
合 計		444	904	1,260	2,776	3,438

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
16	寄付金	3,228,612				
当初予算額 1,328,000 円 最終予算額 3,210,000 円 決算額 3,228,612 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 一般寄付金（ふるさと納税） 188 万円						
・ 水路事業寄付金 66 万円						
(2) 活動指標						
・ 寄付金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
一般寄付金		305	-	202	344	188
民生費寄付金		11	82	-	-	-
土木費寄付金		67	84	197	272	122
消防費寄付金		11	7	17	5	13
教育費寄付金		7	2	1	-	-
合 計		401	175	417	621	323

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
17	繰入金	213,385,000				
当初予算額 179,328,000 円 最終予算額 213,387,000 円 決算額 213,385,000 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 繰入金 2億1,339 万円						
(2) 活動指標						
・ 繰入金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
老人保健特別会計繰入金		3,236	-	1,066	-	25
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計繰入金		-	-	-	9	-
財政調整基金繰入金		-	-	4,742	5,000	5,000
減債基金繰入金		-	1,553	1,882	9,493	-
図書館建設基金繰入金		-	-	26,607	-	-
土地開発基金繰入金		3,000	1,900	2,000	-	10,000
社会福祉積立基金繰入金		10,000	-	-	-	-
芸術文化振興基金繰入金		3,900	500	500	-	500
教育文化施設資金積立基金繰入金		-	-	-	-	1,714
大規模建設事業資金積立基金繰入金		-	-	-	-	4,100
合 計		20,136	3,953	36,797	14,502	21,339

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
18	繰越金	337,200,611				
当初予算額 35,000,000 円 最終予算額 340,482,000 円 決算額 337,200,611 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 繰越金 3億3,720 万円						
(うち1,543万円は繰越明許費繰越財源分)						
(2) 活動指標						
・ 繰越金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
繰越金		15,070	29,231	28,840	56,383	33,720

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
19	諸収入	189,763,134				
当初予算額 209,804,000 円 最終予算額 209,804,000 円 決算額 189,763,134 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 地域総合整備資金貸付金収入 3,639 万円						
・ 一部事務組合交付税等配分金 3,346 万円						
・ 起業者支援貸付預託金収入 3,000 万円						
(2) 活動指標						
・ 諸収入の状況 (単位：万円)						
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延滞金		26	34	60	84	98
町預金利子		49	231	208	162	74
貸付金元利収入		2,459	2,707	4,399	7,399	6,939
弁償金		-	1	-	1	-
雑入		12,043	11,424	16,077	11,322	11,865
合 計		14,577	14,397	20,744	18,968	18,976

款	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
20	町債	221,000,000				
当初予算額 463,500,000 円 最終予算額 419,422,000 円 決算額 221,000,000 円						
(1) 主な収入の内訳 (単位：万円)						
起 債 名		借入額	年利率	償還（据置）期間	交付税算入率	資金区分
排水路整備事業債		850	0.62%	10(3)年	30%	長野信用金庫
まちづくり交付金事業債		5,950	0.62%	10(3)年	10%	長野信用金庫
防災基盤整備事業		300	0.62%	10(3)年	30%	長野信用金庫
臨時財政対策債		15,000	0.80%	20(3)年	100%	須高農業協同組合
合 計		22,100				
(2) 活動指標						
・ 町債の年度別借入の状況 (単位：万円)						
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
総務債		910	-	-	-	-
衛生債		3,000	-	-	-	-
農林水産債		-	-	1,100	-	-
土木債		6,480	4,680	4,610	4,890	6,800
教育債		3,940	-	-	-	-
消防債		-	210	-	-	300
臨時財政対策債		17,960	16,298	15,265	23,692	15,000
災害復旧債		3,130	-	-	-	-
合 計		35,420	21,188	20,975	28,582	22,100



款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績				
1			議会費	66,552,428					
	1		議会費	66,552,428					
		1	議会費	66,552,428					
					決算事項別明細書 P36～				
議会の運営(議会事務局)					予算事業名：議会運営費				
当初予算額 1,927,000 円 最終予算額 1,927,000 円					決算額 1,681,196 円				
議会は平成22年3月から通年議会となりました。議会の会期を約1年間とし、委員会が行う審査や調査を議会閉会中の制限がなく行えるようになりました。また、平成21年5月に設置した政策立案特別委員会を引き続き開催し、文化体育館・ごみ問題、国道403号歩道についての研究を行いました。									
(1) 主な支出									
・ 議長交際費 14 万円 ・ 県議長会等負担金 13 万円									
・ 議会会議録筆耕料 64 万円 ・ 消耗品費等 62 万円									
・ 正副議長等研修会費 10 万円									
(2) 活動指標									
通年議会 平成22年小布施町議会 会期：平成22年3月26日～平成23年4月15日									
・ 本 会 議									
3月会議 審議期間 3月26日～4月6日									
4月会議 審議期間 4月19日									
5月会議 審議期間 5月25日～6月17日									
9月会議 審議期間 9月6日～9月22日									
11月会議 審議期間 11月30日									
12月会議 審議期間 12月6日～12月16日									
2月会議 審議期間 2月2日									
2月第2回会議 審議期間 2月21日									
3月会議 審議期間 3月7日～3月23日									
3月第2回会議 審議期間 3月31日									
・ 委員会、その他の主な会議の実施 (単位：回)									
	総務産業	社会文教	議会運営	決 算	予 算	議会全協	政策立案	国道403	計
4月		2	1			2		1	6
5月	2		3						5
6月	1	1	2			3	1	1	9
7月						1			1
8月			1			1			2
9月	2	1	2	4		2	2	1	14
10月			1			1	1		3
11月	1	2	4			2			9
12月	1	1				2	2	1	7
1月			1			1			2
2月	1		1						2
3月	1	1	4		4	3	1		14
合計	9	8	20	4	4	18	7	4	74

・ 議決件数

(単位：件)

区 分	提出件数	原案可決 (採択)	否決 (不採択)	認 定	承 認	同 意	適 任
専決処分	1	1					
条 例	14	14					
予 算	32	32					
決 算	10			10			
請願・陳情	12	11	1				
意見書及び発議	4	4					
そ の 他	14	10				3	1
合 計	87	72	1	10		3	1

・ 一般質問

(単位：人)

	5月	9月	12月	3月	合計
質問者数	10	11	10	10	41

・ 議会傍聴者数

(単位：人)

	5月	9月	12月	3月	合計
議会傍聴者数	25	14	5	9	53

(3) 活動指標の推移

(単位：人)

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
議会傍聴者数	119	130	190	167	53

- ・ 議会日程のお知らせを銀行など町内数箇所に掲示し、議会について関心が高まるよう努めました。

**議会だよりの発行(議会事務局)**

予算事業名：議会報発行事業費

当初予算額 1,050,000 円 最終予算額 1,050,000 円 決算額 954,975 円

「議会だより」を年4回(4月、7月、11月、1月)町内全戸に配布し、議会の審議内容についてお知らせしました。表紙をカラー化し、一般質問の枠を拡大するなど読みやすい議会だよりの発行に努めました。

(1) 主な支出

- ・ 議会だより印刷 88 万円
- ・ 広報担当議員研修会 7 万円

(2) 活動指標

- ・ 年4回発行(議会開催月の翌月)

3,550部印刷/回

議会での常任委員会・特別委員会の審議、一般質問の内容などについて広く町民の皆さんにお知らせすることができました。

**議員視察研修の実施(議会事務局)**

予算事業名：議員研修費

当初予算額 435,000 円 最終予算額 435,000 円 決算額 273,172 円

教育行政、健康福祉、環境対策、まちづくり等をテーマに、先進地の視察を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 視察の旅費 27 万円

	(2) 活動指標			
	・ 研修期日 4月22日～23日 (1泊2日)		参加者 議員13名、事務局2名	
	・ 視察先と研修内容 兵庫県神戸市			
	げんきK O B E			
	地域の高齢者の活動			
	福正会			
	震災ボランティア活動・避難所での暮らし			
	神戸K I N G S			
	スノーボード練習場視察			
	(3) 成果指標			
今後の小布施町のまちづくや政策等に活かすため、先進市町村を視察し、研修したことを十分踏まえ一般質問、議会運営を行うことができました。また、これからの政策立案にも役立てていきます。				
議員人件費				予算事業名：議員人件費
当初予算額 46,313,000 円		最終予算額 46,313,000 円		決算額 45,779,690 円
(1) 主な支出				
・ 議員人件費		4,578 万円		
職員人件費				予算事業名：一般職人件費
当初予算額 18,311,000 円		最終予算額 18,299,000 円		決算額 17,863,395 円
(1) 主な支出				
・ 職員人件費		1,786 万円		

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
2			総務費	627,032,316		
	1		総務管理費	515,661,416		
		1	一般管理費	249,534,962	決算事項別明細書 P36～	
役場の共通経費(総務グループ)					予算事業名：一般行政管理費	
当初予算額 38,462,000 円 最終予算額 31,278,000 円					決算額 25,353,689 円	
役場庁舎内で使用する消耗品や図書の購入、例規集の印刷、コピー機の使用料、郵便や電話料などです。						
(1) 主な支出						
・ 例規集追録、システム使用料				249 万円		
・ 郵便、宅配、コピー、電話料				749 万円		
・ 臨時職員の賃金				400 万円		
・ 式典、懇談会、会食等の食糧費				635 万円		
・ 書籍購入、消耗品、その他の経費				502 万円		
(2) 活動指標						
● 例規集追録と法規等の追録回数						
・ 例規システムの更新・追録回数				3 回	(26本・16本・15本)	
● 郵便、メール便、コピー						
参考：平成21年度使用枚数						
		郵便	61,944 通	郵便	62,147 通	
		メール便・ゆうメール	6,607 通	メール便	6,076 通	
コピー枚数	白黒	1,272,888 枚	白黒コピー	1,243,668 枚		
	カラー	62,708 枚	カラーコピー	32,460 枚		
● 職員採用試験の実施						
・ 職員採用試験の実施						
・ 受験者数						
一般事務職の募集 49 人受験						
・ 採用者数						
一般事務職 4人採用（平成23年4月 1 日から採用のうち任期付職員の選考試験による採用1人）						
保育士 1人採用（平成23年4月1日から採用の選考試験による採用）						
(3) 成果指標						
● 郵便、メール便、宅配、コピー						
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
郵便	料金	456万円	400万円	480万円	492万円	518万円
メール便 ゆうメール	料金	33万円	41万円	51万円	51万円	46万円
宅配	料金	12万円	22万円	23万円	27万円	20万円
コピー	白黒	132万円	154万円	236万円	217万円	239万円
	カラー	131万円	166万円	149万円	55万円	105万円
合 計		764万円	783万円	939万円	842万円	928万円
※平成18年度よりコピー単価変更 白黒：4円→1.7円/1枚 カラー：40円→16円/1枚						
※郵便・宅配料金は、役場全体分として算出						
※平成17年度からメール便、平成22年度からゆうメール利用						
● 職員給与計算の委託、採用試験の実施						

・職員数の推移

年 度	採用	職員数 (4月1日現在)	退職
平成18年度	4 人	9 5 人	5 人
平成19年度	3 人	9 2 人	5 人
平成20年度	7 人	9 5 人	2 人
平成21年度	2 人	9 4 人	6 人
平成22年度	8 人	9 6 人	5 人

(※平成19年度採用数は、年度途中採用の1人を含む)

(※平成21年度採用数は、任期付職員の正規採用1人を含む)

・類似団体職員数の状況（平成22年4月1日現在）

類似団体区分（Ⅲ－0 類型）

人口10,000人以上15,000人未満、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次80%未満の団体（全国52団体）

団 体 名	普通会計 職 員 数	人口1万人 当たり職員数	人口1万人当 たりの職員が少な い団体の順位	*参考 住基人口 (H22.3.31)
長野県高森町	78 人	57.88 人	1 位	13,475 人
長野県松川町	88 人	62.70 人	2 位	14,036 人
長野県小布施町	83 人	72.39 人	5 位	11,465 人
長野県山ノ内町	151 人	105.05 人	25 位	14,374 人
愛媛県久万高原町	270 人	260.47 人	52 位	10,366 人
平 均	136.79 人	113.37 人	—	12,066 人

※類似団体：全国の地方公共団体を人口規模、産業構造の類似している団体ごとに分類したもの

**基金(貯金)利子の積立て(総務グループ)**

予算事業名：一般行政管理費

当初予算額 32,000 円 最終予算額 37,000 円 決算額 37,000 円

職員の退職特別措置と財政の健全な運営を図るため、基金に利子積み立てを行いました。

(1) 主な支出

- ・職員の退職特別措置積立基金利子積立金 4 万円

**文化の日の表彰(総務グループ)**

予算事業名：文化の日表彰事業費

当初予算額 288,000 円 最終予算額 306,000 円 決算額 305,442 円

産業や地方自治の振興、福祉の増進、消防水防の向上などに貢献された方を11月3日の文化の日に表彰しました。

(1) 主な支出

- ・記念品の贈呈 18 万円
- ・昼食会 11 万円

(2) 活動指標

- ・期日及び会場 11月3日 公民館講堂
- ・平成22年度受章者
  - 土屋 信雄 氏（産業の発展・地方自治功労）
  - 荒井 豊 氏（産業の発展）
  - 川上 富士男 氏（産業の発展）
  - 関谷 正樹 氏（消防水防功労）
  - （故）北村 登夫（教育振興・文化の向上）

(3) 活動指標の推移

・表彰者の累計（昭和56年度～平成22年度）

産業の発展	38 人
地方自治功労	31 人
教育振興	15 人
文化の向上	8 人、 4 団体
社会福祉増進	9 人
消防・水防功労	10 人
保健衛生向上	9 人
多年勤続	1 人
優れた善行	23 人

・感謝状の累計（昭和56年度～平成22年度） 48 人、 6 団体

**町長の交際費（総務グループ）**

予算事業名：町長交際費

当初予算額	1,300,000 円	最終予算額	1,831,000 円	決算額	1,830,386 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

町長に案内のあった各種会議やイベント等の会費や祝儀などを支出しました。

(1) 主な支出

・祝儀、香典、会費	90 万円
・御礼、土産等	93 万円

(2) 活動指標

・祝儀、会費、香典	205 件
・土産用菓子等	48 件

**庁内LANの運用など（行政改革グループ）**

予算事業名：情報政策推進事業費

当初予算額	29,193,000 円	最終予算額	29,193,000 円	決算額	26,760,418 円
-------	--------------	-------	--------------	-----	--------------

証明書、保険証の発行や予算管理等を処理するシステムとパソコンを結ぶ庁内LANや、全国の行政機関を結ぶL G W A N等の整備を行い、行政サービスの高度化、行政の簡素・効率化を進めました。また、情報セキュリティ対策や見やすく利用しやすいホームページの作成・更新に努めました。

(1) 主な支出

・プリンター等の消耗品費	92 万円
・コンピューター機器の修繕費	24 万円
・ネットワーク等の通信費	262 万円
・システム使用料・リース料	1,064 万円
・機器等保守管理委託料	320 万円
・データセンター利用料	365 万円
・パソコン・プリンターの購入費	190 万円
・地デジ対応機器の購入費	220 万円
・長野県電子自治体共同システム等の負担金	135 万円

(2) 活動指標

- ・庁内LAN用プリンターの更新（1台入替え）
- ・庁内LAN用プリンターの新規設置（幼稚園：5台）
- ・庁内LAN用プリンターの更新（9台入替え）
- ・公共施設の地デジ化（22カ所）

(3) 活動指標の推移

- ・ 市内LAN用パソコンの整備状況（年度当初）

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
104台	105台	106台	114台	134台

- ・ データーセンターの利用（機器の管理運用の外部委託）

平成14年度 LGWAN機器

平成20年度 インターネット・メール・ファイアーウォール等の機器

平成21年度 総合行政システム機器

- ・ 広域的な電子自治体の推進

平成15年3月 長野県電子自治体協議会の設立

平成21年3月 〃 協議会の解散

平成21年4月 長野県市町村電子自治体推進委員会及び電子自治体推進部門（自治振興組合内）の設立

平成22年6月 長野県市町村行政情報ネットワーク LGWAN-ASP移行

平成22年10月 公的個人認証サービス窓口機器共同調達の検討

#### ホームページのアクセス数

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
計測方法	トップページのヒット数			セッション数	
累計	863,000	1,034,734	1,207,618	1,343,625	1,472,021
年度計	685,063	171,734	172,884	136,007	128,396
アクセス数/月	57,089	14,311	14,407	11,334	10,700

#### メール配信サービス読者数

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
生活情報	242人	267人	296人	323人	368人
観光情報	305人	333人	364人	404人	448人

### 防犯活動の推進（総務グループ）

予算事業名：防犯活動費

当初予算額 711,000 円

最終予算額 711,000 円

決算額 666,318 円

### 防犯指導員会の運営

各種イベント時のパトロールや年末年始に防犯診断などを行い、町民の防犯意識の高揚を図りました。また、小布施町防犯協会が中心となり、関係団体による青色回転等を装備した車でパトロール（通称：青パト）を実施しました。

#### (1) 主な支出

- ・ 防犯指導員会交付金 14 万円
- ・ 防犯指導員活動保険料 1 万円

#### (2) 活動指標

- ・ ゴールデンウィーク巡回 5/3～5 指導員理事 12人
- ・ 登校児童の見守り（小学校） 6/7 指導員理事 4人
- ・ 春の町内防犯巡回 6/27 防犯指導員 72人
- ・ くりんこ祭り警戒 7/31 指導員理事 8人
- ・ お花市巡回 8/12 指導員理事 4人
- ・ お盆防犯巡回 8/14～16 指導員理事 12人
- ・ 登校生徒の見守り（中学校） 8/18 指導員理事 5人
- ・ 秋の町内防犯巡回 10/18 防犯指導員 72人
- ・ 登校児童の見守り（小学校） 11/8 指導員理事 4人

- ・年末防犯診断 12/28～30 28自治会実施 防犯指導員 72人
- ・安市警戒 1/14～15 指導員理事 12人

(3) 成果指標

【刑法犯の須高地区発生状況】

(単位：件)

年度	小布施町	須坂市	高山村	不明	須高地区計
平成20年度	71	471	43	1	586
平成21年度	86	429	30	0	545
平成22年度	55	357	20	1	433

防犯指導員のパトロール、啓発活動により犯罪発生を抑止力となり、刑法犯の発生を年々減少させることができました。

### 須高防犯女性部の運営

防犯協会女性部を立ち上げ、子ども・女性への安全対策等への啓発活動を実施しました。

(1) 主な支出

- ・女性部制服 2 万円

(2) 活動指標

- ・登校生徒の見守り（中学校） 8/18 部員 5人
- ・登校児童の見守り（小学校） 11/8 部員 5人
- ・防犯紙芝居等講演会（幼稚園） 3/4 部員 9人
- ・各種研修会（随時）

### 須高防犯協会の運営

須高地区の犯罪のない安全な地域づくりを目的に、須高3市町村と須坂警察署が連携を取り防犯活動を実施しました。

(1) 主な支出

- ・須高防犯協会連合会分担金 40 万円

(2) 活動指標

- ・平成22年度定期総会開催 5/27（須坂市古城荘）
- ・須高防犯チラシの隣組回覧 4回実施
- ・須高防犯協会表彰 表彰者（町関係） 小林 茂 氏（防犯功労者）  
小林好洋 氏（防犯功労者）  
佐藤登志子 氏（防犯功労者）

### 犯罪発生時の周知

町内で犯罪が発生した場合、すみやかに同報無線等を通じ町民の皆さんに周知し、注意を促しました。

(1) 主な支出

- ・なし

(2) 活動指標

- ・振り込め詐欺、不審者、悪質な訪問販売等に対し、随時放送を実施



# 行政改革の推進・職員の能力向上(行政改革グループ)

予算事業名：職員研修費

当初予算額 10,116,000 円

最終予算額 10,116,000 円

決算額 7,319,021 円

「すべては町民のために」を合言葉に、職員の「意識改革」と「行動変革」を進めました。組織の活性化、戦略的な「人財」の育成を図るため、人材育成基本方針のアクションプラン「小布施町人材育成実施計画」に基づき職員の能力向上に努めました。職員が「みずから気づき、考え、行動できる、自立（自律）した職員」となるために必要な研修機会を可能な限り提供しました。

## (1) 主な支出

・ 研修旅費	184 万円	・ 講師への謝礼	23 万円
・ 研修負担金	59 万円	・ 職員研修委託料	464 万円

## (2) 活動指標

### ● 内部集合研修

・ 新規採用職員、採用2～3年目	4/1～14	14 人
・ 町長ミーティング	4/6～20	73 人
・ ファシリテーション	4/19	34 人
・ 窓口接客とクレーム対応	10/28, 11/9, 10	87 人
・ 1～3年目職員	2/15	8 人

### ● 内部能力開発研修

・ 「聴く力」研修	通年	126 人
-----------	----	-------

### ● 自主研修

・ ハーバード交渉術	4/21	4 人
・ わもん塾舞浜	5/9	1 人
・ シュタイナー研究会②	5/15, 16	8 人
・ 企業能力開発研修視察	5/18	1 人
・ Twitter（ツイッター）	5/27	16 人
・ 広報基礎講座	6/3, 4	1 人
・ ブックブック仙台	6/19, 20	1 人
・ シュタイナー研究会③	7/3, 4	8 人
・ ファシリテーター実践	7/10, 11	2 人
・ 自治体デジタル広報	7/13	1 人
・ 長野移動保健師・栄養士学校	7/25, 8/28, 11/14, 12/23, 3/6	27 人
・ マインドマップ	7/27	2 人
・ コーチング	8/10, 11	1 人
・ シュタイナー研究会④	9/4, 5	5 人
・ 図書館実務	10/27～29	1 人
・ 東北広報サミット	10/28, 29	1 人
・ シュタイナー研究会⑥	12/5	6 人
・ 広報協会横浜セミナー	2/3, 4	3 人
・ つぶやきストア神戸出張所	2/24	1 人
・ 小布施掃除に学ぶ会	通年	- 人
・ 小布施セッション	通年	- 人

### ● 派遣研修

#### ① 長野県市町村職員研修センター

・ 新規採用職員(前期)	4/15, 16	8 人
・ プレゼンテーション	6/1, 2	2 人
・ 財務会計	6/8, 9	1 人
・ 税務初任者	6/14, 15	2 人
・ 公営企業経理事務	6/25	1 人
・ 中堅行政職員	6/29, 30	2 人

・ 法政執務	7/6, 7	4 人
・ 新地方公会計	7/27, 28	2 人
・ 電子自治体業務改善	7/27	1 人
・ 自治体クラウド	8/25	1 人
・ 新規採用職員（後期）	8/30, 9/1	8 人
・ 人事・給与管理事務	9/14	1 人
・ 住民税事務	11/12	2 人
・ 一般行政職員	9/27, 28	4 人
・ セキュリティ	10/26	1 人
・ 住民税事務	11/9	1 人
・ 部課長	11/16	7 人
・ コーチング	12/3	2 人
② 市町村アカデミー、国際文化アカデミー		
・ 副市町村長特別	7/6, 7	1 人
・ シニアマネージャー	10/6～8	1 人
③ 先進地視察研修		
・ 栗どっこ視察	7/29	2 人
・ 上勝町・馬路村ほか視察	8/2～4	1 人
④ その他		
・ 法政執務e-ラーニング	7/1～	2 人
・ デザインセミナー	8/2, 3	1 人
・ 速読セミナー	1/20	5 人
・ 公文書館実務担当者	1/25～27	1 人
・ 税務実務	通年	1 人
⑤ 町事業、部門主催		
・ アナウンス	6/8, 9	7 人
・ まちづくり大学	7/12, 8/9, 10/4, 12/6, 2/23	144 人

(3) 活動指標の推移

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
参加人数	110人	199人	233人	305人	654人
職員研修費	102万円	168万円	426万円	703万円	732万円

※2. 1. 1職員研修費での支出分のみ対象、各部門の事業費で支出する専門研修、視察は除く

**職員の健康管理と福利厚生(総務グループ)**

予算事業名：職員福利厚生費

当初予算額 3,463,000 円 最終予算額 3,463,000 円 決算額 3,284,767 円

職員の健康管理のため、健康診断や人間ドックの実施、福利厚生のため職員互助会へ助成しました。

(1) 主な支出

・ 職員の健康診断の委託	144 万円
・ 人間ドック検診の委託	88 万円
・ 職員団体生命保険料	36 万円
・ 職員への福利厚生への交付金	20 万円

(2) 活動指標

・ 受診者数	
健康診断	144 人

※平成20年度よりヘモグロビンエーワンシーを追加

人間ドック 62 人

(3) 活動指標の推移

- ・ 受診者数の推移

(単位：人)

区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
健康診断		85	102	125	134	144
人間ドック	1泊	8	7	6	5	9
	日帰り	55	52	47	54	53

**行政文書の管理(総務グループ)**

予算事業名：行政文書データ整備事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 8,270,000 円 決算額 8,251,014 円

永年保存、保管期限の過ぎた文書整理とデータ化を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 臨時職員の社会保険料 65 万円
- ・ 臨時職員の賃金 555 万円
- ・ 保存用ファイル等事務用品 67 万円
- ・ 文書データ化用 P C、収納キャビネット他 138 万円

(2) 活動指標

- ・ 昭和初期の古文書を土蔵から旧図書館へ移動、整理し、件名登録を行いました。
- ・ 庁舎 1 階～3 階の書庫にある保存期限切れの文書を整理、処分しました。

**特別職人件費**

予算事業名：特別職人件費

当初予算額 30,109,000 円 最終予算額 30,283,000 円 決算額 30,275,811 円

(1) 主な支出

- ・ 特別職人件費 3,028 万円

**職員人件費**

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 150,570,000 円 最終予算額 152,323,000 円 決算額 145,451,096 円

(1) 主な支出

- ・ 職員人件費 1億4,545 万円

2	広報広聴費	10,990,941	決算事項別明細書 P37～
---	-------	------------	---------------

**町政懇談会の開催(行政改革グループ)**

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

町民の皆さんとの情報共有を進め、町政への参画・提案をいただき協働のまちづくりをともに進めるため、町政に関する懇談会をコミュニティ単位で開催しました。

(1) 主な支出

- ・ なし

(2) 活動指標

- 【懇談会テーマ】
- ・ 平成22年度重点事業進捗状況の報告
  - ・ 国道403号の整備
  - ・ 地域の課題、町政に関する疑問など

開催日	自治会・コミュニティ名	会 場	参加人数 (職員含む)
8月26日 (木)	第5コミュニティ (林・山王島)	林公会堂	42人
8月27日 (金)	東部コミュニティ (中条・松村・雁田)	東部コミュニティセンター	33人
8月30日 (月)	都住コミュニティ (六川・中子塚・矢島・清水)	六川公会堂	35人
9月5日 (日)	北部コミュニティ (北岡・押羽・羽場)	北部コミュニティセンター	26人
9月10日 (金)	第3コミュニティ (横町・福原・栗ガ丘)	福原公会堂	38人
9月16日 (木)	第4コミュニティ (大島・飯田)	飯田公会堂	34人
9月29日 (水)	上松川コミュニティ (松の実・水上・松川・クリトピア)	上松川コミュニティセンター	24人
10月1日 (金)	第2コミュニティ (中町・伊勢町・中央・中扇)	伊勢町公会堂	40人
10月13日 (水)	第1コミュニティ (東町・上町)	上町公会堂	25人
10月16日 (土)	千両	千両公会堂	34人
合計	10会場		331人

- ・ 町政懇談会での意見、要望、質問など のべ 123件(国道403号62件、その他61件)
- ・ 町報2010年11月号にご意見、ご提言の一部を紹介、回答 2ページ

### (3) 活動指標の推移

- ・ 町政懇談会参加者の推移

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
開催回数	13	10	9	9	10
参加人数	429	344	327	328	331
1会場平均参加数	33.0	34.4	36.3	36.4	33.1

### 私の意見箱(行政改革グループ)

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

町内各所(31カ所)に「私の意見箱」を設置し、町民の皆さんから町政やまちづくりなどについて広くご意見やご提言をいただき、町報等でお答えしました。また、それらのご意見を事業の見直し等に反映しました。

#### (1) 主な支出

なし

#### (2) 活動指標

- ・ 「私の意見箱」設置箇所 町内31カ所(各公会堂、保健センター前、高井鴻山記念館)
- ・ 投書数 14 通
- ・ 町報6月号、10月号に回答を掲載

#### (3) 活動指標の推移

- ・「私の意見箱」投書数（ただし平成21年度は、高井鴻山記念館内の意見は除く）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
投書数	46	55	87	17	14

「私の意見箱」は、町政に対して広く、また気軽に意見をいただけるよう設置しています。

投書いただいた感想・意見は、担当部門で検討するとともに、施策への反映を検討しました。高井鴻山記念館に設置している意見箱は、町を訪れての感想が多く教育委員会で管理しています。

#### カメラ・ビデオの撮影、写真・映像のデータ保存(行政改革グループ)

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 1,126,000 円 最終予算額 1,126,000 円 決算額 888,693 円

今の小布施町を後世に伝えるため、写真やビデオなどの撮影を行い、映像の記録等の保存に努めました。また、各種記念イベントをビデオリポーターの皆さんに撮影していただきました。

##### (1) 主な支出

- ・ 写真用紙、記録用媒体など購入 3 万円
- ・ 日本広報協会会費 2 万円
- ・ カメラ・ビデオリポーターの報酬 26 万円
- ・ 臨時職員賃金 57 万円

##### (2) 活動指標

###### 【リポーターの人数】

- ・ カメラリポーター 4 人
- ・ ビデオリポーター 3 人

###### 【撮影内容】

- ・ 御柱祭（4～5月）
- ・ 小布施見にマラソン（7月18日）
- ・ 町民運動会（10月10日）
- ・ 緑のかけ橋まつり（10月23・24日）
- ・ 安市など町内の各種イベント など

地域でのイベントや行事、町のイベントなどをアーカイブすることにより、町民の様々な活動を町内外に発信しています。カメラ・ビデオリポーターの皆さんにご協力いただき各地域の行事も撮影いただきました。記録したものを図書館に収め、利用者に見て楽しんでいただけるようにしています。

広報で撮影した写真や映像は、後世の貴重な資料として保存・活用していきます。

#### 「町報おぶせ」の発行(行政改革グループ)

予算事業名：町報発行事業費

当初予算額 8,575,000 円 最終予算額 8,575,000 円 決算額 8,404,177 円

住民と行政のパイプ役として、町からの情報提供だけでなく広報員やカメラ・ビデオリポーターの皆さんにも参加していただく「双方向の情報誌」として月1回発行しました。

##### (1) 主な支出

- ・ 町報の印刷 803 万円
- ・ 広報員の謝礼 11 万円
- ・ カメラレンズなどの備品購入 14 万円

##### (2) 活動指標

- ・ 毎月1回発行 4,100部／回
- ・ 町内全戸配布 3,637世帯（平成23年3月号）
- ・ 有償配布（個人・団体） 52 部
- ・ 無償配布（団体） 69 団体

- ・ 無償配布（個人・寄稿者） 22 部
- ・ 無償配布（施設・職員等） 332部

○22年度町報の主な内容

4月号	●特集：町民力に負けない職員力	10月号	名誉町民に市川健夫さん
5月号	まちづくり研究所	11月号	総合文化祭芸能祭
6月号	消防技術大会結果	12月号	●特集：30秒に思いを込めて
7月号	●特集：まちじゅうをキャンパスに	1月号	輝く2人（関和亮さん、高野寛基さん）
8月号	全国大会出場小布施の翼たち	2月号	●特集：私のスマイル生活
9月号	北斎生誕250年記念	3月号	●特集：心育てる本の力

(3) 活動指標の推移

- ・ 町報発行の推移

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
印刷費	720万円	718万円	706万円	702万円	803万円
総ページ数	274	272	272	266	278
月平均ページ数	22.8	22.7	22.7	22.1	23.2

お知らせ記事中心のインフォメーション広報から、情報を掘り下げ特集記事を通して住民と一緒に考えていくインテリジェンス広報にシフトし、「役に立つ広報紙」を目指します。

**同報無線(行政防災無線)の運用・整備(行政改革グループ)**

予算事業名：同報無線事業費

当初予算額 4,294,000 円 最終予算額 4,294,000 円 決算額 501,071 円

町民の皆さんに町のさまざまな情報をお知らせしたり、災害時に情報を伝達する手段として、同報無線の放送を行いました。また、屋外放送施設等の保守点検や故障等による戸別受信機の交換を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 保守点検の委託 年2回 41 万円

(2) 活動指標

- ・ 1日4回の定時放送（朝・昼・夜（2回））と2回のチャイムの実施
- ・ 夕焼け小焼けの音楽放送 7月26日～8月31日 : 18時  
9月1日～30日 : 17時30分  
10月1日～31日 : 17時  
11月1日～1月31日 : 16時30分  
2月1日～3月31日 : 17時
- ・ 小学下校時の見守りの放送（BGM いかのおすし） 平日
- ・ 戸別受信機の更新（転入世帯・故障世帯） 130台
- ・ 保守点検の実施（8・2月の2回）～同報無線親局装置一式、屋外子局一式（8カ所）  
※ 子局設置箇所 … 役場屋上、羽場、都住、雁田、吉島、中松、大島、北部の計8カ所  
8月点検（期間：平成22年8月3日） ※「こうほうおぶせ」直流電源装置バッテリー液補充  
2月点検（期間：平成23年2月8日） ※「こうほうおぶせ」直流電源装置バッテリー液補充

(3) 活動指標の推移

- ・ 戸別受信機の交換

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
交換自治会	上町・福原	中町・中央	転入・故障世帯	転入・故障世帯	転入・故障世帯
交換台数	200台	200台	100台	103台	130台
交換率	66.1%	70.8%	76.8%	78.0%	80.1%

戸別受信機の交換率（平成22年度末） 80.1 %  
 （交換未実施自治会 東町・伊勢町・中扇・横町・林）

**「ここに使います ことしの予算！」の発行（総務グループ）** 予算事業名：予算事業説明書作成事業費  
 当初予算額 1,357,000 円 最終予算額 1,357,000 円 決算額 1,197,000 円

その年の予算の使い道や事業などを、なるべく分かりやすくまとめた「ここに使います ことしの予算！」を発行し、全戸にお配りしました。

- (1) 主な支出
- ・「ここに使います ことしの予算！」の印刷製本 120 万円
- (2) 活動指標
- ・「ここに使います ことしの予算！」印刷部数 3,800 部（全戸配布）

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
印刷費	145万円	136万円	120万円	120万円	120万円
作成部数	3,800部	3,800部	3,800部	3,800部	3,800部

※ 予算事業説明書の作成は、平成17年度から行っています。

小布施のまちづくりに興味を持っていただくための一つの方法として、より見やすく、分かりやすい冊子となるよう努めていきます。

**3 財政管理費** 3,778,163 決算事項別明細書 P37～

**財務会計システムの運用など（総務グループ）** 予算事業名：財政管理費  
 当初予算額 3,788,000 円 最終予算額 3,788,000 円 決算額 3,778,163 円

予算の作成、収入支出伝票の処理などを行う財務会計システムの運用を行いました。この財務会計システムは、収入や支出の情報を一元的に管理することにより各種財政資料の作成にも活用しています。

- (1) 主な支出
- ・ 財務会計システムの保守委託 158 万円
  - ・ 財務会計システムの使用料 154 万円
  - ・ 水道事業会計繰出金 41 万円
- (2) 活動指標
- ・ 財務会計システム システム名  
財務会計システム  
起債システム
  - ・ 機能等 予算編成、予算管理、決算統計、執行管理、決算管理、各科管理、データ活用等
  - ・ 財務会計システム保守 バージョンアップ、制度改正等による機能の変更等に対応

**4 会計管理費** 2,922,604 決算事項別明細書 P37～

**会計事務（税務グループ）** 予算事業名：会計管理費  
 当初予算額 3,197,000 円 最終予算額 3,197,000 円 決算額 2,922,604 円

町に入金されたお金や物品の管理と、町からのお金の支払い手続きを行いました。また、決算書を作成しました。

- (1) 主な支出
- ・ 役場全体で使うコピー用紙など 127 万円
  - ・ 口座振替などの手数料 123 万円
  - ・ 決算書などの印刷代 38 万円

	・その他の経費	4 万円	
(2) 活動指標			
【会計事務の概要】			
・現金、有価証券、担保物件の出納及び保管			
・収入及び支出、証拠書類の整理及び保管			
・給与の支払事務及び給与簿の保管			
・物品の出納及び保管			
・決算の調製			
5	財産管理費	208,535,024	決算事項別明細書 P38～
町有財産の維持管理(総務グループ)		予算事業名：町有財産管理費	
当初予算額 17,112,000 円		最終予算額 17,112,000 円	決算額 10,606,357 円
来庁者の駐車スペースの確保のため、役場西側駐車場等の土地の借り上げや、旧水上教員住宅の改修、町有林の間伐など、町有財産の管理を行いました。			
(1) 主な支出			
・土地借上料		420 万円	
・町有林管理委託料		377 万円	
・旧水上教員住宅改修及び解体工事		259 万円	
(2) 活動指標			
・役場西側駐車場の借り上げ		800 m <sup>2</sup>	
・旧丸林倉庫の敷地の借り上げ		5,330 m <sup>2</sup>	
・旧水上教員住宅 1棟改修 1棟解体			
・町有林の間伐		42,800 m <sup>2</sup>	
役場前駐車場、西側駐車場とあわせ95台の駐車可能台数を確保			
旧丸林倉庫 役場倉庫として活用			
旧水上教員住宅 交流者の宿泊施設として使用			
基金(貯金)利子の積立て(総務グループ)		予算事業名：町有財産管理費	
当初予算額 2,223,000 円		最終予算額 165,565,000 円	決算額 165,565,000 円
将来にわたり安定的な財政運営を行うため、前年度の余剰金を活用し財政調整基金の積立てを行いました。また、財政調整基金、減債基金等への利子の積立てや土地開発基金への利子繰出し、小布施ふるさと応援基金への積立てを行いました。			
(1) 主な支出			
・財政調整基金への積立て		1億6,247 万円	
・小布施ふるさと応援基金への積立て		194 万円	
・土地開発基金への繰出し		66 万円	
役場庁舎の維持管理(総務グループ)		予算事業名：庁舎管理費	
当初予算額 15,590,000 円		最終予算額 15,666,000 円	決算額 15,665,097 円
役場庁舎にかかる光熱水費や灯油代など省エネに努めながら適正な維持管理を行いました。			
(1) 主な支出			
・庁舎の光熱水費		626 万円	・灯油代 215 万円
・庁舎の修繕料		189 万円	・清掃業務委託料 170 万円
・エレベーター保守管理の委託		54 万円	・消防用設備保守点検委託料 45 万円
・トイレ洗浄器の借り上げ		25 万円	・電気保安業務委託料 38 万円



		・ケヤキ等手入れ委託料	13 万円	・清掃用具の使用料	14 万円
		・自動ドア保守管理委託料（庁舎分）	19 万円	・庁舎用消耗品費	103 万円
(2) 活動指標					
		・エレベーター保守管理	3施設	毎月実施	
		・消防用設備保守点検	31施設	年1回実施	
		・自動ドア保守点検	8施設	年4回実施	
		エレベーター点検	故障箇所なし		
		消防用設備点検	改善指摘等29施設		
		自動ドア保守点検	故障箇所なし		
<b>庁用車の維持管理(総務グループ)</b>					予算事業名：庁用車管理費
当初予算額		25,823,000 円	最終予算額	25,823,000 円	決算額 9,209,025 円
役場の仕事等で使用する庁用車の維持管理を行いました。					
(1) 主な支出					
		・ガソリン代	196 万円		
		・自動車損害保険料	139 万円		
		・車検、定期点検代	220 万円		
		・庁用車のリース料	142 万円		
		・高速道路利用料金	66 万円		
		・タイヤ等消耗品費	5 万円		
(2) 活動指標					
		・車検 20台	・12カ月点検18台		
		・6カ月点検9台	・3カ月点検 3台		
		保有台数			
		中型車両 1台	・普通車両 14台	・軽車両 14台	
		小型ポンプ付積載車 9台			
<b>庁舎空調設備改修工事など公共施設の改修(総務グループ)</b>					予算事業名：庁舎等整備事業費
当初予算額		0 円	最終予算額	32,800,000 円	決算額 7,489,545 円
庁舎や公民館講堂の空調設備改修工事など公共施設の改修を行いました。					
(1) 主な支出					
		・庁舎空調設備改修工事	415 万円		
		・公民館講堂空調設備改修工事	194 万円		
		・工事の設計監理の委託料	63 万円		
(2) 活動指標					
		・庁舎空調設備改修工事			
		・公民館講堂空調設備改修工事			

6	企画費	6,992,223	決算事項別明細書 P38～																			
<b>広域行政の推進（交流グループ）</b>			予算事業名：広域行政推進費																			
当初予算額	3,073,000 円	最終予算額	3,073,000 円	決算額	2,969,000 円																	
<p>近隣市町村と協力し広域的に取り組むべき諸施策の調査研究を長野広域連合で行うとともに、ガイドブックやホームページなどにより小布施町を含む9市町村の情報発信を行いました。</p> <p>地域活性化センター負担金については、本年度から県町村会が一括して支払うことになったため、支出はありません。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長野広域連合負担金 297 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <p>【長野広域連合】（総務管理費に係るもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長野広域連合広域計画の策定</li> <li>広域的課題の調査研究（広域的課題調査専門部会）</li> <li>「もっと味せます！長野」ガイドブック・ポスターの発行、ホームページの運営</li> <li>ワッショイ！善光寺表参道秋まつり「創作スイーツ 大集合！！」への参加・協力</li> <li>職員共同研修の実施（定住自立圏構想、地球にやさしいまちづくり、地域経済など）</li> </ul>																						
<b>国際交流（交流グループ）</b>			予算事業名：交流事業費																			
当初予算額	120,000 円	最終予算額	120,000 円	決算額	69,450 円																	
<p>国際交流クラブの皆さんによる「国際ボランティアワークキャンプ」は一時休止となりましたが、まちづくり委員会が中心となって取り組んだ小布施在住の外国籍の方々と町民の皆さんとの「異文化交流会」の開催をサポートしました。また、これまで各種ホームステイ等にご協力いただいた町内のご家庭のゆるやかなネットワークづくりを目指す「ホストファミリー懇談会」を開催しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホストファミリー懇談会食糧費 6 万円</li> <li>その他の経費 1 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームステイ等受入家庭数 (単位：軒)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">年 度</th><th colspan="3">国際ボランティアワークキャンプ</th><th>日米学生会議</th><th>音楽祭(京大生)</th></tr> <tr> <th>平成19年度</th><th>平成20年度</th><th>平成21年度</th><th>平成21年度</th><th>平成22年度</th></tr> <tr> <td>受入家庭数</td><td>5</td><td>6</td><td>5</td><td>32</td><td>37</td></tr> </table>						年 度	国際ボランティアワークキャンプ			日米学生会議	音楽祭(京大生)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成21年度	平成22年度	受入家庭数	5	6	5	32	37
年 度	国際ボランティアワークキャンプ			日米学生会議	音楽祭(京大生)																	
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成21年度	平成22年度																	
受入家庭数	5	6	5	32	37																	
<b>墨田区伝統工芸技人展の開催（交流グループ）</b>			予算事業名：交流事業費																			
当初予算額	474,000 円	最終予算額	474,000 円	決算額	400,354 円																	
<p>北斎生誕の地であり、小布施と交流の深い東京都墨田区の伝統工芸保存会の職人を迎え、すみだ伝統工芸技人展を開催しました。人・物の往来を密にすることで、教育・産業など多分野での交流・連携を深めました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会場設営、製作実演等謝礼 23 万円</li> <li>歓迎交流会 10 万円</li> <li>その他の経費 7 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催期日 5月1日（土）～5日（水）5日間</li> <li>開催場所 おぶせミュージアム・中島千波館 木造館</li> <li>主 催 墨田区伝統工芸保存会</li> </ul>																						

### 【作品展示】

押絵羽子板、鼈甲工芸、鍔金具、江戸表具、江戸木目込人形、市松人形、鍔かんざし、建築漆工など、20職種70点余の作品の展示

### 【製作実演】

前半は江戸木箸と鍔かんざし、後半はべっ甲工芸、江戸指物の実演を実施

### (3) 活動指標の推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
開催日数	7日	6日	5日	5日
職人滞在	延42人	延44人	延39人	延43人
来場者数	2,041人	2,443人	2,852人	2,032人

4年目を迎えた技人展は、昨年に比べ来場者は減少したものの、リピーターも多く町民と職人の皆さんとの交流も定着してきました。

栗ガ丘小学校6年生が修学旅行で墨田区伝統工芸保存会の体験学習に伺ったり、墨田区民の皆さんが小布施に農村交流にやってくるほか、民・官を通じた物産交流も増え、東京スカイツリーの完成やすみだ北斎美術館の開設に向けて、日常的な交流の機運が高まっています。

### 他地域との連携強化（交流グループ）

予算事業名：交流事業費

当初予算額	944,000 円	最終予算額	944,000 円	決算額	657,323 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

東京墨田区などこれまで交流のある市町村のほか、新たな地域とも人・物・情報の交流を通じて信頼関係を築き、まちづくりの一層の活性化を目指しました。

#### (1) 主な支出

- |               |       |
|---------------|-------|
| ・物産展等交流事業旅費   | 41 万円 |
| ・地域連携懇談会講師等謝礼 | 13 万円 |
| ・その他の経費       | 12 万円 |

#### (2) 活動指標

##### ① すみだの手しごと作品展出展

- ・期 日 11月6日(土)～7日(日)
- ・場 所 すみだパークスタジオ（東京都墨田区）
- ・内 容 果樹・加工品等の販売、小布施の情報発信、現地住民との交流

##### ② 大江戸すみだ職人展「技市・楽za」出展

- ・期 日 11月29日(月)～30日(火)
- ・場 所 すみだリバーサイドホール（東京都墨田区）
- ・内 容 果樹・加工品等の販売、小布施の情報発信、現地住民との交流

##### ③ わらしべ市・おもてなし市出展

- ・期 日 12月10日(金)～11日(土)
- ・場 所 宮原まちづくり情報銀行（熊本県氷川町）、都農町役場（宮崎県都農町）ほか
- ・内 容 果樹・加工品等の販売、小布施の情報発信、現地住民との交流

##### ④ 須高三市町村地域連携懇談会

- ・日 時 3月27日(日) 14:00～17:00
- ・場 所 小布施町役場
- ・内 容 須高三市町村長、副市町村長及び担当部(課)長が集まり、地域が連携して取り組むべき課題と方法論について、講師が紹介する事例に基づき意見交換

墨田区での出展に関しては伝統工芸保存会とのご縁から小布施と墨田区のつながりを紹介する機会として、九州での出展に関してはこれまで培ってきた物産交流を一層充実させるために町民の方々とともに出展し、更なる人・物・情報の交流につながりました。

#### まちじゅうをキャンパスに(交流グループ)

予算事業名：交流事業費

当初予算額	1,000,000 円	最終予算額	1,500,000 円	決算額	1,448,466 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

これまでも一緒にまちづくりを進めてきた東京理科大学や信州大学に加え、法政大学など全国の大学や研究機関との連携を強化しました。

また、大学生などが小布施町全体をフィールドとして研究活動を進めるインターンシップやゼミ合宿、フィールドワーク等の受入れを積極的に行いました。

##### (1) 主な支出

- ・ 地域づくりインターン活動交付金 129 万円
- ・ その他の経費 16 万円

##### (2) 活動指標

###### ① 2010小布施地域づくりインターン

- ・ 期 日 7月31日(金)～8月13日(金)
- ・ 場 所 北斎ホールを拠点に町内全域で活動
- ・ 参加者 慶應大、東洋大、法政大など全国11の大学・高等専門学校から26人の学生が参加
- ・ 内 容 小中学生との交流、まちづくり活動への参加、農業体験などを通じて情報を収集し、「子どもたちのまちづくり参画」、「官・学・民の連携」などのテーマで提言をまとめ報告会で発表

###### ② まちづくリスト養成インターン

- ・ 期 日 8月30日(月)～9月3日(金)
- ・ 場 所 小布施町役場を拠点に町内全域で活動
- ・ 参加者 法政大を中心に札幌学院大、高知工科大、沖縄大の計4大学から8人の学生が参加
- ・ 内 容 民・官の小布施のまちづくりリーダー等のインタビュー、町内各所のフィールドワークなどから情報を収集し、「国道403号線のあり方」、「官・学・民の連携」などのテーマで提言をまとめ報告会で発表

各種インターンやゼミ合宿、フィールドワーク等の受入れにより、専門的なスキルや情報がもたらされることはもちろん、学生や教官との関係性が築かれ、大学等が継続的に小布施のまちづくりに関わることにつながっています。

#### 各種交流事業のサポート(交流グループ)

予算事業名：交流事業費

当初予算額	0 円	最終予算額	0 円	決算額	0 円
-------	-----	-------	-----	-----	-----

町民の皆さんが中心となって、内外の関係者と協力しながら企画運営する各種の交流事業をサポートしました。

##### (1) 主な支出

- ・ なし

##### (2) 活動指標

###### ① 境内アート小布施×苗市2010

- ・ 期 日 4月17日(土)～18日(日)
- ・ 場 所 玄照寺
- ・ 内 容 全国のアート・クラフト作家120ブースのほか、骨董、飲食などあわせて150ブースが出展、まちとしょテラソの一箱古本市も同時開催
- ・ 主 催 境内アート小布施×苗市実行委員会(町後援)

② 第8回北信濃小布施映画祭&60秒シネマコンペティション

- ・期 日 11月27日(土)～28日(日)
- ・場 所 北斎ホール
- ・内 容 選りすぐりの映画7本の上映と、若手クリエイターの発掘を目指す60秒シネマコンペティションの開催
- ・主 催 北信濃小布施映画祭実行委員会(町後援)

平成21年に、秋に行われていたアート&クラフトフェアと統合し充実を図った境内アートは、全国から120ブースもの作家が集う大きな催しに成長しました。作家はリピーターも多く、町民の皆さんとの交流も深まっています。

北信濃映画祭も8回目を迎え、映画館のない北信濃で映像文化に触れる機会として定着しました。60秒シネマコンペティションも年々質が上がっており、映像クリエイターの登竜門として注目されています。

**基金(貯金)利子の積立て(交流グループ)**

予算事業名：交流事業費

当初予算額	15,000 円	最終予算額	17,000 円	決算額	17,000 円
-------	----------	-------	----------	-----	----------

教育、文化、産業および社会福祉制度等の国外研修を行う人に対して資金の貸し付けを行う国外研修資金貸付基金に利子の繰り出しを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 国外研修資金貸付基金への利子繰出金 2 万円

**イベントガイドブックの作成(行政改革グループ)**

予算事業名：イベントPR費

当初予算額	1,575,000 円	最終予算額	1,575,000 円	決算額	1,018,235 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

イベントや町営・民間美術館等の企画展の情報等を掲載したイベントガイドを作成し、町内の全世帯とホテル・旅館・駅等の観光客の出入りする施設や、報道機関等に配りました。

(1) 主な支出

- ・ イベントガイドの印刷費 101 万円

(2) 活動指標

- ・ 夏の小布施案内2010 40,000部
- ・ 秋の小布施案内2010 45,000部
- ・ 冬の小布施案内2009-2010 16,000部
- ・ 春の小布施案内2010 50,000部
- ・ 配布箇所

町内世帯、町営・民間美術館等、高山温泉郷、山ノ内旅館・ホテル、長野市内等ホテル、観光情報センター・観光協会等、旅行者、報道関係 など

**小布施まちづくり委員会の運営(交流グループ)**

予算事業名：まちづくり委員会運営費

当初予算額	1,300,000 円	最終予算額	800,000 円	決算額	130,084 円
-------	-------------	-------	-----------	-----	-----------

より多くの声の集約と、町民の知識や力をまちづくりに活かしていくため、様々な立場の人が情報を共有し、自由に意見を交わしながらまちづくりを考える場として平成20年に発足したまちづくり委員会は、小さなことでも具体的にすぐできることから、その実現に向けて取り組みました。

(1) 主な支出

- ・ 活動交付金 11 万円
- ・ 視察同行職員旅費 2 万円

(2) 活動指標

- |       |     |         |    |         |    |
|-------|-----|---------|----|---------|----|
| ・ 委員数 | 67人 | ・ 全体会   | 3回 | ・ 運営委員会 | 3回 |
| ・ 部会  | 46回 | ・ 広報紙発行 | 2回 | ・ 提言書提出 | 1回 |

	期 日	場 所	内 容
全体会	平成22年5月8日(土) ほか2回	公民館講堂	役員改選、2期目の展望、各部会の進捗状況の報告、提言案の検討、第五次町総合計画の検討など
運営委員会	平成22年6月22日(火) ほか2回	第1会議室 ほか	各部会の進捗状況の報告、提言案の検討、全体会の進め方、広報紙の発行、震災対応の検討など
安全を考える部会	平成22年6月9日(水) ほか6回	第1学習室 ほか	安全に関する取り組みの検討、青パト巡回の実施 など
環境を考える部会	平成22年6月10日(木) ほか9回	議会会議室 ほか	生ごみ100%資源化の検討、木枠パレット現状調査、富山県入善町視察、環境講演会の開催など
福祉を考える部会	平成22年9月30日(木) ほか4回	健康福祉センター ほか	福祉に関する取り組みの検討 など
交流を考える部会	平成22年6月7日(月) ほか8回	まちとしょテラソ ほか	異文化交流会の開催、まちづくり映画上映に向けた準備 など
千曲川ハイウェイミュージアムの有効活用を考える部会	平成22年6月18日(金) ほか11回	第2学習室 ほか	千曲川ハイウェイミュージアムの有効活用に向けた提案の募集と選定に関する提言、要件定義書・活用案の検討 など
その他の活動			文化体育館建設検討委員会への出席、地域づくりインターン報告会への参加、緑のかけ橋まつりへの出展、入善ラーメン祭りへの出展 など

まちづくり委員会は2期目(3年目)を迎え、1期目の反省点を踏まえ運営方法を工夫しました。全体会を様々な人が自由に集う交流の場と位置づけ楽しい活動に心がけるとともに、町内外のいろいろな団体やグループの皆さんとの交流・連携にも力を入れました。  
また、少数でもやる気のある人が牽引役となり、5つの部会を中心に活動を進めています。

#### 食育推進計画の推進、食育イベントの開催(交流グループ)

予算事業名：食育推進費

当初予算額 1,301,000 円 最終予算額 1,301,000 円 決算額 11,514 円

食育推進計画に基づき、各部門で行う食育関連事業の連携を図りました。  
当初予定していた食育イベント(農学×能楽体験イベント)は、国の地域伝統文化総合活性化事業の採択により、9.5.12 生涯学習推進費に補正予算を計上し事業を行いました。

##### (1) 主な支出

・食育関連事業消耗品など 1 万円

#### 第五次総合計画の策定(行政改革グループ)

予算事業名：第五次総合計画策定費

当初予算額 2,382,000 円 最終予算額 2,382,000 円 決算額 270,797 円

平成23年度から10年間のまちづくりの羅針盤「第五次小布施町総合計画」を、町民のみなさんのご意見をいただき策定しました。

##### (1) 主な支出

・基本構想審議会委員報酬 24 万円  
(平成23年度へ繰越し 135 万円)

##### (2) 活動指標

- 平成22年9月17日～10月1日 町民1,000人アンケート調査
- 平成23年1月26日 まちづくり委員会全体会で計画素案への意見
- 平成23年2月16日 基本構想審議会(第1回)役員構成、諮問、概要説明
- 平成23年2月22日 基本構想審議会(第2回)項目別審議
- 平成23年3月1日 基本構想審議会(第2回)項目別審議
- 平成23年3月4日 町長へ答申
- 平成23年3月23日 小布施町基本構想 議会で可決
- 計画の概要

将来像「暮らしにあふれる笑顔 いいひと いいまち わくわく小布施」  
～自律と協働、そして交流～

平成32年の目標人口 12,000人

3つの戦略「4つの協働」「交流産業」「景観のグラデーション」

計画の大綱「安心」「健康」「成長」「学び」「産業」「安心」

7	地域づくり事業費	17,341,748	決算事項別明細書	P38～
---	----------	------------	----------	------

自治会運営活動の支援(総務グループ)			予算事業名：自治会活動費	
--------------------	--	--	--------------	--

当初予算額	7,037,000 円	最終予算額	7,037,000 円	決算額	6,886,381 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

自治会や自治会連合会、環境美化委員会連合会の活動をサポートするとともに、町報や各種通知の配布事務に対する委託料を支払いました。

(1) 主な支出

- ・自治会事務委託料 388 万円
- ・自治会連合会、衛生組合連合会交付金 178 万円
- ・自治会活動保険掛金 87 万円  
(死亡保険金を300万円→1,000万円に増額し、掛金の増額分を町が負担)
- ・その他の経費 36 万円

(2) 活動指標

- ・自治会長会議の開催(4月14日、6月10日、2月9日)
- ・研修視察の実施(自治会連合会事業)平成22年5月13日～15日/自治会長15人、職員3人  
研修視察地：九州方面(熊本県人吉市・山江村、大分県湯布市、J R九州)  
研修目的：農家レストラン(グリーンツーリズム、ヘルスツーリズム、フラワー  
ツーリズムの推進)、まちづくり活動及びC S R
- ・議会傍聴(6月10日) 24人
- ・自治会消防施設点検(連合会事業) 22か所(自治会独自での実施分を除く)

コミュニティ地区活動の支援(総務グループ)			予算事業名：コミュニティ推進事業費	
-----------------------	--	--	-------------------	--

当初予算額	8,987,000 円	最終予算額	9,987,000 円	決算額	9,069,367 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

行政の効率的な運営と自治会事務などの合理化を図りながら、自治会の枠を超えた地域の支えあいの場となるよう、各コミュニティ地区が行うさまざまな活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・地域づくり活動事業補助金(8事業、5地区) 19 万円
- ・コミュニティ地区職員設置交付金(7地区) 420 万円
- ・一般コミュニティ助成事業(宝くじ助成) 250 万円
- ・不法投棄物撤去委託料 146 万円
- ・その他の経費 72 万円

(2) 活動指標

【地域づくり活動事業】

- ・マレットゴルフ大会ほか(第3コミュニティ地区)
- ・千曲川ふれあい公園花祭りほか(第5コミュニティ地区)
- ・納涼盆踊り大会ほか(北部コミュニティ地区)
- ・マレットゴルフ大会ほか(東部コミュニティ地区)
- ・マレットゴルフ大会(上松川コミュニティ地区)

【コミュニティ地区職員】

- ・町報などの配達、推進協議会の事務、地区内団体経費等の徴収、通知等の作成・印刷など

【一般コミュニティ助成事業】

- ・伊勢町自治会イベント用品の購入

**まちづくり活動の補助(総務グループ)**

予算事業名：まちづくり活動推進事業費

当初予算額 3,000,000 円

最終予算額 3,000,000 円

決算額 1,386,000 円

「自分のまちは自らの手でつくる」という意欲をもったグループの皆さんが、独自のテーマで取り組むまちづくり活動の支援を行いました。

## (1) 主な支出

- ・ まちづくり活動補助金 139 万円

## (2) 活動指標

- ・ 中子塚自治会 門燈籠建立事業 39 万円  
(10/23・24開催の信州おぶせ緑のかけ橋祭りで大日通りへ建立)
- ・ 小布施町万燈神輿鳳凰会 小布施町のにぎわい創出「万燈神輿」事業 93 万円  
(10/24開催の信州おぶせ緑のかけ橋祭りで大日通りにて実施)
- ・ 境内アート小布施実行委員会 境内アート小布施会場設備等整備事業 7 万円  
(4/17・18玄照寺「苗市」にて開催)

## (3) 活動指標の推移

まちづくり活動事業補助金の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
事業数	1件	2件	1件	1件	3件
補助金額	30万円	119万円	46万円	10万円	139万円

**8 消費生活対策費**

691,800

決算事項別明細書 P39～

**消費者の会の活動支援(生活環境グループ)**

予算事業名：消費生活対策費

当初予算額 718,000 円

最終予算額 718,000 円

決算額 691,800 円

消費生活に対する意識を高めるため、悪徳商法の被害に遭わないための情報提供や相談活動を実施しました。

## (1) 主な支出

- ・ 消費者の会活動交付金 7 万円
- ・ 「みんなで防ごう悪質商法」冊子印刷（全戸配布） 62万円

## (2) 活動指標

- ・ 消費者の会総会 5月19日 公民館
- ・ 視察研修 1月20日 研修視察（焼却灰のリサイクル）
- ・ 消費生活展の開催 10月17日
- ・ くらしのセミナー参加 5 回

## (3) 活動指標の推移

・ 消費生活相談件数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
相談件数	34件	15件	37件	8件	5件



9	防災対策費	11,645,853	決算事項別明細書	P39～
防災機能の強化と危機管理体制の整備(総務グループ)			予算事業名：防災対策費	
当初予算額	3,153,000 円	最終予算額	3,153,000 円	決算額 3,052,353 円

大規模地震の発生など緊急時において被災者の生活を確保するため、災害時行動マニュアルの作成に着手するほか、防災機能公共施設へ災害対策用備品の備蓄を行いました。また、防災行政無線の維持管理、県消防防災ヘリコプター「アルプス」の運営にかかる経費負担、自主防災会への活動交付金の交付などを行いました。

#### 災害時行動マニュアルの作成

地震等大規模災害に備え、災害時行動マニュアルの作成を全自治会で進め、平成22年度に松村、中条、雁田、松の実各自治会で完成し、平成23年度中に全ての自治会での完成を進めていきます。

#### 災害時用食糧等の備蓄及び防災対策

##### (1) 主な支出

・カロリーメイト（1,020食分）	12 万円
・アルミマット（50枚）	7 万円
・飲料水（500ml 216本）	3 万円
・毛布（50枚）	14 万円
・投光機（2基）	85 万円
・消火器の更新及び詰替え	59 万円
・風向風速雨量計保守検定料	57 万円

##### (2) 活動指標

- ・カロリーメイト、飲料水、毛布、中学校を中学校体育館に、投光機を役場倉庫へ保管

##### (3) 成果指標

- ・災害時食糧等備蓄数（平成22年度末現在）

	カロリーメイト	毛布	飲料水	アルミマット	投光機
保管場所	役場・中学校	小学校・中学校・消防本部詰所・健康福祉センター	役場・中学校	中学校	役場
備蓄数	1,630食	269枚	648本	200枚	2基

#### 防災行政無線設備の保守

##### (1) 主な支出

・県防災無線負担金	2 万円
・防災行政無線設備保守の委託	16 万円

##### (2) 活動指標

- ・災害時における情報連絡体制の確保

#### 自主防災組織の充実

##### (1) 主な支出

・自主防災組織交付金	19 万円
------------	-------

##### (2) 活動指標

- ・災害時の資材備蓄のため各自治会に交付金を支出  
(均等割 1自治会1,500円 世帯割 1世帯40円)
- ・町総合防災訓練に参加し、公会堂、訓練会場への避難誘導訓練、対策本部との災害情報伝達訓練などを実施
- ・自主防災会ヘルメット、腕章等備の整備

## 県防災ヘリコプターの運営補助

### (1) 主な支出

- ・県消防防災航空隊負担金 23 万円

### (2) 活動指標

- ・消防体制の強化・航空機による広域応援体制整備を目的に平成9年度に運行開始
- ・防災ヘリコプター運航協議会会則に定められた運営委員会（会長＝協議会長で県危機管理局長、委員＝市町村の消防防災担当課長等）が事業計画・予算などを定める
- ・活動内容（平成22年度）  
救急活動（負傷者等の搬送） 36件 救助活動 72件 火災防ぎょ活動 37件  
災害応急活動 1件 広域航空消防防災応援活動（応援協定による） 7件  
災害予防活動（訓練参加等）25件 自隊訓練 71件

## 住宅の「耐震化」の推進(総務グループ)

予算事業名：住宅・建築物耐震改修等事業費

当初予算額 8,230,000 円 最終予算額 8,230,000 円 決算額 1,747,500 円

町では、建築基準法改正（昭和56年5月31日）以前に着工した、倒壊の恐れのある一般住宅（木造）を対象に、簡易耐震診断、精密耐震診断、耐震改修の補助を行いました。

### (1) 主な支出

- ・耐震診断委託料 55 万円
- ・耐震補強工事補助金 120 万円

### (2) 活動指標

- ・精密耐震診断 5件実施
- ・耐震補強工事 2件実施

## 全国瞬時警報システム(J-ALERT)の整備(繰越分)(総務グループ)

予算事業名：防災対策費

当初予算額 0 円 繰越予算額 6,930,000 円 決算額 6,846,000 円

津波や地震、武力攻撃など対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、通信衛星を用いた国（消防庁）からの緊急情報を受信し、防災行政無線により住民等に伝達する全国瞬時警報システム（J-ALERT）を整備しました。

### (1) 主な支出

- ・全国瞬時警報システム（J-ALERT） 685 万円

### (2) 活動指標

- ・全国瞬時警報システム（J-ALERT）設置工事

10 男女共同参画社会づくり費

469,744

決算事項別明細書 P39～

## 男女共同参画社会づくり(交流グループ)

予算事業名：男女参画社会づくり費

当初予算額 486,000 円 最終予算額 486,000 円 決算額 469,744 円

男女が性別にとらわれることなく、互いに人権を尊重し、一人ひとりが自分らしく生きることができる社会の実現を目指し、意識の啓発を行いました。

### (1) 主な支出

- ・男女共同参画社会推進委員の報酬（7人） 10 万円
- ・ワークライフバランス講演会講師等謝礼 35 万円
- ・その他の経費 2 万円

### (2) 活動指標

- ・男女共同社会推進委員会の開催 9回
- ・男女共同参画地域フォーラムin立科への参加 9月 4日(土) 委員、職員参加



		・その他の経費	4 万円	
		(2) 活動指標		
		・固定資産評価審査委員会		
		委員数：3名		
		委員会の開催状況：平成22年8月9日開催（審査申出件数：0件）		
		・図書購入費（実務提要追録、税務六法、税情報誌等）		
		・県や長野税務署管内の研修会等への負担金		
		(3) 成果指標		
		・固定資産評価審査委員会の審議案件：過去に審査申出なし		
		<b>職員人件費</b>		予算事業名：一般職人件費
		当初予算額 38,277,000 円	最終予算額 36,692,000 円	決算額 35,917,409 円
		(1) 主な支出		
		・職員人件費	3,591 万円	
	2	賦課徴収費	29,338,728	決算事項別明細書 P40～
		<b>町税の課税と納税(税務グループ)</b>		予算事業名：賦課徴収費
		当初予算額 35,789,000 円	最終予算額 35,750,000 円	決算額 29,338,728 円
		町民税や固定資産税など町税の課税と徴収を行い、自主財源の確保を図りました。		
		(1) 主な支出		
		・町税の電算処理や土地の鑑定評価業務などの委託料	2,187 万円	
		・前年度以前に納付した町税の還付金	161 万円	
		・電算システムや地理情報システムなどの使用料	481 万円	
		・申告書などの印刷、消耗品等	104 万円	
		(2) 活動指標		
		・リームス.NETシステム、申告相談システム、家屋評価システム、固定資産管理システム		
		・システム使用端末 税務グループ及び確定申告用端末		
		・機能等 町民税・固定資産税・軽自動車税・口座振替業務等の管理		
		・システムの保守 バージョンアップ、法改正等による機能の変更に対応		
	3	戸籍住民基本台帳費	28,886,254	
	1	戸籍住民基本台帳費	28,886,254	決算事項別明細書 P40～
		<b>戸籍・住民票に関する事務(生活環境グループ)</b>		予算事業名：戸籍事務費・住民基本台帳事務費
		当初予算額 10,885,000 円	最終予算額 10,885,000 円	決算額 10,443,436 円
		戸籍関係の証明書の発行や届出の受付を行いました。住民票の発行や転入・転出の届出、外国人登録などを円滑に行い、住民サービスの向上に努めました。		
		<b>戸籍に関する事務</b>		
		(1) 主な支出		
		・戸籍システム保守委託料	156 万円	・戸籍ハードウェア等リース料 426 万円
		・戸籍システム使用料	176 万円	
		(2) 活動指標		
		① 本籍数と本籍人口（平成23年3月31日現在）		
		・本 籍 数	5,362 戸籍（前年比 12 戸籍増）	
		・本籍人口	14,063 人（前年比 57 人減）	

② 戸籍事務の処理件数

種 別	本 籍 人 届 出 数	非本籍人 届 出 数	他市町村 から送付	計	種 別	件 数
出 生	59	25	67	151	新戸籍編成	93
死 亡	125	19	18	162	戸籍全部削除	81
婚 姻	41	4	110	155		
離 婚	16	0	10	26		
転 籍	30	0	25	55		
そ の 他	30	1	36	67		
計	301	49	266	616		

③ 戸籍謄抄本及び証明書の交付状況

・ 有 料	4,204 件	224万円	戸籍全部事項証明書	1,559 件 (@450)
			戸籍個人事項証明書	640 件 (@450)
			除籍謄本	1,438 件 (@750)
			その他証明書	57 件 (@350)
・ 無 料	616 件			510 件 (@300)

④ 犯罪人名簿作成件数 21 件

⑤ 人口動態調査 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

種 別	出 生	死 亡	婚 姻	離 婚	死 産	計
件 数	85	144	45	16	0	290

⑥ 相続法第58条報告件数 134 件

⑦ 埋火葬許可件数 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

種 別	死体埋葬	死体火葬	死胎埋葬	死胎火葬	胞衣焼却	計
件 数	0	146	0	0	1	147

住民票に関する事務

(1) 主な支出

・ 住民情報記録ソフトウェア使用料 173 万円

(2) 活動指標

① 住民基本台帳世帯数及び人口 (平成23年3月31日現在)

・ 世 帯 数 3,632 世帯 (前年比 28 世帯増)  
 ・ 人 口 11,437 人 (前年比 13 人減) 男 5,528 人、女 5,909 人

② 住民基本台帳関係届出処理件数 (人数)

種 別	出生	死亡	転入	転出	転居	世帯主 変 更	職権 修正	職権 消除	附票 記載	附票 消除	計
件 数	81	135	363	320	135	227	37	0	438	483	2,219

③ 住民票 (広域交付住民票含む) の写し及び証明書の交付状況等

・ 住民基本台帳閲覧 1万円 32 件 (@300円)

- ・交付件数 有 料 131万円 4,223 件 (@300円)
- 無 料 120 件
- ・転出証明数 無 料 236 件

④ 印鑑登録証明書等交付状況

- ・交付件数 有 料 122万円 4,064 件 (@300円)
- 無 料 20 件
- ・登録件数 有 料 10万円 345 件 (@300円)

⑤ 印鑑登録状況

- ・平成22年度中新規登録者（再登録含む） 345 人
- ・印鑑登録者総数（平成23年3月31日現在） 7,379 人

外国人登録に関する事務

(1) 主な支出

- ・外国人登録事務協議会負担金 0.3 万円
- ・外国人登録システム使用料 50 万円

(2) 活動指標

① 外国人登録状況（平成23年3月31日現在）（単位：人）

国 別	ネパール	中 国	米 国	タ イ	英 国	朝 鮮	フィリピン	ベトナム	ドイ ツ	インドネシア	計
男	0	1	7	4	0	0	0	6	0	4	22
女	1	11	2	12	1	3	2	0	1	0	33
計	1	12	9	16	1	3	2	6	1	4	55

② 外国人登録事務取扱件数（平成22年1月～平成22年12月）（単位：人）

種 別	新規登録	引替交付	再交付	確認(切替交付)	居住地変更登録	原票送付請求	原票送付	居住地以外の変更登録	閉鎖	家族事項登録	計
件 数	11	1	0	6	4	4	6	62	9	3	106

住基ネットに関する事務(生活環境グループ)

予算事業名：住民基本台帳ネットワーク費

当初予算額 3,331,000 円 最終予算額 3,331,000 円 決算額 3,137,265 円

住民基本台帳カード（住基カード）の発行と住基ネットシステムの保守管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・住基ネットシステム保守委託料 144 万円
- ・住基ネットシステムハードウェアリース料 99 万円
- ・住民記録県報告委託料 25 万円
- ・字ファイル更新委託料 25 万円
- ・公的個人認証サービス修理料 11 万円

(2) 活動指標

- ・住基カード発行件数 33 件（平成23年3月まで新規発行は無料）
- ・広域交付住民票発行件数 1 件 (@300円)
- ・電子証明書発行件数 36 件 (@500円)

(3) 活動指標の推移

・住基台帳等発行数の推移

種 別	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
住基カード	16	42	55	33	33
広域交付住民票	1	6	0	2	1
電子証明書	13	37	30	16	36

住基カードは運転免許証がない高齢者世代の方に身分証明書として最適です。（有効期間は10年間）

銀行などの各種機関で身分証明書としても役立ちます。（写真付住基カードのみ）

公的個人認証サービスを利用するための「電子証明書」の手続をすると、税金に関する申請・届出・申告をはじめ、新車購入時の新規登録手続がインターネットで行えます。（別途、ICカードリーダーが必要になります。）

このため、平成20年9月議会で手数料条例の改正を行い、平成23年3月まで交付手数料を無料とすることとしました。

**職員人件費**

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 12,542,000 円 最終予算額 16,415,000 円 決算額 15,305,553 円

(1) 主な支出

・職員人件費 1,531 万円

4

選挙費	10,309,769
1 選挙管理委員会費	772,595
2 選挙啓発費	16,200

決算事項別明細書 P41～

**選挙管理委員会の運営と啓発活動（総務グループ）** 予算事業名：選挙管理委員会運営費・選挙啓発費

当初予算額 1,027,000 円 最終予算額 1,027,000 円 決算額 788,795 円

選挙管理委員会を開催し4回の定時登録を行いました。また、選挙に対する啓発を行いました。

(1) 主な支出

・選挙管理委員報酬 49 万円  
・システム使用料 20 万円  
・その他の経費 10 万円

(2) 活動指標

・長野県選管連合会総会及び明るい選挙推進県大会（長野市） H22. 11. 25 7人参加  
・1/9(日)新成人に対し、選挙啓発の実施（成人式で選挙啓発冊子の配布及び委員長の祝辞）

・選挙人名簿登録者数 年4回（定時登録）（単位：人）

	男	女	計
平成22年6月2日 現在	4,502	4,893	9,395
平成22年9月2日 現在	4,506	4,881	9,387
平成22年12月2日 現在	4,501	4,886	9,387
平成23年3月2日 現在	4,511	4,899	9,410

3 参議院議員通常選挙費	4,447,762
--------------	-----------

決算事項別明細書 P41～

**参議院議員通常選挙（総務グループ）**

予算事業名：参議院議員通常選挙費

当初予算額 5,000,000 円 最終予算額 5,000,000 円 決算額 4,447,762 円

参議院議員通常選挙が執行されました。

(1) 主な支出

・事務従事者手当 222 万円  
・立会人報酬 74 万円

・選挙用品	21 万円
・電算、ポスター掲示板設置委託料	65 万円
・入場券郵送料	32 万円
・事務用品ほか	31 万円

(2) 活動指標

- ・選挙期日：平成22年7月11日（日）
- ・投票状況

	当日の有権者数	投票者数	棄権者数	投票率(%)	前回投票率(%)
男	4,497	3,213	1,284	71.45	69.13
女	4,873	3,364	1,509	69.03	65.01
計	9,370	6,577	2,793	70.19	66.97

候補者別得票数（長野県選出議員選挙）

（左から届出順）

候補者氏名	自由民主党	日本共産党	民主党	民主党	民主党	社会民主党	合計
若林 けんた	中野 さなえ	たかしま 陽子	北沢 としみ	井出 ようせい	うすだ ひろあき		
得票数	2,038	601	1,111	1,699	927	32	6,408

政党別得票数（比例代表選出議員選挙）

（届出順）

政 党	政党名（票）	名簿登録者（票）
幸福実現党	14	10
みんなの党	736	26
民主党	1,953	285
女性党	51	1
自由民主党	781	1,263
新党改革	72	2
社会民主党	242	58
たちあがれ日本	43	13
日本創新党	15	6
国民新党	36	52
公明党	140	200
日本共産党	370	9
合 計	4,453	1,925

4	長野県知事選挙	3,544,037	決算事項別明細書 P42～
長野県知事選挙（総務グループ）			
当初予算額	5,449,000 円	最終予算額	5,449,000 円
		決算額	3,544,037 円

長野県知事選挙が執行されました。

(1) 主な支出

・事務従事者手当	175 万円
・立会人報酬	69 万円
・電算、ポスター掲示板設置等委託料	60 万円
・入場券郵送料	21 万円
・選挙ポスター掲示板等の物品	29 万円

(2) 活動指標

選挙期日：平成22年8月8日（日）



## 投票状況

(単位：人)

	当日の有権者数	投票者数	棄権者数	投票率 (%)	前回投票率 (%)
男	4,476	2,611	1,865	58.33	71.50
女	4,844	2,691	2,153	55.55	69.98
計	9,320	5,302	4,018	56.89	70.70

## 候補者別得票数 (届出順)

候補者氏名	党 派	得 票 数
あべ 守一	無所属	2,029
松本 たけし	無所属	1,201
こしはら 愛正	無所属	2,016

91 県議会議員一般選挙費 1,529,175 決算事項別明細書 P42～

## 県議会議員一般選挙(総務グループ)

予算事業名：県議会議員一般選挙費

当初予算額 0 円 最終予算額 1,630,000 円 決算額 1,529,175 円

平成23年4月10日執行の県議会議員一般選挙の事務費。須坂市・上高井郡選挙区は無投票になりました。

## (1) 主な支出

- ・ 事務用品 3 万円
- ・ 投票用紙印刷代 1 万円
- ・ 電算委託料 119 万円
- ・ ポスター掲示板設置委託料 30 万円

## (2) 活動指標

- ・ 選挙期日：平成23年4月10日（日）（無投票）
- ・ 前回の投票率 (%)

男	53.80
女	50.67
計	52.16

## 候補者氏名・所属 (届出順)

候補者氏名	党 派
村石 正郎	自由民主党
永井 一雄	無所属

5 統計調査費 4,138,930

1 統計調査費 183,626 決算事項別明細書 P42～

## 統計調査の実施(交流グループ)

予算事業名：統計調査費

当初予算額 147,000 円 最終予算額 184,000 円 決算額 183,626 円

統計法などに基づき、「学校基本調査」「工業統計調査」「輸出生産実態調査」「2010世界農林業センサス」を実施しました。

## (1) 主な支出

- ・ 調査員報酬 10 万円
- ・ その他の経費 8 万円

## (2) 活動指標

## ① 学校基本調査

- ・ 調査期日 平成22年5月1日
- ・ 調査対象 小中学校及び幼稚園

- ・ 調査員数 なし（各施設で調査）

② 工業統計調査

- ・ 調査期日 平成22年12月31日
- ・ 調査対象 61事業所
- ・ 調査員数 4人

③ 2010世界農林業センサス

- ・ 調査票の疑義紹介

(3) 活動指標の推移

- ・ 児童・生徒数と教職員数（学校基本調査より）（単位：人）

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
小学校児童数	712	698	689	639	649
小学校教職員数	41	40	41	41	45
中学校生徒数	313	319	342	367	343
中学校教職員数	30	30	30	33	32

2	国勢調査費	3,955,304	決算事項別明細書 P43～
国勢調査の実施（交流グループ）		予算事業名：国勢調査費	
当初予算額 4,183,000 円		最終予算額 4,664,000 円	
		決算額 3,955,304 円	

統計法に基づき、日本に住んでいる全ての人を対象に行う5年に一度の「国勢調査」を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 調査員報酬 296 万円
- ・ 指導員報酬 46 万円
- ・ 臨時職員賃金 18 万円
- ・ 国勢調査消耗品 23 万円
- ・ その他の経費 13 万円

(2) 活動指標

- ・ 調査期日 平成22年10月1日
- ・ 調査対象 町内に居住する全世帯
- ・ 調査員数 55人、指導員数 8人

(3) 活動指標の推移

- ・ 人口と世帯数の推移

区 分	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度
人 口(人)	11,568	11,436	11,460	11,477	11,074
世帯数(戸)	2,890	3,017	3,264	3,406	3,511

（平成22年は速報値）

6	監査委員費	717,055	決算事項別明細書 P43～
1	監査委員費	717,055	
監査委員報酬など(監査委員事務局)			予算事業名：監査委員費
当初予算額	874,000 円	最終予算額	874,000 円
		決算額	717,055 円
<p>「毎月の歳入、歳出事務が正確に行われているか」、「予算の使い方や事業の進め方が、法律に従って正しくかつ効率的に使われているか」などチェックしました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員報酬 (2名) 47 万円</li> <li>・ 監査委員研修費 10 万円</li> <li>・ 代表監査委員機 10 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例月出納検査 12日 (毎月原則 27日)</li> <li>・ 定期監査 9日 (7月22日、7月23日、7月28日、7月29日、7月30日、8月3日、8月4日、8月11日、8月26日)</li> <li>・ 決算審査 9日 (7月22日、7月23日、7月28日、7月29日、7月30日、8月3日、8月4日、8月11日、8月26日)</li> </ul> <p>(3) 成果指標</p> <p>定期監査講評</p> <p>財政の厳しいおりではありましたが、事務の執行は行政の効率化と健全性を念頭に置き執行され、処理も法令・規則により正確に実施されています。また、現物も帳簿と完全突合され、事務の管理・事業の執行は総じて良好であります。</p>			

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
3			民生費	1,166,621,003		
	1		社会福祉費	750,127,632		
		1	社会福祉総務費	209,531,176	決算事項別明細書	P43～
社会福祉協議会の運営補助など(福祉グループ)					予算事業名：社会福祉総務費	
当初予算額 9,280,000 円 最終予算額 9,296,000 円 決算額 9,271,950 円						
地域の福祉活動を担う社会福祉協議会の運営(介護保険事業に係るものを除く人件費)に対する補助などを行いました。						
(1) 主な支出						
・社会福祉協議会の運営補助					925 万円	
・福祉診断書料給付金					2 万円	
(2) 活動指標						
・地域の福祉活動を担う社会福祉協議会の運営(介護保険事業に係るものを除く)に対して補助を行いました。(主な活動内容は、3.1.1「悩みごと相談事業」及び3.1.4「高齢者在宅支援事業」などを参照)						
・福祉診断書料給付金として、身体障害者手帳の交付等の申請に必要な診断書の作成費用に補助を行いました。						
(3) 活動指標の推移						
・社会福祉協議会運営補助金の推移					(単位：万円)	
年度		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
補助金額		1,553	1,371	1,399	884	925
高齢者等の移動支援(福祉グループ)					予算事業名：社会福祉総務費	
当初予算額 2,564,000 円 最終予算額 4,473,000 円 決算額 3,460,920 円						
高齢者等に対し、タクシー利用助成、おぶせロマン号(バス)の運休期間を利用しての移動支援を試験的に実施しました。また、福祉バス事業の登録更新を行いました。						
(1) 主な支出						
・タクシー利用助成					195 万円	
・町内巡回バス運転経費					141 万円	
・看板作成等					10 万円	
(2) 活動指標						
・タクシー利用助成券の発行を前年度に引き続き試験的に行いました。(申請した月から1カ月2枚の割合で計算して交付) 226人に対し利用助成券3,976枚を交付し、うち196人が2,785枚利用されました。なお、町内での利用は2,383枚でした。						
・路線バス方式による移動支援を試験的に行いました。3回、39日間実施し、延べ511人の利用がありました。						
(3) 活動指標の推移						
タクシー利用助成(平成21年10月開始)						
年 度		平成21年度	平成22年度			
交付人数		163 人	226 人			
交付枚数		1,636 枚	3,976 枚			
利用枚数		990 枚	2,785 枚			

## 町内巡回バス

	第1回	第2回	第3回
運行日数	8日	15日	16日
運行期間	6月15日から6月8日の間、毎週火曜日・金曜日	1月18日から2月10日の間、毎週火曜日から金曜日	2月22日から2月18日の間、毎週火曜日から金曜日
利用者数	124人	161人	226人

※ 祝日は除く

**基金(貯金)利子の積立て(福祉グループ)**

予算事業名：社会福祉総務費

当初予算額 32,000 円 最終予算額 34,000 円 決算額 34,000 円

社会福祉事業にあてるため、またボランティア事業にあてるための財政の健全な運営を図るため、基金利子の積立てを行いました。

## (1) 主な支出

- ・ 社会福祉積立基金利子積立金 2 万円
- ・ ボランティア事業積立基金利子積立金 1 万円

**国民健康保険特別会計への繰出金(健康グループ)**

予算事業名：社会福祉総務費

当初予算額 57,387,000 円 最終予算額 60,233,000 円 決算額 58,625,370 円

国民健康保険事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。

## (1) 主な支出

- ・ 基盤安定繰出金 3,583 万円
- ・ 出産育児一時金繰出金 449 万円
- ・ 財政安定化支援事業繰出金 416 万円
- ・ 事務費等繰出金 1,415 万円

## (2) 活動指標

- ・ 年度別推移

(単位：万円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
基盤安定	3,792	4,292	3,147	3,323	3,583
出産育児一時金	257	303	309	291	449
財政安定化支援事業	511	448	468	373	416
事務費等	666	644	605	1,395	1,415
計	5,226	5,687	4,529	5,382	5,863

**民生児童委員活動と生活保護(福祉グループ)**

予算事業名：民生児童委員等活動費

当初予算額 1,279,000 円 最終予算額 1,279,000 円 決算額 1,224,542 円

民生児童委員活動を積極的に展開し、要保護者のケース検討、障害者、老人、母子等の福祉をはじめ住民福祉の向上に努めました。

## (1) 主な支出

- ・ 活動のための交付金・負担金等 118 万円
- ・ 図書購入等 1 万円

## (2) 活動指標

- ・ 民生児童委員数： 17名 (委員16名、主任児童委員1名)
- ・ 定例会の実施 月1回
- ・ 独居老人等要援護世帯への支援、相談、各種研修会への参加等
- ・ 生活保護22年度新規認定者1世帯1人 (年度末総数 11世帯12人)

## (3) 成果指標

- ・ 民生児童委員への相談、支援件数

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	132	192	260	216	312

- ・ 生活保護の認定者数の推移

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
認定者数	4	2	6	2	1
年度末総数	11世帯15人	13世帯16人	14世帯21人	11世帯13人	11世帯12人

**乳幼児・障害者等の医療費の補助(福祉グループ)**

予算事業名：福祉医療費給付事業費

当初予算額 65,142,000 円 最終予算額 65,142,000 円 決算額 63,809,815 円

一定の条件に当てはまる乳幼児や障害者、高齢者、母子・父子家庭にかかる医療費の負担を軽くするため、福祉医療費の給付を行いました。精神障害者保健福祉手帳2級の交付を受けている人の精神通院医療が対象となりました。

## (1) 主な支出

- ・ 福祉医療費給付金 5,763 万円
- ・ システム保守・改修・使用料 53 万円
- ・ 福祉医療費事務手数料等 564 万円

## (2) 活動指標

平成23年3月31日現在の資格別受給者数及び給付実績

資 格 名 称	受 給 者 数 (人)	延 件 数	給 付 額 (万円)	全体に占める割合		
				受給者	延件数	給付額
乳幼児・児童	1,569	16,802	2,556	74.7%	68.0%	44.4%
重度心身障害者	330	6,108	2,892	15.7%	24.7%	50.3%
身障手帳1級	44	713	534	2.1%	2.9%	9.3%
身障手帳2級	25	451	248	1.2%	1.8%	4.3%
身障手帳3級	29	500	264	1.4%	2.0%	4.6%
療育手帳A1	24	342	76	1.1%	1.4%	1.3%
療育手帳A2	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
療育手帳B1	20	233	95	1.0%	0.9%	1.7%
65歳以上国民年金施行令別表該当	158	3,619	1,588	7.5%	14.6%	27.6%
精神保健福祉手帳1級（通院のみ）	17	210	82	0.8%	0.8%	1.4%
精神保健福祉手帳2級（精神通院のみ）	13	40	5	0.6%	0.2%	0.1%
父子家庭	11	39	11	0.5%	0.2%	0.2%
父子の父	4	19	8	0.2%	0.1%	0.1%
父子の子	7	20	3	0.3%	0.1%	0.1%
母子家庭等	191	1,762	296	9.1%	7.1%	5.1%
母子の母	77	709	138	3.7%	2.9%	2.4%
母子の子	112	1,045	158	5.3%	4.2%	2.7%
父母のいない児童	2	8	0	0.1%	0.0%	0.0%
68歳以上低所得老人（70歳未満）	0	5	0	0.0%	0.0%	0.0%
計	2,101	24,716	5,755	100.0%	100.0%	100.0%

※ 支給額1万円未満は0とする

## (3) 活動指標の推移

・対象者数の推移

(単位：人)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
乳幼児・児童	648	647	1,243	1,554	1,569
重度心身障害者	279	272	309	310	330
父子家庭	8	11	7	13	11
母子家庭	163	178	199	209	191
65歳以上独り暮らし老人	4	1	0	0	0
68歳以上低所得老人	17	15	9	1	0
計	1,119	1,124	1,767	2,087	2,101

毎年度3月31日現在

・給付件数の推移

(単位：万円)

			平成18年度		平成19年度		平成20年度	
			延件数	給付額	延件数	給付額	延件数	給付額
乳幼児			7, 767	1, 469	8, 499	1, 493	12, 826	1, 895
	町単分 (再掲)	入院時食費	110	23	84	18	80	14
		その他	791	162	－	－	4, 668	716
重度心身障害者			4, 399	2, 505	5, 100	2, 713	5, 160	2, 608
	町単分 (再掲)	入院時食費	334	489	359	540	341	490
		その他	－	－	－	－	92	45
父子家庭			9	6	28	5	10	2
	町単分 (再掲)	入院時食費	0	0	0	0	0	0
母子家庭			1, 252	292	1, 556	281	1, 421	239
	町単分 (再掲)	入院時食費	13	7	2	1	2	0
65歳以上独り暮らし老人			97	28	39	12	3	1
68歳以上低所得老人			572	139	219	50	283	59
合計			14, 096	4, 439	15, 441	4, 554	19, 703	4, 804

			平成21年度		平成22年度		平成22年度 給付人数 C	平成22年度 対象者総 医療費 D	平成22年度 給付前自 己負担額E
			延件数	給付額	延件数A	給付額B			
乳幼児			14, 807	2, 212	16, 802	2, 556	1, 598	14, 158	3, 232
	町単分 (再掲)	入院時食費	76	13	110	18	－	－	－
		その他	7, 067	1, 122	8, 185	1, 288	893	6, 012	1, 581
重度心身障害者			5, 852	2, 603	6, 108	2, 892	312	36, 685	3, 470
	町単分 (再掲)	入院時食費	312	438	366	519	－	－	－
		その他	156	121	117	61	8	510	90
父子家庭			10	2	39	11	7	12	13
	町単分 (再掲)	入院時食費	0	0	0	0	－	－	－
母子家庭			1, 776	339	1, 762	296	182	1, 253	350
	町単分 (再掲)	入院時食費	11	2	9	1	－	－	－
65歳以上独り暮らし老人			0	0	0	0	0	0	0
68歳以上低所得老人			155	29	5	0	1	6	0
合計			22, 600	5, 185	24, 716	5, 755	2, 100	52, 114	7, 065

・1人当たりの給付額等

	1人当レセプト回数	1件当医療費	1人当年間医療費	1件当給付額	1人当給付額	1件当自己負担額	自己負担割合
	A/C (回)	D/A (千円)	D/C (千円)	B/A (千円)	B/C (千円)	E/A (千円)	B/E %
乳幼児	10.5	8.4	88.6	1.5	16.0	1.9	0.2
重度心身障害者	19.6	60.1	1,175.8	4.7	92.7	1.9	0.2
父子家庭	5.6	3.1	17.1	2.8	16.3	3.3	0.2
母子家庭	9.7	7.1	68.8	1.7	16.3	2.0	0.2
68歳以上低所得老人	5.0	12.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	11.8	21.1	248.2	2.3	27.4	2.9	0.2

**ひとり親家庭等児童福祉手当など（福祉グループ）**

予算事業名：ひとり親家庭福祉事業費

当初予算額 2,102,000 円 最終予算額 2,102,000 円 決算額 1,661,000 円

ひとり親家庭等の経済負担を軽くするため、手当や年金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・母子・父子家庭児童福祉年金 103 万円 ・交通・災害遺児等年金 3 万円
- ・母子・父子家庭児童福祉手当 56 万円

(2) 活動指標

(単位：万円)

項 目	支給件数（件）	支給金額
母子父子家庭児童福祉年金	93	103
母子父子家庭児童福祉手当	44	56
計	137	159

(3) 活動指標の推移

(単位：万円)

年度 \ 項目	母子父子家庭児童福祉年金		母子父子家庭児童福祉手当	
	件数	金額	件数	金額
平成18年度	72	58	34	49
平成19年度	76	63	37	54
平成20年度	77	62	39	52
平成21年度	87	67	46	56
平成22年度	93	103	44	56

※平成22年度から児童福祉年金額5,000円から10,000円へ増額

(保護者の住民税非課税の場合)

**法律相談所の開設(福祉グループ)**

予算事業名：悩み事相談事業費

当初予算額 833,000 円 最終予算額 833,000 円 決算額 795,945 円

町民の皆さんから寄せられる専門的な相談に応じるため、法律相談所を開設するとともに、社会福祉協議会に心配ごと、結婚相談業務などを委託し、事業を実施しました。

(1) 主な支出

- ・相談員（弁護士、司法書士）謝礼 13 万円
- ・事業委託費 57 万円

(2) 活動指標

- ・弁護士、司法書士による専門的な法律相談所の開設  
年6回（偶数月 4月, 8月, 12月は弁護士のみ）



開設日	H22. 4. 19	H22. 6. 21	H22. 8. 20	H22. 10. 20	H22. 12. 20	H23. 2. 21
受付件数	4	4	4	3	1	4

- ・心配ごと相談の実施 月2回（第1・第3火曜日） 民生児童委員 2人
- ・結婚相談の実施 毎週火、水、木にセンターにて開催 専門相談員 2人
- ・行路浮浪人救護 随時

(3) 成果指標

- ・法律、総合相談件数の推移

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	36	22	26	20	20

相談内容・・・相続、離婚、土地問題等

- ・心配ごと相談件数

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	6	9	11	7	6

相談内容・・・生計家庭、住宅、精神医療問題等

- ・結婚相談件数

結婚相談センターの開設

年度	平成21年度	平成22年度
相談件数	89	59
登録人数	男 17	20
	女 7	4
見合い件数	5	1
成婚件数	0	1

結婚相談事業交流会の開催

(延べ) 3月5日 「恋のかけ橋交流会」  
料理教室等  
参加者24人（男性13人 女性11人）

- ・行路浮浪人救護件数

年度	平成21年度	平成22年度
人数	11	8

給付金額4,000円（1人500円）

**子ども教育相談(生涯学習グループ)**

予算事業名：悩み事相談事業費

当初予算額 27,000 円 最終予算額 27,000 円 決算額 26,664 円

明るく健全な子どもの成長を願い、子どもに関わる諸問題の解決に向けた相談活動を行いました。

(1) 主な支出

- ・相談員への謝礼 2 万円

(2) 活動指標

- ・相談員 5人
- ・場所：北斎ホール
- ・毎週水曜日 年51回開催 相談件数7件

(3) 活動指標の推移

- ・相談件数

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	9	6	9	6	7

<b>行政相談委員活動の支援(総務グループ)</b>				予算事業名：悩み事相談事業費	
当初予算額	25,000 円	最終予算額	25,000 円	決算額	15,000 円
国や独立行政法人等の行政に対する苦情や相談に応じ、その問題解決を図る行政相談委員の活動に対し支援を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 行政相談委員活動助成金 2 万円					
(2) 活動指標					
・ 行政相談委員活動					
相談日：毎月第3金曜日及び随時					
相談場所：北斎ホールほか					
相談件数：15件					
(3) 活動指標の推移					
・ 行政相談受付件数					
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
受付件数	20	15	19	9	15
<b>職員人件費</b>				予算事業名：一般職人件費	
当初予算額	74,232,000 円	最終予算額	72,804,000 円	決算額	70,605,970 円
(1) 主な支出					
・ 職員人件費 7,061 万円					
2	国民年金事務費	748,716	決算事項別明細書 P44～		
<b>国民年金の加入等の手続き(生活環境グループ)</b>				予算事業名：国民年金事務費	
当初予算額	1,174,000 円	最終予算額	1,174,000 円	決算額	748,716 円
国民年金は、すべての国民が加入する制度で、年金制度の中でも基本となるものです。国民年金の財源は、国民の皆さんが納めた年金の保険料と国に納められた税金で賄われています。					
町では、自営業や農業などの1号被保険者の皆さんの加入の届出・保険料免除申請の窓口となっています。					
(1) 主な支出					
・ 国民年金業務委託料 41 万円					
・ 国民年金システム使用料 26 万円					
・ 通信費 5 万円					
・ 国民年金加入状況					
・ 強制加入被保険者 1,608 人					
・ 任意加入被保険者 17 人					
・ 第3号被保険者 666 人					
計 2,291 人					
・ 付加保険料納付数 102 人					
・ 保険料免除者数					
・ 法定免除 63 人					
・ 申請免除（全額） 130 人					
・ 申請免除（3／4） 26 人					
・ 申請免除（半額） 6 人					
・ 申請免除（1／4） 5 人					
・ 学生納付特例 131 人					

・若年者猶予 24 人  
計 385 人

3 高齢者福祉費 339,530,210 決算事項別明細書 P44～

**高齢者福祉事業臨時職員賃金(福祉グループ)** 予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 1,757,000 円 最終予算額 1,757,000 円 決算額 977,511 円

高齢者福祉事業〈主に在宅介護支援センター業務〉に携わる臨時職員の賃金です。

(1) 主な支出

・臨時職員賃金 98 万円

**養護老人ホーム入所費用の補助(福祉グループ)** 予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 10,240,000 円 最終予算額 10,240,000 円 決算額 8,644,203 円

家庭内や経済的な事情により養護老人ホームに入所している人の入所費用を補助しました。

(1) 主な支出

・施設入所措置費 864 万円

(2) 活動指標

・養護老人ホーム措置費

施 設 名	入所者数 (人) (平成23年3月31日現在)	措 置 費 (万円)
長野広域連合 はにしな寮	1	279
長野広域連合 松 寿 荘	2	361
社会福祉法人睦会 寿楽園	1	224
計	4	864

(3) 活動指標の推移

・入所者と措置費の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
入所者数 (人)	7	7	7	5	4
措置費 (万円)	1,445	1,235	1,317	1,180	864

長野広域連合養護老人ホームに係る入所者 はにしな寮1人、松寿荘2人措置

**介護保険利用者の負担軽減(福祉グループ)** 予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 90,000 円 最終予算額 90,000 円 決算額 9,952 円

介護保険を利用している低所得者の方の負担を軽減するため、介護保険サービスの利用料の助成を行いました。

(1) 主な支出

・利用者負担軽減制度事業補助金 1 万円

(2) 活動指標

・介護サービス等で社会福祉法人を利用している生活困窮者の利用者負担に対し補助を行いました。(社会福祉法人等減免補助金は、介護保険料徴収に係る第二段階までの所得区分に属している方で所得や資産の状況等により、特に生計が困難である方に対し利用料の1/4を減免します。)

(3) 活動指標の推移

・件数、金額の推移

(単位：万円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	1	1	1	1	1
金額	1	2	2	2	1

#### シルバー人材センターへの支援(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 2,976,000 円 最終予算額 2,976,000 円 決算額 2,976,000 円

定年後の臨時的な就労機会の確保し、社会参加を促進することを通して、地域づくりや地域福祉向上に寄与することを目的としているシルバー人材センターに対して補助を行いました。

##### (1) 主な支出

- ・須高広域シルバー人材センター補助金 297 万円
- ・賛助会員会費 1 万円

##### (2) 活動指標

高齢者の皆さんに社会貢献の場と就業の機会を提供しているシルバー人材センターの主な活動は次のとおりです。

- ・植木剪定、大工修繕、塗装、障子襖貼りなど
- ・賞状、宛名筆耕、毛筆書、看板書など
- ・施設管理、駐車場管理など
- ・外交、文書配達、集金など
- ・草取り、草刈り、清掃、調理、農作業など
- ・食事介護、家事など

##### (3) 活動指標の推移

・須高シルバー人材センターの会員の推移 (単位：人)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
会員数	668	646	684	754	739
うち小布施町の会員	88	89	92	96	90

#### 地域支えあいマップの作成(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 403,000 円 最終予算額 403,000 円 決算額 525 円

地域支えあいマップ作成にあたり、着手自治会に対して説明会を行いました。(総務の災害時行動マニュアル説明会と同時開催)

##### (1) 主な支出

- ・事務用品 0.1 万円

##### (2) 活動指標

- ・地域支えあいマップ作成済(中条・松村・雁田・松の実)
- ・地域支えあいマップ作成中(伊勢町・中央・中扇)
- ・説明会実施済自治会(栗ガ丘、水上(水上は次年度に再度説明会開催要望あり))
- ・早期に全自治会(自主防災会ごと)に防災マップと併せて作成していただくよう努めます。

#### ケアハウスの整備への補助(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 28,000,000 円 最終予算額 46,800,000 円 決算額 46,800,000 円

小規模ケアハウスを創設した民間事業所に対し整備費及び開設準備費の補助を行いました。

##### (1) 主な支出

- ・ケアハウス整備費 4,200 万円
- ・開設準備費 480 万円

(2) 活動指標

- ・ 居室 8 床分を整備、平成22年11月から開所
- ・ 県の介護基盤の緊急整備特別対策事業

独り暮らしの不安や身体機能の低下を補い入居者の自立生活を助長

**後期高齢者医療医療制度に対する負担(健康グループ)**

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 95,567,000 円 最終予算額 95,028,000 円 決算額 92,458,863 円

長野県後期高齢者医療広域連合の運営に必要な事務費や医療費の一部に充てられる負担金を支出しました。

(1) 主な支出

- ・ 長野県後期高齢者医療広域連合負担金 9,246 万円

(2) 活動指標

- ・ 医療費負担金 8,850 万円
- ・ 事務費負担金 396 万円

**老人保健特別会計への繰出金(健康グループ)**

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 1,000 円 最終予算額 498,000 円 決算額 497,432 円

老人保健制度は後期高齢者医療制度の創設に伴い平成21年3月末に廃止されましたが、平成22年度をもって老人保健特別会計を清算し閉鎖しました。

(1) 主な支出

- ・ 繰出金 50 万円

(2) 活動指標の推移

(単位：万円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
繰出金	10,766	6,926	856	0	50

**後期高齢者医療特別会計への繰出金(健康グループ)**

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 22,833,000 円 最終予算額 23,136,000 円 決算額 21,608,427 円

後期高齢者医療事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。

(1) 主な支出

- ・ 繰出金 2,161 万円

(2) 活動指標

- ・ 年度別推移 (単位：万円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
基盤安定	1,787	1,901	2,025
事務費等	100	150	136
計	1,887	2,051	2,161

- ・ 後期高齢者医療保険料軽減該当者

	人数	軽減額 (円)
7割軽減	632	15,373,259
5割軽減	73	1,290,548
2割軽減	138	962,977

## 介護保険特別会計への繰出金(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 139,518,000 円

最終予算額 139,518,000 円

決算額 129,554,000 円

介護保険事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。

### (1) 主な支出

- 繰出金 1億2,955 万円

### (2) 活動指標

- 繰出金の内容
  - 介護給付費 9,157 万円
  - 地域支援事業 378 万円
  - その他 3,420 万円

### (3) 活動指標の推移

(単位:万円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
繰出金	8,911	8,924	9,841	1億2,378	1億2,955

## 高齢者の在宅生活支援(福祉グループ)

予算事業名：高齢者在宅支援事業費

当初予算額 10,010,000 円

最終予算額 11,270,000 円

決算額 10,700,500 円

家に閉じこもりがちな高齢者が寝たきりや認知症にならないよう、趣味の活動や仲間づくりの場を提供する「いきいきサロン」や、介護が必要な高齢者の皆さんが、安心して自分の家で生活するための住宅改修に対する補助を行いました。

### (1) 主な支出

- 福祉バス運行サービス 405 万円
- 福祉用具貸与サービス 12 万円
- 生きがい活動支援通所事業(いきいきサロン) 378 万円  
(社会福祉協議会・NPO法人しなのぐらしに委託)
- 高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金 189 万円
- 訪問・通所理美容サービス 6 万円
- ホームヘルパー養成研修 82 万円

### (2) 活動指標

- 高齢者等介護予防・生活支援事業の申請受付と状況

項 目	利用実人員 延利用回数	対象者・利用状況等
1 生きがい福祉バス運行サービス事業	66人 430回	入浴サービス、通院、入退院等の送迎(社会福祉協議会へ委託)
2 訪問・通所理美容サービス事業	42人 84回	常時臥床している者等で、訪問による理美容でなければ散髪ができない者(社会福祉協議会へ委託)
3 福祉用具貸与サービス事業	34人 42品目	入院中の外泊、自立の判定、認定の対象外等で日常生活に福祉用具が必要な者(社会福祉協議会へ委託)

- 生きがい活動支援通所事業 48 人
- 高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金 3 件
- ホームヘルパー養成研修 6/1～8/31 (20日間)

### (3) 活動指標の推移

在宅での介護を補完する意味での重要な生活支援サービスで特に福祉バス、福祉用具貸与は、在宅での介護に大きな役割を果たしています。

・利用者数の推移

項 目		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
1	生きがい福祉バス運行サービス事業	利用実人員	70人	64人	55人
		延利用回数	452回	459回	360回
2	訪問・通所理美容サービス事業	利用実人員	41人	47人	51人
		延利用回数	77回	73回	98回
3	福祉用具貸与サービス事業	利用実人員	28人	30人	40人
		延利用回数	29品目	37品目	44品目

項 目		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
生きがい活動支援通所事業(いきいきサロン)	利用実人員	62人	52人	47人	48人
	延利用回数	3,967回	3,286回	2,805回	3,171回
高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金	件数	1件	1件	1件	3件
	金額	9万円	70万円	70万円	189万円
ホームヘルパー養成研修	受講者数	10人	10人	11人	14人

**ひとり暮らし高齢者等への支援(福祉グループ)**

予算事業名：ひとり暮らし高齢者等支援事業費

当初予算額 1,673,000 円 最終予算額 1,680,000 円 決算額 1,679,045 円

一人暮らしや二人暮らしの高齢者が、安心して在宅で生活できるための支援を実施しました。

(1) 主な支出

- ・軽度生活援助サービス 145 万円
- ・緊急通報体制等整備事業（自動消火器等の購入・設置・修繕等） 23 万円

(2) 活動指標

- ・高齢者等介護予防・生活支援事業の申請受付と状況

項 目	利用実人員 延利用回数	対象者・利用状況等
1 軽度生活支援サービス事業	10人 44回	自立の判定、独居、身障等の理由で日常生活上支援が必要な者へのヘルパー派遣(社会福祉協議会へ委託)
2 寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業	0人 0回	独居、高齢者世帯等で常時在宅で臥床している者で、寝具の衛生管理が困難な者(社会福祉協議会へ委託)

- ・緊急通報体制等整備事業 自動消火器等（新規） 4 件

(3) 活動指標の推移

・利用者数の推移

項 目		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
1 軽度生活支援サービス事業	利用実人員	12人	6人	11人	10人
	延利用回数	39回	7回	61回	44回
2 寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業	利用実人員	2人	1人	0人	0人
	延利用回数	2回	1回	0回	0回

項 目		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
緊急通報体制等整備事業 新規設置数	件数	3件	1件	2件	4件
	金額	16万円	6万円	18万円	23万円

**老人クラブの育成(福祉グループ)**

予算事業名：高齢者生きがいつくり支援費

当初予算額 1,547,000 円 最終予算額 1,547,000 円 決算額 1,398,432 円

高齢者が豊かで元気に暮らすための活動を行っている老人クラブ連合会や各支部のクラブ活動を支援するため、補助金を交付しました。また、高齢者の知識・技能を生かすとともに、子・孫世代と交流を図るため、しめ縄づくり教室を開催しました。

## (1) 主な支出

- ・老人クラブ連合会補助金 72 万円
- ・各支部老人クラブ補助金 65 万円
- ・しめ縄づくり教室材料費など 3 万円

## (2) 活動指標

- ・老人クラブ連合会員 752人  
小布施荘への慰問  
独り暮らし、2人暮らし高齢者宅訪問や生活支援活動  
花いっぱい運動  
公会堂・公園の清掃などの奉仕活動  
老人スポーツ大会（囲碁ボール、マレットゴルフ、ゲートボール）への参加  
健康づくり事業  
学習活動の実施
- ・しめ縄づくり教室  
平成22年12月18日 在宅介護支援センターで実施

## (3) 活動指標の推移

- ・会員数と補助金の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
会員数（人）	814	846	812	764	752
補助金（万円）	139	145	144	137	137

- ・しめ縄づくり教室参加者数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
参加者数（人）	54	41	49	36	35

**長寿者訪問(福祉グループ)**

予算事業名：長寿者訪問事業費

当初予算額 527,000 円 最終予算額 527,000 円 決算額 479,150 円

長寿の節目を迎えた皆さんを祝福し、祝い品をお贈りしました。

## (1) 主な支出

- ・記念品（湯飲み茶碗、眼鏡置き） 44 万円
- ・色紙・たとう紙等 4 万円

## (2) 活動指標

- ・対象者 米寿 66人、白寿 6人、百賀以上 12人
- ・町長が訪問して記念品を贈呈(9月14日～9月15日)

## (3) 活動指標の推移

- ・対象者の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
対象者数（人）	47	63	70	67	84



**生活支援ハウス管理運営(福祉グループ)**

予算事業名：生活支援ハウスの管理運営

当初予算額 7,720,000 円

最終予算額 7,720,000 円

決算額 7,271,414 円

生活支援ハウス居住部門の管理運営について、J Aを指定管理者として行いました。

## (1) 主な支出

- ・生活支援ハウス居住部門管理委託料 445 万円
- ・土地借上料 278 万円
- ・火災保険料 4 万円

## (2) 活動指標

- ・指定管理者：J A須高
  - ・入居者に対する各種相談や助言
  - ・緊急時の対応
  - ・デイサービスセンターへの通所や訪問介護サービス、その他の保健福祉サービスを必要とする場合の利用手続きの援助

## (3) 活動指標の推移

- ・利用者数の推移

(単位：人)

生活支援ハウス	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
デイサービスセンター 利用者数	8,414	9,142	10,193	9,725	9,231
居住部門 入居者数	5	4	4	5	4
参考 65歳以上の独り暮らし数	159	157	161	159	165

60歳以上の独り暮らしで、独立して生活することに不安のある方に住居を提供することで、安心して生活を送っていただいています。

**デイサービスセンターの管理(福祉グループ)**

予算事業名：デイサービスセンター管理費

当初予算額 1,666,000 円

最終予算額 1,666,000 円

決算額 1,665,141 円

デイサービスセンター運営のための土地の借上料などを支払いました。

## (1) 主な支出

- ・福祉施設用地借上料 161 万円
- ・火災保険料 6 万円

## (2) 活動指標

- ・デイサービス（通所介護）  
介護している家族の身体的、精神的な負担の軽減と、利用者の心身機能の維持回復や、趣味生きがいがつくりとして、日帰りでご利用いただく施設で、送迎、入浴、昼食等のサービスが受けられます。

## (3) 活動指標の推移

- ・利用者数の推移

(単位：人)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延利用者数	8,225	9,127	9,221	8,632	8,569

小布施荘施設用地等の管理(福祉サービス)			予算事業名：広域連合高齢者福祉施設管理費		
当初予算額	4,534,000 円	最終予算額	4,534,000 円	決算額	4,532,615 円
長野広域連合が管理運営する養護老人ホームに関する施設の管理運営に係る費用、また特別養護老人ホーム小布施荘に関する土地の借上料などを支払いました。					
(1) 主な支出					
・施設管理費負担金		43 万円			
・入所判定委員会負担金		0.2 万円			
・福祉施設用地借上料		410 万円			
(2) 活動指標					
・長野広域連合養護老人ホームに係る負担金					
・長野広域連合特別養護老人ホームの土地借上料					
(3) 活動指標の推移					
・小布施荘利用者数の推移					
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
小布施荘利用者数（小布施町分）（人）	13	15	24	32	24
ショートステイ利用延べ日数（日）	2,881	2,977	2,909	2,960	3,180

介護基盤緊急整備への補助など(繰越分)(福祉グループ)			予算事業名：高齢者福祉事業費		
当初予算額	0 円	繰越予算額	8,505,000 円	決算額	8,277,000 円
既存の小規模福祉施設（民間グループホーム等）が消防設備（スプリンクラー）を設置する整備費に対する補助を行いました。					
(1) 主な支出					
・スプリンクラー整備への補助		828 万円			
(2) 活動指標					
・グループホーム 2 施設、小規模多機能型施設 1 施設で設置					
・国及び県の介護基盤の緊急整備特別対策事業					
消防法施行令の一部改正により、認知症高齢者グループホームなど火災発生時に、自力で避難することが困難な人が多く入所する小規模社会福祉施設への消防用設備等の設置が義務づけられました。					
スプリンクラー設備を設置したことにより、入所している方々の安全を確保し、併せて関係者が安心して入所者のケアを行うことができました。					

4	人権・同和政策費	3,769,825	決算事項別明細書 P45～		
---	----------	-----------	---------------	--	--

差別のない明るい社会の推進(生涯学習グループ)			予算事業名：人権・同和政策費		
当初予算額	3,796,000 円	最終予算額	4,022,000 円	決算額	3,769,825 円
あらゆる差別撤廃のための事業に取り組みました。					
(1) 主な支出					
・差別撤廃・人権擁護審議委員への報酬		10 万円			
・人権擁護委員活動助成金		3 万円			
・生活相談委託料		5 万円			
・県人権擁護委員協議会負担金		4 万円			
・部落解放同盟 小布施町協議会		300 万円			
・部落解放同盟 須高地区協議会		13 万円			
・施設修繕費		2 万円			
・火災保険料等		6 万円			

(2) 活動指標

- ・ 小布施町におけるあらゆる差別撤廃・人権擁護審議会の開催 5月13日
- ・ 人権相談 毎月1回第1水曜日実施
- ・ 人権同和生活相談
- ・ 部落解放関係団体の活動支援
- ・ 集会所の維持管理

(3) 活動指標の推移

- ・ 人権相談件数 (単位：件)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
0	0	0	0	0

- ・ 人権同和生活相談件数 (単位：件)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
3	2	0	1	1

5 障害者福祉費 176,457,788 決算事項別明細書 P45～

障害福祉サービスの利用(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,106,000 円 最終予算額 1,106,000 円 決算額 966,495 円

自立支援法の障害福祉サービスの利用希望者に対し、認定調査を行いました。また介護給付サービスは長野広域連合に設置した審査会の二次判定結果を基に、障害程度区分の認定を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 審査会の運営のための負担金 22 万円
- ・ 受給者証作成システムの使用料 63 万円
- ・ 主治医意見書作成 8 万円

(2) 活動指標

- ・ 認定調査件数 21 件
- ・ 医師意見書作成依頼件数 20 件
- ・ 長野広域連合審査判定依頼件数 11 件

自立支援法による障害福祉サービスの給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 179,540,000 円 最終予算額 179,533,000 円 決算額 147,601,238 円

平成18年より障害種別にかかわらず、生活を支援する福祉サービス利用の仕組みが一つとなりました。主に在宅や施設入所での生活支援サービスである介護給付と、施設へ通所して作業や一般就労を目指すサービスの訓練等給付があります。

(1) 主な支出 (負担割合 国1/2、県1/4、町1/4)

- ・ 介護給付費等 6,013 万円
- ・ 訓練等給付費 4,797 万円
- ・ 介護給付費(旧法施設支援) 3,315 万円
- ・ 特例介護給付費 254 万円
- ・ 高額障害福祉サービス費 22 万円
- ・ 特定障害者特別給付費 264 万円
- ・ 療養介護医療費 86 万円
- ・ サービス利用計画作成費 5 万円

(2) 活動指標

・ 事業別の給付費の状況

事業種別			事業名	利用者数 (人)	給付費 (万円)
介護給付費等	介護給付費等	在宅	居宅介護等	12	816
			短期入所	7	186
		住	グループホーム、ケアホーム	11	1,101
			施設入所支援	12	1,037
		通	生活介護	15	2,815
		介護給付費等	療養介護医療費	入所	療養介護
療養介護医療費	1				86
旧法施設支援	旧身体障害者施設支援			2	510
	旧知的障害者施設支援			7	1,992
	特定障害者特別給付費				264
	旧知的障害者施設支援			4	813
訓練等給付	訓練等給付費	通所	自立訓練	1	64
			就労移行支援	9	1,370
			就労継続支援A	5	607
			就労継続支援B	24	2,756
サービス利用計画作成費				1	5
高額障害福祉サービス費					22
計				112	14,756

(3) 活動指標の推移

・ 支援費、自立支援給付費の給付状況 (単位：万円)

支援費		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
施設	入所	22	8,087	25	8,195	22	7,969
	通所	7		10		12	
居宅生活支援		14	362	24	645	32	1,224

平成18年度					
支援費		件数	金額	自立支援給付費	金額
施設 3月～9月	入所	22	4,405	訓練等給付費10月～2月	10 277
	通所	16		旧法施設支援10月～2月	31 2,926
居宅生活支援 3月		20	209	介護給付費4月～2月	29 2,361

給付費	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
自立支援給付費	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
訓練等給付費	27	1,843	31	3,136	38	4,440	39	4,796
旧法施設支援	31	7,201	45	6,950	27	4,867	13	3,578
介護給付費	21	2,930	25	3,490	50	5,674	58	6,264

・ 総事業費対前年比

年度	事業費	前年比
17	9,193	104.0%
18	10,178	110.7%
19	11,974	117.6%
20	13,577	113.4%
21	14,756	108.7%
22	14,760	100.0%

- ・ 平成19年10月よりみすみ草が就労継続支援事業B型の事業所指定を受けました。これによりみすみ草は、どなたでも利用できる社会交流促進の場としての地域活動支援センターと、作業を中心とする事業所の2つの機能を持ち、利用者の状態に応じた選択肢が広がりました。

- ・ 総事業費で比較すると、障害福祉サービス費は毎年伸びています。3障害（知的・身体・精神障害）が対象となり利用希望者が増えたこと、提供事業者が増えてきたことが理由として考えられます。  
 今後は自立支援法の福祉サービス以外のインフォーマル・地域サービスの提供を充実させたり、一般就労などを目指す事業の強化を進めていく必要があると考えます。

**地域生活支援事業による障害福祉サービスの給付(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 3,200,000 円

最終予算額 3,200,000 円

決算額 1,804,945 円

外出のための支援を行う「移動支援事業」と、日中に介護する人がいないなどの理由で見守りが必要な障害のある人を支援する「日中一時支援サービス事業」を実施しました。この事業は、障害のある人のニーズや施設、支援機関などの社会資源など地域の実情に合った、必要な事業を町が実施するものです。（平成18年10月より実施）また、他市町村の地域活動支援センターを利用した方がいた場合、1日1,000円の利用料を町がセンターへ支払います。

(1) 主な支出

- ・ 移動支援事業 180 万円
- ・ 日中一時支援サービス事業 0 万円

(2) 活動指標

- ・ 実施状況  
 移動支援事業利用者数（個別支援） 19人  
 日中一時支援サービス事業利用者数 0人  
 他市町村の地域活動支援センター利用者 0人

(3) 活動指標の推移

- ・ 給付状況の推移

		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
移動支援	個別	4	142	12	165	12	160	13	173
	グループ	1	0.9	2	6	1	12	6	6
日中一時支援		1	11	2	15	1	22	0	0

- ・ 今後は利用者、関係機関との連携や自立支援協議会を通じ、ニーズに合った事業へと充実させていくことに努めます。
- ・ 平成19年度、移動支援事業のグループ支援について、利用者とサービス従事者の比率を従来の2対1、3対2に3対1を追加しサービス利用や余暇活動の実施に移動支援事業を利用しやすくなるよう変更しました。

# 身体障害者への補装具の給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 3,145,000 円 最終予算額 3,145,000 円

決算額 1,211,998 円

身体障害者の身体部分の機能を補う用具の購入・修理に対し補助を行いました。

## (1) 主な支出

- ・ 補装具の購入・修理費 117 万円
- ・ 自己負担金への援助 3 万円

## (2) 活動指標

- ・ 補装具の購入・修理費内訳

障害者	交付	8 件	74 万円	修理	8 件	21 万円
障害児	交付	1 件	21 万円	修理	0 件	0 万円

- ・ 自己負担金への援助  
交付 3 件 3 万円

## (3) 活動指標の推移

- ・ 補装具の給付状況

(単位：万円)

		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
補装具	交付	67	304	9	102	11	186	11	126	9	95
	修理	17	43	14	47	14	48	11	30	8	21
自己負担金への援助		20	29	9	6	10	11	6	4	3	3

# 日常生活用具の給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 2,488,000 円 最終予算額 2,488,000 円

決算額 1,744,436 円

在宅で過ごす障害者の生活を支援するため、視覚障害者用ポータブルレコーダー、たん吸引器など日常生活用具の購入に対し補助を行いました。

## (1) 主な支出

- ・ 日常生活用具の購入 174 万円

## (2) 活動指標

- ・ 日常生活用具の購入 164 件
  - 内訳
    - ・ 体位変換器 2 件
    - ・ 入浴補助用具 1 件
    - ・ 移動・移乗支援用具 1 件
    - ・ 点字タイプライター 1 件
    - ・ 視覚障害者用拡大読書器 2 件
    - ・ 点字図書 3 件
    - ・ ストーマ装具 154 件 (1か月分を1件とカウント)

## (3) 活動指標の推移

- ・ 日常生活用具の給付状況

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	44件	198件	216件	215件	164件
給付金額	121万円	176万円	207万円	180万円	174万円

※ 平成18年10月から排せつ管理支援用具が補装具から日常生活用具の対象品目へと移行したため給付金額が伸びています。

**自立支援医療費への補助(旧更生医療)(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,100,000 円 最終予算額 1,100,000 円 決算額 541,401 円

障害の程度を軽くするために行う手術に対し補助を行いました。これまでの障害に係る公費負担医療であった更生医療が平成18年4月より自立支援医療と変わりました。

## (1) 主な支出

- ・旧更生医療への助成 54 万円

## (2) 活動指標

- ・自立支援医療給付(旧更生医療) 6 人  
(腎臓機能障害 - 人工透析、肢体不自由 - 人工関節置換術 等)

## (3) 活動指標の推移

- ・医療給付の状況

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
レセプト枚数	37枚	29枚	41枚	48枚	32枚
金額	175万円	60万円	74万円	66万円	54万円

**タイムケア・障害児等自立生活体験事業(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,746,000 円 最終予算額 1,746,000 円 決算額 1,575,155 円

家族が日中、介護を時間単位で依頼したときの利用料を負担しました。(タイムケア事業) また、グループホーム等での宿泊体験を行い、自立生活に向けた支援を行いました。(自立生活体験事業)

## (1) 主な支出

- ・社会福祉法人等の介護費用への支出 133 万円
- ・自立生活体験事業 23 万円

## (2) 活動指標

- ・タイムケア事業利用登録者実数 43 人  
(決められた時間内(300時間)の中で、家族などが一時的に家庭において介護できないとき、施設や近隣等で介護を受けます。)
- ・自立生活体験事業利用者数 5 人  
(将来地域で自立して暮らしていくため、グループホーム等で宿泊体験を行い、自立生活へ向け支援します。)

## (3) 活動指標の推移

- ・タイムケアの利用状況

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
人数	29人	24人	22人	39人	43人
金額	122万円	138万円	138万円	128万円	133万円

**通所・通園等の援助(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 72,000 円 最終予算額 72,000 円 決算額 67,344 円

心身障害児を持つ家庭への経済的支援のため、通所・通園にかかる交通費を援助しました。

## (1) 主な支出

- ・通所・通園等にかかる交通費の援助 6 万円

## (2) 活動指標

- ・援助件数 1 件

## (3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	4件	3件	2件	1件	1件
金額	8万円	7万円	7万円	7万円	6万円

**重度心身障害児福祉年金の給付(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 270,000 円 最終予算額 270,000 円 決算額 248,334 円

重度の心身障害児に対して、障害の程度に応じて福祉年金を支払いました。

## (1) 主な支出

- ・ 重度心身障害児への福祉年金 24 万円

## (2) 活動指標

- ・ 給付人数 20 人

## (3) 活動指標の推移

- ・ 給付件数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
人数	18人	18人	17人	19人	20人
金額	22万円	22万円	22万円	24万円	24万円

**その他の給付(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 282,000 円 最終予算額 6,967,000 円 決算額 6,932,940 円

身体障害者スポーツ大会へ負担金を支払いました。

## (1) 主な支出

- ・ スポーツ大会参加負担金 3 万円
- ・ 介護給付費等の支払い手数料 20 万円
- ・ 自立支援給付費等国庫負担金返還金 668 万円

## (2) 活動指標

- ・ 障がい者スポーツ大会 1 回

**自立支援協議会の運営(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 110,000 円 最終予算額 110,000 円 決算額 109,060 円

自立支援協議会は須高3市町村で平成19年8月に設立しました。毎月5つの部会を開催し、須高地域の障害福祉の底上げを図り、課題や社会資源の整備と活用を検討しています。行政、学校、保護者、障害福祉事業者等様々な人が参加し、情報共有やネットワークづくりの場となっています。

## (1) 主な支出

- ・ 自立支援協議会運営のための負担金 10 万円

## (2) 活動指標

- ・ 各専門部会 毎月開催 12 回
- ・ 平成23年2月26日（土） 北斎ホール  
須高発「地域で暮らそうフォーラムin小布施」 開催 参加者 120人



**相談支援事業・ケアマネジメント事業(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,927,000 円

最終予算額 1,975,000 円

決算額 1,974,812 円

障害者自立支援法により須坂市、高山村と共同で相談支援事業の充実を目指しています。3市町村共同で須高地域障害者支援センターを設置し、障害のある人の権利や総合的なケアマネジメントの実現を目指しています。町や小布施町の相談窓口であるみすみ草、関係機関と連携を図り、生活上の相談から必要に応じ家庭訪問やケア会議を開催し、社会資源を活用した社会生活力を高めるための支援を続けています。

## (1) 主な支出

- ・ 相談支援事業の委託 1,813 万円
- ・ ケアプラン作成の費用 16 万円

## (2) 活動指標

- ・ 平成22年度須高地域障害者支援センター登録者数

知的	21人
精神	16人
身体	9人
その他	4人
合計	50人

- ・ ケアプラン作成 6 人

窓口として須高地域障害者支援センターの認知度も上がり、多様な役割を担う機関となってきました。支援センターがあることにより地域の支援者間の横のつながりができ、支援者個人の視野の拡大や意識の向上にもつながっています。今後の相談支援事業は利用される方のニーズに基づく支援を軸に、地域課題の共有と解決の中核事業となるように充実を目指します。

**身体障害者への住宅整備への給付(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 700,000 円

最終予算額 700,000 円

決算額 0 円

身体障害者の方の住宅改修に対し補助を行います。今年度は申請がありませんでした。

## (1) 主な支出

- ・ 住宅改修への補助 0 万円

## (2) 活動指標

0 件

## (3) 活動指標の推移

- ・ 過去の給付実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	1件	0件	0件	0件	0件
金額	70万円	0万円	0万円	0万円	0万円

**身体障害者の自動車改造への助成(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 100,000 円

最終予算額 100,000 円

決算額 100,000 円

身体障害者の方の社会生活への参加を支援するため、自動車改造に対する補助を行います。

## (1) 主な支出

- ・ 身体障害者用自動車改造への補助 10 万円

## (2) 活動指標

- ・ 1件 (自動車の改造に要する費用の一部(10万円まで)を補助)

操作ノブ、操作スイッチ付きシフトレバー、運転席移乗用座面の取付

(3) 活動指標の推移

- ・過去の助成実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	2件	1件	1件	0件	1件
金額	20万円	2万円	10万円	0万円	10万円

**手話通訳者などの派遣(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 108,000 円 最終予算額 108,000 円 決算額 50,800 円

聴覚障害者のコミュニケーションを円滑にするため、手話通訳者を派遣しました。

(1) 主な支出

- ・手話通訳者の派遣 5 万円

(2) 活動指標

- ・手話通訳派遣事業 11 件
- ・要約筆記奉仕員派遣事業 0 件  
(派遣理由)  
病院の診察、授業参観等

(3) 活動指標の推移

- ・手話通訳派遣事業

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	7件	11件	9件	9件	11件
金額	5万円	6万円	4万円	3万円	5万円

- ・要約筆記奉仕員派遣事業

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	1 件	1 件	0件	0件	0件
金額	0.8万円	0.8万円	0万円	0万円	0万円

利用する方の立場にたったコミュニケーションの方法として講演会や会議等で手話通訳や要約筆記奉仕員などを派遣する機会を増やしていく必要があると考えます。

**障害者希望の旅(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,064,000 円 最終予算額 1,064,000 円 決算額 827,500 円

障害のある人とそのご家族を対象にバスでの一泊旅行を社会福祉協議会への委託により実施しました。

(1) 主な支出

- ・社協への委託 82 万円

(2) 活動指標

- ・7月29～30日 東京電力柏崎刈羽原子力発電所、錦鯉の里  
参加者17人 ボランティア 4人

(3) 活動指標の推移

年度	主な行き先	参加者数	
		対象者	ボランティア
17	群馬サファリパーク、伊香保グリーン牧場	19	2
18	飛騨の里、高山祭りミュージアム	14	2
19	富士サファリパーク	10	3
20	新潟県笹川流れ遊覧船、瀬波温泉	16	2
21	麒麟ビール名古屋工場、セントレア	17	4
22	東京電力柏崎刈羽原子力発電所	17	4

#### 障害者自立支援対策特別対策事業(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 5,349,000 円 最終予算額 5,349,000 円 決算額 6,348,787 円

平成19、20年度の法施行に伴う激変緩和と新たな事業に直ちには移行できない事業者の経過的な支援等、自立支援法への移行促進を図るため県に造成された基金を活用して特別対策事業を行いました。平成21年度もメニューが追加、改正され、23年度末まで実施されます。

##### (1) 主な支出

- ・ 事業運営安定化事業 517 万円
- ・ 移行時運営安定化事業 15 万円
- ・ 通所サービス等利用促進事業 64 万円
- ・ 新事業移行促進事業 3 万円
- ・ 事務処理安定化支援事業 2 万円
- ・ 進行性筋萎縮症者医療給付事業  
に対する激変緩和措置 29 万円

##### (2) 活動指標

- ・ 事業運営安定化事業 22 事業所
- ・ 移行時運営安定化事業 4 事業所
- ・ 通所サービス等利用促進事業 6 事業所
- ・ 新事業移行促進事業 3 事業所
- ・ 事務処理安定化支援事業 7 事業所
- ・ 進行性筋萎縮症者医療給付事業  
に対する激変緩和措置 1 名

#### 地域活動支援センター(みすみ草)の管理運営(福祉グループ)

予算事業名：地域活動支援センター管理費

当初予算額 4,353,000 円 最終予算額 4,353,000 円 決算額 4,352,543 円

身体・知的・精神に障害のある方の地域活動支援センター「みすみ草」を社会福祉法人夢工房福祉会に指定管理委託し、指定管理者が持つ豊かな福祉ノウハウを取り入れた運営を通じ、社会生活への適応性を高めるための作業訓練や生活指導を行いました。

##### (1) 主な支出

- ・ 社会福祉法人 夢工房福祉会への委託料 425 万円

##### (2) 活動指標

- ・ 利用者の状況

年度当初	年度末
4人	3人

- ・ 開所日  
259 日

##### (3) 活動指標の推移

- ・利用者数と開所日の推移

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用者数	年度当初	2	3	5	4
	年度末	4	6	5	3
開所日		124	252	251	259

#### 須高障がい者サポートセンター施設整備に対する補助(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉施設整備事業費

当初予算額 1,000,000 円 最終予算額 6,530,000 円 決算額 0 円

新規施設の開設や、施設改築に対する補助です。稲荷山太陽の園と、さくらの杜育豊の施設改築に対する補助は平成23年度に補助を行なうため、繰越します。

##### (1) 主な支出

- ・設備備品に対する補助 0 万円

##### 翌年度繰越

- ・社会福祉法人大志会改築に対する補助 303 万円
- ・社会福祉法人育護会改築に対する補助 250 万円

6 健康福祉センター費 14,491,318 決算事項別明細書 P45～

#### 健康福祉センターの管理運営(福祉グループ)

予算事業名：健康福祉センター管理費

当初予算額 12,084,000 円 最終予算額 12,084,000 円 決算額 11,429,243 円

保健・福祉・医療のネットワークづくりの拠点としての役割に加え、ボランティア団体の会議や障害者、高齢者の介護予防事業などの教室、研修会等さまざまな活動の場として管理運営を行いました。

##### (1) 主な支出

- |              |        |                 |        |
|--------------|--------|-----------------|--------|
| ・燃料費         | 103 万円 | ・光熱水費           | 376 万円 |
| ・修繕料         | 38 万円  | ・電話等通信運搬費       | 6 万円   |
| ・清掃委託料       | 10 万円  | ・エレベータ保守管理委託料   | 74 万円  |
| ・自動ドア保守点検委託料 | 8 万円   | ・施設安全管理業務委託料    | 36 万円  |
| ・電気保安業務委託料   | 17 万円  | ・冷暖房空調機器保守点検委託料 | 14 万円  |
| ・清掃用具借上料     | 21 万円  | ・施設用地借上料        | 403 万円 |

##### (2) 活動指標

- ・健康福祉センター利用の状況 1,487回 延19,913人

##### (3) 活動指標の推移

- ・健康福祉センター利用者数の推移 (単位：人)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用人数	17,992	24,759	18,923	24,441	19,913

在宅介護支援センターが実施する事業とともに、転倒予防教室やダンスで脳元気教室のOB会として、自ら介護予防に取り組もうと自主的に活動する団体もできました。また、新たにボランティア登録された団体による定期的な利用も増え、センターが徐々に地域住民の皆さんに有効に利用されています。

#### 千年樹の里まつりの開催(福祉グループ)

予算事業名：千年樹の里まつり事業費

当初予算額 520,000 円 最終予算額 520,000 円 決算額 417,575 円

町民の健康の増進や、地域住民と保健・福祉・医療のネットワークの構築を図り、「元気な人づくり」を進めるため、第10回千年樹の里まつりを開催しました。

##### (1) 主な支出

- ・出演者等謝礼 5 万円
- ・イベントチラシ、ポスター等 11 万円

・会場設営委託料 19 万円 ・スタッフ等昼食及び反省会 3 万円

(2) 活動指標

- ・千年樹の里まつり

開催月日：10月17日

会場：千年樹の里周辺

参加ボランティア 49団体、約350人

頭と体の健康づくり体験コーナー 延約28人

スタンプラリー 98人参加

フリーマーケット 小中学生 6組14人 一般2組3人が出店

アトラクション(和太鼓演奏・子どもコーラス・コカリナ演奏等) 観客延約500人

社協ふれあい広場(模擬店等) 出店数14店

その他消防ふれあい広場、人力車周遊等

第10回を迎え、町民の皆さんの認知度も増えています。新たなボランティア団体の新企画のコーナーもあり、小さな子どもやその親の参加が増え、いっそう賑やかな祭りとなっています。49ものボランティア団体(約350人)の参加を得て、ボランティア活動に対する取り組みも活発になってきています。

**ボランティア活動の支援(福祉グループ)**

予算事業名：ボランティア活動推進事業費

当初予算額 1,583,000 円 最終予算額 2,645,000 円 決算額 2,644,500 円

ボランティアセンターとしての機能の充実を図り、地域住民の皆さんのボランティア活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・ボランティア活動育成事業委託料 265 万円

(2) 活動指標

- ・ボランティア活動育成事業(社協委託)

ボランティア保険の助成 24団体 253人分

ボランティア講座等の開催 [ボランティア講座 全2回 実24人]

[簡単手話講座 全22回 延133人]

ボランティア交流会 参加者52人

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 全2回 参加者延30人

みなさんよっといで!!サロン [おもちゃ図書館 参加者延525人]

(3) 活動指標の推移

- ・ボランティア登録団体数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
登録団体数	20団体	24団体	30団体	36団体	37団体

7 老人福祉センター費

2,896,099

決算事項別明細書

P46～

**老人福祉センター(桃源荘)の管理運営(福祉グループ)**

予算事業名：老人福祉センター管理費

当初予算額 3,688,000 円 最終予算額 3,688,000 円 決算額 2,896,099 円

高齢者の生きがいと健康づくりを推進する施設として、また、高齢者のさまざまな活動の場として管理運営をしました。

(1) 主な支出

- |                     |       |             |        |
|---------------------|-------|-------------|--------|
| ・光熱水費               | 77 万円 | ・火災保険料      | 11 万円  |
| ・駐車場土地借上料 (385.43㎡) | 18 万円 | ・設備の保守点検の委託 | 8 万円   |
| ・複写機使用料             | 8 万円  | ・臨時職員賃金     | 143 万円 |
| ・修繕料                | 10 万円 | ・電話等通信運搬費   | 6 万円   |
| ・その他の経費             | 13 万円 |             |        |

(2) 活動指標

・ 桃源荘利用状況

老人クラブ支部長会、各種クラブ活動 延利用者数 2,335人  
いきいきサロン（日常動作訓練から趣味の活動）毎週 月・水・金  
延利用者数 2,231人（登録者 34人）

(3) 活動指標の推移

・ 桃源荘利用者数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用者延人数	6,115人	5,558人	4,629人	4,044人	4,566人

※各年度とも、いきいきサロンを含む

8	介護予防支援事業費	2,702,500	決算事項別明細書	P46～
---	-----------	-----------	----------	------

**介護予防プラン作成(福祉グループ)**

予算事業名：介護予防支援事業費

当初予算額 3,291,000 円 最終予算額 3,291,000 円 決算額 2,702,500 円

在宅介護支援センターが地域包括支援センターとして、要支援1又は2と認定された方の介護予防のケアプラン作成（新予防給付のマネジメント）を行っていますが、その一部を居宅介護支援事業所に委託して実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護支援事業所への委託料 271 万円

(2) 活動指標

- ・ 介護予防支援事業 委託箇所数 8箇所  
社会福祉協議会、新生病院、朝日ホームおんせん、ニチイ学館  
グリーン在宅介護支援センター、とどろき居宅介護支援事業所  
ケアネット長野サービスセンター、居宅介護支援事業所トラムスソーシャルサポート
- ・ 要支援(1または2) 認定者数(H23. 3. 31現在) 118人  
うち介護予防ケアマネジメント数 103人  
うち介護予防プラン作成委託件数 62人 (件)  
社会福祉協議会 (22件)、新生病院 (25件)、朝日ホームおんせん (9件)  
ニチイケアセンター (1件)、グリーン在宅介護支援センター (2件)  
とどろき居宅介護支援事業所 (1件)、ケアネット長野 (1件)  
トラムスソーシャルサポート (1件)

2	児童福祉費	416,491,371	決算事項別明細書	P46～
1	児童福祉総務費	35,670,430		

**保育園の入園手続きなど(子ども教育グループ)**

予算事業名：児童福祉総務費

当初予算額 1,029,000 円 最終予算額 785,000 円 決算額 676,493 円

保育を必要とする乳幼児の保育園への受入れを進めるため、必要な保育園の情報提供を行い、保育を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 保育料システムの使用料 55 万円  
・ 保育所運営費国庫負担金返還金 8 万円  
・ 図書購入ほか 4 万円

(2) 活動指標（福祉行政報告例値）

- ・ 入園児童数 245 人
- |     |      |       |       |
|-----|------|-------|-------|
| 0歳児 | 14 人 | 1・2歳児 | 48 人  |
| 3歳児 | 60 人 | 4歳児以上 | 123 人 |

※年度末 町外保育園への委託児童含む 町立保育園への町外からの受託児童は含まない

- ・階層（国基準）別入園状況（年度末 委託児童含む 受託児童含まない）

階層	定義	児童数
1	生活保護法による被保護世帯	0 人
2	町民税非課税世帯	17 人
3	町民税課税世帯	35 人
4	所得税40,000円未満	54 人
5	所得税103,000円未満	59 人
6	所得税413,000円未満	72 人
7	所得税734,000円未満	3 人
8	所得税734,000円以上	5 人

※第4～6階層（所得税10,000円以上～413,000円未満）世帯が全体の75.5%を占めている。

### (3) 成果指標

- ・平成22年度入園状況実績（受託児童含まない。）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
わかば	H22/4	1	8	8	34	25	28	104
	H23/3	5	11	8	35	26	28	113
つすみ	H22/4	2	10	11	18	24	36	101
	H23/3	8	12	11	19	25	36	111
2園計	H22/4	3	18	19	52	49	64	205
	H23/3	13	23	19	54	51	64	224
委託	H22/4	0	1	5	4	3	2	15
	H23/3	1	0	6	6	3	5	21

## 子育て優待パスポート事業（子ども教育グループ）

予算事業名：児童福祉総務費

当初予算額 160,000 円 最終予算額 188,000 円 決算額 169,050 円

子育て中のご家庭が協賛店舗での買い物の時などにカードを提示すれば、割引などの各種サービスを受けられる「ながの子育て家庭優待パスポート事業」を実施しました。

### (1) 主な支出

- ・カード、ポスター等印刷製本費 17 万円

### (2) 活動指標

- ・18歳未満の子ども（18歳に達する年度の3月末まで）が1人以上いる世帯に「ながの子育て家庭優待パスポートカード」を配布
- ・地域全体で子どもと子育て家庭を応援する気運づくりを推進するため、子育て家庭を応援していただける協賛店舗を募集

### (3) 成果指標

- ・パスポートカード 1,065世帯へ配布（転入等新規分は随時配布）
- ・協賛店舗ポスター、ステッカー 100部作成
- ・町内協賛店舗 11店、長野県内協賛店舗 2,991店（平成23年7月20日現在）

児童の遊び場環境の改善（子ども教育グループ）

予算事業名：児童福祉総務費

当初予算額20,480,000円

最終予算額29,285,000円

決算額29,284,500円

自治会等が維持管理している公園などに設置されている遊具の撤去と新設を行い、子どもや子育て中の親が安心して集える環境を整備しました。

(1) 主な支出

公園等遊具新設・撤去工事

2,928万円

(2) 活動指標

自治会等で管理している公園、神社などの遊具等の新設と撤去工事

(工期：平成22年6月～平成23年2月)

実施自治会16自治会

実施箇所数19箇所

放課後児童クラブの管理運営(子ども教育グループ)

予算事業名：子ども教室放課後児童クラブ事業費

当初予算額5,618,000円

最終予算額5,618,000円

決算額5,540,387円

就労等により放課後留守になる家庭の児童（小学生低学年）を対象に、家庭にかわる適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図りました。

(1) 主な支出

嘱託職員人件費220万円

臨時職員の賃金186万円

傷害保険料15万円

需用費116万円

(2) 活動指標

子ども教室（放課後児童クラブ）登録人数52名

受入時間学校終了時～午後6時（延長時間午後7時）

土曜日前午8時30分～午後3時（延長時間午前8時、午後7時）

子供休業日・長期休業日午前8時30分～午後6時（延長時間午前8時、午後7時）

保護者との懇談を行うなど、個々の家庭との連携に努めながら、「保護者会」との連絡を図り、運営方法等について保護者のニーズに沿った運営を行っています。

(3) 活動指標の推移

子ども教室（放課後児童クラブ）登録人数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
登録人数	90人	68人	58人	53人	52人

2児童措置費196,676,918

決算事項別明細書P47～

児童手当の支給(福祉グループ)

予算事業名：児童手当給付事業費

当初予算額14,479,000円

最終予算額14,479,000円

決算額14,333,696円

子育て支援として、小学校修了前までのお子さんを養育する人に児童手当を支給しました。

(1) 主な支出

児童手当の支払い

1,387万円

電算システム委託料

42万円

(2) 活動指標



区分		手当月額	延児童数	支出額	備考
児童手当	被用者※2	5,000 円	0 人	0 万円	3歳未満の児童を養育している サラリーマンなど厚生年金等加入者
		10,000 円	327 人	327 万円	
		計	327 人	327 万円	
	非被用者※3	5,000 円	0 人	0 万円	3歳未満の児童を養育している 自営業者などの国民年金加入者
		10,000 円	117 人	117 万円	
		計	117 人	117 万円	
特例給付	※1	5,000 円	0 人	0 万円	3歳未満の児童を養育している サラリーマンなど厚生年金等加入者で、一定額以上の所得がある者
		10,000 円	2 人	2 万円	
		計	2 人	2 万円	
小学校修了前特例給付	被用者※4	5,000 円	1,080 人	540 万円	3歳から小6修了前の児童を養育している サラリーマンなど厚生年金等加入者
		10,000 円	152 人	152 万円	
		計	1,232 人	692 万円	
	非被用者※5	5,000 円	348 人	179 万円	3歳から小6修了前の児童を養育している 自営業者などの国民年金加入者
		10,000 円	70 人	70 万円	
		計	418 人	249 万円	

第1子・第2子 5,000円、第3子 10,000円、3歳未満 一律10,000円

・上記区分の負担割合

特例給付	※1	事業主 10/10			
被用者	※2	事業主	国	県	町
		7/10	1/10	1/10	1/10

非被用者※3	被用者※4	非被用者※5	国	県	町
			1/3	1/3	1/3

### (3) 活動指標の推移

・支給額・支給件数の推移

	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	延児童数 (人)	金額 (万円)	延児童数 (人)	金額 (万円)	延児童数 (人)	金額 (万円)
3歳未満						
被用者	2,044	2,044	1,911	1,911	327	327
非被用者	714	714	700	700	117	117
特例給付	24	24	13	13	2	2
※3歳以上						
被用者	7,297	4,116	7,103	3,993	1,232	692
非被用者	2,324	1,328	2,380	1,382	418	249

※平成16年4月から、制度改正により対象範囲が小学校就学前から3年生まで拡大

※平成18年4月から、制度改正により対象範囲が小学校3年生から6年生まで拡大

※平成19年4月から、3歳未満は支給額一律10,000円に拡大

※平成22年4月から子ども手当制度へ

### 子ども手当の支給(福祉グループ)

予算事業名：子ども手当給付事業費

当初予算額 182,242,000 円 最終予算額 182,242,000 円 決算額 180,633,822 円

子育て支援として、中学校修了前までのお子さんを養育する人に子ども手当を支給しました。

#### (1) 主な支出

・子ども手当の支払い 1億8,040 万円

## (2) 活動指標

区分		手当月額	延児童数	支出額	備考
子ども手当	0～3歳未満※1	13,000 円	1,709 人	2,222 万円	3歳未満の児童を養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者
		計	1,709 人	2,222 万円	
	非被用者※2	13,000 円	597 人	776 万円	3歳未満の児童を養育している自営業者などの国民年金加入者
		計	597 人	776 万円	
	3歳以上小学校修了前※3	13,000 円	6,427 人	8,414 万円	3歳から小6修了前の児童を養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者
		計	6,427 人	8,414 万円	
	非被用者※4	13,000 円	2,102 人	2,733 万円	3歳から小6修了前の児童を養育している自営業者などの国民年金加入者
		計	2,102 人	2,733 万円	
	中学校修了前※5	13,000 円	2,997 人	3,896 万円	中学校修了前の児童を養育している者
		計	2,997 人	3,896 万円	

## ・上記区分の負担割合

※1 被用者	事業主	国	県	町
	7/10	1/10	1/10	1/10

※2 非被用者	※3 被用者	※4 非被用者	国	県	町
			1/3	1/3	1/3

※ 児童手当相当額（5千円又は1万円）に占める負担割合。それ以外は全額国庫負担。

※5 中学校修了後 小学校修了後	国
	10/10

## 子ども手当の支給準備(繰越分)(福祉グループ)

予算事業名：子ども手当準備事業費

当初予算額 3,746,000 円 繰越予算額 3,746,000 円 決算額 1,709,400 円

子ども手当制度への移行にともない、手当の支給が行えるようシステム改修を行いました。

## (1) 主な支出

- ・電算システム委託料(子ども手当制度創設対応) 171 万円

## (2) 活動指標

- ・6月の支給に間に合うようシステム改修ができ、スムーズに手当が支給されました。

3 保育園費 170,465,836

決算事項別明細書 P47～

## 保育園の管理運営・保育園の食育・保育の質の向上(子ども教育グループ)

予算事業名：保育園管理費

当初予算額 147,458,000 円 最終予算額 157,724,000 円 決算額 156,360,677 円

仕事などにより昼間家庭で保育できない保護者に代わり、0歳（生後8カ月）から5歳までの乳幼児を預かり保育しました。

## (1) 主な支出

- ・保育にかかる各種材料費 178 万円
- ・光熱水費 431 万円
- ・幼稚園や小学校との交流教育 17 万円
- ・臨時保育士等の賃金 2,186 万円

- ・園児の給食材料費 1,440 万円
- ・保育環境の整備 115 万円
- ・町外への保育の委託 (24人) 1,479 万円
- ・保育士人件費 9,076 万円
- ・保育園での食育 8 万円
- ・ワークショップの実施(体育指導・人権) 53 万円

## (2) 活動指標

### ・主な行事 (園児)

入・卒園式 春・秋の遠足 端午の節句 カレーパーティー(つすみ) プール活動 セタまつり 運動会 やきいも大会 ゆうぎ会 もちつき大会 クリスマス会 演劇教室 おみせやさんごっこ まめまき ひなまつり会 やしょうまひき

### ・その他

保育参観・懇談会 (年2回) 健康診断 歯科保健講話 土曜参観 保健師園訪問 栄養士園訪問 特老慰問 エンゼル交流 幼・保・小連携交流教育 プール参観 交通安全教室 (年2回) 避難訓練 (年12回) 英語講師との交流 体育指導 CAPワークショップ

### ・保育園での食育の推進

回	内 容	わかば保育園	つすみ保育園
1	クッキング クッキーづくり	6月3日 (木) 5歳児28人	6月9日 (水) 5歳児36人
2	紙芝居「うんちの話」	8月23日 (月) 3歳児36人	8月30日 (月) 3歳児19人
3	ペープサート 「何を食べたら元気になれる!？」	10月6日 (水) 4歳児26人	10月19日 (火) 4歳児25人
4	クッキング スープづくり	11月30日 (火) 2歳児8人	11月25日 (木) 2歳児11人

栄養士・保育士が紙芝居・クッキングなどにより、元気な身体づくりに向けた園児教育を実施しました。また、給食の食材の皮むきや畑での野菜づくりなどを通し、食物の大切さを学びました。

### ・保育園の入所児童数

(単位：人)

月	わかば保育園 定員 120人			つすみ保育園 定員120人			町外保育園			合 計		
	3歳 未満	3歳 以上	計	3歳 未満	3歳 以上	計	3歳 未満	3歳 以上	計	3歳 未満	3歳 以上	計
4月	17	89	106	23	78	101	6	9	15	46	176	222
5月	17	89	106	23	79	102	6	9	15	46	177	223
6月	17	91	108	24	79	103	7	12	19	48	182	230
7月	20	90	110	24	78	102	8	12	20	52	180	232
8月	24	89	113	24	78	102	6	12	18	54	179	233
9月	22	90	112	25	79	104	6	13	19	53	182	235
10月	21	90	111	25	79	104	6	13	19	52	182	234
11月	22	90	112	27	79	106	6	14	20	55	183	238
12月	23	90	113	27	79	106	7	14	21	57	183	240
1月	25	90	115	28	80	108	7	13	20	60	183	243
2月	26	90	116	28	80	108	7	14	21	61	184	245
3月	25	90	115	31	80	111	7	14	21	63	184	247
平均	21.6	89.8	111.4	25.8	79.0	104.8	6.6	12.4	19.0	53.9	181.3	235.2

・クラス数及び職員数

① わかば保育園

	クラス数	保育士数	(園児数: 保育士数)
5歳	1	正・臨 (加) 2	30:1
4歳	1	正1	30:1
3歳	2	正・嘱・臨2 (加) 4	20:1
2歳	1	正・嘱・臨 3	6:1
1歳	1	嘱・臨・臨 3	4:1
0歳	1	嘱・臨 2	3:1
計	7	15	
給食員 嘱1・臨2 事務員 臨1 フリー保育士 臨1 園長 正1 長時間 臨4			

② つすみ保育園

	クラス数	保育士数	(園児数: 保育士数)
5歳	2	正・嘱 2	30:1
4歳	1	正1	30:1
3歳	1	正・臨 (加配) 2	20:1
2歳	1	正・嘱・嘱 3	6:1
1歳	1	正・臨・臨 3	4:1
0歳	1	嘱・臨・臨 3	3:1
計	7	14	
給食員 正1・臨2 フリー保育士 臨1 園長 (兼) 長時間 臨4			

子どもたちが家庭で経験することが少なくなった伝統的な行事を取り入れたり、家庭や地域の皆さんとの連携を大切にしたい運営を行いました。また、重点目標として「自然に親しみ豊かな情操を養う」ことを掲げ、園外保育を積極的に行いました。

「食育」では、その日の給食に使う食材を展示し、興味・関心を持たせたり、一品お手伝い（枝豆をもぐ・もろこしの皮をむく）や、きゅうり・なす・ピーマンなど野菜づくりの体験などを通して食物に関心を持つよう取り組みました。また、食事のマナー向上のため、箸の正しい持ち方の指導や保護者向けにその日の献立サンプルを展示しました。

なお、入園の申し込みは随時受け付けし、年間25人の途中入園がありました。現在保育待機児童はいません。

特別保育事業(長時間・障害児・一時的・休日)(子ども教育グループ)

予算事業名：特別保育事業費

当初予算額 15,305,000 円

最終予算額 16,720,000 円

決算額 13,037,662 円

働く保護者の子育てを支援するため、早朝・夕刻の長時間保育を行いました。また、保育園に入園していない乳幼児（生後8カ月以上）で、一時的・断続的に家庭で育児が困難となった場合、エンゼルランドセンターにてお預かりして保育を行いました。なお、仕事や冠婚葬祭等で休日に育児が困難となった場合も、エンゼルランドセンターにて休日保育を行いました。

(1) 主な支出

- ・園児の給食材料費 18 万円
- ・一時的保育にかかる保険料 2 万円
- ・臨時保育士賃金 1,284 万円

(2) 活動指標

・長時間保育

＜延長保育時間 午前7時30分～午後7時＞

(通常保育は、午前8時30分～午後4時30分)

① わかば保育園 (年間平均値) (単位：人)

利用者数	3歳未満	3歳以上	計
月 契 約	6	43	49
日 利 用	4	10	14

② つすみ保育園 (年間平均値) (単位：人)

利用者数	3歳未満	3歳以上	計
月 契 約	13	38	51
日 利 用	5	14	19

・障がい児保育

加配保育士の配置

- ・わかば保育園 3名  
5歳児 1名 3歳児 2名

- ・つすみ保育園 1名  
3歳児 1名

・一時的保育

利用者数（於：エンゼルランドセンター）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3歳未満	11	10	7	10	9	10	13	13	9	9	7	7	115
3歳以上	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
延日数	61.0	67.0	31.0	32.0	23.0	42.0	56.0	50.0	28.0	27.0	23.0	43.0	483.0

・休日保育

利用者数（於：エンゼルランドセンター）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用日数	4	8	4	5	5	6	6	6	5	5	4	4	62
利用延べ人数	11	25	12	20	13	21	31	32	15	23	13	17	233

(3) 活動指標の推移

・長時間保育・一時的保育利用者数の推移

（単位：人）

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
長時間保育 (年間平均値)	月契約	83	83	93	91	100
	日利用	27	31	28	32	33
一時保育（年間利用者数）		78	63	50	105	115

**病後児保育(子ども教育グループ)**

予算事業名：病後児保育事業費

当初予算額 9,356,000 円 最終予算額 1,496,000 円 決算額 658,050 円

保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、子どもの健全な育成を図ることを目的に、子どもが病気の回復期にあるが、まだ集団生活が困難な場合に、病後児保育施設（宅幼老所めぐみ）で一時的に子どもを預かる病後児保育を行いました。（平成20年9月より）

(1) 主な支出

- ・病後児保育委託料 43 万円
- ・施設改修工事に伴う実施設計業務委託料（精算） 23 万円

(2) 活動指標

- ・保育実施日数 4日
- ・延べ利用者数 4人

**保育園の環境整備(子ども教育グループ)**

予算事業名：保育園環境整備事業費

当初予算額 410,000 円 最終予算額 410,000 円 決算額 409,447 円

火災が起きた時に園児が安全に避難できるよう、わかば保育園のゆうぎ室に非常口を新たに設けました。

(1) 主な支出

- ・わかば保育園非常口新設工事 41 万円

(2) 活動指標

- ・非常口の新設により、ゆうぎ室での園児の安全を保つことができます。

4	エンゼルランドセンター事業費	13,322,051	決算事項別明細書	P48～
<b>エンゼルランドセンターの管理運営(子ども教育グループ)</b> 予算事業名：エンゼルランドセンター管理費				
当初予算額		13,902,000 円	最終予算額	14,156,000 円
			決算額	13,322,051 円

就学前の親子がふれあい、交流する場として、さまざまな遊びや催しの企画を行い、保育園・幼稚園の在園児との交流や、子育て相談（ほのぼのカンファレンス）・親子クッキングを通しての食育など、子育てを支援しました。また、地域において「あそびの広場」を開催し、おもちゃ図書館などのボランティア団体と協力して、地域との交流を行いました。

(1) 主な支出

・光熱水費・燃料費	68 万円	・施設の修繕整備	27 万円
・各種講座の講師への謝礼	16 万円	・備品購入費(AED)	25 万円
・保育にかかる各種材料費	60 万円	・役務費	26 万円
・保育士人件費	1,099 万円		
・委託料	6 万円		

(2) 活動指標

・事業の内容

施設利用時間 毎日 午前9時30分～午後4時30分（閉館日：12月29日～翌年1月3日）  
プール開放 7月～8月 午前10時～午後3時  
施設利用料…無料（企画内容により参加費の徴収があります）

あそびの広場 0～2歳児年齢別の企画あそび(各年層月2回) 手作りおもちゃの日(毎月1回)  
おはなしの日(毎月2回) 在園児との交流(年10回) 自然の中で遊ぼう(年2回)

地域で開催する「あそびの広場」 (年4回)

つどい事業 講演会(2回)各種講習会(2回)演劇教室(1回)子育てセミナー(6回)子育てなんでも教室(3回)ママカレッジ(6回)ミニ・コンサート(2回)お父さんと一緒に(5回)  
やきいも大会(1回)折り紙教室・体操ひろば(3回)

相談事業 ほのぼのカンファレンス・ミニ折紙教室(隔月開催年間6回)

情報提供事業 センターだより(毎月1回発行) ワンポイントアドバイス(年間17回)

・エンゼルランドセンター事業における食育

① エンゼルあそびの広場

- ・各年齢に合わせた食事のワンポイントアドバイス・親子クッキング・離乳食作り
- ・各年齢に応じた手作りおやつ提供（調理は食生活改善推進協議会に依頼）

② 子育てセミナー

- ・親子でおやつ作り

③ やしろうま作り講習会

2月28日開催 参加者数25組

・エンゼルランドセンター利用者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	908	913	1,124	1,557	1,651	1,441	1,287	1,068	889	726	880	973	13,417
開設日	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359

※ 登録乳幼児数 2歳児143人、1歳児150人、0歳児163人、合計456人

(3) 活動指標の推移

- ・エンゼルランドセンターの利用状況の推移 (単位：人)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用者数	11,431	11,568	13,126	12,851	13,417
開設延日数	295	294	359	347	359

- ・さまざまな企画を行う中で楽しみに来館し、お母さん同士・子ども同士の関わりが深まっています。また、お互いに誘い合ってセンターに集まるようになり、利用者が増えています。利用料が無料になったため、気軽に登録できるようになりました。
- ・町外在住の登録者が増えています。(年間利用者の1割程度の利用があります)
- ・ほとんどの施設では、おむつをしている乳幼児はプールに入れないため、センターのプールの利用は好評で、大勢の利用者がいます。(延べ利用数2,441人・一日平均36人)
- ・父親が企画に参加しやすいように土・日曜日の企画開催を増やしました。(お父さんと一緒にミニコンサートなど)参加者は年々増加傾向にあります。お母さん方が誘い合って、一緒に参加する姿が見られるようになりました。父親の土・日曜日の利用も増えています。

5	子育て支援費	356,136	決算事項別明細書	P48～
ファミリーサポートセンターの運営(子ども教育グループ) 予算事業名：ファミリーサポートセンター事業費				
当初予算額	242,000 円	最終予算額	242,000 円	決算額 107,136 円

育児と仕事・社会活動等を両立して、子育てがしやすい環境をつくるために、“子育ての手助けをしてほしい人”と“子育ての手助けをしたい人”が会員として登録し、有償で相互に助けあうファミリーサポートセンター(子育ての相互援助活動)を運営しました。

(1) 主な支出

- ・損害保険料 5 万円
- ・活動助成金 1 万円
- ・交流会講師謝金、消耗品ほか 4 万円

(2) 活動指標

- ・18年6月事業開始(平成22年度からエンゼルランドセンターへ事務局移転)
- ・サービス内容 地域住民による子どもの一時預かり、送迎等
- ・対象者 0～概ね12歳までの児童
- ・報酬 500円～700円/h(子どもの年齢、援助実施日時により単価に差あり)
- ・会員数
  - 1 依頼会員(援助依頼者であって0歳から概ね12歳までの児童を現に養育している者)・・・45人
  - 2 提供会員(援助提供者であって原則として自宅において援助を提供できる者)・・・14人
  - 3 両方会員(依頼会員、援助会員ともに該当する人)・・・12人
- ・利用件数 26 件
- ・利用日数 24 日

(3) 活動指標の推移

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
依頼会員	9	26	37	44	45
提供会員	5	11	14	14	14
両方会員	3	11	12	12	12
利用件数	8	8	33	48	26

- ・登録会員交流会 子育て講演会 参加会員6人(総参加者59人)

(エンゼル企画事業  
と併せて実施)

親子運動遊び講習会 参加会員3人 (総参加者59人)  
地域のあそびの広場 参加会員6人 (総参加者39人)

**発達教室、相談事業の運営 (子ども教育グループ)**

予算事業名：発達教室事業費

当初予算額 249,000 円 最終予算額 249,000 円 決算額 249,000 円

年齢や障害のあるなしにかかわらず、子どもたちの発達、成長を専門スタッフ（社会福祉士、音楽療法士、理学療法士）が遊びや運動、音楽を通じてサポートする教室と発達相談などを開催しました。

(1) 主な支出

・事業委託料 25 万円

(2) 活動指標

・発達教室及び相談事業 理学、音楽療法士による「ほっぷ・すきっぷ・じゃんぷ」発達教室と発育、学習、生活支援などの相談を実施  
・対象者 年齢、障害の有無にかかわらず参加を希望する親子等  
・利用状況 発達教室 開催日数：12日 参加親子：延べ172組  
個別支援、相談等 参加親子：延べ27組

(3) 活動指標の推移

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
開催日数	8	12	12	12	12
参加親子（延べ）	139	105	141	81	172
相談件数	—	7	11	37	27
個別支援件数	—	—	16	28	27

3

災害救助費 2,000

1 災害救助費 2,000

決算事項別明細書 P48～

**基金(貯金)利子の積立て(生活環境グループ)**

予算事業名：災害援助費

当初予算額 2,000 円 最終予算額 2,000 円 決算額 2,000 円

非常災害に備え、財政の健全な運営を図るため、基金に利子の積み立てを行いました。

(1) 主な支出

・非常災害積立基金利子積立金 0.2 万円



款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
4			衛生費	261,908,121	
	1		保健衛生費	107,822,895	
		1	保健衛生総務費	43,688,217	決算事項別明細書 P48～
保健福祉委員活動の支援(健康グループ)					予算事業名：保健衛生総務費
当初予算額			880,000 円	最終予算額	880,000 円
				決算額	880,000 円
「自分の健康は自分でつくり守る」を活動テーマに、ウォーキング教室やストレッチ教室など健康づくり講習会などを通じて家庭や地域の健康づくりを推進している保健福祉委員会の活動を支援しました。					
(1) 主な支出					
			・保健福祉委員会への活動補助金	88 万円	
(2) 活動指標					
・保健福祉委員会の活動内容					
成人保健関係各種検診希望の取りまとめ、受診票の配布、結核検診の受付業務					
総会、反省会、役員会、理事連絡員会等開催4回 須高分会、長野支部総会等への出席2回					
ウォーキング、健康講座等の開催					
・主な事業内容					
		事業名		実施場所	参加者数
		妙高ウォーキング研修		妙高高原町	38人
		パワーウォーク研修会（4回）		文化体育館	延120人
		近隣福祉施設視察研修		須坂市・高山村福祉施設	27人
		ストレッチ研修(2回)		健康福祉センター	延80人
		食改との合同健康学習会		健康福祉センター	22人
		保健福祉委員会須高分会研修会		須坂市北部体育館	28人
		心と体のリフレッシュ研修会		山田温泉「平野屋」	57人
地域の健康づくりの担い手として、家庭や地域に対して知識や技術の伝達を図るため、町や関係機関等が行う各種研修会・講習会へ参加するとともに、自ら企画する中で知識や技術等の習得に努められました。					
健診・医療体制の整備など(健康グループ)					予算事業名：保健衛生総務費
当初予算額			5,055,000 円	最終予算額	4,973,000 円
				決算額	3,823,343 円
地域住民が安心して日常生活を送れるよう、休日・夜間等緊急時医療体制の整備や精神保健福祉の充実など、医療・保健衛生環境の向上を推進するため、各関係機関が行う事業に参加しました。					
また、健康づくり事業計画の中間見直しに向け、よりよい健康づくり事業のあり方を探るため、健康づくり推進協議会を開催しました。					
(1) 主な支出					
			・須高地区在宅医療福祉推進協議会負担金	98 万円	
			・須高行政事務組合負担金	96 万円	
			・長野広域連合負担金	7 万円	
			・須高包括医療推進協議会負担金	11 万円	
			・須高精神保健福祉連絡協議会負担金	3 万円	
			・須高食品衛生協会交付金	1 万円	
			・長野精神保健福祉協議会負担金	2 万円	
			・病院群輪番制病院運営事業負担金	15 万円	
			・保健師職能研修会負担金	1 万円	
			・臨時職員・看護師賃金	142 万円	

(2) 活動指標

- ・夜間・休日等におけるの緊急医療体制の確保  
須高休日緊急診療所事業・・・第1次緊急医療（軽症患者の初期診療）体制を整備  
病院群輪番制病院運営事業・・・第2次緊急医療（手術・入院治療を必要）体制を整備
- ・地域医療の向上  
包括医療協議会・・・医師、歯科医師、薬剤師による健康管理体制を整備  
学校保健事業、健康教育等の充実

(3) 活動指標の推移

- ・須高休日緊急診療所

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
開所日数	71日	72日	72日	72日	71日
受診者数	4,090人	4,029人	3,653人	3,804人	3,549人
内休日診療室分	2,046人	2,182人	1,966人	2,031人	1,887人
内小布施分	237人	297人	193人	104人	102人

※ 休日の診療機関として運営を行っています。平成18年度からは県立須坂病院にも参加をいただき、2次救急及び外科救急への体制も整えています。

- ・病院群輪番制病院運営事業（小布施町利用者数）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
長野赤十字病院	21人 259日	34人 261日	26人 260日	26人 260日	14人 259日
篠ノ井総合病院	6人 87日	1人 87日	1人 87日	0人 87日	0人 87日
松代病院	0人 45日	0人 45日	1人 45日	0人 45日	0人 45日
千曲中央病院		0人 45日	0人 45日	0人 45日	0人 45日
総受診者数	11,110人	10,693人	9,879人	9,461人	9,790人

町民の皆さんが夜間や休日などに、緊急医療が必要となったときに、適切な医療が受けられるよう、広域による緊急医療受診体制を行う広域連合等へ加入しています。

**保健センターの維持管理(健康グループ)**

予算事業名：保健センター管理費

当初予算額	420,000 円	最終予算額	420,000 円	決算額	302,064 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

乳幼児健診をはじめ、各種ガン検診、健康相談事業など、町民の皆さんの健康管理の拠点として保健センターを運営しました。

(1) 主な支出

- ・火災保険料 2 万円
- ・自動ドア保守点検 6 万円
- ・加湿空気清浄機：5台、掃除機2台 20 万円

(2) 活動指標（保健センター利用事業）

- ・母子保健事業  
両親学級 3・4カ月児健診 10・11カ月児健診 1歳6カ月児健診  
すくすく教室 3歳児健康診査 子育て教室（6・7カ月児） 子育て教室（2歳児）  
すこやか相談 乳幼児相談
- ・成人保健事業  
胸部レントゲン（結核予防） 骨健診（骨粗鬆症予防） 胃検診 大腸がん検診  
乳房検診（視触診） 子宮がん検診 肺がん検診 定期健康相談

健康と交流による新たなまちづくり(健康グループ)

予算事業名：健康と交流事業費

当初予算額3,690,000円最終予算額5,032,000円決算額4,885,790円

ウォーキングによる健康づくりを推進するため、パワーウォーキング講習会を開催するとともに、“健康・保養・観光”を一体的に取り組んでいる先進地ドイツを視察しました。

(1) 主な支出

・ドイツ視察研修負担金(12名分)

202万円

・ドイツ研修視察(職員3名分)

168万円

・ドイツ研修視察随行业務委託料

65万円

・パワーウォーク講習会講師謝礼(5回分)

43万円

(2) 活動指標

・パワーウォーク講習会開催(5回参加者401名)

・ドイツ視察研修

期間：9/23～10/2(10日間)

視察先：

・バードエーンハウゼン

ボーフム大学付属ノルトライン・ヴェストファーレン州立「心臓糖尿病センター」

と

センターを中心にした関連施設によるまちづくりの実態

・バードザルツィンゲン

毎年パワーウォーキング大会が開催され、主催のブンパルツ協会代表者と意見交換

・エアフルト市

イエナ大学医学部健康管理マネージメント室長でもあるハートヴィッヒ・ガウダー氏

と交流、市の関係者と意見交換

ほか

新型インフルエンザ対策(健康グループ)

予算事業名：新型インフルエンザ対策事業費

当初予算額8,715,000円最終予算額8,715,000円決算額3,709,032円

インフルエンザの感染拡大と重症化予防を目的に、町民税非課税世帯と中学生以下の者のインフルエンザワクチン接種並びに高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に対する助成を実施しました。

(1) 主な支出

・新型インフルエンザワクチン接種費補助

320万円

・高齢者肺炎球菌ワクチン接種費補助

9万円

・手指消毒薬等購入

24万円

(2) 活動指標

各種ワクチン接種者数(延人数)

ワクチン名	インフルエンザワクチン	肺炎球菌ワクチン
接種者数	1,596人	41人

地域医療体制の整備(健康グループ)

予算事業名：中核的医療施設整備事業費

当初予算額21,000,000円最終予算額21,000,000円決算額20,252,000円

療養環境の充実を図り、地域住民に質の高い医療や健診を供給するため、公益性の高い医療機関が行う医療設備等更新事業に対し助成を行いました。また、医師確保に係る広告費に対し助成を行いました。

(1) 主な支出

・中核的医療施設整備事業補助金

2,000万円

・医師確保対策補助

25万円

## (2) 活動指標

導入システム名	事業費	補助額
院内給食システム	368万円	
検体検査システム	1,870万円	
病院総合情報システム	1億2,690万円	
計	1億4,928万円	2,000万円

**ひきこもり対策事業(健康グループ)**

予算事業名：青少年引きこもり対策推進事業費

当初予算額 4,345,000 円 最終予算額 4,345,000 円 決算額 1,691,806 円

16歳から30歳までの青少年で引きこもっている人を社会復帰できるように、本人や家族の相談・支援を行うため、相談所を町民ギャラリー2階に開設しました。  
また、開設にあたり、ひきこもり対策講演会を開催しました。

## (1) 主な支出

・ハウスクリーニング	23 万円
・相談所女子トイレ修繕	34 万円
・パソコン、プリンタ、テーブルセット等の備品	76 万円

## (2) 活動指標

- ・8月相談所開設  
相談日：毎週月・水曜日 相談時間：午前10時～午後4時  
相談件数：電話相談0人、来所相談5人（町内2人、町外3人）
- ・ひきこもり対策講演会  
開催日：4月28日 場所：公民館3階講堂 参加者数：47人

**職員人件費**

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 8,324,000 円 最終予算額 8,406,000 円 決算額 8,144,182 円

## (1) 主な支出

- ・職員人件費 814 万円

2	予防費	47,972,115	決算事項別明細書 P49～
---	-----	------------	---------------

**母子健康手帳の交付など(健康グループ)**

予算事業名：母子健康手帳交付費

当初予算額 76,000 円 最終予算額 76,000 円 決算額 32,571 円

お母さんと赤ちゃんの健康を守るため、妊娠から出産に係る健康記録や、乳幼児期の成長、健康診断・各種予防接種受診等の記録として、妊娠届け提出時に母子手帳を交付しました。

## (1) 主な支出

・母子手帳カバー	1 万円
・マタニティキーホルダー、ステッカー	2 万円

## (2) 活動指標

- ・母子手帳交付対象者 81 人

**お母さんと子どもの健康診査(健康グループ)**

予算事業名：妊婦・乳児一般健康診査費

当初予算額 9,824,000 円 最終予算額 10,008,000 円 決算額 8,865,435 円

安心して子どもを産み育てる環境づくりとして、妊娠健康診査の補助を14回、乳児に対する健康診査の補助を1回行いました。

## (1) 主な支出

・妊婦、乳児健康診査委託料	879 万円
・妊婦、乳児健康診査事務委託料	7 万円

## (2) 活動指標の推移

検 診 等 名	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
妊婦一般健康診査 延受診者数 (人)	162	169	407	1,346	1,701

検 診 等 名	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
乳児一般健康診査 延受診者数 (人)	52	43	63	46	62

**乳幼児健康診査の実施(健康グループ)**

予算事業名：乳幼児健康診査費

当初予算額 1,422,000 円 最終予算額 1,422,000 円 決算額 1,035,093 円

乳幼児を対象に、疾病・障害等の早期発見、早期対応を図り健全育成を支援するため各種健康診査を行いました。

## (1) 主な支出

- ・ 医師、歯科医師、看護師等賃金 90 万円
- ・ 食材等各種材料 14 万円

## (2) 活動指標

事 業 名	検 診 等 名	実施回数	場 所
健康診査	3・4か月児健康診査	6	保健センター
	9・10か月児健康診査	6	保健センター
	1歳6か月児健康診査	5	保健センター
	3歳児健康診査	4	保健センター

## (3) 活動指標の推移

- ・ 健康診査の指導内容

発育、発達、口腔衛生、離乳食指導、内科診察結果についての説明や受診に関すること。

健 診 等 名	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	延受診者数 (人)	受診率 (%)	延受診者数 (人)	受診率 (%)	延受診者数 (人)	受診率 (%)	延受診者数 (人)	受診率 (%)	延受診者数 (人)	受診率 (%)
3・4か月児健康診査	83	95.4	85	95.5	74	95.3	78	95.1	85	97.7
9・10か月児健康診査	79	91.9	98	94.2	74	85.1	67	91.8	78	91.8
1歳6か月児健康診査	76	90.5	87	91.6	72	87.0	75	87.2	66	86.8
3歳児健康診査	83	82.2	95	85.0	67	81.0	67	83.0	75	83.3

**両親学級の開催(健康グループ)**

予算事業名：両親学級事業費

当初予算額 126,000 円 最終予算額 126,000 円 決算額 39,325 円

妊婦さんとその家族を対象に、妊娠・出産・育児についての学習や沐浴体験などを通じた参加者同士の交流機会提供の場として開催しました。

## (1) 主な支出

- ・ 相談事業講師謝礼 3 万円
- ・ 栄養指導用食材費 1 万円

## (2) 活動指標

参加者数 21人

妊婦さん・赤ちゃん訪問(健康グループ)				予算事業名：妊婦・乳幼児訪問事業費			
当初予算額	75,000 円	最終予算額	75,000 円	決算額	0 円		
母子ともに健やかな出産と発育を図るため、妊娠期及び出産後における家庭訪問を行いました。実施に当たっては、職員（保健師）により行いました。							
(1) 主な支出							
・ なし							
(2) 活動指標							
赤ちゃん訪問数		58 人					

子育て教室の開催(健康グループ)				予算事業名：子育て教室事業費						
当初予算額	449,000 円	最終予算額	449,000 円	決算額	227,089 円					
子育て中の保護者を対象に各種教室を開催し、発育・育児相談、栄養相談、歯科相談等を行いました。										
(1) 主な支出										
・ 看護師、保健師等賃金		21 万円								
・ 啓発用資料等		1 万円								
(2) 活動指標										
事業名	検診等名		実施回数	場 所						
子育て教室	こっこ塾（6・7か月児）		6	保健センター						
	ばーすでい塾（1歳児）		6	保健センター						
	げんきっこ塾（2歳児）		5	保健センター						
(3) 活動指標の推移										
教室等名	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)
こっこ塾	88	90.7	85	95.5	73	86.0	62	92.5	75	88.2
げんきっこ塾	82	76.6	66	80.5	53	77.0	58	70.0	56	67.5

乳幼児相談事業の実施(健康グループ)				予算事業名：乳幼児相談事業費			
当初予算額	56,000 円	最終予算額	56,000 円	決算額	44,444 円		
毎月1回、乳幼児健康相談を開催し各種相談を行ったほか、言語聴覚士による言語相談を行いました。							
(1) 主な支出							
・ 相談員謝礼		4 万円					
(2) 活動指標							
・ 乳幼児健康相談		年12回	参加者延人数：361人				
・ 言語相談利用者延人数		18人					

不妊治療に対する補助(健康グループ)				予算事業名：不妊治療支援事業費			
当初予算額	300,000 円	最終予算額	300,000 円	決算額	115,400 円		
少子化対策として、妊娠を望んでいる夫婦に経済的な負担の軽減を図り、適切な医療が受けられることを目的として、不妊治療を受けている夫婦の治療費について一部を助成しました。							
(1) 主な支出							
・ 不妊治療費補助金		12 万円					

- (2) 活動指標  
・助成実施 2件

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
補助件数	4件	3件	2件	3件	2件
補助額	27万円	17万円	2万円	18万円	12万円

<b>健康づくりの啓発・訪問相談事業(健康グループ)</b>			予算事業名：健康づくり啓発・訪問相談事業費		
当初予算額	460,000 円	最終予算額	460,000 円	決算額	304,257 円

健康診査の結果に基づき、家庭訪問等による個別相談など、きめ細かな支援を行いました。また、町民の皆さんの健康への意識啓発を図るため、各種事業を実施しました。

- (1) 主な支出  
・各種健康づくり資料、発送用封筒印刷 26 万円  
・関係資料購入 4 万円

(2) 活動指標

- ・健康教室の実施

教室等名	実施回数	場 所	参加者数	内容など
MAm a カレッジ	6回	エンゼルランドセンター	延べ65人	健診結果についての学習、リラクゼーションと運動、調理実習等
血液サラサラ教室 卒業生のつどい	11回	保健センター他	延べ69人	ウォーキング、ダンベル体操、ストレッチ、水中運動、調理実習等
地域学習会	各回	各公会堂他	438人	婦人会(上町15人)、小布施荘(30人)、生活クラブ(30人)、健診結果学習会ほか

- ・健康相談、家庭訪問の実施

定期健康相談	各12回	保健センター	79人	血圧測定、体脂肪測定、療養生活相談、健康づくり相談
乳幼児健康相談			361人	育児相談等
随時健康相談	随時	庁舎他	902人	電話相談、訪問、ケース検討その他

(3) 活動指標の推移

- ・定期健康相談者、乳幼児健康相談数の推移 (単位：人)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
定期健康相談	10	43	36	55	79
乳幼児健康相談	206	191	237	232	361

<b>小児生活習慣病予防教室(健康グループ)</b>			予算事業名：健康づくり啓発・訪問相談事業費		
当初予算額	10,000 円	最終予算額	10,000 円	決算額	2,711 円

小学校4年生と中学校1年生を対象に生活習慣病予防健診を行い、体と生活習慣の関係について学ぶとともに、自身の生活習慣を見直し考えるための教室を実施しました。

- (1) 主な支出  
・なし

(2) 活動指標

- ・生活習慣病予防教室

	実施日	対象学年
栗ガ丘小学校	平成22年7月1日	4年生
小布施中学校	平成22年7月16日	1年生

#### 保育園・幼稚園訪問（健康グループ）

予算事業名：健康づくり啓発・訪問相談事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

保健師と管理栄養士が、各保育園や幼稚園へ訪問し、園児の健康状態の把握や必要な支援を行いました。

##### (1) 主な支出

- ・なし

##### (2) 活動指標

わかば・つすみ保育園 各3回 栗ガ丘幼稚園 3回

#### 基本健康診査(町民健診)の実施(健康グループ)

予算事業名：基本健康診査事業費

当初予算額 2,729,000 円 最終予算額 2,957,000 円 決算額 2,956,494 円

特定健康診査の実施に伴い、特定健診の対象外となった年齢層の皆さん（18歳～39歳）を対象に町民健診を実施し、健康の維持、病気の早期発見に努めました。

##### (1) 主な支出

- ・健診委託料 97 万円
- ・健康管理電算委託料 65 万円
- ・町民健診受診券作成委託 17 万円
- ・健康管理システム使用料 91 万円

##### (2) 活動指標

- ・町民健康診査

種 類	実施期間	委託先
町民健診	平成22年6月1日～10月31日	須高医師会（29医療機関）
J Aヘルス	平成22年11月4日、12月1日	北信総合病院

#### 二十歳の健診(健康グループ)

予算事業名：基本健康診査事業費

当初予算額 81,000 円 最終予算額 81,000 円 決算額 16,232 円

二十歳を機に、健康診査やがん検診を定期的に受診していただき、健康づくりへの意識高揚を図るため、無料で健康診査を実施しました。

##### (1) 主な支出

- ・町民健康診査の委託料 2 万円

##### (2) 活動指標

- ・受診者数 2人

#### 各種がん検診の実施(健康グループ)

予算事業名：がん検診等事業費

当初予算額 16,901,000 円 最終予算額 18,001,000 円 決算額 15,974,884 円

町民健診や特定健診（国保事業）にあわせ、各種ガン健診を実施し、早期発見に努めました。また、新たに女性特有のがん検診事業を実施し、早期発見できる環境を整備しました。

##### (1) 主な支出

- ・看護師、保健師等賃金 7 万円
- ・結核検診委託料 85 万円
- ・肺がん健診委託料 413 万円



・胃検診委託料	186 万円
・子宮がん健診委託料	223 万円
・子宮がん健診（女性特有のがん検診事業委託料）	42 万円
・乳房検診委託料	93 万円
・骨健診委託料	36 万円
・大腸がん検診委託料	91 万円
・マンモグラフィ検査委託料	96 万円
・マンモグラフィ（女性特有のがん検診事業委託料）	62 万円
・肝炎検査委託料	19 万円
・前立腺がん検診委託料	29 万円

(2) 活動指標

・結核予防

胸部レントゲン	種別	実施日数	説明
	間接撮影	4日間	16会場で実施
	直接撮影	1日間	保健センター

・健康診査

種 類	実施期間	委託先
町民健診	平成22年6月1日～10月31日	須高医師会（29医療機関）
J Aヘルス	平成22年11月4日、12月1日	北信総合病院

・人間ドック

種 類	対 象	補助金単価 (万円)
半日・1日ドック	一 般	1.5
	節目（一般）	3.0
1泊2日ドック	一 般	2.5
	節目（一般）	4.0

※ 節目は40歳・50歳

・骨健診

委託先／長野県健康づくり事業団      実施日数／2日間（6月、7月実施）

・がん検診

（単位：人）

種 類	項 目	平成22年度	実施日数	委託先等
胃 検 診	受診者数	458	10日間	委託先 長野県健康 づくり事業団  新生病院 (大腸がん)  会 場 保健センター
	がん発見数	1		
大腸がん検診	受診者数	810	10日間	
	がん発見数	1		
乳房検診	受診者数	305	3日間	
	がん発見数	2		
子宮がん検診 (集 団)	受診者数	232	4日間	
	がん発見数	1		
肺がん検診	受診者数	708	12日間	
	がん発見数	5		
乳房検診 (マンモグラ フィ)	受診者数	403	10日間 6ヶ月間	
	がん発見数	1		

子宮がん検診 (施 設)	受診者数	260	2カ月間 6ヶ月間	須高医師会・ 県医師会
	がん発見数	2		
J Aがん セット検診	胃	68	2日間	北信総合病院
	大 腸	92		
	肺	76		
	乳 房	17		
	子 宮	35		

- ・ 前立腺がん  
町民健診、J Aヘルス、高齢者検診にて実施
- ・ 肝炎検査  
町民健診、J Aヘルス、高齢者健診で過去に調べたことのない人で希望者に対し実施

(3) 活動指標の推移

【各検診等受診推移】

- ・ 結核予防 (単位：人)

種別	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
間接撮影	1,105	827	827	832	732
直接撮影	184	140	140	145	110

- ・ 基本健診 (単位：人)

項 目		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
特定健診	希望者数	—	—	1,330.0	1,476	1,486
	受診者数	—	—	884.0	1,134	1,378
	受 診 率 (%)	—	—	66.5	76.8	92.7
	異常あり	—	—	295.0	381	有所見 者延べ 数：4,274
町民健診	希望者数	2,541	1,518	1,434	413	336
	受診者数	1,757	690	701	113	130
	受 診 率 (%)	69.1	45.5	48.9	27.4	38.7
	異常あり	1,408	135	290	14	有所見 者延べ 数：104
高齢者健診	希望者数	—	—	—	416	378
	受診者数	—	—	—	318	272
	受 診 率 (%)	—	—	—	76.4	72.0
	異常あり	—	—	—	115	有所見 延べ 数：92
J Aヘルス	希望者数	273	142	148	26	24
	受診者数	185	120	123	13	14
	受 診 率 (%)	67.8	84.5	83.1	50.0	58.3
	異常あり	117	71	33	4	39歳以下のみ ：0

総合健診	希望者数	72	53			
	受診者数	42	28			
	受診率 (%)	58.3	52.8			
	異常あり	41	-			

※特定健診の異常あり者の有所見は、腹囲、BMI、脂質、血糖、血圧、尿酸、腎機能、心電図、眼底の数値が高値の者の延べ数

・人間ドック (単位：人)

種類	対 象	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
半・1日泊2日	一 般	30	42	159	173	186
	節目 (一般)	2	9	5	7	3
泊2日	一 般	11	12	30	27	24
	節目 (一般)	0	0	0	2	0

※ ドックに係る助成経費は国民健康保険特別会計で支出

※参考 特定健診受診結果による「特定保健指導対象者」数

総受診者：1,022人 積極的支援：28人 動機付支援：92人 情報提供者：902人

・骨健診 (単位：人)

種別	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
受診者数	203	281	290	223	243
要フォロー	45	13	23	17	37

・がん検診 (単位：人)

種類	項 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
胃	受診者数	586	614	540	604	458
	がん発見数	1	0	0	0	1
大腸	受診者数	780	817	792	954	810
	がん発見数	1	0	0	3	2
肺	受診者数	530	507	631	706	708
	がん発見数	0	2	0	1	5
乳房	視触					
	受診者数	339	286	337	229	305
	がん発見数	0	0	1	0	1
	マンモ					
	受診者数	163	211	189	244	324
	がん発見数	0	0	0	1	1
子宮(集団)	集団					
	受診者数	183	195	235	229	232
	がん発見数	0	0	0	0	1
	施設					
	受診者数	124	139	150	156	260
	がん発見数	0	0	0	0	2
セッタがん検診	胃	86	93	85	63	68
	大 腸	107	119	116	97	92
	肺	91	108	88	77	76
	乳 房	29	48	25	35	17
	子 宮	124	41	41	43	35

・前立腺がん (単位：人)

種別	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
受診者数	268	220	182	187	208

・肝炎検査 (単位：人)

種別	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
受診者数	66	314	150	83	100

## 二十歳の婦人科検診(健康グループ)

予算事業名：がん検診等事業費

当初予算額 185,000 円 最終予算額 185,000 円 決算額 32,230 円

二十歳を機に、健康診査やがん検診を定期的に受診していただき、健康づくりへの意識高揚を図るため、無料で健康診査を実施しました。

### (1) 主な支出

・婦人科検診の委託料 3 万円

### (2) 活動指標

・受診者数 5人

## 高齢者健診の実施(健康グループ)

予算事業名：後期高齢者健診事業費

当初予算額 2,230,000 円 最終予算額 2,230,000 円 決算額 1,454,694 円

特定健康診査の実施に伴い、後期高齢者医療広域連合が行う75歳以上の人を対象にした健康診査について、町特定健診と同時に実施しました。実施にあたっては、受診者の利用の便を考慮して、地域の公会堂やコミュニティセンターを会場に行いました。

合わせて人間ドック受診希望者（75歳以上）に対し費用補助を行い、受診しやすい環境づくりを図りました。

### (1) 主な支出

・健診委託料 108 万円  
・ドック費用補助 28 万円

### (2) 活動指標

・受診者数 (単位：人)

期日	会場	人数	期日	会場	人数	期日	会場	人数
7月8日	北岡公会堂	18	7月28日	健康福祉センター	23	8月5日	福原コミュニティ	15
7月9日	押羽公会堂	22	7月29日	健康福祉センター	29	8月6日	東部コミュニティセンター	28
7月12日	大島公会堂	12	7月30日	健康福祉センター	21	8月11日	矢島公民館	23
7月13日	山王島公会堂	17	7月30日	夜間健診	5	8月12日	健康福祉センター	20
7月14日	六川公会堂	17	8月4日	保健センター	22			
						合計	14会場	272人

### (3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
受診者数	1,127人	968人	683人	610人	538人

人間ドック受診者数 37人 (日帰り 28人 1泊2日 9人)

### (4) 成果指標

・生活機能評価による特定高齢者の把握者数 81人  
※特定高齢者：介護予防による転倒予防教室、訪問指導等の対象者

# 子どもと高齢者の予防接種(健康グループ)

予算事業名：予防接種事業費

当初予算額 11,916,000 円

最終予算額 18,971,000 円

決算額 16,162,095 円

子どもや高齢者の疾病や感染症予防のため、予防接種を行いました。平成22年度から任意接種による小児、中高生に対するヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチンの接種費用の全額補助を行いました。

## (1) 主な支出

・医師、看護師賃金	59 万円
・ワクチン代等	112 万円
・説明書等印刷代他	9 万円
・予防接種業務委託料	1,433 万円

## (2) 活動指標

種 別	接種の種類	回 数	会 場
ポ リ オ	集 団	4	保健センター
三種混合	個 別	通年	医療機関委託
二種混合	集 団	2	小 学 校
麻しん風しん混合(乳幼児)	個 別	通年	医療機関委託
麻しん風しん混合(中学生)	集 団	1	中 学 校
麻しん風しん混合(高校生)	個 別	通年	医療機関委託
日本脳炎(幼児)	個 別	-	医療機関委託
B C G接種	集 団	6	保健センター
インフルエンザ	個 別	10～12月	医療機関委託

## (3) 活動指標の推移

(単位：人)

種 別		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
ポリオ		172	214	157	150	192
三混		373	331	346	315	352
二混		123	120	123	102	109
麻・風疹	麻しん	164 (混合)	204 (混合)	混：367 麻：2 風：1	混：397 麻：2 風：0	混：367
	風しん					
日本 脳炎	幼児	-	-	-	-	224
	小学生	中止	中止	中止	中止	中止
	中学生	廃止				
B C G接種 (乳児)		84	86	76	77	87
インフ ルエン ザ	60～64歳	2	-	2	2	-
	65歳以上	1,493	1,658	1,788	1,596	1,788
ヒブワクチン						286
小児肺炎球菌 ワクチン						291
子宮頸がん予防 ワクチン						123

食生活改善の支援(健康グループ)				予算事業名：食育推進事業費	
当初予算額	38,000 円	最終予算額	38,000 円	決算額	37,800 円
乳幼児から高齢者までより良い食生活を送るため、栄養価計算システムを利用し、献立の栄養価計算を基に個別の栄養計算による支援を行いました。また、保育園の給食管理等にも役立てています。					
(1) 主な支出					
・システム保守 3 万円					
(2) 活動指標					
・食生活改善事業での実習献立等の栄養価計算 通年					
・保育園給食の栄養価計算 通年					

チャレンジクッキング(健康グループ)				予算事業名：食育推進事業費	
当初予算額	700,000 円	最終予算額	700,000 円	決算額	593,846 円
『食育』とは何かを原点に戻って再確認し、子どもたちにとって本当に大切なことは何か、そのために大人ができることは何かをともに考える機会とするため、食育の第一人者を講師に迎え講演会と子どもを対象にした体験型料理教室「キッズキッチン」を開催しました。体験することで変わる子どもの姿に、参加者の保護者及びスタッフも体験型食育の有効性を確認できました。					
(1) 主な支出					
・講師謝礼 47 万円					
・調理用食材 3 万円					
・子ども用調理器具 9 万円					
(2) 活動指標					
・実施状況					
① 食育講演会					
開催日時	7月3日(土)	午前10時から正午			
場所	北斎ホール				
講師	食育料理研究家 坂本廣子 先生				
演題	生きる力を育てよう ～未来につながる食育のすすめ～				
参加者数	50人				
② キッズキッチン					
開催日時	7月4日(日)	午前10時から12時30分			
場所	栗ガ丘小学校 家庭科室				
講師	食育料理研究家 坂本廣子 先生				
実習メニュー	「子どもがつくるほんものごはん」				
参加者数	小学1年生から3年生親子(大人は見学のみ) 25人				

食生活改善推進協議会の活動支援(健康グループ)				予算事業名：食育推進事業費	
当初予算額	95,000 円	最終予算額	95,000 円	決算額	77,515 円
食による健康づくりを目指し、調理実習や講習会などの学習活動により、自らの食生活の見直しを行うとともに、学習の成果を地域に広めるための活動をしている食生活改善推進協議会に対し支援を行いました。					
(1) 主な支出					
・推進協議会活動補助金 2 万円					
・調理実習材料費 5 万円					

## (2) 活動指標

## ・講習会 (会場はいずれも保健センター)

期日	内 容	参加者
4月19日	実 習 みそづくり	18人
6月24日	学習会 糖尿病って①	16人
	実 習 バランス食～基本の酢の物の味～	
8月 4日	学習会 糖尿病って②	13人
	実 習 バランス食～基本の和え物煮物編～	
9月16日	学習会 糖尿病って③	20人
	実 習 バランス食～基本の和え物煮物編②～	
11月 9日	学習会 乳製品を上手に取り入れるために	12人
	実 習 乳製品を使った料理	
12月3日	学習会 お餅やめん類の適量は？	19人
	実 習 お正月料理	
2月17日	学習会 塩の仕事と塩分量の目安の付け方	18人
	実 習 やしょうま作り	

## ・出前講座

期日	場 所	内 容	参加者
1月25日	保健センター	実習「やしょうま作り」	女性団体連絡協議会15人

## ・健康増進重点プロジェクト事業 (支部委託事業)

期日	場 所	内 容	参加者
12月17日 1月20日	健康福祉センター	糖尿病の学習とバランス食の実習 ストレッチ体操とバランス食の試食	21人 36人

## ・町及び関係団体事業等への参加

期日	事 業 名	内 容	参加者
通年	エンゼルランドセンター事業	エンゼル遊びの広場	延べ20人
10月17日	千年樹の里まつり	模擬店出展	15人

会員の学習の機会を増やし、自身の健康について考え、実践できるための活動を行いました。支部の委託事業として保健福祉委員会を対象に糖尿病の学習会を行い、学んだことを地域に広げていく活動につながりました。

3	保健師設置費	16,162,563	決算事項別明細書 P49～
職員人件費		予算事業名：一般職人件費	
当初予算額	16,953,000 円	最終予算額	16,789,000 円
		決算額	16,162,563 円

## (1) 主な支出

- ・職員人件費 1,616 万円

2	環境保全費	154,085,226	決算事項別明細書 P50～
1	環境保全総務費	19,511,593	
生活環境保全(生活環境グループ)			予算事業名：環境総務費
当初予算額	1,356,000 円	最終予算額	5,604,000 円
		決算額	4,952,886 円
<p>住民の皆さんにとって住みよい生活環境を創るため、信州大学工学部に依頼しCO2削減のための代替エネルギーとして期待できる太陽・風力・水力・バイオマスのクリーンエネルギー賦存量調査を行いました。今後は、調査結果に基づきクリーンエネルギーの利活用について検討し、環境施策体系を策定していきます。</p>			
(1) 主な支出			
・事務用品		17 万円	
・環境調査委託料		250 万円	
・「小布施町における新エネルギーに関する報告書」印刷代		37 万円	
・信濃川を守る協議会負担金		0.3 万円	
・エコドライブ講習会参加負担金		0.6 万円	
(2) 活動指標			
・河川一斉パトロール	2回実施	(5月13日、10月28日)	
・エコドライブ講習会	(10月8日、2名)		
公衆トイレの管理(生活環境グループ)			予算事業名：公衆トイレ管理費
当初予算額	1,097,000 円	最終予算額	1,097,000 円
		決算額	907,604 円
<p>駅を利用する町民の皆さんや、町を訪れた人が気持ちよく使用できるよう、トイレの清掃・管理を行いました。</p>			
(1) 主な支出			
・公衆トイレ(駅前、皇大神社)清掃委託料		50 万円	
・公衆トイレ光熱水費、修繕費等		40 万円	
(2) 活動指標			
・駅前公衆トイレの清掃	毎日	(勤務時間1時間)	
・皇大神社公衆トイレの清掃	週2回	(勤務時間1時間)	
環境美化委員会活動(生活環境グループ)			予算事業名：環境美化委員会活動費
当初予算額	384,000 円	最終予算額	403,000 円
		決算額	402,309 円
<p>地域での環境美化活動の推進リーダーとしての指導助言及びゴミステーションの管理運営・分別指導にあたってくださいました。</p>			
(1) 主な支出			
・衛生組合活動交付金		35 万円	
内 訳 均 等 割 (@1,900円×28自治会)		5 万円	
戸 数 割 (@85円×3,505世帯)		30 万円	
・その他の経費		5 万円	
(2) 活動指標			
・環境美化協議会議	3回開催	(平成22年2月9日、平成22年4月12日、平成22年12月17日)	
・収集所の立会い、分別に関する指導、視察研修会等の実施			
・資源物の日曜回収における分別指導の実施	年12回実施		
<p>収集ステーションの維持管理、各自治会の資源分別の徹底が図られました。</p>			



**環境美化運動の日(生活環境グループ)**

予算事業名：環境美化運動の日事業費

当初予算額 509,000 円 最終予算額 509,000 円 決算額 349,463 円

自分たちの住む地域を自らきれいにするため「環境美化運動・よろずぶしんの日」として春と秋の年2回町民総参加により実施しました。

## (1) 主な支出

- ・ごみ袋の購入、アメシロ防除経費など 35 万円

## (2) 活動指標

- ・環境美化運動の日(5月30日 参加者数2,015人、10月17日 参加者数2,267人)  
5月30日 空缶2,650個、ビン116本、埋立3,930kg、可燃ごみ985kg  
10月17日 空缶2,050個、ビン47本、埋立4,380kg、可燃ごみ970kg

## (3) 活動指標の推移

- ・環境美化運動、よろずぶしんの日 ごみ等の回収状況の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
空き缶(個)	3,100	4,090	3,367	3,073	4,700
ビン(本)	251	280	416	215	163
埋め立て(kg)	7,065	6,255	6,554	7,715	8,310
可燃ごみ(kg)	2,860	2,135	1,159	1,352	1,955
参加者数(人)	4,863	4,704	3,482	4,262	4,282

- ・平成14年度から、年2回(春・秋)の環境美化運動を実施
- ・平成16年度から新たに「よろずぶしんの日」として実施  
庭や畑から道路に張り出した植木の枝切り、側溝、カーブミラーの掃除等も合わせて実施をお願いし、多くの町民の皆様に参加していただいています。

**不法投棄の防止(生活環境グループ)**

予算事業名：不法投棄防止活動費

当初予算額 663,000 円 最終予算額 663,000 円 決算額 560,829 円

不法投棄防止指導員が区域内を定期的に清掃、パトロールを実施し、不法投棄を未然に防ぐとともに、町報・同報無線によりマナーの向上を呼びかけました。

悪質な不法投棄は、なかなか撲滅することができず、平成22年1月には大量の家電が不法投棄される事件も発生しています。

## (1) 主な支出

- ・不法投棄防止指導員報酬 43 万円
- ・不法投棄廃棄物処理委託料 3 万円
- ・不法投棄廃棄物処理手数料 10 万円

## (2) 活動指標

- ・粗大ごみの回収 2回実施 (5月31日～6日、10月18日～24日)
- ・有害ごみの回収 2回実施 (5月9日生活支援ハウス駐車場、11月14日同左)
- ・毎月第4日曜日に地区内巡回パトロール 12回実施
- ・不法投棄物の回収 不法投棄防止指導員の協力により随時

## (3) 成果指標

- ・不法投棄の発見・通報件数 (単位：件)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
97	29	21	29	59

- ・放置車輛の撤去件数 (単位：件)

勧告、警告	自主撤去	町撤去
0	0	0

生活灯の設置(生活環境グループ)

予算事業名：生活灯管理費

当初予算額1,285,000 円

最終予算額1,285,000 円

決算額1,107,161 円

住環境の向上を図るため、自治会等からの要望により通学路、生活道路を優先に生活灯の設置・修繕を行いました。

(1) 主な支出

生活灯修繕料64 万円

生活灯新設工事費42 万円

町管理生活灯電気料4 万円

(2) 活動指標

新設12箇所、修繕等36箇所

合計48 箇所

(3) 活動指標の推移

新設、修繕工事総数の推移(単位：基)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
20	23	33	64	48

犬猫の管理(生活環境グループ)

予算事業名：狂犬病予防対策費

当初予算額388,000 円

最終予算額388,000 円

決算額253,341 円

狂犬病を予防し、犬の飼育マナーの啓発に努め、公衆衛生の向上を図りました。

(1) 主な支出

狂犬病予防注射・原簿管理業務委託料等10 万円

犬、猫繁殖制限手術補助金7 万円

不妊 犬 3 頭、猫 7 匹、計 10 頭

去勢 犬 3 頭、猫 3 匹、計 6 頭

(2) 活動指標

注射、登録3回実施 (4月12日、4月25日、6月20日)

注射頭数678頭

(3) 活動指標の推移

注射頭数の推移(単位：頭)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
763	746	729	705	678

犬、猫の繁殖制限手術実施頭数の推移(単位：頭)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
17	14	15	17	16

火葬場の管理運営(須高行政事務組合)(生活環境グループ)

予算事業名：火葬場管理費

当初予算額11,596,000 円

最終予算額11,596,000 円

決算額10,978,000 円

火葬場「松川苑」の管理運営を、小布施町・須坂市・高山村で構成する須高行政事務組合で行いました。

(1) 主な支出

須高行政事務組合負担金 (運営負担金)1,098 万円

(2) 活動指標

施設名須高行政事務組合「松川苑」(平成18年3月改築工事完了)

火葬数小布施町分147 体 (うち管轄外9体) (うち胞衣1件)

## (3) 活動指標の推移

## ・火葬数の推移

(単位：体)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
106	120	142	128	147

2	公害対策費	71,190	決算事項別明細書	P50～
---	-------	--------	----------	------

**公害対策・河川の水質検査(生活環境グループ)**

予算事業名：公害対策費

当初予算額 86,000 円 最終予算額 86,000 円 決算額 71,190 円

豊かな自然を守り、公害のない町を目指して、公害の発生源となる施設や設備に対する指導・啓発を強化し、未然防止に努めました。

## (1) 主な支出

- ・河川水質検査 6 万円
- ・公害関係法令加徐 1 万円

## (2) 活動指標

- ・河川水質検査口 町内水路10カ所、年2回検査(9月、12月)実施
- ・公害等苦情処理

原因者が判明している場合は直接改善指導、催告を実施し、原因者が特定できない場合は発生源等を現場確認し、状況について町報、同報無線や地区の環境美化委員会を通じ隣組回覧などで町民の皆さんへの周知を図るとともに、モラルに対する意識啓発に努めました。

主な内訳：大気汚染(野焼き)14件、生活環境(害鳥獣虫、消毒噴霧等)23件、

犬・猫27件、悪臭5件、騒音2件、その他23件

## ・河川の水質検査の結果

測定地点	採取年月日	PH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	全りん (mg/L)
県営住宅前	9月7日	3.6	0.6	4	490	0.005
	12月8日	3.7	1.7	3	170	0.014
砂川 (矢島)	9月7日	3.6	0.7	2	1,700	0.061
	12月8日	3.8	2.1	2	1,300	0.020
深沢川 (押羽)	9月7日	3.7	<0.5	4	700	0.004
	12月8日	3.9	4.9	3	4,900	0.011
山王島	9月7日	3.7	2.3	4	3,300	0.005
	12月8日	6.8	16.0	4	14,000	0.110
大島 公会堂	9月7日	3.6	1.1	4		
	12月8日	3.8	2.2	4		
大元神 社	9月7日	3.6	1.3	3		
	12月8日	3.8	3.0	4		
わかば 保育園	9月7日	3.7	0.7	4		
	12月8日	4.0	4.0	4		
都住駅 西	9月7日	3.6	1.7	4		
	12月8日	3.9	2.0	3		
米・ウ スイ前	9月7日	3.7	0.8	4		
	12月8日	3.8	1.3	3		
雁田 公会堂	9月7日	3.7	0.7	6		
	12月8日	4.7	2.7	5		

※<は定量下限値(正確に測定できる最低の濃度)以下であることを示しています。

※BODの平均値は定量下限値を除いた値で算出しています。

(3) 活動指標の推移

検査した10カ所のBOD値、SS値の平均は、下水道が整備された平成9年より改善しています。

調査項目	環境基準に定める標準値	平成9年検査時の10カ所の平均値	平成22年検査時の10カ所の平均値
p h 値	6.5～8.5	4.2	4.2
B O D	1mg/ℓ～10mg/ℓ	3.8	1.7
S S	25mg/ℓ～100mg/ℓ	7.3	6.0

p h 値：水素イオン濃度値。酸性 < pH値7.0 < アルカリ性 となります。

B O D：生物化学的酸素要求量。河川などの有機物による汚濁の程度を表します。

S S：浮遊物質。粒径2mm以下の水に溶けない懸濁性の物質の量を表します。

3	清掃費	134,502,443	決算事項別明細書 P50～
---	-----	-------------	---------------

**ごみ減量化の推進（生活環境グループ）** 予算事業名：ごみ減量化推進事業費

当初予算額 2,181,000 円 最終予算額 2,219,000 円 決算額 1,704,977 円

町報・同報無線を活用してプラスチック製容器包装や古紙類の分別の徹底お願いしリサイクルに対する意識啓発に努めました。

(1) 主な支出

- ・ごみ減量化推進事業補助金等 11 万円
- ・分別収集カレンダー 6 万円
- ・剪定枝処理業務の委託 112 万円
- ・ごみ資源物の分別表 20 万円
- ・資源ごみ日曜回収の誘導委託 8 万円

(2) 活動指標

- ・電動生ごみ処理機設置補助金 5 台 8 万円
- ・資源回収補助金（中学校） 1 件 3 万円
- ・剪定枝の回収 4回実施（7月14～18日、8月25～29日、11/3～7、12/1～5  
町営グラウンド北側駐車場）

(3) 成果指標

- ・ごみ減量化推進事業実施計画（アクションG30）の結果  
可燃ごみ排出量：2,256t 13.8%削減（平成16年度対平成22年度比）  
資源物 収集量：657t 16.1%増（平成16年度対平成22年度比）

**ごみの収集（生活環境グループ）** 予算事業名：ごみ分別収集費

当初予算額 11,175,000 円 最終予算額 11,337,000 円 決算額 11,336,960 円

廃棄物処理計画に基づき快適な生活環境を守るため、ごみの収集を行いました。収集は分別区分に従い、可燃ごみ・埋立ごみとかん金属・びん・ペットボトル・白色発泡トレイ・古紙類などの別に収集しました。

(1) 主な支出

- ・ごみの収集委託 1,061 万円
- ・白色トレイ収集運搬委託料 12 万円
- ・白色トレイ回収車借上料 3 万円
- ・古紙類収集運搬委託料 56 万円（収入として260万円を得ました。）

(2) 活動指標

- ・可燃ごみ 毎週火・金曜日（東地区）、水・土曜日（西地区）
- ・埋立ごみ 隔月最終水曜日（東西地区を1月おきに収集）
- ・かん金属 隔週木曜日（東西地区を1週おきに収集）

- ・プラ製容器包装 毎週月曜日（東西両地区）
- ・白色トレイの回収 月1回実施
- ・古紙類の回収 月1回実施
- ・有害ごみ・資源物の日曜回収  
月1回資源物の日曜回収を実施し、うち年2回有害ごみの回収と併せて実施

(3) 成果指標

- ・ごみ収集量の年度別推移（単位：t）

項 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
可 燃	2,340	2,180	2,259	2,305	2,256
埋 立	53	42	40	45	47
資源物	703	781	705	671	657
合 計	3,096	3,003	3,004	3,021	2,960

平成19年度末における「アクションG30（ごみ減量化推進計画）」の成果は、可燃ごみ16.7%の減、達成率55.6%、資源ごみ37.9%の増、達成率126.4%となりました。ごみの分別の徹底・生ごみの堆肥化を更にお願ひするなど、PR活動を強化していきます。

**ごみの処理（北信保健衛生施設組合・プラ製容器包装処理）（生活環境グループ）**

予算事業名：ごみ分別処理費

当初予算額 118,338,000 円 最終予算額 118,163,000 円 決算額 110,592,506 円

ごみ処理（可燃、埋立、資源物（缶・金属、PET、ガラスビン、白色トレイ））は、小布施町・中野市・山ノ内町・飯綱町・長野市豊野町で構成する北信保健衛生施設組合（東山クリーンセンター、不燃物処理センター）で行い、プラスチック製容器包装については、民間の専門業者へ選別・リサイクル処理を委託しました。

(1) 主な支出

- ・北信保健衛生施設組合負担金 1億662 万円
- ・プラスチック製容器包装処理委託料 390 万円
- ・プラスチック製容器包装再商品化委託料 7 万円

(2) 活動指標

- ・北信保健衛生施設組合  
焼却処理稼働日数 302 日（東山クリーンセンター）  
圧縮・破砕処理稼働日数 233 日（不燃物処理センター）
- ・プラスチック製容器包装リサイクル処理量 70 t

**し尿の処理（須高行政事務組合）（生活環境グループ）**

予算事業名：し尿処理費

当初予算額 12,299,000 円 最終予算額 12,242,000 円 決算額 10,868,000 円

し尿処理は、小布施町・須坂市・高山村で構成する須高行政事務組合（須高衛生センター）で行いました。

(1) 主な支出

- ・須高行政事務組合負担金（し尿処理費負担金） 485 万円
- ・須高行政事務組合負担金（議会総務費負担金） 222 万円
- ・須高行政事務組合負担金（建設費負担金） 381 万円

(2) 活動指標

須高行政事務組合須高衛生センター（小布施町処理分）

稼働日数 365 日 し尿収集量 703 kl  
焼却処理日数 65 日 浄化槽汚泥収集量 65 kl 総収集量 768 kl

		(3) 活動指標の推移			
		・ し尿処理量の推移	(単位：k1)		
			平成18年度	平成19年度	平成20年度
			971	851	793
					平成21年度
					771
					平成22年度
					768

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																										
5			農林水産業費	198,632,985																																																											
	1		農業費	196,152,794																																																											
		1	農業委員会費	14,086,620	決算事項別明細書 P50～																																																										
農業委員会の運営(産業振興グループ)					予算事業名：農業委員会運営費																																																										
当初予算額 5,115,000 円 最終予算額 5,115,000 円					決算額 5,019,040 円																																																										
農地の適正利用や転用許可の審議等の農地法に基づく活動、農地の遊休荒廃化の防止や作物の適地適作の推進など、農業振興の推進及び町農業施策のあるべき方向について研究を行いました。																																																															
(1) 主な支出																																																															
・農業委員報酬 385 万円																																																															
・須高地区農業委員会協議会負担金 11 万円																																																															
・臨時職員賃金 39 万円																																																															
・農用地GISシステム保守料 15 万円																																																															
(2) 活動指標																																																															
・農業委員 15人（公選12人、選任3人） 任期：平成21年5月13日～平成24年5月12日																																																															
・定例総会の開催（毎月1回）																																																															
・農地パトロールの実施（耕作放棄地対策）																																																															
農薬委員会は農地の公的管理主体として、食料の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図っていくことが求められています。																																																															
このため、農地パトロールを実施し、①遊休農地の実態把握と発生防止・解消、②農地の違反転用発生防止対策等について重点的に取り組みました。																																																															
町内一斉調査の実施 10月～12月																																																															
確認面積 約14.8ha																																																															
<table><tr><td colspan="2">緑</td><td colspan="2">黄</td><td colspan="2">合計</td></tr><tr><td>筆数</td><td>面積(㎡)</td><td>筆数</td><td>面積(㎡)</td><td>筆数</td><td>面積(㎡)</td></tr><tr><td>75</td><td>53,836</td><td>149</td><td>94,320</td><td>224</td><td>148,156</td></tr></table>						緑		黄		合計		筆数	面積(㎡)	筆数	面積(㎡)	筆数	面積(㎡)	75	53,836	149	94,320	224	148,156																																								
緑		黄		合計																																																											
筆数	面積(㎡)	筆数	面積(㎡)	筆数	面積(㎡)																																																										
75	53,836	149	94,320	224	148,156																																																										
緑：人力、農業用機械で草刈り・耕起・抜根を行うことにより直ちに耕起することが可能な土地																																																															
黄：重機を抜根・整地等を実施しなければ農業に利用することが困難な土地																																																															
・委員研修事業（東御市 平成22年11月18日）																																																															
米と酪農による循環型農業について（永井農場）																																																															
農商工連携の取組について（東御市道の駅 雷電くるみの里）																																																															
須高地区農業委員会協議会研修会（平成22年2月25日）																																																															
「遊休農地の発生防止と解消に向けた取り組みについて」																																																															
・農地法等所管事務件数																																																															
<table><tr><th rowspan="2">案 件 名</th><th rowspan="2">件 数</th><th colspan="3">面 積 (㎡)</th></tr><tr><th>田</th><th>畑</th><th>計</th></tr><tr><td>農地法第3条第1項（所有権移転）</td><td>14</td><td>2,183</td><td>22,239</td><td>24,422</td></tr><tr><td>（賃借権設定）</td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td>（使用貸借権設定）</td><td>2</td><td></td><td>47,761</td><td>47,761</td></tr><tr><td>農地法第4条第1項</td><td>4</td><td></td><td>847</td><td>847</td></tr><tr><td>農地法第5条第1項（所有権移転）</td><td>6</td><td>3,866</td><td>1,636</td><td>5,502</td></tr><tr><td>（賃借権設定）</td><td>4</td><td></td><td>5,443</td><td>5,443</td></tr><tr><td>（使用貸借権設定）</td><td>1</td><td></td><td>483</td><td>483</td></tr><tr><td>農地法第20条第6項（合意解約）</td><td>4</td><td>4,701</td><td>5,068</td><td>9,769</td></tr><tr><td>農地法第4条第1項第5号</td><td>1</td><td></td><td>231</td><td>231</td></tr><tr><td>農地法第5条第1項第3号</td><td>9</td><td></td><td>3,595</td><td>3,595</td></tr></table>						案 件 名	件 数	面 積 (㎡)			田	畑	計	農地法第3条第1項（所有権移転）	14	2,183	22,239	24,422	（賃借権設定）	0			0	（使用貸借権設定）	2		47,761	47,761	農地法第4条第1項	4		847	847	農地法第5条第1項（所有権移転）	6	3,866	1,636	5,502	（賃借権設定）	4		5,443	5,443	（使用貸借権設定）	1		483	483	農地法第20条第6項（合意解約）	4	4,701	5,068	9,769	農地法第4条第1項第5号	1		231	231	農地法第5条第1項第3号	9		3,595	3,595
案 件 名	件 数	面 積 (㎡)																																																													
		田	畑	計																																																											
農地法第3条第1項（所有権移転）	14	2,183	22,239	24,422																																																											
（賃借権設定）	0			0																																																											
（使用貸借権設定）	2		47,761	47,761																																																											
農地法第4条第1項	4		847	847																																																											
農地法第5条第1項（所有権移転）	6	3,866	1,636	5,502																																																											
（賃借権設定）	4		5,443	5,443																																																											
（使用貸借権設定）	1		483	483																																																											
農地法第20条第6項（合意解約）	4	4,701	5,068	9,769																																																											
農地法第4条第1項第5号	1		231	231																																																											
農地法第5条第1項第3号	9		3,595	3,595																																																											

(参考：振興地域整備促進事業)

許可年月日	農振農用地編入	農振農用地除外	用途区分の変更
	該当なし	該当なし	該当なし

農地調整事務処理事業

- ・農用地利用集積計画（利用権設定） 101 件 182,506 m<sup>2</sup>
- ・農地保有合理化事業 9 件 12,818 m<sup>2</sup>
- ・各種証明書の発行 36 件

(3) 活動指標の推移

- ・農地法等所管事務

案 件 名	面 積(m <sup>2</sup> )				
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
農地法第3条第1項 (所有権移転)	33,178	16,630	25,965	20,942	63,537
(賃借権設定)	6,509	4,026	2,792	11,032	17,850
(使用貸借権設定)	9,806	3,711		14,676	18,387
農地法第4条第1項	1,204	381	363	579	1,323
農地法第5条第1項 (所有権移転)	5,527	1,407	2,310	5,088	8,805
(賃借権設定)	1,323	622	343	6,544	7,509
(使用貸借権設定)	1,047	503	813	19,024	20,340
農地法第20条第6項 (合意解約)	5,313	6,440	11,789	12,984	31,213
農地法第4条第1項第5号	74	2,757		340	3,097
農地法第5条第1項第3号	3,239	5,243	5,872	3,995	15,110

職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 9,336,000 円 最終予算額 9,330,000 円 決算額 9,067,580 円

(1) 主な支出

職員人件費 907 万円

2 農業総務費 38,210,857 決算事項別明細書 P51～

農業資金の利子への補助など(産業振興グループ)

予算事業名：農業総務費

当初予算額 2,081,000 円 最終予算額 2,096,000 円 決算額 1,263,984 円

農業者の経営改善や生産性の向上、合理化を目的に借り入れた資金に対し利子補給を行い、農家経営における経済負担の緩和を図りました。

(1) 主な支出

- ・農業経営基盤強化資金などの利子補給金 106 万円
- ・農家実行組合活動交付金 20 万円

(2) 活動指標

資 金 名	資 金 の 内 容
農業近代化資金	農業の近代化を図るための構築物、農機具資金
農業経営基盤強化資金	認定農業者が農業経営の改善を図るための資金
平成18年度気象災害資金	7月豪雨の被害農業者に対する農業災害資金
農業経営安定化資金	農家組合員が経営安定・生産基盤の立て直しを図るための資金
農業バックアップ資金	小規模農家等制度資金が利用できない方のための農業資金
認定農業者資金	認定農業者が必要とする農機具等の取得資金

(3) 活動指標の推移



	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	対象者	補給額	対象者	補給額	対象者	補給額
農業近代化資金等利子補給	3人	10万円	4人	9万円	4人	8万円
農業経営基盤強化資金利子補給	7人	62万円	7人	46万円	6人	38万円
平成15年度豪雪災害資金利子補給	16人	2万円	—	—	—	—
平成16年度気象災害資金利子補給	27人	8万円	26人	4万円	—	—
平成18年度気象災害資金利子補給	5人	3万円	5人	2万円	5人	2万円
農業経営安定化資金利子補給	—	—	3人	1万円	3人	1万円
農業バックアップ資金利子補給	2人	1万円	2人	1万円	1人	1万円
認定農業者資金利子補給	35人	73万円	35人	54万円	23人	58万円

#### 職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 34,859,000 円

最終予算額 37,833,000 円

決算額 36,946,873 円

##### (1) 主な支出

職員人件費 3,695 万円

#### 3 農業振興費

64,779,396

決算事項別明細書 P51～

#### 農業振興費

予算事業名：農業振興費

当初予算額 3,405,000 円

最終予算額 1,638,000 円

決算額 1,580,829 円

農商工観連携を進めるため農業会議を開催し、講演会等を実施するとともに、旬のカレンダー作成プロジェクトを設置し作成に向けた準備を進めました。

##### (1) 主な支出

- ・講師謝礼 9 万円
- ・豆脱穀機修理 7 万円
- ・農業振興地域計画総合見直し 78 万円
- ・農業ビジネススクール負担金 53 万円
- ・その他 11 万円

##### (2) 活動指標

- ・環境にやさしい農業推進研修会の開催（公民館講堂 平成23年1月20日 参加者71名）  
講師：長野市真島 羽生田農園代表 羽生田春樹氏  
長野地方事務所農政課、長野農業改良普及センター
- ・農業会議の開催 8回  
農商工観連携を進めるため、現状の課題等について議論  
アドバイザー：農業・農村マーケティング研究所長 二木季男氏
- ・旬のカレンダープロジェクト 5回  
農商工観連携を進める高付加価値販売を目指した旬のカレンダーについて検討
- ・役員会の開催 2回

#### 家庭菜園の充実(産業振興グループ)

予算事業名：農業振興費

当初予算額 220,000 円

最終予算額 221,000 円

決算額 172,877 円

遊休荒廃農地を家庭菜園として貸し出しを行いました。

##### (1) 主な支出

- ・耕起委託料 4 万円
- ・土地借上料 13 万円

##### (2) 活動指標

- ・家庭菜園の貸し出し 74区画×100㎡=7,400㎡

※六川沖東（くだもの街道沿い）27区画、六川沖東19区画、押羽7区画、中条沖21区画・74区画のうち、73区画（42人）の利用があった。

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
区画数	66 区画	73 区画	74 区画	73 区画	73 区画
利用者数	39 人	43 人	42 人	42 人	42 人

**畜産の振興(産業振興グループ)**

予算事業名：農業振興費

当初予算額 522,000 円 最終予算額 522,000 円 決算額 353,100 円

畜産の振興と農業所得の向上を図るため、畜産農家が行う子牛の導入経費に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・家畜導入事業補助金 19 万円
- ・須高家畜防疫協会負担金 12 万円
- ・北信食肉センター管理運営補助金 4 万円

(2) 活動指標

- ・導入農家数 2軒
- ・黒毛和種 12頭、ホルスタイン 4頭 計16頭

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
導入農家数	5 軒	3 軒	3 軒	3 軒	2 軒
黒毛和種	84 頭	24 頭	18 頭	15 頭	12 頭
ホルスタイン	6 頭	4 頭	8 頭	3 頭	4 頭
計	90 頭	28 頭	26 頭	18 頭	16 頭

**小布施ブランド戦略事業(産業振興グループ)**

予算事業名：小布施ブランド戦略事業費

当初予算額 32,754,000 円 最終予算額 32,711,000 円 決算額 28,555,477 円

多様化する消費者ニーズに応え、小布施町産農産物の販路回開拓に向けた新たなブランド化を進めました。“小布施に來なければ手にはいらない・食べられないもの”を中心に小布施ブランドとして農産物全般の競争力を高めるため、(財)小布施町振興公社「小布施屋」と連携しチェリーキッス・プラムリーフェアを開催し、町内飲食店等とも協力し情報発信と販売を行いました。

(1) 主な支出

- ・ブランド戦略委託料 1,810 万円
- ・嘱託職員報酬 421 万円
- ・臨時職員賃金 25 万円
- ・農産物輸出事業 45 万円
- ・チェリーキッスフェア 33 万円
- ・プラムリーフェア 23 万円
- ・新宿高野タイプロイド製作 117 万円
- ・新宿高野フルーツパティンクサンプル 29 万円
- ・新宿高野打合せ旅費 41 万円
- ・英国王立園芸協会ツアー 7 万円
- ・全国丸なす自慢 7 万円
- ・すみだまつり 3 万円
- ・墨田北斎通り商店街祭り 2 万円
- ・戸田商工祭 3 万円

・地域活性化たから市	4 万円
・香港TV取材	1 万円
・フィールドサーバー	7 万円
・農村サイト更新	16 万円
・栗の苗木購入補助	61 万円
・ブルムリー苗木購入補助	47 万円
・公社のあり方検討	50 万円
・博多駅ビル出店調査旅費	51 万円
・打合せ旅費	41 万円
・その他	12 万円

(2) 活動指標

・物産展への参加	
地域活性化たから市	平成22年5月28日～30日
チェリーキスフェア 町内10店舗	平成22年7月15日～19日
軽井沢駅「観光物産フェア」	平成22年7月22日～23日
英国王立園芸協会ブルムリーツアー	平成22年9月3日
ブルムリー20周年「ブルムリーを楽しむ会」	平成22年9月13、24日、10月17日
㈱新宿高野ブルムリーツアー	平成22年9月28日
東京都墨田区「すみだまつり」	平成22年10月2日～3日
㈱新宿高野物産展	平成22年10月8日～11日
㈱新宿高野「小布施ブルムリーフェア」	平成22年10月1日～11日
ブルムリーフェア 町内15店舗	平成22年10月1日～11日
阪急うめだ本店「英国フェア」	平成22年10月6日～12日
埼玉県戸田市「商工祭」	平成22年10月23日～24日
東京都墨田区「北斎通りイベント」	平成22年11月13日～14日
・台湾輸出現地確認及び販売促進活動	
台北市第1第2市場、台中市裕毛屋店舗	平成22年8月26日～30日
・りんご酢の製造委託 300ml 360本、200ml 5,000本、キュービック200入り 40ケース	
・りんごジュースの製造委託 1,000ml 5,900本、子びん 7,600本	
・小布施丸なす	販売数 9,749 玉 販売額 50 万円

**都市農村交流事業(産業振興グループ)**

予算事業名：都市農村交流事業費

当初予算額 1,529,000 円 最終予算額 1,518,000 円 決算額 956,499 円

都市消費者との交流を深め、農業や農村の状況に対する理解を深め農産物の販路開拓のため、東京都墨田区民との交流事業を春と秋に開催しました。

(1) 主な支出

・農家民泊謝礼	24 万円
・交流事業実施協力団体謝礼	6 万円
・交流会経費	30 万円
・旅費（事業実施打合せ）	4 万円
・バス借上料	18 万円
・農家民泊施設改修補助	14 万円

(2) 活動指標

・春の巻	
5月22日(土)～23日(日) 墨田区民34名参加	受入農家11軒
田植え・丸なす植付体験、全体交流会、町内散策	

・秋の巻

9月25日(土)～26日(日) 墨田区民25名参加 受入農家9軒

稲刈り、フルーツセンター見学、全体交流会、町内散策

受入農家の方と仲良くなり春と秋に2回訪れる人や「おぶせ大好き倶楽部」に加入する人もあり、人と人と信頼が醸成されています。

今後も継続し、参加者の増加と受入農家の確保を図り、交流によるまちづくりを進めます。

**売れる米づくりと地産地消の推進(産業振興グループ)**

予算事業名：水田経営確立推進指導事業費

当初予算額 147,000 円 最終予算額 158,000 円 決算額 157,440 円

地産地消として地元産米の消費拡大を図りました。また、主食である米の安定供給を目的に行われる生産調整とモデル事業として実施された「農業者戸別所得補償制度」の生産者に対する周知をJ A水稻組合と連携し行いました。

(1) 主な支出

- ・消耗品費 8 万円
- ・郵送料 8 万円

(2) 活動指標

・地産地消推進活動

米の消費拡大に向けた小布施産米の学校給食への提供

- ・栗ガ丘小学校5年生田植え(5/28)、稲刈り教室(9/27)
- ・小布施町水田農業推進協議会の事務

構成：町、J A、土地改良区、農業改良普及センター、消費者団体 等

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
水田面積	216ha	216ha	216ha	216ha	216ha
作付面積	121ha	118ha	114ha	117ha	112ha
生産数量	704t	679t	666t	669t	656t

・国の戸別所得補償制度により米の生産調整を引き続き進めます。また、水田農業推進協議会は、担い手対策や遊休荒廃農地対策と合わせ推進するため、23年7月1日農業再生協議会に移行しました。

**農作物の有害鳥獣駆除(産業振興グループ)**

予算事業名：有害鳥獣対策費

当初予算額 1,383,000 円 最終予算額 2,427,000 円 決算額 1,925,257 円

農作物に被害を与える鳥やサル、イノシシなどを駆除しました。

(1) 主な支出

- ・有害鳥獣駆除推進協議会補助金 73 万円
- ・雁田地区有害鳥獣組合補助金 15 万円
- ・サル、イノシシ駆除報償費 73 万円
- ・イノシシ・サル捕獲用おり修理 4 万円
- ・イノシシ対策用電気柵修繕 28 万円

(2) 活動指標

・有害鳥獣駆除

7月16日～10月17日(40日間)実施 駆除従事者(猟友会)16人

6月24日～3月31日 サル、イノシシの箱ワナ設置

- ・野生獣追い払い犬(モンキー犬) 3頭巡回

- ・ムクドリ、スズメ、ドバト等 1,232羽駆除
- ・サル 10匹駆除
- ・イノシシ 23頭駆除

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
鳥類	1,335 羽	1,131 羽	1,308 羽	1,018 羽	1,232 羽
サル	8 匹	1 匹	4 匹	5 匹	10 匹
イノシシ	7 頭	1 頭	6 頭	10 頭	23 頭

(4) 成果指標

- ・有害鳥獣による農作物の被害額 (単位：万円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
被害金額	292	300	295	402	367

**有害鳥獣対策緩衝帯の整備(産業振興グループ)**

予算事業名：有害鳥獣対策費

当初予算額 224,000 円 最終予算額 677,000 円 決算額 676,852 円

農作物に被害を与えるサルやイノシシの出没を抑えるため、雁田山麓で緩衝帯の整備を行いました。

(1) 主な支出

- ・資材、燃料代 14 万円
- ・ボランティア保険 1 万円
- ・緩衝帯樹木抜倒委託 53 万円

(2) 活動指標

- ・下枝、草刈等による里山整備 11月13日(土)実施  
実施箇所：岩松院北～ノバフォーム間 約200m  
参加者：地元農家、JA部会員、ボランティア、町職員、県職員 約110名

(3) 活動指標の推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
実施場所	雁田沖北側	冒険の森北側	浄光寺南側	岩松院北側
実施内容	L=200、W=20	L=300、W=20	L=250、W=20	L=200、W=20

※ L：延長、W：幅

地元の農家から、有害鳥獣の出没が減ったという話があり、継続して実施していきます。  
イノシシ対策用に電気柵を強化するため補強を実施します。

**モンキードッグ育成事業(産業振興グループ)**

予算事業名：モンキードッグ育成事業費

当初予算額 233,000 円 最終予算額 188,000 円 決算額 37,000 円

雁田山麓に出没する猿による農作物被害を防ぐため、地域巡回を行いました。

(1) 主な支出

- ・サポートクラブ負担金 3 万円
- ・予防接種負担金 1 万円

(2) 活動指標

- ・年間を通じてのアフターフォロー 3頭

## (3) 活動指標の推移

(単位：頭)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
育成頭数	0	1	0	0	0

現在、3頭で巡回を行っており、農作物への被害の抑制効果がありますが、巡回以外の時間帯に出没するようになってきています。

駆除の実施や緩衝体制と合わせた地元のみなさんのご協力をお願いします。

**信州おぶせ緑のかけ橋まつりの開催(産業振興グループ)**

予算事業名：緑のかけ橋まつり事業費

当初予算額 7,346,000 円

最終予算額 7,346,000 円

決算額 6,970,798 円

秋の行楽・収穫期にあわせ農産物の収穫祭としてステージ演奏や神輿巡行・中子塚門灯籠の設置など町民参加の下、多彩なにぎわいづくりに努めました。また、6次産業センターの秋の味覚祭とも連携し、楽しむことから自発的なお祭りへと取り組みを進め、農産物の販路拡大を目指しています。

## (1) 主な支出

・ステージ出演者等謝礼	44 万円
・チラシ作成費	54 万円
・広告費等	59 万円
・会場設営費	519 万円
・消耗品等	21 万円

## (2) 活動指標

- ・期日：10月23日（土）～24日（日）
- ・場所：第1会場森の駐車場及び大日通り、第2会場フローラルガーデン駐車場
- ・物産展出演者：30団体（JA、女性農業者団体、緑のかけ橋おぶせ他）
- ・ステージ利用者：11団体
- ・中子塚門灯籠設置、町民有志による神輿巡行
- ・同時開催：骨董市、須高広域「粉もんまつり」、クラシックカー展示

※ 平成22年度で7回目の開催となり、昨年と同様、大日通り・森の駐車場を中心に多彩なイベントととなり、町内外から多くのお客様がお見えになっています。

商工祭の要素も加え、町を挙げた秋のイベントに発展させてまいります。

## (3) 活動指標の推移

(単位：団体)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
物産展出演者数	12	25	24	29	30

**フローラルガーデンおぶせの管理運営(産業振興グループ)**

予算事業名：フローラルガーデンおぶせ管理運営費

当初予算額 16,456,000 円

最終予算額 16,456,000 円

決算額 10,728,326 円

フローラルガーデンおぶせを(財)小布施町振興公社に管理委託し、6次産業センターと連携し、施設を訪れる観光客へのサービス向上と、花苗の販売拡大や花に関する情報発信を図りました。

## (1) 主な支出

・管理委託料	948 万円
・フィン管改修工事費	99 万円
・火災保険料	26 万円

## (2) 活動指標

- ・花壇の維持管理

- 4月 前年秋植栽のパンジー、ビオラ、葉ボタンの手入れ
- 5月 夏花壇の植栽、マリーゴールド、ランタナ、コリウス等1年草を宿根草へ移行
- 10月 パンジー、ビオラ、葉ボタンの植栽
- ・季節に応じたイベントの開催
- 5月 春の山野草展
- 6月 第16回サツキ展、第16回夏の洋ラン展
- 7月 第15回富貴ラン展
- 10月 秋の山野草展、第16回秋の洋ラン展
- 1月 第19回新春洋ラン展
- 2月 雪割草展
- 3月 第18回おもと・春ラン展、信州のクリスマスローズ展

(3) 活動指標の推移 (単位：人)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
入園者数	29,553	21,181	25,539	30,480	22,960

※平成18年度から中学生以下の入園料は無料のため、カウントされていません。

**6次産業センターの管理運営(産業振興グループ)** 予算事業名：6次産業センター管理運営費  
 当初予算額 10,257,000 円 最終予算額 17,257,000 円 決算額 10,471,931 円

6次産業センターを(財)小布施町振興公社に管理委託し、施設を訪れる観光客へのサービス向上に努めるとともに、花苗や農産物等の販売拡大を図りました。

(1) 主な支出

- ・施設管理委託料 96 万円
- ・土地借上料 173 万円
- ・污水ポンプ・消防設備修繕等 83 万円
- ・火災保険料 4 万円
- ・ジュース加工施設改修工事 691 万円

(2) 活動指標

- ・6次産業センター  
 農産物の販売と地場産物を使った加工品販売  
 ジャム、ジュース、菓子、アイスクリーム等の製造 小布施産りんご酢の販売

(3) 活動指標の推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
販売会員数	90名	100名	108名	110名
売上額	2,352万円	3,005万円	3,385万円	3,810万円

**ふるさと創造館の管理運営(産業振興グループ)** 予算事業名：ふるさと創造館管理運営費  
 当初予算額 2,404,000 円 最終予算額 2,404,000 円 決算額 2,193,010 円

ふるさと創造館を(財)小布施町振興公社に管理委託し、農産加工室の貸し出しや加工作業の指導などを行いました。

(1) 主な支出

- ・施設管理委託料 79 万円
- ・土地借上料 101 万円
- ・火災保険料 8 万円
- ・施設修繕など 31 万円

(2) 活動指標

- ・ジュース、ジャムづくりの指導 40件

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
指導件数	78 件	73 件	63 件	62 件	40 件

**4** フラワーセンター費 31,532,800 決算事項別明細書 P52～

**フラワーセンターの管理運営(産業振興グループ)** 予算事業名：フラワーセンター管理費

当初予算額 31,246,000 円 最終予算額 32,276,000 円 決算額 31,532,800 円

花産業の振興を図るため、フラワーセンターでプラグ苗の生産を行い、花き農家の育成と販路の拡大を図りました。

(1) 主な支出

・嘱託職員報酬	285 万円	・燃料費	323 万円
・臨時職員賃金	898 万円	・光熱水費	112 万円
・消耗品	385 万円	・種、養土代	423 万円
・修繕費等	208 万円	・借地料	155 万円
・委託料	50 万円	・巴錦ハウス	65 万円
・覆土機散水機	163 万円	・台車等	15 万円
・その他	71 万円		

(2) 活動指標

- ・花苗生産 85千本、セル苗生産 223万本
- ・マリーゴールド、サルビア、パンジー、ビオラ等花苗のほか、アスパラ等野菜苗の発芽・育苗
- ・「花苗特売日」による販売促進

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
販売収入額(万円)	2,265	2,810	2,830	2,107	26,640
農家数(戸)	9	9	8	8	8
セル苗本数(本)	2,143,347	2,233,024	2,290,044	1,970,724	2,232,697
ポット苗本数(本)	89,962	89,179	116,467	102,984	84,505

※農家数は花苗生産者会の会員数。

**5** 農地費 22,690,756 決算事項別明細書 P52～

**土地改良事業(産業振興グループ)** 予算事業名：農地対策費

当初予算額 23,001,000 円 最終予算額 23,001,000 円 決算額 22,690,756 円

土地改良区の運営費などの補助、農免道路などを整備した際の借入金に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・日滝原土地改良区負担金 253 万円  
※県営土地総事業、団体営修繕保全事業、県営ストックマネジメント事業
- ・浅川揚水機場管理負担金 6 万円
- ・長野県土地改良事業団体連合会負担金 1 万円
- ・農道等借入補助 22路線・事業 2,008 万円

(2) 活動指標

- ・日滝原土地改良区負担金



日滝原土地改良区が実施した、県営及び団体営のストックマネジメント等の土地改良事業に対する、市町村割合（小布施町24.5%）による助成

- ・長野平土地改良区から浅川揚水機場管理が長野市に移管  
浅川揚水機場に伴う市町村割合0.9%の負担金
- ・長野県土地改良事業団体連合会負担金  
市町村割、事業割に伴う負担金

6	集落排水施設費	20,500,000	決算事項別明細書	P52～
農業集落排水事業特別会計への繰出金(建設水道グループ)			予算事業名：農業集落排水施設費	
当初予算額		26,214,000 円	最終予算額	23,948,000 円
			決算額	20,500,000 円

農業集落排水事業特別会計へ、一般会計で負担すべき費用を支出しました。

(1) 主な支出

- ・農業集落排水事業特別会計繰出金 2,050 万円

7	農業共済費	4,352,365	決算事項別明細書	P52～
農業共済の促進(産業振興グループ)			予算事業名：農業共済費	
当初予算額		5,037,000 円	最終予算額	5,037,000 円
			決算額	4,352,365 円

農業経営の安定を図るため果樹共済に加入した農家に対し、共済掛金の一部補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・果樹共済掛金一部負担金 340 万円
- ・家畜基幹診療センター運営負担金 95 万円

(2) 活動指標

引受実績	りんご					
	総合短縮	半相特定 暴風雨	半相特定 2セット	樹園地 総合短縮	樹園地特定 暴風雨	樹園地特定 2セット
	103 戸 3,520 ㇿ	50 戸 2,616 ㇿ	22 戸 670 ㇿ	31 戸 2,416 ㇿ	6 戸 337 ㇿ	7 戸 500 ㇿ
	ぶどう			なし		もも 総合短縮
	総合短縮	樹園地特定 2セット	災害収入	総合短縮	樹園地特定 2セット	
	25 戸 736 ㇿ	2 戸 80 ㇿ	5 戸 144 ㇿ	25 戸 425 ㇿ	4 戸 94 ㇿ	22 戸 651 ㇿ
※ 半相殺：農家単位に被害樹園地の減収分について損害を把握する方式						合 計
※ 樹園地：樹園地単位に被害樹園地の減収分について損害を把握する方式						302戸
※ 災害収入：農家の樹種ごとの収入金を補償する方式						12,189ㇿ

## (3) 活動指標の推移

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
りんご	加入戸数	244戸	249戸	247戸	232戸	219戸
	加入面積	9,288a	10,524a	10,608a	10,648a	10,059a
	共済掛金	9,233,379円	12,412,724円	13,168,707円	13,196,614円	12,388,262円
	支払金額	53,234,242円	0円	43,080円	3,494,384円	20,288,120円
ぶどう	加入戸数	30戸	35戸	37戸	36戸	32戸
	加入面積	862a	1,133a	1,177a	1,192a	960a
	共済掛金	548,114円	711,938円	555,320円	534,490円	441,007円
	支払金額	0円	79,020円	79,020円	955,536円	2,406,583円
なし	加入戸数	25戸	29戸	30戸	29戸	29戸
	加入面積	465a	574a	599a	593a	519
	共済掛金	526,938円	622,788円	739,385円	652,270円	405,299円
	支払金額	155,250円	46,300円	46,300円	521,740円	723,690円
もも	加入戸数	10戸	24戸	26戸	26戸	22戸
	加入面積	196a	651a	672a	741a	651a
	共済掛金	137,945円	435,596円	356,946円	393,531円	388,386円
	支払金額	2,673,520円	0円	97,400円	40,020円	683,460円
合計	加入戸数	309戸	337戸	340戸	323戸	302戸
	加入面積	10,811a	12,882a	13,056a	13,174a	12,189a
	共済掛金	10,446,377円	14,183,046円	14,820,358円	14,776,905円	13,622,954円
	支払金額	56,063,012円	125,320円	140,480円	5,011,680円	24,101,853円
	加入率	23.7%	27.1%	27.4%	28.6%	26.6%

2

林業費

2,480,191

1

林業総務費

2,480,191

決算事項別明細書 P52～

## 松くい虫の駆除(産業振興グループ)

予算事業名：林業総務費

当初予算額 3,499,000 円

最終予算額 3,499,000 円

決算額 2,480,191 円

多発する松くい虫被害木の駆除、処理を行いました。

## (1) 主な支出

- ・松くい虫被害木駆除委託料 209 万円
- ・間伐対策事業補助 20 万円
- ・千曲川流域活性化センター負担金 5 万円
- ・丸太ベンチ購入5基 12 万円
- ・その他 2 万円

## (2) 活動指標

- ・駆除活動の内容 第1次 4月12日～12月31日

	第1次駆除		第2次駆除		合計	
	本	㎡	本	㎡	本	㎡
燻蒸処理	96	52.01	0	0	96	52.01
破碎処理	21	13.56	0	0	21	13.56
合 計	117	65.57	0	0	117	65.57

◆「燻蒸処理」は松くい虫が潜入している被害木を切断し、ビニールシートで覆い薬剤処理する方法。  
(主に被害木の搬出が困難な場所で行います。)

◆「破碎処理」は松を搬出し機械などで松を砕いて松くい虫を処理する方法。

※被害の拡大を防ぐため、今後も松くい虫の被害木を確認次第、駆除の徹底に努めます。



款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
6			商工費	107,088,873		
	1		商工費	107,088,873		
		1	商工総務費	6,257,658	決算事項別明細書	P53～
<b>商工事業臨時職員賃金など(産業振興グループ)</b>					予算事業名：商工総務費	
当初予算額 685,000 円 最終予算額 685,000 円					決算額	643,117 円
商工事業に携わる臨時職員の賃金などです。						
(1) 主な支出						
・臨時職員賃金 63 万円						
・その他 1 万円						
<b>職員人件費</b>					予算事業名：一般職人件費	
当初予算額 7,720,000 円 最終予算額 5,691,000 円					決算額	5,614,541 円
(1) 主な支出						
・職員人件費 561 万円						
	2		商工振興費	18,542,464	決算事項別明細書	P53～
<b>商工会事業に対する補助など(産業振興グループ)</b>					予算事業名：商店街等活性化事業費	
当初予算額 6,619,000 円 最終予算額 6,919,000 円					決算額	6,912,665 円
町の商工業の発展のため、商工会が行う事業や伝統行事などに対して補助を行いました。また、地域経済の活性化を図るため商工会が行う中小企業者の指導費に対し補助を行いました。						
(1) 主な支出						
・商工会一般事業補助金 100 万円						
・商工会小規模事業補助金 350 万円						
・くりんこ祭り実行補助金 60 万円						
・安市行事補助金 150 万円						
・安市警備委託料 30 万円						
・その他 1 万円						
(2) 活動指標						
・小布施町商工会 会員数 302人						
商工会一般事業補助金 商工会事業に対して助成						
商工会小規模事業補助金 経営指導員に対して助成						
くりんこ祭り実行補助金 小布施町くりんこ祭り実行委員会を組織し運営						
第33回くりんこ祭り 平成22年7月31日 駅前神宮通り						
29連／約1,500人参加						
安市行事補助金 安市 平成23年1月14日～15日 皇大神社ほか						
<b>県制度資金融資保証料の補助(産業振興グループ)</b>					予算事業名：商店街等活性化事業費	
当初予算額 3,240,000 円 最終予算額 4,815,000 円					決算額	4,814,161 円
商工業者が、経営の安定のため運用資金を金融機関から借りる場合の保証料を補給しました。						
(1) 主な支出						
・県制度資金融資保証料補給金 481 万円						
(2) 活動指標						

・県中小企業融資制度資金の斡旋及び融資保証料補給（県 1/2、町 1/2）

制度資金名	件 数 (単位：件)	融資総額 (単位：万円)	保証料補給額 (単位：万円)
経営健全化支援資金	37	30,468	449
新事業活性化資金	2	2,000	32
計	39	32,468	481

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件 数	20件	18件	27件	38件	39件
融資総額	2億3,400万円	2億3,740万円	2億6,953万円	3億9,040万円	3億2,468万円
保証料補給額	398万円	315万円	384万円	592万円	481万円

**町中小企業者等一般融資保証料の補助(産業振興グループ)** 予算事業名：商店街等活性化事業費

当初予算額 50,000 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

商工業者の経営の安定と発展のため、商工業者が金融機関から受けた一般融資に対し、保証料補給金を支給するものです。本年度は緊急経済対策を活用いただきました。

(1) 主な支出

- ・町中小企業者等一般融資保証料補給金 0 万円

(2) 活動指標

- ・事業経営上必要とする設備資金及び運転資金にかかる保証料補給 補助率 3分の1 限度額5万円
- ・対象件数 0店舗

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件 数	1件	1件	1件	1件	0件
利子補給額	5万円	5万円	5万円	5万円	0万円

**商工貯蓄共済融資利子の補給(産業振興グループ)**

予算事業名：商店街等活性化事業費

当初予算額 500,000 円 最終予算額 435,000 円 決算額 435,000 円

商工業者が行う経営の改善に必要な資金の借入を円滑に受けられるよう、商工会が行う商工貯蓄還元融資に対し、利子補給金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・商工貯蓄共済融資利子の補給 43 万円

(2) 活動指標

- ・商工貯蓄還元融資の利子補給 1000分の24以内
- ・対象件数 3事業所

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件 数	8件	7件	5件	5件	3件
利子補給額	36万円	39万円	53万円	48万円	43万円

**町中小企業者等緊急支援融資保証料の補助(産業振興グループ)**

予算事業名：商店街等活性化事業費

当初予算額 1,000,000 円 最終予算額 197,000 円 決算額 196,493 円

原油高や原材料高騰に伴う中小企業緊急支援のため、金融機関から中小企業振興資金の融資を受けた企業に対し、保証料補給金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・町中小企業者等緊急支援融資保証料補給金 19 万円

(2) 活動指標

- ・事業経営上必要とする設備資金及び運転資金にかかる保証料補給 補助率 3分の1 限度額5万円
- ・対象件数 8事業所

(3) 活動指標の推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	9件	3件	28件	8件
借入額	2,200万円	450万円	1億4,812万円	3,328万円
利子補給額	11万円	5万円	59万円	19万円

**町中小企業者等緊急支援利子の補助(産業振興グループ)**

予算事業名：商店街等活性化事業費

当初予算額 4,600,000 円 最終予算額 4,937,000 円 決算額 4,936,599 円

原油高や原材料高騰に伴う中小企業緊急支援のため、金融機関から中小企業振興資金の融資を受けた企業に対し、利子補給金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・町中小企業者等緊急支援融資利子補給金 493 万円

(2) 活動指標

- ・事業経営上必要とする設備資金及び運転資金にかかる利子の初年度分全額
- ・対象件数 39事業所

(3) 活動指標の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	10件	57件	39件
借入額	1億1,400万円	3億9,624万円	2億9,428万円
利子補給額	206万円	716万円	493万円

**中小企業緊急雇用安定助成事業補助(産業振興グループ)**

予算事業名：商店街等活性化事業費

当初予算額 500,000 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

中小企業の経営安定化を支援するため補助を行いました。

(1) 主な支出 0 万円

(2) 活動指標

- ・中小企業者が雇用する労働者を一時的に休業させた場合、教育訓練させた場合支払った経費に対し一部補助しました。
- ・対象件数 0事業所

**空き店舗活用事業に対する補助(産業振興グループ)**

予算事業名：空き店舗対策事業費

当初予算額 1,600,000 円 最終予算額 1,248,000 円 決算額 1,247,546 円

空き店舗の改修・賃借に対する補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・空き店舗改修補助 75 万円
- ・空き店舗賃借料補助 49 万円

(2) 活動指標

- ・空き店舗の改修に対する補助 補助率 3分の1 限度額100万円
- ・空き店舗の賃借料に対する補助 補助率 3分の1 限度額月額 5万円 (対象期間1年)
- ・空き店舗改修補助対象件数 2事業所
- ・空き店舗賃借料補助対象件数 2事業所

## (3) 活動指標の推移

- ・空き店舗改修補助

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	1件	1件	2件
補助金	100万円	66万円	75万円

3	観光費	47,986,698	決算事項別明細書 P53～
---	-----	------------	---------------

**小布施文化観光協会などの活動支援(産業振興グループ)**

予算事業名：観光振興費

当初予算額 1,150,000 円 最終予算額 1,200,000 円 決算額 1,176,956 円

町の観光資源保護及び観光事業の振興を図るため、小布施文化観光協会などの各種事業に対し補助を行いました。

## (1) 主な支出

- ・小布施文化観光協会補助金 100 万円
- ・ファイヤーフェスティバル補助金 15 万円

## (2) 活動指標

- ・小布施文化観光協会会員数 91会員
- 総会、理事会及び正副会長会 9回

主な事業 ・おぶせ観光交流メッセ

- ・北信濃観光連盟「信州キャンペーン」情報提供、広告宣伝
- ・テレビ、各種観光情報誌等への情報提供、広告宣伝
- ・パンフレット発送（県内外） 3,558件
- ・おぶせ大好き倶楽部員への観光イベント情報等提供
- ・エージェント、マスコミ視察対応
- ・北信濃ひな巡り事業
- ・長野県旅行商品造成商談会及びメディア情報交換会
- ・小布施でのひら飯案内の作成
- ・地域イベント協力事業

参加事業 ・軽井沢・小布施リレー号(しなの鉄道・長野電鉄フリーパススキップ臨時列車)でP R  
(平成22年4月 1日～12月31日)

- ・JR軽井沢駅自由通路での「観光物産フェア」へ出展  
(平成22年7月22日～23日)

- 後援・共催等
- ・長野オリンピック記念長野マラソン（平成22年4月18日）
  - ・小布施音楽祭（平成22年8月20日～22日、28日、9月4日）
  - ・小布施見にマラソン（平成22年7月18日）
  - ・小布施演劇フェスティバル（平成23年3月5日）
  - ・おぶせ蕎麦めぐり（平成23年3月3日～4月3日）

広域観光の推進 ・北信濃河東文化観光圏協議会へ参画

- ・北信濃観光連盟へ参画
- ・信州北回廊プロジェクト事業へ参画
- ・信州フルーツ王国振興会へ参画

その他 ・東京小布施会参加（平成22年11月8日）

## (3) 活動指標の推移

(単位：件)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
パンフレット送付数	1,513	2,743	3,941	4,131	3,558

- ・個人、旅行会社、ホテル等へ送付（電話、メールでの問い合わせに対応）

**東京小布施会の活動支援(産業振興グループ)** 予算事業名：観光振興費

当初予算額 420,000 円 最終予算額 595,000 円 決算額 567,040 円

郷土愛を基調とし、会員相互の親睦を深め、町を語り情報を交換し、ふるさと小布施の発展に寄与するために活動している、小布施町出身で東京近郊在住者で組織する「東京小布施会」の活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・総会記念品 24 万円
- ・旅費 7 万円
- ・バス代 25 万円

(2) 活動指標

- ・東京小布施会会員数 674人
- ・交流会（総会）平成22年11月8日 東京グリーンパレス 出席者数 142人  
第2部 講演会  
市村町長、墨田区伝統工芸保存会長 塚田進、真打ち 桂文生師匠  
第3部 ふるさと交流懇親会

(3) 活動指標の推移

(単位：人)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
会員数	636	621	614	606	674
総会出席者数	85	110	109	115	142

**小布施塾(ボランティアガイド)の活動支援(産業振興グループ)**

予算事業名：観光振興費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

町民自らがおもてなしの心で町の観光案内を行う「小布施塾」の自主的な活動を支援しました。平成23年度から文化観光協会が事業を実施します。

(1) 主な支出

- ・なし

(2) 活動指標

- ・発足日 平成16年6月21日
- 小布施塾登録者数 塾生数14人、顧問1人、相談役3人
- 観光案内ガイド数 延べ845人 観光案内回数66回

**アンテナショップの設置(産業振興グループ)**

予算事業名：観光振興費

当初予算額 2,238,000 円 最終予算額 2,238,000 円 決算額 1,525,000 円

めざまし物産館銀座に町内の地場製品の展示・販売を行いました。

(1) 主な支出

- ・テナント料 52 万円
- ・預託金 100 万円

**観光案内、観光パンフレットの作成など(産業振興グループ)**

予算事業名：観光案内事業費

当初予算額 8,438,000 円 最終予算額 8,438,000 円 決算額 7,666,509 円

町内散策に利用できる観光パンフレットやマップの印刷、案内看板の修理等を行いました。今年度は、西部地区のカントリーマップを作成しました。

(1) 主な支出

- ・観光パンフレットの印刷 181 万円
- ・カントリーマップ作成委託 340 万円
- ・観光マップの印刷 86 万円
- ・案内看板用地の借上げ 55 万円



- ・修繕料 10 万円
- ・広告料 55 万円
- ・東京小布施会通信印刷 27 万円
- ・その他 12 万円

(2) 活動指標

- ・観光パンフレットの印刷 100,000部
- ・観光マップの印刷 300,000枚
- ・西部地区カントリーマップの印刷 12,500部
- ・案内看板設置、修繕 5箇所
- ・案内看板用地の借上げ 18箇所

(3) 活動指標の推移

- ・観光パンフレット、観光マップ印刷数

(単位：部)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
パンフレット	20,000	60,000	160,000	100,000	100,000
観光マップ	250,000	250,000	100,000	150,000	300,000

**広域観光の推進(産業振興グループ)**

予算事業名：観光案内事業費

当初予算額 410,000 円 最終予算額 410,000 円 決算額 408,196 円

観光振興を点から面へと広げ、地方文化の向上と観光事業の振興と繁栄を図るため、近隣市町村や観光協会で構成する協議会で観光PRなどを行いました。

(1) 主な支出

- ・上信越ふるさと街道協議会負担金 1 万円
- ・信州北回廊プロジェクト負担金 39 万円

(2) 活動指標

- ・北信濃河東文化観光圏協議会  
小布施町、長野市、須坂市、高山村、中野市、山ノ内町および各観光協会  
【誘客・宣伝事業】
  - ・会員相互の連携、観光客誘致活動
  - ・圏内美術館、博物館等の研修会
- 【観光宣伝資料の配布】
  - ・圏内市町村ガイドマップの配布
- ・上信越ふるさと街道協議会 22構成員（市町村、商工会議所、観光協会）  
商工会等の連携による加入路線市町村による広域PRの推進  
【観光宣伝事業の推進】
  - ・観光宣伝事業への参加
- 【広域観光の推進と研究】
  - ・視察研修、講演会
- 【会員間の研修と交流】
  - ・パンフレット、ポスター配布
  - ・広域観光意見交換会
- ・信州北回廊プロジェクト  
小布施町、長野市、須坂市、飯山市、中野市、千曲市、妙高市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、信州新町、坂城町、野沢温泉村、高山村、小川村、妙高市 16市町村  
地域内の隠れた魅力の再発見、掘り起こしを行い、エリア全体の観光競争力を高め、首都圏に向けた継続的なプロモーションを実施する。  
【公共交通機関を活用した誘客事業】
  - ・信州北回廊バス販売、ふるさと手形割引
- 【広告宣伝及び誘客促進事業】
  - ・北回廊専用ホームページ開設
  - ・個別テーマ型プロモーション事業

**シャトルバスの運行(産業振興グループ)**

予算事業名：シャトルバス運行事業費

当初予算額 8,617,000 円

最終予算額 8,337,000 円

決算額 8,087,166 円

町中心部の渋滞緩和やパークアンドウォーク（車は郊外に駐車し、町の中は歩いて移動する）推進のため、町内を周遊するシャトルバスの運行を行いました。

## (1) 主な支出

- ・シャトルバス運行事業負担金 782 万円
- ・その他経費 26 万円

## (2) 活動指標

- ・運行日数 188日（土・日、祝日、行楽期の平日運行）
- ・運行コース ハイウェイミュージアム⇒小布施駅⇒北斎館入口⇒おぶせミュージアム⇒松村駐車場⇒おぶせ中国美術館⇒フローラルガーデン⇒浄光寺⇒岩松院⇒フローラルガーデン⇒松村駐車場⇒おぶせミュージアム⇒北斎館入口⇒小布施駅⇒ハイウェイミュージアム 1日7往復
- ・利用者数 個人9,379人、団体500人

## (3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用者数	9,437人	8,731人	7,633人	12,674人	9,879人
運行日数	189日	174日	102日	244日	188日
便数	205便	186便	108便	258便	197便

**カントリーウォークの開催(産業振興グループ)**

予算事業名：カントリーウォーク事業費

当初予算額 2,529,000 円

最終予算額 2,529,000 円

決算額 2,190,302 円

町内をゆっくり散策し、地域の良さを再発見したり小布施の魅力をPRするため、ウォーキング事業を行いました。

## (1) 主な支出

- ・花巡り健康ウォーク等告知委託 105 万円
- ・需用費 51 万円
- ・広告費他 63 万円

## (2) 活動指標

- ・花巡り健康ウォーク 平成22年4月17日 参加者 320人  
コース 5km 小布施総合公園～玄照寺～オープンガーデン
- ・深緑さわやかウォーク 平成22年6月12日 参加者 432人  
コース 5km 松村駐車場～里道～せせらぎ緑道～オープンガーデン～フローラルガーデン
- ・農村散策ウォーク 平成22年10月16日 参加者 244人  
コース 5km フラワーセンター～りんご畑、栗畑～お寺

## ウォーキング参加者の声

- ・おもてなしがよかった。オープンガーデンがよかった。案内人の説明がよかった。
- ・ウォーキングを通して小布施がもっと好きになった。

**花のまちづくり事業(オープンガーデンの拡大)(産業振興グループ)**

予算事業名：花のまちづくり事業費

当初予算額 1,144,000 円

最終予算額 1,144,000 円

決算額 765,850 円

町内の全域で花を介した交流が広がるよう、趣旨に賛同いただいたお宅などを来訪者に開放するオープンガーデン事業を実施しています。

## (1) 主な支出

- ・ブック作成 27 万円
- ・花の会会費 等 6 万円
- ・消耗品等 38 万円

(2) 活動指標

- ・平成22年度登録件数 108軒

(3) 活動指標の推移

(単位：軒)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
個人	43	69	80	81	83
公共	2	2	2	2	2
店舗	16	19	20	23	23
登録軒数	61	90	102	106	108

**花仲間ガーデニング大楽校の開催(産業振興グループ)**

予算事業名：花のまちづくり事業費

当初予算額 816,000 円 最終予算額 816,000 円 決算額 373,670 円

楽しく学びながらガーデニング技術を向上させることを目的に、講習会や実技等を行うガーデニング大楽校を開催しました。

(1) 主な支出

- ・講師謝礼等 17 万円
- ・花苗、肥料代等消耗品 19 万円

(2) 活動指標

- ・講習会 (実習) 開催 4回 (5、6、7、12月) 受講者数 延べ83人
- ・善光寺花回廊「小布施コーナー」参加 (ミニガーデン作り) 参加者数 2人
- ・視察研修 軽井沢レイクガーデン、軽井沢タリテ 平成22年6月26日

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
大楽校開催回数 (講座、実習)	9回	4回	4回	4回	4回
参加者数	112 人	55 人	50 人	80 人	83 人

**松村駐車場の管理運営(産業振興グループ)**

予算事業名：松村駐車場管理費

当初予算額 4,033,000 円 最終予算額 4,033,000 円 決算額 3,798,420 円

町に訪れる観光客が車を停めて町を散策するための拠点として、また行楽期の交通渋滞を解消するため、松村駐車場、小布施南駐車場の管理運営を行いました。

(1) 主な支出

- ・管理人賃金 (2人) 117 万円
- ・駐車場整理委託料 (シルバー人材) 22 万円
- ・駐車場用地借上料 221 万円
- ・消耗品、光熱水費等 19 万円

(2) 活動指標

自動車の種別	利用台数 (台)	駐車場使用料収入 (万円)
大型車(4時間まで1,200円)	44	5
普通車(4時間まで300円)	5,612	168
二輪車(4時間まで100円)	53	1
計	5,709	174

松村駐車場 4,872.6 m<sup>2</sup> 南駐車場 1,479.0 m<sup>2</sup>

(3) 活動指標の推移

- ・次ページ「森の駐車場の管理運営」参照

**森の駐車場の管理運営(産業振興グループ)**

予算事業名：森の駐車場管理費

当初予算額 2,609,000 円 最終予算額 2,609,000 円 決算額 2,072,329 円

町に訪れる観光客が車を停めて町を散策するための拠点として、また交流の場として新たに森の駐車場を整備し管理運営を行いました。

## (1) 主な支出

・管理人賃金(2人)	142 万円
・清掃委託	6 万円
・警備保障	9 万円
・通信費、火災・自動車保険料	10 万円
・消耗品、光熱水費	40 万円

## (2) 活動指標

自動車の種別	利用台数(台)	駐車場使用料収入(万円)
普通車(4時間まで300円)	11,403	342
二輪車(4時間まで100円)	70	1
計	11,473	343

## (3) 活動指標の推移

(単位：台)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
松村駐車場	15,420	8,191	5,444	5,972	5,709
森の駐車場	-	-	7,038	10,545	11,473
東町駐車場(参考)	30,542	22,676	20,688	24,724	22,212
北斎館駐車場(参考)	17,183	20,568	22,191	19,902	14,374
計	63,145	51,435	55,361	61,143	53,768

**観光施設の管理(産業振興グループ)**

予算事業名：観光施設等管理費

当初予算額 3,998,000 円 最終予算額 10,040,000 円 決算額 3,253,510 円

地域の交流の拠点として、また生産者自らが新鮮な農産物等を販売する中で消費者と交流し、町の産業のPRを行う場としてふるさと交流センターの管理運営を行いました。

## (1) 主な支出

・消耗品、光熱水費	23 万円
・火災保険料	11 万円
・土地借上料	115 万円
・北斎館公衆トイレ負担金	171 万円
・ふるさと交流センター清掃委託	5 万円

## (2) 活動指標

- ・「栗どっこの会」による栗どっこ市の開催(毎週日曜日)

「栗どっこの会」による栗どっこ市は平成7年から実施し、地元の農産品等を販売しています。朝市として定着し、地域住民、観光客等に親しまれています。

**シャトルバスの更新(繰越分)(産業振興グループ)**

予算事業名：シャトルバス運行事業費

当初予算額 0 円 繰越予算額 17,115,000 円 決算額 16,101,750 円

町内を遊周するシャトルバス「おぶせロマン号」を、赤と白を基調にした新しいバスに更新しました。

## (1) 主な支出

・シャトルバスの入替	1,610 万円
------------	----------

## (2) 活動指標

- ・33人乗り、車いす対応のノンステップ型に更新

4	労働諸費	34,302,053	決算事項別明細書 P54～		
<b>勤労者協議会の活動支援(産業振興グループ)</b>			予算事業名：勤労者対策費		
当初予算額	500,000 円	最終予算額	500,000 円	決算額	500,000 円
勤労者協議会が活動を行う地域のボランティア活動や、勤労者の福祉向上を目的に行う事業に補助を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 勤労者協議会交付金 50 万円					
(2) 活動指標					
・ 町勤労協駅前駐輪場の管理（毎月第2日曜日の早朝、清掃）					
・ 魚のつかみどり大会（8月8日開催 総合公園）					
・ くりんこ祭りイベント参加（7月31日開催 商工会館前）					
・ 勤労者の祭典及び「働く人・もの」絵画展（10月24日開催 総合体育館）					
・ 町政懇談会（3月5日開催 魚ふさ）町長と勤労協会員の懇談					
(3) 活動指標の推移					
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
会員数	70世帯	75世帯	80世帯	70世帯	70世帯
補助額	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円
<b>県労働金庫への預託など(産業振興グループ)</b>			予算事業名：勤労者対策費		
当初予算額	3,327,000 円	最終予算額	3,327,000 円	決算額	3,219,583 円
勤労者に対する生活資金の融資をしている長野県労働金庫へ、その原資となる預託を行いました。また、勤労者生活資金融資利子補給金等の補助を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 勤労者生活資金融資預託金 300 万円					
・ 勤労者生活資金融資利子補給金 3 万円					
・ 中小企業退職金共済加入奨励補助金 11 万円					
・ 須高地区福祉協議会等負担金 7 万円					
(2) 活動指標					
・ 勤労者生活資金融資					
労働金庫 貸付限度額 100万円（5年以内） 借入者 6人					
・ 中小企業退職金共済加入奨励補助金 5社 35人					
(3) 活動指標の推移					
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
預託金額	200万円	200万円	200万円	200万円	300万円
新規借入者	4人	1人	1人	2人	3人
<b>駅前駐輪場の管理(産業振興グループ)</b>			予算事業名：駅前駐輪場管理費		
当初予算額	139,000 円	最終予算額	139,000 円	決算額	91,953 円
町民の皆さんの駅利用にかかる便宜を図るため、駐輪場の管理を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 駐輪場管理賃金 8 万円					
・ 消耗品費 1 万円					

起業者の支援(産業振興グループ)			予算事業名：起業者支援事業費	
当初予算額	30,840,000 円	最終予算額	30,840,000 円	決算額 30,190,517 円
100年に一度ともいわれる厳しい経済情勢の中、農業、商業、工業などで新たに事業を起こす皆さんを支援しました。				
(1) 主な支出				
・ 起業者支援預託金		3,000 万円		
・ 町起業支援資金融資保証料補給金		16 万円		
・ 町起業支援資金融資利子補給金		3 万円		
(2) 活動指標				
・ チャレンジ資金 新規開業予定者及び開業から3年未満の個人または法人				
・ パワーアップ資金 新しい技術やサービスの研究開発、事業展開を行う個人または法人				
・ 融資限度額 1,000万円（設備 500万円, 運転 500万円）				
・ 融資のあっせん、保証料や利子に対する補助件数 3事業所				
雇用安定助成事業(繰越分)(産業振興グループ)			予算事業名：勤労者対策費	
当初予算額	0 円	繰越予算額	1,277,000 円	決算額 300,000 円
事業主の負担を軽減し、雇用の安定を図るため、新規雇用に対する助成等を行いました。				
(1) 主な支出				
・ 雇用創出給付金		30 万円		
(2) 活動指標				
・ 1件（正規職員の雇用）				

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
7			土木費	577,657,596	
	1		土木管理費	33,380,049	
		1	土木総務費	33,380,049	決算事項別明細書 P54～
未登記物件の処理・赤線の有効活用(地域整備グループ)					予算事業名：登記事務費
当初予算額 262,000 円 最終予算額 262,000 円					決算額 217,240 円
町の事業により買収した用地等について登記を行いました。また、法定外公共物の適正な管理を行うため、民地との境界立会い、法定外公共物等の売却を行いました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> <li>県地区用地対策連絡協議会負担金 0.4 万円</li> <li>分筆業務委託 20 万円</li> <li>関連事務費等 1 万円</li> </ul>					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>登記件数（所有権移転）：14件 (地域型住宅地売却：4件、土地払下：3件、歩道用地購入：3件 開発行為に伴う帰属：4件)</li> <li>法定外公共物の売却：3件</li> </ul>					
事業関連に伴い嘱託登記を行いました。また、法定外公共物と民地との境界立会いを行い、町有財産の適正な把握・管理に努めました。					
高速交通網の推進(地域整備グループ)					予算事業名：高速道新幹線対策費
当初予算額 88,000 円 最終予算額 88,000 円					決算額 29,600 円
上信越自動車道信濃町上越間の早期4車線化、北陸新幹線長野以北の整備促進などを図るため、各期成同盟会で要望活動等を行いました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸新幹線長野県沿線広域市町村連絡協議会負担金 0.5 万円</li> <li>中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会会費 0.6 万円</li> <li>上信越自動車道建設促進期成同盟会負担金 0.6 万円</li> <li>信州まつもと空港利用促進協議会負担金 1 万円</li> </ul>					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>上信越自動車道建設促進期成同盟会定期総会 6月29日開催 上越市「ホテルハイマート」 下記項目について決議 1 一日も早い全線4車線化の実現のために、信濃町IC～上越JCT間の4車線化工事に着手し、建設促進を図ること</li> <li>北陸新幹線長野県沿線広域市町村連絡協議会定期総会 5月21日開催 長野市「サンパルテ山王」 下記項目について決議 1 長野・白山総合車両基地間の建設を促進し、工期の短縮を図るとともに、敦賀までの工事実施計画を早急に認可し、フル規格での早期整備を図ること 2 整備新幹線事業費として平成23年度予算を十分に確保し、建設促進を図るとともに建設費の地域負担に対し適切な財源措置を講じること 3 大阪までの基本整備方針を明確化すること 4 将来の運行ダイヤに支障がないよう大宮・東京間の改善を図ること 5 並行在来線の存続に向け、今後、分離が予定されるものについては、現行スキームの見直しを図り、国・地方・JRの3者が協力する新たな仕組みをつくり、あわせて、収益性に基づいた譲渡資産の評価方法のルール化や初期投資・運行経費に対する新たな交付金制度の創設を図ること また、既に経営分離されているものについても、新たな交付金制度の創設に加え、線路使用実態に見合った適正な貨物線路使用料を設定すること</li> </ul>					

- 6 新規着工区間の認可、並行在来線への支援等に対応するため、ＪＲからの貸付料を含め、多方面から財源を確保すること
- 7 平成26年度末までに開業する北陸新幹線の呼称については、沿線地域の一体的な発展に寄与するよう配慮すること

上記決議項目について、関係機関に働きかけ、早期実現を図っていきます。

#### ETC専用インターチェンジの利用促進(地域整備グループ) 予算事業名： ETC専用インターチェンジ事業費

当初予算額 954,000 円 最終予算額 954,000 円 決算額 840,000 円

平成18年10月にスマートＩＣ（ＥＴＣ専用インター）が本格導入され、利用は順調に伸びています。引き続き利用促進を図るため、第２ＰＡ駐車場区画線の設置工事を行いました。

##### (1) 主な支出

- ・第２ＰＡ駐車場区画線設置等工事 84 万円

##### (2) 活動指標

- ・第２ＰＡ駐車場区画線の設置

##### (3) 活動指標の推移

利用台数（平成17年4月開設）

	平成19年3月	平成20年3月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月
年度内日平均利用台数	1,157	1,461	1,717	2,220	2,406
日最大利用台数	1,717	2,171	2,988	4,740	6,046
利用台数累計	658,300	1,191,487	1,818,134	2,628,556	3,506,982

利用実績は順調に伸びています。

#### 職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 39,404,000 円 最終予算額 33,160,000 円 決算額 32,293,209 円

##### (1) 主な支出

- ・職員人件費 3,229 万円

#### 2 道路橋梁費 117,333,382

##### 1 道路橋梁総務費 1,260,984

決算事項別明細書 P54～

#### 国・県道の整備促進(建設水道グループ)

予算事業名：道路橋梁総務費

当初予算額 1,406,000 円 最終予算額 1,406,000 円 決算額 1,260,984 円

国・県道の整備促進のため、関係自治体と期成同盟会を構成し、各種行事や要望活動に参加しました。

##### (1) 主な支出

- ・国道403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会負担金 1 万円
- ・(主)豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会負担金 1 万円
- ・須高土木振興会負担金 7 万円
- ・千曲大橋建設促進期成同盟会負担金 1 万円
- ・土木専門研修受講負担金 3 万円

##### (2) 活動指標

- ・須高土木振興会 平成22年7月 長野県議会要望  
平成22年11月 関東地方整備局要望  
平成22年11月 国会議員要望
- ・国道403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会他3同盟会  
年1回の総会、年1回(11月頃)国・県への要望活動
- ・国道403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会



<p>中野市～千曲市の4市1町の構成であり、今後也要望を中心に活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（主）豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会</li> </ul> <p>長野市～山ノ内町の2市2町1村で構成され、今後也要望を中心に活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千曲大橋建設促進期成同盟会</li> </ul> <p>架橋促進、県道編入のための陳情・請願 平成22年度は道路建設計画を研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・須高土木振興会は今後も同規模で継続</li> </ul>			
2	道路維持費	96,510,017	決算事項別明細書 P55～
<b>町道の維持管理(建設水道グループ)</b>		予算事業名：道路維持管理費	
当初予算額	6,042,000 円	最終予算額	6,042,000 円
		決算額	4,873,911 円
<p>前年度に行った舗装工事、水路改良工事に係る道路台帳の補正を行いました。また、安全で安心して道路が利用できるように草刈り、小修繕を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路台帳の補正委託 168 万円</li> <li>・草刈り等の委託 198 万円</li> <li>・土地の借上料 2 万円</li> <li>・街路灯などの電気料 38 万円</li> <li>・道路補修 2 万円</li> <li>・道路補修用碎石 49 万円</li> <li>・道路補修用資材 7 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路台帳補正 L=1,819.7m</li> <li>・補修箇所：林地区 ハイウェイ灯自動点滅器修繕</li> <li>・道路補修用碎石等の箇所 山王島共有地、大島共有地、飯田共有地、北部土木振興会 北部コミュニティ</li> </ul> <p>道路法第28条に基づき道路台帳を整備、必要な平面図、調書等を作成し適正な道路管理を行っています。</p> <p>道路補修用碎石及び資材の支給は、地域住民によるよろずぶしん事業として実施しました。</p>			
<b>除雪及び凍結防止剤の散布(建設水道グループ)</b>		予算事業名：道路除雪費	
当初予算額	5,539,000 円	最終予算額	18,567,000 円
		決算額	18,566,606 円
<p>通勤・通学路の除雪と凍結防止剤の散布を民間業者に委託して行いました。また、各コミュニティに小型除雪機を貸し出しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪等機械借上げ 1,569 万円</li> <li>・凍結防止剤 214 万円</li> <li>・小型除雪機保険料 12 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪：通勤通学路を中心に78.7km、歩道4.3km、駐車場26箇所を除雪 4回出動</li> <li>・凍結防止剤：生活幹線道路、路面凍結が著しい路線12.1kmに散布 2,035袋購入 21回出動</li> <li>・小型除雪機配置 28台 第1コミュニティ 2台 第2コミュニティ 4台 第3コミュニティ 3台</li> </ul>			

第4コミュニティ	2台
第5コミュニティ	2台
第6コミュニティ	3台
第7コミュニティ	4台
第8コミュニティ	3台
第9コミュニティ	5台

除雪路線以外の町道については、地域住民が地域の除雪を行えるよう小型除雪機を各コミュニティに配置（貸出し）しています。（平成17年度11台、平成18年度17台、計28台を配置）また、凍結防止剤が必要な自治会には、要望に応じて凍結防止剤をお配りし、地域の皆さんに自主的な散布をお願いしました。

雪捨て場を千曲川右岸小布施橋上流側に確保しました。

#### 町道の舗装修繕(建設水道グループ)

予算事業名：道路補修事業費

当初予算額 60,000,000 円

最終予算額 85,000,000 円

決算額 41,034,000 円

幅員5.5m以上の生活幹線道路で、路面の傷みが激しい路線の舗装修繕を行いました。

#### (1) 主な支出

・工事請負費 4,014 万円

#### (2) 活動指標

・修繕工事の実施状況

(単位：万円)

路 線 名	内 容	金 額
まちづくり交付金事業町道546号線舗装修繕（その1）工事	L = 180.0m A = 1,057m <sup>2</sup>	369
まちづくり交付金事業町道584号線舗装修繕（その1）工事	L = 160.4m A = 1,005m <sup>2</sup>	332
まちづくり交付金事業町道546号線舗装修繕（その2）工事	L = 190.8m A = 1,154m <sup>2</sup>	460
まちづくり交付金事業町道584号線舗装修繕（その2）工事	L = 160.0m A = 1,022m <sup>2</sup>	336
まちづくり交付金事業町道546号線舗装修繕（その3）工事	L = 189.8m A = 1,139m <sup>2</sup>	374
まちづくり交付金事業町道584号線舗装修繕（その3）工事	L = 178.3m A = 1,046m <sup>2</sup>	655
まちづくり交付金事業町道546号線舗装修繕（その4）工事	L = 229.75m A = 1,452m <sup>2</sup>	462
まちづくり交付金事業町道584号線舗装修繕（その4）工事	L = 303.75m A = 1,737m <sup>2</sup>	961
町道586号線舗装修繕工事	A = 52.2m <sup>2</sup>	54
町道143号線舗装修繕工事	A = 13.8m <sup>2</sup>	11
計		4,014

※ L：延長、A：面積

#### (3) 活動指標の推移

・5年間の実施状況

(単位：万円)

年 度	箇所数	内 容	金 額
18	27	L = 2,539.96m A = 19,680.4m <sup>2</sup>	7,364
19	10	L = 1,052.75m A = 10,499m <sup>2</sup>	3,325
20	16	L = 2,200.5m A = 15,547m <sup>2</sup>	3,325
21	16	L = 2,316.5m A = 15,666m <sup>2</sup>	5,940
22	16	L = 3,054.22m A = 17,138.9m <sup>2</sup>	7,218

※ L：延長、A：面積

**町道の舗装修繕(繰越分)(建設水道グループ)**

予算事業名：道路補修事業費

当初予算額

0 円

繰越予算額

32,163,000 円

決算額

32,035,500 円

舗装の修繕工事を平成21年度から繰越して実施しました。

(1) 主な支出

- ・工事請負費 3,204 万円

(2) 活動指標

- ・修繕工事の実施状況

(単位：万円)

路 線 名	内 容	金 額
町道585号線舗装修繕(その3) 工事	L=140.67m A= 875m <sup>2</sup>	330
町道281号線舗装修繕工事	L=236.2m A=1,046m <sup>2</sup>	343
町道56号線舗装修繕工事	L=2.65m A= 14.7m <sup>2</sup>	35
町道530号線舗装修繕工事	A=10.9m <sup>2</sup>	14
町道585号線舗装修繕(その4) 工事	L=211.15m A=1,284m <sup>2</sup>	411
町道349号線舗装修繕工事	L=304.2m A=1,448m <sup>2</sup>	443
町道412号線舗装修繕工事	A= 7m <sup>2</sup>	8
栗が丘歩道修繕工事	L=14.2m	76
町道339号線歩道修繕工事	L=3m A= 5.4m <sup>2</sup>	11
町道585号線路肩修繕(その1) 工事	L=20m	139
町道585号線路肩修繕(その2) 工事	L=14.75m	104
町道585号線路肩修繕(その3) 工事	L=8.9m	174
町道300号線舗装修繕工事	L=183.1m A= 829m <sup>2</sup>	257
町道671号線舗装修繕(その1) 工事	L=294.5m A=1,815m <sup>2</sup>	704
町道406号線舗装修繕工事	L=20.5m A= 85m <sup>2</sup>	127
除雪支障舗装修繕工事	A= 39.9m <sup>2</sup>	28
計		3,204

※ L：延長、A：面積

3 道路新設改良費

4,135,550

決算事項別明細書 P55～

**町道の改良工事(建設水道グループ)**

予算事業名：道路新設改良事業費

当初予算額 13,800,000 円

最終予算額

3,890,000 円

決算額

2,928,050 円

町道175号線の改良と町道57号線の舗装工事、町道339号線の歩道設置工事を行いました。

(1) 主な支出

- ・測量設計 139 万円
- ・工事請負費 149 万円
- ・用地買収 5 万円

(2) 活動指標

- ・改良、舗装事業の実施状況

(単位：万円)

路 線 名	工種	内 容	金 額
町道175号線道路改良工事	土木	L=11.9m	46
町道57号線舗装工事	舗装	L=47.2m A=94.9m <sup>2</sup>	82
町道339号線歩道設置工事	土木	L=15.8m	21
計			149

※ L：延長、A：面積

町道の改良工事(繰越分)(建設水道グループ)

予算事業名：道路新設改良事業費

当初予算額0円繰越予算額4,960,000円決算額1,207,500円

町道412号線の道路改良工事を行いました。

(1) 主な支出  
・改良工事121万円

(2) 活動指標  
・改良事業の実施状況(単位：万円)

路線名	工種	内 容	金 額
町道412号線道路改良工事	土木	L = 56.9m	121
計			121

※ L：延長、A：面積

(3) 活動指標の推移  
・5年間の実施状況(単位：万円)

年度	箇所数	内 容	金 額
18	1	L = 10.3m A = 12.3㎡	67
19	1	工事は、平成20年度へ繰越	—
20	1	L = 23.5m	1,806
21	3	L = 77.35m A = 201㎡	807
22	4	L = 131.8m A = 94.9㎡	270

※ L：延長、A：面積

(4) 成果指標  
・町道の状況

年度	実延長 (m)	改良済延長 (m)	改良率 (%)	舗装延長 (m)	舗装率 (%)
18	186,462.6	122,325.6	65.6	167,005.4	89.6
19	187,969.8	124,728.6	66.4	168,794.1	89.8
20	189,149.5	126,392.0	66.8	171,140.1	90.5
21	191,062.6	128,240.7	67.1	173,050.2	90.6
22	191,031.5	128,794.6	67.4	173,083.1	90.6

4 橋梁維持費10,963,919

決算事項別明細書 P55～

橋梁の維持管理(建設水道グループ)

予算事業名：橋梁維持管理費

当初予算額234,000円最終予算額5,800,000円決算額127,919円

橋梁の機能を維持するため、必要な管理を行いました。

(1) 主な支出  
・街路灯の電気料8万円  
・街路灯修繕5万円

横断暗渠(地下水路)の修繕(建設水道グループ)

予算事業名：橋梁補修事業費

当初予算額5,000,000円最終予算額22,434,000円決算額5,565,000円

老朽化した横断暗渠（地下水路）の修繕を行いました。

(1) 主な支出  
・橋梁暗渠等修繕工事557万円

(2) 活動指標

・橋梁暗渠修繕工事の実施状況

(単位：万円)

路 線 名	内 容	金 額
下松川橋高欄塗装修繕（その２）工事	高欄塗装修繕 A=22㎡	100
町道546号線横断暗渠修繕（その１）工事	横断VS1300 L=8.6m VS300 L=8.0m	210
町道546号線横断暗渠修繕（その２）工事	横断VS400 L=22.7m	146
町道546号線横断暗渠修繕（その３）工事	横断VS400 L=14.2m	101
計		557

※ L：延長

(3) 活動指標の推移

・5年間の実施状況

(単位：万円)

年度	箇所数	内 容	金 額
18	10	L=91.8m 地覆修繕 グレーチング等	739
19	16	L=113.7m 高欄修繕 グレーチング 甲蓋等	1,153
20	14	L=169.5m	1,092
21	5	L=63.35m	355
22	9	L=108.5m 高欄塗装修繕 A=44㎡	1,084

※ L：延長

**横断暗渠（地下水路）の修繕（繰越分）（建設水道グループ）**

予算事業名：橋梁補修事業費

当初予算額 0 円 繰越予算額 5,283,000 円 決算額 5,271,000 円

老朽化した横断暗渠（地下水路）の修繕を行いました。

(1) 主な支出

・橋梁暗渠等修繕工事 527 万円

(2) 活動指標

・橋梁暗渠修繕工事の実施状況

(単位：万円)

路 線 名	内 容	金 額
町道530号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=11.3m	89
町道584号線横断暗渠修繕工事	横断VS700 L=12.0m	126
町道116・160号線横断暗渠修繕工事	横断VS400 L=23.5m	149
下松川橋高欄塗装修繕（その１）工事	高欄塗装修繕 A=22㎡	100
町道586号線横断暗渠修繕工事	横断VS400 L=8.0m	63
計		527

※ L：延長

**5 交通安全対策費 4,462,912 決算事項別明細書 P55～**

**交通災害共済の推進（地域整備グループ）**

予算事業名：交通安全対策費

当初予算額 404,000 円 最終予算額 404,000 円 決算額 397,645 円

交通事故に遭ってしまった人を救済するため、北信地域町村交通災害共済への加入促進を行い、取りまとめに協力いただいた各自治会に交付金を支払いました。

(1) 主な支出

・交通災害共済推進交付金（28自治会） 27 万円  
・交通災害共済業務電算処理委託 13 万円

(2) 活動指標

・加入人数 8,921人（加入率77.9%）

(3) 成果指標

- ・加入者数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
加入者数	9,711人	9,445人	9,322人	9,254人	8,921人
加入率	82.8%	80.8%	80.3%	80.8%	77.9%

**交通安全の啓発と推進(地域整備グループ)**

予算事業名：交通安全対策費

当初予算額 506,000 円 最終予算額 506,000 円 決算額 402,167 円

町民みんなの願いである「事故のない明るいまちづくり」を呼びかけ、活発な活動を行っている交通安全協会を支援しました。

(1) 主な支出

- ・町交通安全協会補助金 10 万円
- ・諸行事街頭警備委託 10 万円
- ・車両誘導警備委託 8 万円
- ・交通安全灯などの修繕 3 万円
- ・道路照明電気料 7 万円

(2) 活動指標

- ・年末年始等、年4回の交通安全運動に合わせた啓発活動
- ・町交通安全協会 会員数：約3,600世帯  
活動状況：毎月5のつく日（5日、15日、25日）における全町一斉街頭啓発  
年間延出役者数：約1,800人 街頭啓発箇所数：約30箇所 年間日数：32日
- ・高齢者または子どもへの交通安全啓発等の交通安全協会活動
- ・町主催行事等での交通安全警戒活動 4行事（安市、くりんこ祭り、ロードレース大会、小布施見にマラソン）延べ約160人出動

(3) 活動指標の推移

- ・町内交通事故発生件数の推移

(単位：件)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
発生件数	55	59	55	52	54
死亡事故件数	2	0	0	0	0

- ・シートベルト着用率（7月調査）の推移

(単位：%)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
総合着用率	89.7	97.7	96.7	97.4	99.5
県下平均	95.5	96.1	97.4	97.7	98.6
順位	76位/81市町村	23位/81市町村	62位/81市町村	63位/80市町村	18位/77市町村

- ・町交通安全協会納入者数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
納入者数（世帯）	2,987	2,919	2,951	2,989	2,960

(4) 成果指標

- ・平成22年度小布施町内交通死亡事故ゼロ

**道路反射鏡や道路区画線等の設置(地域整備グループ)**

予算事業名：交通安全施設設置費

当初予算額 3,825,000 円 最終予算額 3,825,000 円 決算額 3,551,100 円

道路反射鏡などの交通安全施設の設置や修繕など維持管理を行い、安全に通行できる環境を整えました。

(1) 主な支出

- ・反射鏡等の設置・修繕 355 万円

## (2) 活動指標

- ・反射鏡等設置 14箇所
- ・交通安全施設修繕 8箇所

## (3) 活動指標の推移

- ・交通安全施設の設置、修繕の状況 (単位：箇所)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
反射鏡等設置	13	13	8	6	14
デリネータ等の修繕	2	2	3	2	8

自治会からの設置要望箇所、老朽化の著しい箇所を中心に設置し、交差点等の見通しを改善するなど、交通事故防止を図りました。

**違法駐車に対する指導(地域整備グループ)**

予算事業名：駐車指導事業費

当初予算額 164,000 円 最終予算額 164,000 円 決算額 112,000 円

行楽期に北斎館周辺に駐車指導員を配置し、違法駐車の手指導や駐車場の案内をすることで、より安全に通行できる環境にしました。また、観光案内としての役割も担いました。

## (1) 主な支出

- ・駐車指導員の謝礼 11万円

## (2) 活動指標

- ・駐車指導員数 12名
- ・ゴールデンウィーク 5日実施 延べ16人出動 駐車指導件数：2件
- ・秋の行楽シーズン中 7日実施 延べ16人出動 駐車指導件数：1件

## (3) 活動指標の推移

- ・違法駐車指導の状況 (単位：件数)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
駐車指導件数	1	0	0	0	3

※駐車指導員の主な活動内容は、駐車場の案内、観光案内などとなっています。

3

河川費

67,262,987

1

河川総務費

346,825

決算事項別明細書 P56～

**河川の整備促進(建設水道グループ)**

予算事業名：河川総務費

当初予算額 627,000 円 最終予算額 627,000 円 決算額 346,825 円

国・県が管理する一級河川の整備を促進するため、関係自治体と期成同盟会を構成し、各種行事や要望活動に参加しました。

## (1) 主な支出

- ・浅川改修期成同盟会負担金 1万円
- ・千曲川改修期成同盟会負担金 3万円
- ・篠井川改修促進期成同盟会負担金 2万円
- ・須高地区治水砂防事業促進期成同盟会負担金 12万円
- ・河川管理研修 1万円

## (2) 活動指標

- ・浅川改修期成同盟会  
平成22年6月 総会 長野県へ要望活動
- ・千曲川改修期成同盟会  
平成22年7月 総会 北陸地方整備局へ要望活動  
平成22年8月 国土交通省、財務省、国会議員へ要望活動

- 平成22年11月 長野県意見交換会へ参加
- ・篠井川改修促進期成同盟会
  - 平成22年7月 千曲川河川事務所へ要望活動
  - 平成22年7月 北陸地方整備局へ要望活動
  - 平成22年7月 国土交通省、財務省、国会議員へ要望活動
  - 平成22年7月 総会
- ・須高地区治水砂防事業促進期成同盟会
  - 平成22年6月 全国治水大会へ参加
  - 平成22年8月 総会
  - 平成22年11月 全国大会に併せ国会議員へ要望活動
- ・浅川改修期成同盟会
 

改修計画が再び動きだしており、未改修箇所の整備促進、内水対策ができるよう要望しています。
- ・千曲川改修期成同盟会
 

千曲川右岸押羽地籍の漏水対策を継続して要望しています。
- ・篠井川改修促進期成同盟会
 

ポンプの増設については、継続して要望しています。
- ・須高地区治水砂防事業促進期成同盟会
 

深沢川、松川の河川改修を要望しています。

2	河川水路維持費	4,820,992	決算事項別明細書	P56～
---	---------	-----------	----------	------

河川の維持管理(建設水道グループ)			予算事業名：河川維持管理費	
当初予算額	649,000 円	最終予算額	649,000 円	決算額 494,523 円

県が管理する一級河川深沢川の愛護活動を行っている団体に対し、助成を行いました。

- (1) 主な支出
- ・深沢川維持管理組合交付金 15 万円
- (2) 活動指標
- ・深沢川維持管理組合
    - 7月11日 藻払い及び草刈り 249人出労

地域住民の皆さんのご協力により良好な河川環境が維持されています。

水路の維持管理(建設水道グループ)			予算事業名：水路維持管理費	
当初予算額	3,678,000 円	最終予算額	3,993,000 円	決算額 3,458,948 円

水路の機能を維持するため必要な管理を行いました。

- (1) 主な支出
- ・清掃業務の委託 126 万円
  - ・土砂等除去機械の借上げ 22 万円
  - ・水路の修繕 196 万円
- (2) 活動指標
- ・東町暗渠、福原暗渠、中町暗渠、赤川、二ノ口水門等の清掃
  - ・松川水門ピット
  - ・松の実水路、千両水路、水上水路、林水路、東町水路、大島水路、松村水路、矢島水路、中町水路、横町水路等の修繕



水路の改良と蓋かけ(建設水道グループ)				予算事業名：水路維持管理費	
当初予算額	1,070,000 円	最終予算額	1,070,000 円	決算額	867,521 円
よろずぶしん事業で自治会の皆さんに水路の蓋かけにご協力いただきました。					
(1) 主な支出					
・ よろずぶしん事業資材購入 87 万円					
(2) 活動指標					
・ 六川・飯田・大島・松村・伊勢町・松の実・千両自治会によるよろずぶしん資材を提供しました。					
3	水路新設改良費	60,008,550	決算事項別明細書 P56～		
水路の改良と蓋かけ(建設水道グループ)				予算事業名：水路新設改良事業費	
当初予算額	7,986,000 円	最終予算額	73,860,000 円	決算額	55,555,500 円
緊急度・優先度に応じて、町内の水路の改良と蓋かけ工事を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 測量設計委託料 27 万円					
・ 工事請負費 5,528 万円					
(2) 活動指標					
・ 水路改良工事の実施状況 (単位：万円)					
路 線 名	工 種	内 容		金 額	
大島大排水路（その1）	改 良	石積み L = 89.25m		1,283	
押羽水路	改 良	VS800布設 L = 112.3m		653	
大島大排水路（その2）	改 良	石積み L = 87.4m		1,164	
伊勢町水路	改 良	VS300布設 L = 52.4m		139	
松村水路	改 良	VS300布設 L = 54.7m		134	
六川水路	改 良	VS300布設 L = 13.7m		74	
大島大排水路（その3）	改 良	石積み L = 90.1m		2,055	
林水路	改 良	蓋かけ L = 3.35m		26	
計				5,528	
※ L：延長					
(3) 活動指標の推移					
・ 5年間の実施状況 (単位：万円)					
年度	箇所数	内容		金額	
18	14	L=649.6m		1,458	
19	6	L=608.56m		3,304	
20	10	L=1,219.98m		4,936	
21	4	L=253.4m		675	
22	12	L=684.78m		5,973	
※ L：延長					
水路の改良と蓋かけ(繰越分)(建設水道グループ)				予算事業名：水路新設改良事業費	
当初予算額	0 円	繰越予算額	4,598,000 円	決算額	4,453,050 円
水路の改良工事を平成21年度から繰越して実施しました。					
(1) 主な支出					
・ 工事請負費 445 万円					

## (2) 活動指標

・水路改良工事の実施状況

(単位：万円)

路 線 名	工 種	内 容	金 額
東町水路	改 良	VS300布設 L = 73.0m	182
松村水路	改 良	VS300布設 L = 100.1m	243
林水路	改 良	蓋かけ L = 6.0m	14
林水路 (その2)	改 良	蓋かけ L = 2.46m	6
計			445

※ L：延長、A：面積

4	河川公園費	2,086,620	決算事項別明細書 P56～
千曲川河川公園の維持管理(地域整備グループ)		予算事業名：河川公園管理費	
当初予算額	2,802,000 円	最終予算額	2,802,000 円
		決算額	2,086,620 円

全長4km、600本余の八重桜「一葉」の桜堤と、広大な菜の花畑の千曲川河川公園を良好な状態で利用していただけるよう維持管理を行いました。

## (1) 主な支出

・桜堤消毒用薬剤等	11 万円
・仮設トイレ借上げ等 (4月下旬～5月上旬：9基)	15 万円
・千曲川右岸堤防除草業務委託	122 万円
・千曲川河川公園維持管理委託 (山王島黄金島の会)	10 万円
・桜堤ライトアップ委託	21 万円
・千曲川犀川河川緑地連絡会負担金	4 万円

## (2) 活動指標

- ・菜の花畑の地域住民で組織する「山王島黄金島の会」による委託管理
- ・千曲川河川公園の緑の管理人等による良好な維持管理
- ・4月下旬から5月上旬にかけて桜堤の一部をライトアップ及び仮設トイレ設置

菜の花畑は地域住民で組織する「山王島黄金島の会」で管理を行っており、地域の公園という意識が定着してきています。

毎年4月29日に開催される地域住民による「千曲川ふれあい公園まつり」の期間にあわせ夜桜も楽しんでもらうため桜堤のライトアップを実施しました。また、地域住民により管理された菜の花畑には、町内はもちろん町外からも多くの方々が訪れています。

桜堤堤防上は自転車歩行者道となっており、ウォーキングやジョギングなどで年間を通して活用されています。

4	都市計画費	285,689,731	
1	都市計画総務費	1,958,569	決算事項別明細書 P57～
良好な景観・都市計画の推進(地域整備グループ)		予算事業名：都市計画総務費	
当初予算額	2,432,000 円	最終予算額	2,432,000 円
		決算額	1,958,569 円

市街化調整区域内の一部で開発行為の緩和をしています。景観に配慮した秩序ある土地利用の推進を図るとともに、市街化区域との均衡を図りながら施策の推進をしました。

また、平成22年度終了のまちづくり交付金事業の事後評価を行うとともに、都市計画街路飯山線(国道403号)の見直しの基礎資料作成のため県が実施する地形測量費の15%を負担しました。

## (1) 主な支出

・交付金事後評価業務委託 (都市再生整備計画)	100 万円
・社会資本整備総合交付金評価委員謝礼	5 万円
・県単事業地元負担金 (飯山線)	79 万円
・都市計画協会会費	3 万円
・県都市施設協会会費及び事業割負担金 (街路含む)	2 万円

## (2) 活動指標

## ・都市再生整備計画事業の成果概要

目標を定量化する指標	従来値		目標値 (H22)	評価値 (H22)
1. 町民の町内の道路の満足度	△0.5 (安全性) △0.2 (快適性)	H17	0 (安全性、快適性共)	△0.3 (安全性) △0.2 (快適性)
2. 来街者の町内の車道の満足度	29% (満足、やや満足)	H18	36%	53%
3. 小布施町立交流センター(仮称)の利用者数	22,560人	H17	60,000人	96,909人
4. 来街者平均滞在時間	108分	H16	120分	120分
その他指標1. 町民の町内の道路の不満足度	53% (安全性) 37% (快適性) (不満、やや不満)	H17	—	43% (安全性) 32% (快適性)

・都市計画協会等では、市町村担当者及び関係機関の職員を対象とした研修会の開催や情報の提供を行い、秩序正しい都市計画の推進を図っています。

市街化を促進する「市街化区域」、良好な景観（農村風景など）を保全するため市街化を抑制する「市街化調整区域」の均衡ある土地利用（開発指導）を進めています。

**都市計画マスタープランの策定(地域整備グループ)**

予算事業名：都市計画マスタープラン策定経費

当初予算額 3,555,000 円 最終予算額 3,555,000 円 決算額 0 円

平成12年度に策定しました「小布施町都市計画マスタープラン」も10年余を経過していることから、実情にあった計画への見直しに着手しました。また、併せて「国土利用計画（小布施町計画）」の見直しに着手しました。（23年度への繰越事業費：全額）

## (1) 主な支出

- ・小布施町都市計画マスタープラン見直し業務委託 0 万円（契約額：252万円）
- ・国土利用計画（小布施町計画）見直し業務委託 0 万円（契約額：32万円）

## (2) 活動指標

- ・見直し業務の委託契約・素案の作成

2 公共下水道費 243,000,000 決算事項別明細書 P57～

**下水道事業特別会計への繰出金(建設水道グループ)**

予算事業名：公共下水道費

当初予算額 259,335,000 円 最終予算額 259,735,000 円 決算額 243,000,000 円

公共下水道事業の運営を行ううえで一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。

## (1) 主な支出

- ・公共下水道事業特別会計繰出金 2億4,300 万円

## (2) 活動指標

- ・雨水経費分 8,670 万円
- ・汚水経費分 1億5,630 万円

3	公園費	40,731,162	決算事項別明細書	P57～
街区公園の維持管理(地域整備グループ)			予算事業名：都市公園管理費	
当初予算額	1,547,000 円	最終予算額	2,096,000 円	決算額 2,095,557 円
地域住民の憩いの場として整備された都市公園（街区公園）の逢瀬公園や福原公園などを良好な状態で利用できるよう維持管理を行いました。 また、冒険の森は東部地区の活性化の拠点として、民間事業者による新たな施設がオープンしました。				
(1) 主な支出				
・光熱水費				20 万円
・街区公園遊具等修繕				43 万円
・冒険の森トイレ等清掃委託（シルバー人材センター）				7 万円
・岩松院ふるさとゾーン清掃・除草委託				24 万円
・公園用地測量業務委託				37 万円
・公園用地借上料				23 万円
・自動車借上料				35 万円
(2) 活動指標				
・街区公園の維持管理（逢瀬公園、小布施児童公園、福原公園、岩松院公園 等）				
街区公園内の草取り及びトイレ掃除等により、気持ち良く・安心して利用いただけるよう管理に努めました。 また、冒険の森に民間事業者により整備されたスキー・スノーボードジャンプ練習施設が10月にオープンしました。				
都市公園遊具入れ替え工事(地域整備グループ)			予算事業名：都市公園整備事業費	
当初予算額	0 円	最終予算額	2,318,000 円	決算額 2,317,140 円
冒険の森の新たな活用を図るための改修工事を行いました。				
(1) 主な支出				
・林地伐開工事				77 万円
・冒険の森フェンス設置工事 他				155 万円
(2) 活動指標				
・冒険の森内蟹沢遺跡周辺フェンス設置				
小布施総合公園の維持管理(地域整備グループ)			予算事業名：総合公園管理費	
当初予算額	20,764,000 円	最終予算額	17,897,000 円	決算額 17,450,165 円
町民の皆さんや来訪者の憩いの場として多くの方々にご利用いただいている小布施総合公園の除草等、維持管理を行いました。				
(1) 主な支出				
・緑の管理人賃金（10人）				798 万円
・光熱水費				338 万円
・公園内施設及び管理用機材等修繕				156 万円
・公園管理用消耗品費				89 万円
・小布施総合公園噴水設備保守点検業務委託				200 万円
・小布施総合公園トイレ清掃等委託（シルバー人材センター）				43 万円
・ハイウェイオアシス管理委託（東日本高速道路㈱）				30 万円
・土地借上料（デイキャンプ場）				33 万円
・小布施総合公園内建物火災保険料				17 万円

- ・都市緑化技術開発機構賛助会員会費 3 万円
- ・関東「道の駅」連絡会会費 5 万円

(2) 活動指標

- ・小布施総合公園の維持管理
- ・小布施総合公園内施設の業者委託及び修繕

(3) 活動指標の推移

- ・公園施設利用状況

施設区分	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
野外ステージ（有償利用）	件	6	4	4	3	4
マレットゴルフ場	人	8,826	4,321	8,960	7,126	7,433
（内 用具有償利用者）	人	3,840	1,148	940	838	999
パターゴルフ場	人	84	—	—	—	—

**総合公園内安全利用のための遊具修繕など(地域整備グループ)** 予算事業名：総合公園整備事業費

当初予算額 1,082,000 円 最終予算額 3,693,000 円 決算額 3,685,300 円

町民の皆さんや来訪者の憩いの場として多くの方々にご利用いただいている小布施総合公園の老朽化した施設等の修繕を行いました。

(1) 主な支出

- ・小布施総合公園ろ過ポンプ交換工事 63 万円
- ・小布施総合公園傘噴水ポンプ更新 101 万円
- ・大島大排水路浚渫工事 55 万円
- ・小布施総合公園電気引込柱移設に伴う 高圧ケーブル改修工事 106 万円

(2) 活動指標

- ・小布施総合公園内施設の修繕工事

小布施総合公園内の老朽化した施設の修繕、また、水路の浄化のための浚渫工事を行いました。

**都市公園遊具入れ替え工事(繰越分)(地域整備グループ)**

予算事業名：都市公園整備事業費

当初予算額 0 円 繰越予算額 15,236,000 円 決算額 15,183,000 円

老朽化等により利用の減少した冒険の森を、民間事業者と協力し、東部地区の活性化の拠点として整備をしました。

また、既設のトイレの水洗化を行いました。

(1) 主な支出

- ・冒険の森トイレ改修工事設計監理委託 52 万円
- ・冒険の森トイレ改修工事 704 万円
- ・冒険の森遊具撤去・整地工事 374 万円
- ・冒険の森支障木材伐採・処理工事 198 万円
- ・冒険の森井戸関係工事 190 万円

(2) 活動指標

- ・冒険の森遊具の撤去・整地
- ・冒険の森トイレの水洗化
- ・井戸の設置

5	まちづくり費	71,941,166	
1	まちづくり総務費	71,059,735	決算事項別明細書 P57～
<b>まちづくり大学・講習会の開催(地域整備グループ)</b>			予算事業名：まちづくり総務費
当初予算額	3,230,000 円	最終予算額	3,884,000 円 決算額 3,403,158 円
<p>小布施のまちづくりの第2ステージの実現に向けて、有識者を招いて「小布施まちづくり大学」(職員研修としても位置づけ)を開校し、町民の皆さんと共に今までのまちづくり、これからのまちづくりについて考えました。</p> <p>また、広告物の適正化、建築確認・開発行為などの事務にあわせ指導を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小布施まちづくり大学講師謝礼 71 万円</li> <li>・小布施まちづくり大学テーブルおこし謝礼 7 万円</li> <li>・嘱託職員報酬 146 万円</li> <li>・歩道用地借地料 18 万円</li> <li>・シンポジウム時等交流会経費 65 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小布施まちづくり大学 学長：東京理科大学・小布施町まちづくり研究所長 川向正人 氏</li> <li>第1回 7月12日 「歴史文化を活かす建築と地域の設計」 講師：建築家 多田善昭 氏</li> <li>第2回 8月9日 「歴史文化を活かす建築とまちづくり」 講師：早稲田大学理工学術院建築学科教授 佐藤滋 氏</li> <li>第3回 10月4日 「文化遺産の保存と地域の持続性」 講師：早稲田大学教授、 早大総合研究機構ユネスコ世界遺産研究所所長 中川武 氏</li> <li>第4回 12月6日 「「文化財」から「文化資源」に～町づくりのなかの保存」 講師：青山学院大学教授、博物館明治村館長 鈴木博之 氏</li> <li>第5回 2月23日 「住まいのミュージアム活動から長屋再生プロジェクトへー「大阪的」 まちづくり試論ー」 講師：大阪市立大学大学院教授、大阪くらしの今昔館館長 谷直樹 氏</li> </ul> <p>毎回約60人が参加</p>			
<b>中心市街地再生支援(地域整備グループ)</b>			予算事業名：まちづくり総務費
当初予算額	15,000,000 円	最終予算額	15,000,000 円 決算額 15,000,000 円
<p>小布施町の新たな拠点「第二町並み修景事業」エリアづくりに向けた取り組みの支援として、商工会・町も事務局として加わるとともに、補助金を交付しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小布施町中心市街地再生支援事業補助金 1,500 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <p>平成21年度策定の「小布施町中心市街地再生プラン【中町地区】」に基づく事業に補助をしました。</p> <p>【主な実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土蔵の外構工事</li> <li>・駐車場周辺整備(緑化)</li> <li>・ライトアップ 他</li> </ul>			

ふるさと空間活性化の推進(地域整備グループ)				予算事業名：まちづくり総務費	
当初予算額	0 円	最終予算額	804,000 円	決算額	803,351 円
小布施町の新たな拠点「第二町並み修景事業」エリアづくりの一環として、町道106号線の歩道設置工事（繰越事業と併せて）を行いました。					
(1) 主な支出					
・電柱移転に伴うケーブル移設補償			80 万円		
(2) 活動指標					
・ケーブル移設補償 3社（東日本電信電話(株)、須高ケーブルテレビ(株)、中部テレコミュニケーション(株)）					
東京理科大学・小布施町まちづくり研究所の活動支援(地域整備グループ)					
予算事業名：官学協働のまちづくり事業費					
当初予算額	4,000,000 円	最終予算額	4,000,000 円	決算額	3,398,527 円
第2ステージに向けたまちづくり・景観整備を進めるため、地域の特性を生かした景観の研究に優れた実績を持つ東京理科大学と協働による「東京理科大学・小布施町まちづくり研究所」の開所から5年が経過し、新たに5年間の期間延長をし、昨年度に引き続き研究活動を実施しました。					
(1) 主な支出					
・東京理科大学・小布施町まちづくり研究所共同研究委託			300 万円		
・滞在施設光熱水費等			40 万円		
(2) 活動指標					
・次世代ワークショップ					
8月25日に小布施中学校と「里道づくり」を開催 1年生全クラス参加					
8月26日に栗ガ丘小学校と「小舞でつくろう！緑の60面体」を開催 3年生全クラス参加					
・11月20日：シンポジウム開催					
展示・研究報告・シンポジウム 「無数の小さな動きから～住民主体のまちづくり～」					
■ 研究活動報告					
「国道403号線整備計画」「里道と拠点づくり」「やっくら道」「御柱祭の研究」「町並み保存地区の課題」「生き生きしたまち～京都・金沢比較研究」「北京の町並み保存」					
■ 次世代ワークショップ「小舞でつくろう！緑の60面体」「里道づくり」の報告					
■ シンポジウム「国道403号線を考える～車から人へ」開催					
基調講演 講師：松井直人 氏（国土交通省 都市・地域整備局 街路交通施設課長）					
パネルディスカッション					
パネリスト：松井直人 氏、岡崎昌之 氏（法政大学 現代福祉学部学部長）、高木直樹 氏（信州大学工学部建築学科教授）、塚越寛 氏（伊那食品工業株式会社 代表取締役会長）					
コーディネーター：川向正人 氏（東京理科大学・小布施町まちづくり研究所所長）					
その他、学生がそれぞれテーマを持ち、研究を進めました。					
まちづくりデザイン委員会活動(地域整備グループ)				予算事業名：景観事業費	
当初予算額	2,168,000 円	最終予算額	2,168,000 円	決算額	799,562 円
良好な景観づくりを推進するため、まちづくりデザイン委員会を開催しました。					
(1) 主な支出					
・委員報酬			2 万円		
・特別委員謝礼			9 万円		
・景観建物保存修繕			68 万円		

(2) 活動指標

- ・まちづくりデザイン委員会開催 11月9日開催
- ・景観建物保存のための図面化

優良景観建築物等の認定の審査、助成金の審査などを行いました。

**景観に配慮した建築物などへの助成(地域整備グループ)**

予算事業名：景観事業費

当初予算額 1,040,000 円 最終予算額 1,040,000 円

決算額 646,400 円

町で進める景観形成に協力（配慮）していると認められる建物の新築や、生け垣の設置に対して、助成金を交付しました。

(1) 主な支出

- ・まちづくり事業補助金 65 万円

(2) 活動指標

助成件数

- ・住宅・店舗等の新築・増改築 4 件
- ・生け垣の設置 6 件
- ・広告物の撤去・改修 0 件

(3) 活動指標の推移

・助成金実績

助成区分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
住宅、店舗等の 新築・増改築	件	2	2	1	3	4
	万円	20	20	10	27	37
広告物の撤 去・改修	件	0	0	0	0	0
	万円	0	0	0	0	0
生け垣の設置	件	0	1	2	1	6
	万円	0	1	11	4	28
沿道景観	件	1	—	—	—	—
	万円	20	—	—	—	—

**優良景観建築物等の認定(地域整備グループ)**

予算事業名：景観事業費

当初予算額 175,000 円 最終予算額 175,000 円

決算額 14,290 円

「小布施町うるおいのある美しいまちづくり条例」により、総合的に景観に優れている建物等を「景観優良建築物等」として認定を行いました。

(1) 主な支出

- ・認定証作成 1 万円

(2) 活動指標

- ・平成22年度 建築部門：第4回優良な景観建築物等の認定 3件  
佐藤宏さん（林）住宅、傳田仁志さん（中央）住宅、唐沢和樹さん（東町）住宅

(3) 活動指標の推移

- ・平成19年度 建築部門：第1回優良な景観建築物等の認定 3件
- ・平成20年度 建築部門：第2回優良な景観建築物等の認定 2件
- ・平成21年度 建築部門：第3回優良な景観建築物等の認定 1件

・地域の自然、歴史、文化等からみて、当該建築物等の外観が景観上の特徴を有し、かつ、地域の良好な景観の形成に資するものと町長が認めるものを「優良な景観建築物等」として認定（条例第28条）を行い、良好な景観づくりに努めました。



※参考 条例改正以前の表彰実績

平成14年度 建築部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 該当なし  
 広告物部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし  
 生け垣・緑化部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 1件  
 平成15年度 建築部門：小布施景観賞 2件、小布施景観奨励賞 1件  
 広告物部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし  
 生け垣・緑化部門：小布施景観賞 該当なし、小布施景観奨励賞 2件  
 平成16年度 建築部門：小布施景観賞 該当なし、小布施景観奨励賞 2件  
 広告物部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 該当なし  
 生け垣・緑化部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし  
 平成17年度 表彰なし

**住まいづくり相談の実施(地域整備グループ)**

予算事業名：住まいづくり相談事業費

当初予算額 400,000 円 最終予算額 400,000 円 決算額 188,887 円

景観形成に配慮した住まいづくりを進めるため、住宅の新築・増改築等の相談を受ける「住まいづくり相談所」を開設しました。また、インターネット等による相談も受け付けています。

(1) 主な支出

- ・住まいづくり相談員謝礼（2人分） 19 万円

(2) 活動指標

- ・住まいづくり相談所開設 毎月第3水曜日 午後2時～4時  
 住まいづくり相談員：宮本忠長、久保田三代  
 相談内容：住宅の新・増改築に関すること（間取り、下水の接続、段差解消 など） 広告物に関すること（色彩、設置箇所 など） まちづくり助成金に関すること等
- ・住まいづくりマニュアル概要版の更新・ホームページへのアップ

(3) 活動指標の推移

- ・相談件数

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
相談件数	39件	24件	29件	44件	45件

住まいづくり相談は平成元年度より実施しており、建物の形態や配置など、景観づくりの指針「住まいづくりマニュアル」で定める基準に沿ったものに近づくなど、一定の成果が得られています。また、住まいづくり相談以外でも、景観の届出や開発許可申請、建築確認申請などの際にも指導を実施しています。

**栗木歩道の管理・景観素材における歩道の設置(地域整備グループ)**

予算事業名：栗木歩道管理費

当初予算額 9,708,000 円 最終予算額 8,904,000 円 決算額 1,620,243 円

町のシンボルでもある「栗木歩道」を安心・安全に利用できるよう、冬期間に滑り止めマットを敷くとともに、凍結防止剤の散布を定期的の実施しました。また、修景事業地周辺を除く傷みの激しい町管理の栗木歩道は他素材での打ち替えを行うとともに、国・県道の歩道修繕について県に働きかけをしました。

(1) 主な支出

- ・栗木歩道打替工事 149 万円
- ・栗木歩道修繕、管理資材購入 13 万円

(2) 活動指標

- ・滑り止め用マット設置箇所 栗の小径 他
- ・凍結防止剤の散布

- ・打替工事箇所：町道605号線
- ・県施工による修繕工事箇所：県道村山小布施停車場線（伊勢町地籍）

修景事業地周辺の歩道への滑り止めマットの設置や凍結防止剤の散布、また、それ以外の地域においては老朽化した栗木歩道の他素材による打ち替えにより、歩行者の安全（転倒防止）が図られています。

#### 沿道花壇の管理(地域整備グループ)

予算事業名：沿道花壇管理費

当初予算額	9,725,000 円	最終予算額	9,725,000 円	決算額	8,653,721 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

町民の皆さんや来訪者等、道路利用者に潤いと安らぎの空間を提供するため、主要道路の沿道に花壇を設置し、良好な花壇の維持管理を行いました。また、町内のボランティア団体が行う沿道花壇に花苗を提供するとともに、街路町組松村線花壇の管理を「花壇の里親」により実施し、町民の皆さんと協働による管理を行いました。

##### (1) 主な支出

- |                                |        |
|--------------------------------|--------|
| ・花壇用花苗の生産（販売）委託                | 445 万円 |
| ・国道403号及び県道村山小布施停車場線沿道花壇維持管理委託 | 350 万円 |
| ・フラワーハンギングバスケット製作・講習会・講師謝礼     | 3 万円   |
| ・雁田緑地周辺環境整備謝礼                  | 29 万円  |
| ・樽花壇の修繕                        | 14 万円  |

##### (2) 活動指標

- ・沿道花壇ボランティア団体（13団体）への花苗の提供
- ・フラワーハンギングバスケットの設置：駅前～町中・4月下旬～5月中旬
- ・フラワーハンギングバスケット製作講習会の開催：H23年3月12日：参加者19名
- ・県道村山小布施停車場線花壇の業者委託：591㎡
- ・国道403号花壇・樽花壇（15箇所）の業者委託：1,110m
- ・街路町組松村線花壇の「花壇の里親」との協働による維持管理：区画花壇47ヵ所（6団体）

##### (3) 活動指標の推移

※ 沿道花壇業者委託料の推移（参考）

平成18年度	4,030,000円（2工区）
平成19年度	3,885,000円（2工区）
平成20年度	3,570,000円（2工区）
平成21年度	3,570,000円（2工区）
平成22年度	3,507,000円（2工区）

#### 住宅等建築工事等促進補助(地域整備グループ)

予算事業名：建築工事等需要促進事業費

当初予算額	0 円	最終予算額	20,000,000 円	決算額	956,000 円
-------	-----	-------	--------------	-----	-----------

住環境の向上と地域経済の活性化を図ることを目的に、平成23年2月に「小布施町住宅等建築工事等促進補助金交付要綱」を制定し、補助を行いました。  
（平成23年度への繰越事業費：1,904万円）

##### (1) 主な支出

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| ・小布施町住宅等建築工事等促進補助金 | 96 万円 |
|--------------------|-------|

##### (2) 活動指標

- ・申請件数、決定金額 81件 1,964万円
- ・上記内事業完了件数、補助金交付金額 5件 96万円（事業費 397万円）

ふるさと空間活性化の推進(繰越分)(地域整備グループ)				予算事業名：まちづくり総務費	
当初予算額		0 円	繰越予算額		35,849,000 円
			決算額		35,575,596 円
小布施町の新たな拠点「第二町並み修景事業」エリアづくりの一環として、町道106号線の歩道設置工事を行いました。					
(1) 主な支出					
・歩道新設工事用地測量業務委託				24 万円	
・歩道設計業務委託				29 万円	
・歩道設置工事				620 万円	
・歩道整備に伴う石積・植栽工事				95 万円	
・町並修景事業植栽、その他工事				260 万円	
・歩道用地等取得				1,906 万円	
・信号機移転補償				284 万円	
・電気工作物移転補償(2本)				332 万円	
(2) 活動指標					
・町道106号線歩道設置		W=2.0m	L=119m		
・電柱の移設		2本			
・信号機の移設		中町交差点			
・用地購入		439.61㎡			
2	安らぎと交流の空間整備事業費	881,431	決算事項別明細書 P58～		
里道の整備(地域整備グループ)				予算事業名：小径整備事業費	
当初予算額		600,000 円	最終予算額		600,000 円
			決算額		212,100 円
町外周部の農村風景や、地域の魅力をゆっくり味わい散策できる小路となるよう愛称を付け整備を図りました。					
(1) 主な支出					
・標識サイン工事				21 万円	
(2) 活動指標					
・標柱製作・設置		2箇所	(はやしの小径、やっくら小径)		
・小径の整備		2箇所	(はやしの小径：イベント時のみ利用、やっくら小径：中学校とのワークショップで整備 L=165m)		
・イベント時に小径を活用					
(3) 活動指標の推移					
平成19年度					
・馬場先中通		(雁田・L=289m)		、まちなか小路(中条・L=280m)	
・標柱設置		8箇所			
平成20年度					
・畑中大通		(雁田・L=100m)			
・標柱設置		1箇所			
平成21年度					
・中郷通り		(押羽・L=150m)			
・標柱設置		2箇所			
景観に配慮した小路整備が実施され、今後、来訪者の散策ルートとしての利用や、地域住民による農産物の直売など交流の場などが期待されます。					

サイクルツアー事業の推進(地域整備グループ)				予算事業名：サイクルツアー推進事業費	
当初予算額	242,000 円	最終予算額	242,000 円	決算額	34,746 円
<p>手軽な移動手段である自転車を活用し、サイクリングを楽しみながら町の魅力を堪能してもらうツーリズム（サイクルツアー）の普及を図るため、イベントを開催しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングイベント参加者 保険料 1 万円</li> <li>・サイクリングイベント参加者 記念品等 2 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルイベント 年2回開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>小布施お花見サイクリング 5月1日開催 参加者23名（参加費：11,500円）</li> <li>秋満喫小布施サイクリング 9月18日開催 参加者22名（参加費：11,000円）</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 小布施町は平成16年に国土交通省から「長野県千曲川地区」としてサイクルツアー推進モデル地区に指定されました。</p> <p>環境に優しく、また、手軽な移動手段として注目されている自転車を活用し、サイクルツアー（自転車を利用した新たなツーリズムの普及）を推進します。また、町内の移動手段としての自転車の普及により、環境浄化への波及効果が期待されます。</p>					
みちづくり研究会の設置(地域整備グループ)				予算事業名：道路交通計画策定事業費	
当初予算額	320,000 円	最終予算額	820,000 円	決算額	634,585 円
<p>平成20年度に須坂建設事務所と連携し調査・研究しました「小布施町みちづくり研究会報告書」を踏まえ、小布施町のみちづくり全般について研究・検討をするため、小布施町みちづくり協議会を設置し検討を進め、平成23年3月に「小布施町みちづくり協議会報告書」を町へ提出しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム講師謝礼等 49 万円</li> <li>・みちづくり協議会会員謝礼 10 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の開催 8月24日、平成23年2月16日 <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会会員数：16人 会長：越将俊（町議会議長） 副会長：大窪幹夫（町商工会長）</li> </ul> </li> </ul> <p>小布施町みちづくり協議会では、次の事項を協議会での決定事項として報告しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 国道403号の整備は都市計画決定の16m幅でなく、実現性のある12m幅を基本とする ことが望ましい。</li> <li>② 歩道は、車椅子がすれ違いができる幅を確保し、歩行者が安心して歩ける平らな歩道とし、有効幅員2m（歩道全部幅2.5m）を基本とすることが望ましい。（最低の安全を確保するための歩道基準の幅員）</li> <li>③ 電線類の地中化については、可能な限り実現に向けて取り組んでいただきたい。</li> <li>④ 町中心部の交通の外周部への誘導など、関係機関と連携・調整し、実現に向け取り組んでいただきたい。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム「国道403号線を考える～車から人へ」開催 11月20日 <ul style="list-style-type: none"> <li>基調講演 講師：松井直人 氏（国土交通省 都市・地域整備局 街路交通施設課長）</li> <li>パネルディスカッション <ul style="list-style-type: none"> <li>パネリスト：松井直人 氏、岡崎昌之 氏（法政大学 現代福祉学部学部長）、高木直樹 氏（信州大学工学部建築学科教授）、塚越寛 氏（伊那食品工業株式会社 代表取締役会長）</li> <li>コーディネーター：川向正人 氏（東京理科大学・小布施町まちづくり研究所所長）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>					

6

	住宅費	2,050,281			
1	住宅管理費	2,050,281	決算事項別明細書 P58～		
町営住宅の維持管理(地域整備グループ)			予算事業名：町営住宅管理費		
当初予算額 2,177,000 円			最終予算額 2,177,000 円		決算額 2,050,281 円
修繕など町営住宅の維持に必要な管理を管理組合と協力して行いました。					
(1) 主な支出					
・住宅の修繕		89 万円			
・火災保険料		23 万円			
・臨時職員賃金 (1人)		89 万円			
(2) 活動指標					
・換気扇等の修繕の実施					
・雨樋、生け垣の柵修繕					
・来客用駐車場看板設置					
・入居者募集 1戸					
(3) 成果指標					
・町営住宅管理状況 (平成22年度末)					
木造14棟 50戸 (全戸入居)					
・町営住宅の家賃収納状況 (単位：万円)					
	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率 (%)
住宅使用料 (現年度分)	1,746	1,654	0	92	94.7
住宅使用料 (過年度分)	213	100	0	113	46.9
計	1,959	1,754	0	205	89.5
・町営住宅駐車場使用料収納状況 (単位：万円)					
	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率 (%)
駐車場使用料 (現年度分)	151	141	0	10	93.4
駐車場使用料 (過年度分)	21	8	0	13	38.1
計	172	149	0	23	86.6

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
8			消防費	185,294,640	
	1		消防費	185,294,640	
		1	常備消防費	144,505,000	決算事項別明細書 P59～
須坂市消防署小布施分署の運営(総務グループ)					予算事業名：消防分署運営費
当初予算額 147,376,000 円 最終予算額 147,376,000 円					決算額 144,505,000 円
消防組織法に基づいて市町村に設置される常備消防（消防本部）業務・救急業務を須坂市に委託して運営しました。					
(1) 主な支出					
・消防業務の委託 1億4,451 万円					
主な内容 人件費 1億2,516 万円					
運営事業費 495 万円					
通信指令台・通信備品 238 万円					
災害基金・退職手当負担金等 1,202 万円					
(2) 活動指標					
・小布施分署 6人/3交代制（計18人）					
①火災出動					
出動件数		建物火災件数		損害見積額	
3		1		30 千円	
②救急車出動件数					
	交 通	急 病	一般負傷	転院ほか	計
件 数	29	261	58	97	445
③広報、予防活動					
・家庭の防火診断（福原 120戸、栗ガ丘148戸）、独居老人家庭の防火診断（全町 114戸）					
・消防ふれあい広場（10/17 第21回 約300人来場）					
・保育園、幼稚園巡回指導（11/1 栗ガ丘幼稚園、11/5 わかば保育園、11/8 つすみ保育園）					
・普通救命講習（9回 150人参加）					
・救急講習（8回 221人参加）					
・応急手当普及員講習（1回 4人参加）					
(3) 活動指標の推移					
・火災出動件数					
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
小布施管内	3	6	10	7	3
・救急出動件数					
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
小布施管内	298	357	362	337	445
2			非常備消防費	34,142,911	決算事項別明細書 P59～
消防団の運営(総務グループ)					予算事業名：消防団運営費
当初予算額 28,606,000 円 最終予算額 28,606,000 円					決算額 26,120,377 円
住民の生命、身体及び財産を守るため、消防車両（タンク車・ポンプ車）やその施設及び人員を活用して、火災などの災害時に出動し、消火・防災活動に従事する非常備消防の消防団活動を実施しました。					
(1) 主な支出					
・消防団員の報酬 749 万円					

・団員特殊勤務手当	312 万円
・団員退職報償金掛金	351 万円
・団員福祉共済掛金	55 万円
・公務災害補償等共済掛金	39 万円
・団員退職報償金	592 万円
・須高消防協会研修会等負担金	48 万円
・分団運営交付金	37 万円
・消火栓維持管理負担金	60 万円
・消防無線保守管理委託料	18 万円
・消防団防寒着	210 万円
・技術大会、出初式等の経費	86 万円

(2) 活動指標

① 訓練・演習

・月例定期巡回	(毎月第1水曜、年7回実施)	延べ	550人
・須高消防協会水防工法研修会	平成22年5月30日	参加者数	80人
・総合防災訓練	平成21年6月6日	参加者数	60人
・消防技術大会	平成22年6月13日	参加者数	180人
・須高ポンプ操法・ラッパ吹奏大会	平成22年6月27日	参加者数	60人
・県消防ポンプ操法大会	平成22年8月1日	参加者数	5人
・出初式	平成23年1月16日	参加者数	102人

② 災害出動等	7回	延べ	85人
---------	----	----	-----

生命・財産を守るため、予防活動の強化を図っています。災害や住宅火災時には、小布施分署と協力し、災害被害を最小限に抑えています。

**基金(預金)利子の積立て(総務グループ)**

予算事業名：消防団運営費

当初予算額	9,000 円	最終予算額	9,000 円	決算額	9,000 円
-------	---------	-------	---------	-----	---------

消防賞じゅつ金を授与するについて財政の健全な運営を図るため、基金の利子の積み立てを行いました。

(1) 主な支出

・消防賞じゅつ金基金利子積立金	1 万円
-----------------	------

**女性防災クラブの運営(総務グループ)**

予算事業名：女性防災クラブ運営費

当初予算額	719,000 円	最終予算額	719,000 円	決算額	707,360 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

地域での火災予防思想の普及徹底を図り、火災の未然防止と初期消火による人命・財産の保護を目的として活動する女性防災クラブに対する運営に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

・運営交付金	50 万円
・女性防災クラブ共済掛金	20 万円

(2) 活動指標

- ・女性防災クラブ総会 (4/20 事業計画、防災訓練打合せ)
- ・町総合防災訓練 (6/6 9訓練会場 66人)
- ・研修視察 (7/16 新潟県小千谷市 32人参加)
- ・消防出初式参加 (1/16 松村公園駐車場～北斎ホール 58人参加)
- ・普通救命講習会 (2/14, 15, 17 公民館講堂 51人参加)
- ・にこにこ赤十字健康教室 (3/27 千年樹の里健康福祉センター 震災の為中止)

救急法、初期消火技術、炊出しの実践等防災意識の高揚と技術の習得を図ることができました。

#### 職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 7,402,000 円 最終予算額 7,414,000 円 決算額 7,306,174 円

##### (1) 主な支出

・職員人件費 731 万円

#### 3 消防施設費 6,630,454

決算事項別明細書 P59～

#### 消防施設などの維持管理(総務グループ)

予算事業名：消防施設管理費

当初予算額 2,200,000 円 最終予算額 2,620,000 円 決算額 2,468,254 円

火災や災害時に常時万全の体制で出動等ができるように、消防用指令車、積載車、詰所等の維持管理、修繕等を実施しました。

##### (1) 主な支出

・ホース格納庫の購入等 32 万円  
 ・庁舎火災保険料 13 万円  
 ・積載車車検、保険料等 33 万円  
 ・消火栓取替工事 168 万円

##### (2) 活動指標

・ホース格納庫 4台、給水管等入れ替え  
 ・各分団詰所の建物災害共済分担金 9箇所  
 ・小型ポンプ付積載車車検 4台（第1分団第1部・第2部・第3部、第2分団第1部）  
 ・中央地区消火栓移設 1箇所、栗ガ丘地区消火栓修繕 1箇所

#### 防火水槽の整備(総務グループ)

予算事業名：消防施設整備事業費

当初予算額 4,172,000 円 最終予算額 4,172,000 円 決算額 4,162,200 円

消防・防災力の向上を図るため、押羽地区に40m<sup>3</sup>級防火水槽 1 基を新設しました。

##### (1) 主な支出

・防火水槽設計監理委託料 17 万円  
 ・防火水槽建設工事費 399 万円

##### (2) 活動指標

・40m<sup>3</sup>級防火水槽 1 基設置(押羽地区)

地域の消防・防災力の向上が図られました。

#### 4 水防費 16,275

決算事項別明細書 P60～

#### 水害対策(総務グループ)

予算事業名：水防費

当初予算額 435,000 円 最終予算額 435,000 円 決算額 16,275 円

水防活動に必要な資材を購入しました。

##### (1) 主な支出

・水防資材の購入（土のう袋、砂） 2 万円

##### (2) 活動指標

・水害発生時に活用し、災害を最小限に抑えました。



款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
9			教育費	781,328,483	
	1		教育総務費	372,313,066	
		1	教育委員会費	7,999,471	決算事項別明細書 P60～
<b>教育委員会の運営(子ども教育グループ)</b>					予算事業名：教育委員会運営費
当初予算額 1,810,000 円 最終予算額 1,810,000 円 決算額 1,624,702 円					
町の教育方針や教育委員会規則等の制定など、教育に関する重要な事項を決定しました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員の報酬（4人） 129 万円</li> <li>・ 就学指導委員の報酬など 4 万円</li> <li>・ 委員長交際費 5 万円</li> <li>・ 各種負担金 9 万円</li> <li>・ 旅費 13 万円</li> </ul> （関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会）					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>定例会12回、臨時会2回（議案16件、協議1件、報告50件）</li> </ul> </li> <li>・ 教育委員会人事               <ul style="list-style-type: none"> <li>9月30日で小林昌之委員が任期満了となり、10月1日付で中島聰氏が任命されました。</li> <li>10月1日開催の臨時会で、教育委員長に小林孝幸氏が再任され、委員長職務代理者に中島聰氏が任命されました。</li> </ul> </li> <li>・ 就学指導委員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>3回開催（うち1回は就学判定会）、判定件数9件（小学校4件、幼稚園・保育園5件）</li> </ul> </li> <li>・ いじめ・不登校問題に関する対策委員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>1回開催、小中学校のいじめ、不登校の現状及び対策について</li> </ul> </li> </ul>					
<b>外国人英語教師の配置(子ども教育グループ)</b>					予算事業名：外国人英語教師設置費
当初予算額 6,376,000 円 最終予算額 6,376,000 円 決算額 6,374,769 円					
英語でコミュニケーションができる能力を育成するとともに、外国の生活や文化に関心を深め国際感覚を高めるため、保育園、幼稚園、小学校、中学校に外国人英語教師を配置しました。また、成人を対象に英語教室を開催しました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費（2人） 637 万円</li> </ul>					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校での英語指導及び成人対象の英語教室の講師               <ul style="list-style-type: none"> <li>マシュー・レイノルズ（平成22年8月～平成23年8月）</li> </ul> </li> <li>・ 保育園、幼稚園、小学校での英語指導               <ul style="list-style-type: none"> <li>ジョセフ・ステイプルズ（平成22年8月～平成23年8月）</li> </ul> </li> <li>・ 英語教室の講師               <ul style="list-style-type: none"> <li>年2講座（1講座12回）開催</li> </ul> </li> <li>・ 中学校生徒が英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢が見られ、英語力の向上にもつながっています。</li> <li>・ 園児や小学校児童が、遊びのなかで英語に触れたり、友達同士や英語教師との会話活動をしたりして、コミュニケーション能力を高めようとする姿勢が見られます。</li> </ul>					

2	事務局費	359,424,601	決算事項別明細書	P60～
<b>教育委員会の運営(子ども教育グループ)</b>			予算事業名：教育委員会事務局費	
当初予算額	1,675,000 円	最終予算額	3,416,000 円	決算額 3,053,264 円
<p>教育委員会における事務局経費の執行を行い、特別支援に関する就学相談委員会及びいじめ不登校に関する対策委員会を開催しました。</p> <p>また、中学校における制服購入費の一部を負担しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校評議員への謝礼 (10人) 11 万円</li> <li>・ 通信運搬費 50 万円</li> <li>・ 各種負担金等の支出 44 万円</li> <li>・ 地デジ対応放送受信工事 60 万円</li> <li>・ 電算業務委託 11 万円</li> <li>・ 中学校制服購入負担金 101 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学相談委員会 3回開催</li> <li>・ いじめ不登校問題に関する対策委員会 1回開催</li> <li>・ 学校評議員会 小学校、中学校で各2回開催</li> <li>・ 中学校制服購入負担金 101人 一人あたり 1 万円</li> </ul>				
<b>児童生徒の見守り体制の充実(子ども教育グループ)</b>			予算事業名：教育委員会事務局費	
当初予算額	77,000 円	最終予算額	77,000 円	決算額 73,000 円
<p>地域ぐるみで犯罪から子どもたちを守るため、地域住民、自治会、育成会、保護者、学校、警察署、防犯協会などと連携して、不審者が子どもたちに近づきにくい地域づくりを進めました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需用費 4 万円</li> <li>・ メール配信システム使用料 3 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見守り隊(平成18年6月24日発足)登録者 226人</li> <li>・ こどもを守る安心の家登録軒数 84軒</li> <li>・ 防犯パトロールの実施(防犯指導員やPTA役員、商工会青年部など)</li> <li>・ 同報無線による毎日の下校時間の周知</li> <li>・ 学校での安全教育の充実</li> <li>・ 不審者メールの配信 登録数391人、配信数25件、延べ2,720件配信</li> <li>・ 安全マップの作成</li> </ul>				
<b>基金(貯金)の積立て(子ども教育グループ)</b>			予算事業名：教育委員会事務局費	
当初予算額	224,000 円	最終予算額	287,066,000 円	決算額 287,066,000 円
<p>文化体育館改築のため教育文化施設基金への積立てを行いました。また、芸術文化振興に資するために設置している芸術文化振興基金への積立て(繰出し)や育英金の充実を図るため育英金貸付基金への積立て(繰出し)を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育文化施設基金積立金 1億6,677 万円</li> <li>・ 教育文化施設基金利子積立金 14 万円</li> <li>・ 芸術文化振興基金繰出金 2,000 万円</li> <li>・ 芸術文化振興基金利子繰出金 7 万円</li> <li>・ 育英金貸付基金繰出金 1 億円</li> <li>・ 育英金貸付基金利子繰出金 9 万円</li> </ul>				

教育委員会の運営(繰越分)(子ども教育グループ)				予算事業名：教育委員会事務局費	
当初予算額	0 円	繰越予算額	2,650,000 円	決算額	2,427,000 円
地上テレビ放送のデジタル化に伴い、各教育施設及び公民館に地デジ対応テレビ機器を設置しました。					
(1) 主な支出					
・ 地デジ対応テレビ機器購入		243 万円			
(2) 活動指標					
・ 小学校4台、中学校4台、幼稚園1台、公民館1台					

育英金の貸付け(子ども教育グループ)			
この事業は、育英金貸付基金を運用して行っています。			
教育の機会均等を図るため、高校生、専門学校生、短期大学生、大学生に対して、育英金の貸付けを行いました。			
(1) 活動指標			
・ 新規9人貸付け			
平成20年度から貸付額の増額、貸付要件が緩和になり、新規貸付者が増えています。			
・ 対象者及び貸付内訳			
大学生（私立）	1人	月額40,000円（自宅通学）	
	6人	月額55,000円（自宅外通学）	
専門学校生（私立）	2人	月額55,000円（自宅外通学）	
(2) 成果指標			
・ 年間貸付金合計	平成20年度	8人	2,850,000 円
	平成21年度	16人	8,160,000 円
	平成22年度	22人	13,105,000 円

幼保小中一貫教育推進事業の推進(子ども教育グループ)				予算事業名：幼保小中一貫教育事業費	
当初予算額	3,526,000 円	最終予算額	3,526,000 円	決算額	790,150 円
幼保小中一貫した教育を推進するために、学力向上支援事業、家庭読書の日、英語体験事業を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 学力向上支援員謝礼（14名登録）		24 万円			
・ 家庭読書の日講演会謝礼		15 万円			
・ 旅費		21 万円			
・ 需用費		18 万円			
・ 支援員保険代		1 万円			
(2) 活動指標					
・ 幼保小中一貫教育推進委員会の開催2回（小中学校長教頭、園長、教育長他職員）					
・ 中学校学力向上支援事業 支援員登録14名 中学生登録115人名					
夏休み 2,3学期毎週月曜日実施 26回開催					
・ 家庭読書の日推進事業 毎月7日,17日,27日 夜8時～20分間					
家庭、図書館等との連携による啓発（チラシ作成、講演会の開催）					
・ パスポートのいらない英国体験事業 小中学校教師と現場視察 英語研修施設視察					

<b>特別職人件費</b>				予算事業名：特別職人件費	
当初予算額		12,178,000 円	最終予算額		12,163,000 円
			決算額		11,613,909 円
(1) 主な支出					
		・ 特別職人件費		1,161 万円	
<b>職員人件費</b>				予算事業名：一般職人件費	
当初予算額		48,168,000 円	最終予算額		54,836,000 円
			決算額		54,401,278 円
(1) 主な支出					
		・ 職員人件費		5,440 万円	
3	教職員住宅費	4,888,994	決算事項別明細書 P61～		
<b>教職員住宅の維持管理(子ども教育グループ)</b>				予算事業名：教職員住宅管理費	
当初予算額		4,559,000 円	最終予算額		5,063,000 円
			決算額		4,888,994 円
町が管理している教職員住宅（水上6戸、栗ガ丘2戸、中央1戸）の適切な維持管理を行いました。					
(1) 主な支出					
		・ フロ場給湯器修繕等		35 万円	
		・ 火災保険料		2 万円	
		・ 樹木伐採の委託など		2 万円	
		・ 浴室改修工事設計監理委託		21 万円	
		・ 浴室改修工事		420 万円	
		・ ガス管切替工事		9 万円	
(2) 活動指標					
		・ 入居状況 水上6戸、栗ガ丘2戸、中央1戸			
	小学校費	42,737,599			
1	学校管理費	35,529,681	決算事項別明細書 P61～		
<b>栗ガ丘小学校の管理運営(子ども教育グループ)</b>				予算事業名：小学校管理費	
当初予算額		32,794,000 円	最終予算額		32,794,000 円
			決算額		31,455,506 円
学校教育目標「たくましい体と豊かな心をもち、自ら学び伸びゆく子ども」を基本的なねらいとし、児童に寄せる地域・社会の願いをふまえて具体的な目標をたて、教育活動を推進しました。					
(1) 主な支出					
		・ 臨時職員や健康診断に係る医師などへ賃金		293 万円	
		・ 外部講師などへの謝礼		131 万円	
		・ 教科用や特別活動用などの消耗品		496 万円	
		・ 光熱水費		558 万円	
		・ コンピュータ機器や印刷機器などの使用料		516 万円	
		・ 警備保障や火災報知器などの保守管理の委託		277 万円	
		198 万円	・ 図書の購入		81 万円
		82 万円	・ 保健検査料や火災保険料等		234 万円
		120 万円			
(2) 活動指標					
・ 学校教育目標を具現化し、小布施町の次代を担うにふさわしい人間を育てるために、教育実践の流れを提示し学校運営を推進しました。					

- ・総合的な学習の時間に、東京理科大学・小布施町まちづくり研究所との協働ワークショップによる小舞作り、佐野先生やJ A等の協力を得て能と農の体験活動、町内の歴史建造物や里道などを巡るふるさと小布施のウォークラリー、巴錦の栽培、小布施丸なす作りなど町の特色を生かした活動を地域の方々にご協力いただき行いました。
- ・F B C花壇コンクールで中央審査に進み優良賞を受賞。絵画・書写・感想文等多くのコンクールに出展、長野県小学生陸上大会県大会に5名進出、自転車大会須高地区大会で6位入賞、NHK全国学校音楽コンクール北信ブロック大会で銀賞等様々なコンクールや大会に参加しました。

職員の学校自己評価を行うとともに、平成22年度も保護者に「教育活動アンケート」を実施しました。アンケート項目8項目中すべての項目において、全体的に良い評価をいただきました。21年度に比べると『気持ち良いあいさつができる子が育っている』という評価項目では3%程度マイナスになり20年度と同水準になりました。今後もアンケート等で示された結果を分析し課題をしっかりと見据え重点目標の具現化をさらに目指します。

コンピュータ等の活用や国際理解教育については、平成17年11月に構築された校内無線LANと同時に更新されたコンピュータ教室のパソコン機器が、22年度10月に全て更新され最新のOSになり、より使いやすくなりました。また、18年度の2学期より赴任している外国人教師により、22年度も英語活動がどの学年でも展開され、子どもたちは英語を使って積極的にコミュニケーションをはかろうとする力を伸ばしました。

#### 栗ガ丘小学校の管理運営(繰越分)(子ども教育グループ)

予算事業名：小学校管理費

当初予算額	0 円	繰越予算額	1,408,000 円	決算額	1,407,175 円
-------	-----	-------	-------------	-----	-------------

国の理科教育設備整備等補助金を活用して、理科教育備品を購入し、理科教育の充実を図りました。

##### (1) 主な支出

- ・理科教材備品 141 万円

##### (2) 活動指標

- ・顕微鏡ほか 12品目

#### 栗ガ丘小学校の環境整備事業(子ども教育グループ)

予算事業名：小学校環境整備事業費

当初予算額	1,549,000 円	繰越予算額	2,746,000 円	決算額	2,667,000 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

小学校の環境整備事業として遊具の入替工事等を行いました。

##### (1) 主な支出

- ・グラウンド車轍補修工事 23 万円
- ・遊具入替工事、(ジャングルジム、鉄棒) 147 万円
- ・体育館渡り廊下屋根改修工事 97 万円

##### (2) 活動指標

- ・グラウンド整備工事  
グラウンド敷地内の轍及び起伏のならしを行い、補足土を搬入するなど、児童が快適に使用する環境に整えました。
- ・遊具入替工事(ジャングルジム、鉄棒)  
既存の遊具が老朽化したため、年次計画により遊具の入替を図り児童の安全確保を行いました。
- ・渡り廊下屋根改修工事  
普通教室棟と第一体育館との渡り廊下に雨漏りの箇所があったので、屋根を改修し雨漏りを防ぐ工事を行いました。

2	教育振興費	7,207,918	決算事項別明細書 P61～
学校生活支援員の配置(子ども教育グループ)			予算事業名：小学校生活支援事業費
当初予算額	6,016,000 円	最終予算額	6,016,000 円 決算額 5,439,800 円
学校や家庭で悩みをもつ児童、保護者を対象に相談活動、生活指導を行うことができる生活支援員を配置しました。			
(1) 主な支出			
・ 支援員への報酬・賃金		544 万円	
(2) 活動指標			
・ 特別支援教育支援員		2名	
・ 外国籍日本語指導員		1名	
・ 勤務日数		217日	
・ 不適応児童を生み出さないために、生活支援員と全職員で小さな変化を見逃さず早期発見及び状況把握に努め、開かれた学級、好ましい友人関係づくり等を進めました。			
・ 過去19年間の不登校児童（30日以上欠席）の統計数値は、減少傾向を続けています。			
就学の援助など(子ども教育グループ)			予算事業名：小学校就学援助費
当初予算額	2,052,000 円	最終予算額	2,052,000 円 決算額 1,768,118 円
経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者を対象に、学用品や給食費などの一部を援助しました。			
(1) 主な支出			
・ 就学への援助		141 万円	・ 特別支援教育就学への奨励 23 万円
・ 交通災害共済会費		13 万円	
(2) 活動指標			
支給対象者数		20人	
援助費により等しく教育を受ける権利が保障されました。			
3	中学校費	48,176,357	
1	学校管理費	43,993,945	決算事項別明細書 P62～
小布施中学校の管理運営(子ども教育グループ)			予算事業名：中学校管理費
当初予算額	41,324,000 円	最終予算額	42,426,000 円 決算額 39,028,645 円
学校教育目標			
夢 ・ 忍耐 ・ 思いやり			
豊かな人間性を持ち、かけがえのない人生を強く正しく行きぬく生徒の育成			
《 具 体 目 標 》			
1 自分の夢を持ち、その実現に向かって努力できる生徒			
2 自分のわがままをおさえ、正しい判断のできる生徒			
3 人のいたみが分かり、思いやりの心をもてる生徒			
(1) 主な支出			
・ 嘱託職員や健康診断に係る医師への報酬・賃金		771 万円	
・ 教科・特別活動に関する消耗品費		528 万円	
・ 光熱水費		774 万円	
・ 校内・体育館施設等に係る保守管理委託料		329 万円	
・ コンピュータ機器や印刷機器等使用料及び賃借料		587 万円	
・ 各種負担金、補助金		148 万円	
・ 保健検査料、火災保険料、通信費等		199 万円	

・ 燃料費	132 万円
・ 備品購入費	112 万円
・ 図書購入費	66 万円
(2) 活動指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育目標を具体化するために、各教科の学習においては基礎的・基本的な内容を重視することはもちろん、思考力や判断力・表現力の育成に力をいれることを大切にし、全校合唱の充実、学校花壇づくり、清掃活動を三本柱にすえて、学校経営を見返し、教育課程の改善を推進しました。</li> <li>・ 成果と課題を明確にするため、学校評議員会・PTA活動・地域の方々より評価いただき職員の学校自己評価を併せて今後の改善点を具体化しました。</li> </ul>	
<b>小布施中学校の管理運営(繰越分)(子ども教育グループ)</b>	
当初予算額	0 円
繰越予算額	1,897,000 円
決算額	1,896,300 円
<p>国の理科教育設備整備等補助金を活用して、理科教育備品を購入し、理科教育の充実を図りました。また、小布施中学校体育館「吸収式冷温水器」の修繕を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理科教材備品 85 万円</li> <li>・ 体育館冷温水器修理 105 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上皿電子てんびんほか 9品目</li> <li>・ 体育館冷温水器の部品劣化によるフロート弁交換、自動抽気装置の部品交換</li> </ul>	
<b>小布施中学校の環境整備事業(子ども教育グループ)</b>	
当初予算額	0 円
最終予算額	418,000 円
決算額	417,750 円
<p>中学校の環境整備事業として体育館の屋根の修繕工事等を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館屋根漏水修繕工事 29 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館屋根雨樋漏水により、軒先裏の天板が剥がれたため、漏水止め及び天板の修繕を実施しました。</li> </ul>	
<b>小布施中学校の環境整備事業(繰越分)(子ども教育グループ)</b>	
当初予算額	0 円
繰越予算額	3,000,000 円
決算額	2,651,250 円
<p>中学校の環境整備事業として駐輪場の設置工事を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐輪場設置工事 265 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラブ活動(テニス、バドミントン等)による自転車使用のため、駐輪場(50台分)を設置しました。</li> </ul>	

2	教育振興費	4,182,412	決算事項別明細書 P62～	
学校生活支援員の配置(子ども教育グループ)			予算事業名:中学校生活支援事業費	
当初予算額	2,393,000 円	最終予算額	2,393,000 円	決算額 2,309,724 円
学校や家庭で悩みをもつ生徒、保護者を対象に相談活動、生活指導を行うことができる生活支援員を配置しました。				
(1) 主な支出				
・支援員への報酬 231 万円				
(2) 活動指標				
・生活支援員 1名				
・あたたかな人間関係の実現をめざし、学級経営の充実を図りました。				
・学級担任をサポートするサポートチームを立ち上げ、不登校、教室に入れない生徒へのきめ細やかな対応と支援で指導にあたりました。				
・不登校生徒及び軽度発達障害等により特別な支援が必要な生徒又、人間関係等で不安をかかえる生徒への支援が可能となり「個に応じた支援」が実現されました。				
就学の援助など(子ども教育グループ)			予算事業名:中学校教育振興費	
当初予算額	2,499,000 円	最終予算額	2,499,000 円	決算額 1,872,688 円
経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者を対象に、学用品や給食費などの一部を援助しました。				
(1) 主な支出				
・就学への援助 176 万円				
・特別支援教育就学への奨励 4 万円				
・北信交通災害共済会費 7 万円				
(2) 活動指標				
・認定された生徒の保護者へ、一定額の学用品や給食費などを援助費として支給しました。				
援助費により等しく教育を受ける権利が保障されました。				
4	幼稚園費	41,478,186		
1	幼稚園費	41,478,186	決算事項別明細書 P62～	
栗が丘幼稚園の管理運営(子ども教育グループ)			予算事業名:幼稚園管理費	
当初予算額	46,531,000 円	最終予算額	44,728,000 円	決算額 41,478,186 円
「心身共に健康でたくましい子どもを育てる」を保育目標に、様々な人たちの協力を得ながら園運営を行いました。特に食育、親子の関わりを大切に活動を進めました。				
(1) 主な支出の内訳				
・職員の人件費 3,556 万円				
・駐車場用地の借り上げ 67 万円				
・光熱水費 193 万円				
・保守点検等の委託 30 万円				
・教材費 66 万円				
・その他の経費 236 万円				
(2) 活動指標				
○年齢別学級数及び園児数				
年 齢	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
学 級 数	2	2	2	6
園児数(人)	31	30	35	96
職員構成 園長1人、教諭6人、事務1人、支援加配1人				
① 幼児教育の推進				
・体験活動や遊びを通しての保育の実施(行事への参加、園外保育、地域の人との交流等)				



- ・ 幼保小の連携（なかよし学級の実施）
  - ・ 支援加配の配置
  - ・ 職員の各種研修会への参加
- ② 食育の推進
- ・ お年寄りや農家、保護者の皆さんの協力により、野菜の栽培・収穫・調理・会食等の体験等
- ③ 子育て支援の充実
- ・ 降園、夏休み中の預かり保育の実施
  - ・ アウトドア教室、親子ふれあい交流の実施
  - ・ 行事における未就園児の託児の実施
  - ・ 人権ワークショップの開催
  - ・ 講演会の開催
  - ・ おはなしの会・英語教室等サークル活動の支援
  - ・ 園開放

(3) 活動指数の推移 園児数 (クラス数) ※5歳児の園児数＝卒園児数

年齢 (クラス数)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
3 歳児 (人)	24 (1)	43 (2)	34 (2)	30 (2)	31 (2)
4 歳児 (人)	39 (2)	26 (1)	41 (2)	33 (2)	30 (2)
5 歳児 (人)	37 (2)	42 (2)	25 (1)	43 (2)	35 (2)
合 計	100 (5)	111 (5)	100 (5)	106 (6)	96 (6)

- ・ 降園後の預かり保育利用者 41人
- ・ 夏休み中の預かり保育利用者 13人

食育を通して、野菜に関心を持ったり、好き嫌いの減少、幼児なりの感謝の気持ちの幅が広がっています。

サークルがなくなることなく次の世代に受け継がれています。

5

	社会教育費	196,359,828		
1	社会教育総務費	4,944,818	決算事項別明細書 P63～	
文化協会等の活動の支援(生涯学習グループ)			予算事業名：社会教育総務費	
当初予算額	550,000 円	最終予算額	550,000 円	決算額 450,000 円
文化・芸術など次代への継承と活性化を行っている社会教育関係団体の活動を支援しました。				
(1) 主な支出				
・ 社会教育団体補助金等				
町文化協会 45 万円				
(2) 活動指標				
・ 町文化協会の主な活動内容				
総合文化祭・芸能祭参加、清掃奉仕活動（鴻山館・おぶせミュージアムほか） カルチャー教室（囲碁、将棋、一弦琴） 巴錦展 講演会 子ども音楽教室発表会				
社会教育委員活動の推進(生涯学習グループ)			予算事業名：社会教育総務費	
当初予算額	2,425,000 円	最終予算額	2,425,000 円	決算額 2,360,346 円
社会教育に関することを教育委員会に助言する社会教育委員の意見を聞きました。				
(1) 主な支出				
・ 社会教育委員報酬 1 万円				
・ 社会教育指導員報酬 210 万円				
(2) 活動指標				
・ 社会教育委員 5人				
・ 社会教育委員会議 6月15日開催				
・ 平成21年度主要事業実績報告、平成22年度主要事業について協議				

<b>地域の花づくりの推進(生涯学習グループ)</b>			予算事業名：花づくり推進事業費	
当初予算額	2,123,000 円	最終予算額	2,123,000 円	決算額 1,884,235 円
花による地域づくりを進めていただくため、花づくり推進委員会を通じて各自治会に花の苗を配布しました。また、花づくり推進委員会の活動に対して補助を行いました。				
(1) 主な支出				
・花苗の購入等 161 万円				
・花づくり推進委員会交付金 25 万円				
(2) 活動指標				
・花苗の配付 6月5日～6日 28自治会				
10月30日～31日 10自治会				
・フラワーコンクールの開催 (9月8日)				
花による美しい地域づくりと花づくりを通じた豊かな心の育成が図られています。				
<b>成人式の開催(生涯学習グループ)</b>			予算事業名：成人式事業費	
当初予算額	369,000 円	最終予算額	369,000 円	決算額 250,237 円
新成人としての門出を祝福するため、式典と交流会を開催しました。新成人が実行委員会を組織して交流会の企画運営を行いました。				
(1) 主な支出				
・式典記念品 18 万円				
(2) 活動指標				
・期日：平成23年1月5日				
・場所：北斎ホール				
・対象：156人（出席者101人）				
式典では、多くのご来賓の方々からのお祝いや激励の言葉のほか、選挙についての話もあり、出席者の皆さんの成人としての自律を促すことができました。				
2	公民館費	12,161,565	決算事項別明細書 P63～	
<b>公民館の管理運営(生涯学習グループ)</b>			予算事業名：公民館管理費	
当初予算額	11,019,000 円	最終予算額	10,891,000 円	決算額 10,361,345 円
各種団体やサークルの活動や会合などで気持ちよくご利用いただけるよう、公民館施設の維持管理を行いました。				
(1) 主な支出				
・職員人件費 915 万円				
・火災保険料 8 万円				
・公民館補償制度掛金 19 万円				
・備品購入費 16 万円				
(2) 活動指標				
・学習室・講堂の使用回数 1,989回 冷暖房使用料収入 18万円				

生涯学習町民のつどいの開催(生涯学習グループ)				予算事業名：生涯学習町民のつどい事業費	
当初予算額	511,000 円	最終予算額	511,000 円	決算額	292,500 円
日頃の個人・グループの文化活動やボランティア活動などの成果を発表する機会として、生涯学習町民のつどいを開催し、町民の皆さんの参加と交流を図りました。作品展・盆栽展は「緑のかけ橋まつり」にあわせて会場を総合体育館に変更し、大勢の皆さんに見ていただくことができました。					
(1) 主な支出					
・菊花展 小屋建方、解体、増設委託料		25 万円			
(2) 活動指標					
・生涯学習町民のつどい・第50回総合文化祭					
10月23日・24日		作品展・盆栽展		場所／総合体育館	
展示内容等		写真展・俳句展・陶芸展・短歌展・押し花展			
		盆栽展・絵画展・版画展・手芸展・パッチワーク展 ほか			
		文化体育館／華道展・勤労展		参加団体等 40	
11月7日		芸能祭	場所／北斎ホール	出演団体数	34
11月1日～11月10日		菊花展	場所／皇大神社境内		

公民館分館活動の支援(生涯学習グループ)				予算事業名：分館活動費	
当初予算額	1,558,000 円	最終予算額	1,558,000 円	決算額	1,507,720 円
自治会ごとに設置された公民館の分館活動を推進するため、活動実績に応じた支援を行いました。					
(1) 主な支出					
・分館活動助成		77 万円			
・分館長報酬		70 万円			
(2) 活動指標					
・補助対象分館事業		116件	分館報発行 57件		
(3) 活動指標の推移					
・分館事業数		(単位：件)			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
119	125	117	126	116	

3	北斎ホール費	7,570,970	決算事項別明細書 P63～
---	--------	-----------	---------------

北斎ホールの管理運営(生涯学習グループ)				予算事業名：北斎ホール管理費	
当初予算額	4,409,000 円	最終予算額	5,648,000 円	決算額	3,150,470 円
勤労青少年や各種団体の活動・発表の場として気持ちよくご利用いただけるよう、北斎ホールの維持管理を行いました。					
(1) 主な支出					
・清掃業務(じゅうたん、ガラス等)		17 万円	・施設修繕料		30 万円
・空調設備機器保守点検		18 万円	・ピアノ調律		8 万円
・舞台機構保守点検		17 万円	・舞台照明設備保守点検		16 万円
・音響設備保守点検		17 万円	・ロールバック保守点検		16 万円
・自動ドア保守点検		7 万円	・地下タンク及び地下配管気密検査		7 万円
・賃金		83 万円			
(2) 活動指標					

・北斎ホールの使用回数 200回 使用料収入 106万円

**北斎ホールの施設整備(繰越分)(生涯学習グループ)**

予算事業名：北斎ホール環境整備事業費

当初予算額 0 円 繰越予算額 4,421,000 円 決算額 4,420,500 円

北斎ホールの適正な管理を行うため修繕等を行いました。

(1) 主な支出

・舞台機構設備修繕工事 442 万円

4 図書館費 44,098,537 決算事項別明細書 P64～

**まちとしょテラソの運営(生涯学習グループ)**

予算事業名：図書館管理費

当初予算額 42,811,000 円 最終予算額 53,634,000 円 決算額 36,414,958 円

すべての人が公平に情報を得られるよう、図書や郷土史料の収集、整理、保存、提供を行いました。また、ボランティアの皆さんの協力により、読書推進活動を進めました。

(1) 主な支出

・職員人件費	1,500 万円	・臨時職員の賃金	338 万円
・報償費	104 万円	・消耗品	592 万円
・委託料	302 万円	・通信費等	42 万円
・図書購入費	610 万円		

(2) 活動指標

・図書館開館日	294 日	
・入館者	97,885 人	
・図書の購入	2,555 冊	
・おはなしの会		12回開催
・たなばたおはなし会、クリスマスおはなし会、たんぽぽおはなし会		各1回開催
・絵本の勉強会		12回開催
・わくわく通信		年12回
・文集「ちくまがわ」の発行、配付(母親文庫会員・関係施設)		80部
・運営プロジェクト会議		12回

(3) 成果指標

・個人貸出冊数の推移 (単位：冊)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
34,281	35,698	25,075	58,135	78,949

・ブックスタート事業

平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
年間対象数の90%	同85%	同97%	同92.5%	同88.2%

※ブックスタート事業：地域のすべての赤ちゃんを対象に、絵本を通して親子が心を通わせるようメッセージを伝えながら一人ひとりの赤ちゃんに絵本を渡す運動です。

**まちとしょテラソの整備(生涯学習グループ)**

予算事業名：図書館整備事業費

当初予算額 1,400,000 円 最終予算額 3,591,000 円 決算額 2,145,650 円

住民との協働により、図書館の植栽、外溝工事を行いました。

(1) 主な支出

・図書館外構工事 195万円

デジタルアーカイブ事業(生涯学習グループ)

当初予算額4,482,000円最終予算額8,980,000円決算額5,537,929円

町の文化（文化財的な文化、生活＝小布施ならではの風土的文化）の収集を行い、ホームページ等に公開（発信）しました。

(1) 主な支出

・ 報償費68万円

・ 賃金36万円

・ 委託料423万円

・ 備品購入費26万円

(2) 活動指標

・ 講演会開催9回

・ イベント開催9回（古本市、上映会等）

5歴史民俗資料館費1,878,029決算事項別明細書P64～

歴史民俗資料館の管理運営(生涯学習グループ)予算事業名：歴史民俗資料館管理費

当初予算額1,643,000円最終予算額1,643,000円決算額1,415,239円

歴史資料、民俗資料等の保存及び活用を図り、町民文化の向上と学術の発展に資するため、充実した歴史民俗資料の展示と館の運営を行いました。

(1) 主な支出

・ 臨時職員賃金95万円

・ 光熱水費6万円

・ 植木の手入れ委託11万円

・ 火災保険料13万円

(2) 活動指標

・ 開館日土・日曜日及び春・秋のイベント期間中

・ 開館時間午前9時から午後4時

・ 春・秋の企画展（～体験を通して～歴史再発見）

・ 春・秋の特別イベント林柳波を唄うミニコンサート

(3) 活動指標の推移

・ 年間入館者数(単位：人)

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
大人	725	656	649	483	595
子ども	698	150	280	323	212

歴史民俗資料館春秋の企画展の開催(生涯学習グループ)予算事業名：歴史民俗資料館企画展費

当初予算額520,000円最終予算額520,000円決算額462,790円

子どもから大人まで楽しめる昔体験学習などの企画展を春秋に開催しました。通常は土・日・祝日のみの開館ですが、企画展期間中は毎日開館しました。

(1) 主な支出

・ ミニコンサートの謝礼43万円

(2) 活動指標

・ ミニコンサート「林柳波・きむ子の歌と舞踊」（5月30日、11月25日）

・ 春・秋の企画展「昔体験を通しておぶせの歴史を知る」（4月23日～5月30日、9月17日～11月3日）

(3) 活動指標の推移

・企画展期間中の入館者数 (単位：人)

区分	期間	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
大人	春	134	156	125	183
	秋	183	190	156	143
子ども	春	30	57	55	23
	秋	55	151	141	168

6 高井鴻山記念館費 13, 662, 554 決算事項別明細書 P65～

高井鴻山記念館の管理運営（生涯学習グループ） 予算事業名：高井鴻山記念館管理費

当初予算額 14, 314, 000 円 最終予算額 14, 314, 000 円 決算額 13, 132, 826 円

高井鴻山に関連した資料を収集、公開し、学習の場としての充実を図りました。また、小中学生を無料にするなど、学習機会を提供しました。より多くの皆さんにご来館いただくため、4月～9月の開館時間を午後6時まで延長しました。

(1) 主な支出

・職員の人件費・賃金等	772 万円	・光熱水費	74 万円
・パンフレットの印刷など	61 万円	・施設の修繕等	58 万円
・土地借上料	70 万円	・警備、植木手入れなどの委託	65 万円

(2) 活動指標

- ・開館日：通年（休館日12/31） 364日
- ・開館時間：午前9時～午後6時（10月～3月は午後5時まで）

(3) 活動指標の推移

・年間入館者数 (単位：人)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
70, 961	56, 186	58, 752	58, 836	49, 656

高井鴻山記念館特別展などの開催（生涯学習グループ） 予算事業名：高井鴻山記念館企画展費

当初予算額 1, 924, 000 円 最終予算額 1, 924, 000 円 決算額 529, 728 円

春と秋に特別展を開催するとともに、恒例の鴻山席書大会を開催しました。

(1) 主な支出

・企画展チラシ、看板類の印刷	17 万円	・席書大会審査員謝礼	1 万円
・企画展広告料	12 万円	・席書大会入選者賞品	2 万円

(2) 活動指標

- ・春の特別展 文人画家高井鴻山展 (4/23～5/31)
- ・秋の特別展 卅老人予家に寓す 北斎と鴻山 (10/8～11/29)
- ・第24回高井鴻山席書大会（総合体育館） (10/24)

(3) 活動指標の推移

・特別展の入館者数 (単位：人)

期間	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
春	12, 167	9, 656	10, 205	13, 963	7, 576
秋	23, 952	9, 752	19, 718	16, 695	14, 678

・鴻山席書大会の参加者数 (単位：人)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
283	221	198	※103	156

※新型インフルエンザのため、中学生不参加

7	おぶせミュージアム費	58,516,248	決算事項別明細書 P65～
---	------------	------------	---------------

**おぶせミュージアム・中島千波館の管理運営(生涯学習グループ)** 予算事業名：おぶせミュージアム管理費

当初予算額 38,126,000 円 最終予算額 39,895,000 円 決算額 34,765,033 円

芸術文化に親しむ風土をつくるため、地域文化と密接な関わりを持つ貴重な文化財を保存活用し、館を運営しました。常設展示では小布施町出身で現代日本画壇のトップランナー・中島画伯の代表作のほか、挿絵表紙画、デッサンなどを、季節ごとに展示内容を替えてご紹介しました。

(1) 主な支出

・ 職員の人件費・賃金	1,166 万円	・ 施設の修繕	155 万円
・ 光熱水費	449 万円	・ 土地借上料	885 万円
・ 警備業務などの委託	315 万円		

(2) 活動指標

- ・ 開館日：通年（休館日12/31及び展示替時） 352日
- ・ 開館時間：午前9時～午後6時（10月～3月は午後5時まで）

(3) 活動指標の推移

・ 年間入館者数 (単位：人)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
61,784	50,731	49,838	50,126	42,976

**中島千波館作品の充実(生涯学習グループ)** 予算事業名：おぶせミュージアム管理費

当初予算額 5,000,000 円 最終予算額 5,000,000 円 決算額 5,000,000 円

芸術文化振興基金を活用し、中島千波作品を購入しました。

(1) 主な支出 美術品の購入 500 万円

(2) 活動指標

- ・ 中島千波「高山村黒部の江戸彼岸桜」の購入

**おぶせミュージアム企画展などの開催(生涯学習グループ)** 予算事業名：おぶせミュージアム企画展費

当初予算額 14,165,000 円 最終予算額 18,752,000 円 決算額 18,751,215 円

地元ゆかりの作家をはじめ、ジャンルを問わず意欲あふれる作家たちを紹介しました。また、町民の皆さんの学習の場として、作家によるギャラリートークやワークショップ、ギャラリーコンサートなど体験的事業を行いました。

(1) 主な支出

・ 企画展チラシ、看板類の印刷	269 万円
・ 作品借用の謝礼など	127 万円
・ 作品輸送ほか委託	1,294 万円

(2) 活動指標

・ 郷土の作家シリーズ⑩「荻原克哉展」	(5/21～7/27)	入館者	7,882 人
・ 「安西大展__8 6～花__」	(7/30～10/5)	入館者	10,231 人
・ 「中島千波の桜屏風展」	(10/8～12/14)	入館者	1,977 人
・ おぶせミュージアムコレクション展	(12/17～2/16)	入館者	1,977 人

・「東京藝術大学デザイン科描画系 S h i n P A!!!!展」 (2/19～5/17) 入館者 6,869 人				
8	千曲川ハイウェイミュージアム費	18,849,556	決算事項別明細書 P66～	
千曲川ハイウェイミュージアムの管理運営(生涯学習グループ)			予算事業名：ハイウェイミュージアム管理費	
当初予算額 16,047,000 円		最終予算額 16,047,000 円	決算額 13,800,662 円	
親子で楽しめる企画運営を実施しました。また、多くの皆さんにご利用いただけるよう開館時間を4月～9月は午後6時まで延長しています。				
(1) 主な支出				
・職員の人件費・賃金等 638 万円		・光熱水費 400 万円		
・警備、植木手入れなどの委託 239 万円		・施設の修繕等 24 万円		
(2) 活動指標				
・開館日：通年（休館日12/29～12/31及び展示替時） 351日				
・開館時間：午前9時～午後6時（10月～3月は午後5時まで）				
(3) 活動指標の推移				
・年間入館者数 (単位：人)				
平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
34,480	17,321	29,651	23,855	18,382
千曲川ハイウェイミュージアムの企画展の開催(生涯学習グループ)予算事業名：ハイウェイミュージアム企画展費				
当初予算額 6,377,000 円		最終予算額 6,377,000 円	決算額 5,048,894 円	
親子で楽しめるよう体験学習やワークショップを取り入れた企画展を開催しました。				
(1) 主な支出				
・チラシ、看板類の印刷 27 万円		・広告料 6 万円		
・企画費、作品借用の謝礼など 405 万円				
(2) 活動指標				
・「日本の大道芸」南京玉すだれ他（5月3日）				
・「工作教室」（5月9日）				
・太田隆司ペーパーミュージアム（6月25日～9月14日）				
・ペーパークラフト教室（8月7日）				
・やなせたかしの世界展（みんな大好きアンパンマン）（9月17日～11月23日）				
・柳沢京子の「きり絵でたどる1年365日展」（11月26日～）				
9	人権・同和教育費	1,756,182	決算事項別明細書 P66～	
差別のない明るい社会の推進(生涯学習グループ)			予算事業名：人権・同和教育費	
当初予算額 1,306,000 円		最終予算額 1,306,000 円	決算額 838,862 円	
同和問題の認識と理解を深め、明るく住みよいまちづくりを進めるための中心施設である集会所・作業所の維持管理を行いました。				
(1) 主な支出				
・同和对策集会所運営委員報酬 2 万円				
・集会所などの修繕 25 万円				
・火災保険料 8 万円				
・中央・雁中集会所管理委託 16 万円				
・学校副読本購入 10 万円				
・部落解放・人権政策確立要求小布施町実行委員会活動補助金 10 万円				



(2) 活動指標

- ・ 雁中同和对策集会所外構修繕等
- ・ 同和对策集会所運営委員会 委員 11人 1回開催 (5月27日)  
審議内容  
人権促進事業年間計画について  
人権問題講座 交流事業 (手芸教室・書道教室・大正琴教室・生け花教室・フラダンス)
- ・ 人権同和教育啓発  
あけぼの購入 小学生用 1、3、5年、中学生用
- ・ 人権のまちづくり委員 (各自治会の代表者) 388人
- ・ 人権のまちづくり委員研修会  
期日: 8月4日  
場所: 公民館講堂  
参加: 100人
- ・ 部落解放・人権政策確立要求須高地区大会への参加  
期日: 6月23日  
場所: 須坂市文化会館メセナホール  
参加: 650人 (須高地区全体)

人権教育の促進(生涯学習グループ)

予算事業名: 人権教育促進事業費

当初予算額 1,550,000円 最終予算額 1,550,000円 決算額 638,891円

あらゆる人権問題について意識を高めるための啓発や、正しい知識を持つための学習会を行い、差別を許さないまちづくりを進めるため学習会等を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 64万円

(2) 活動指標

- ・ 研修会

会 場	事業の内容	会場	延参加者数
分 館	区民人権学習会	5	100
中央・雁中同和对策集会所及び福原公民館	人権問題学習	9	108
	地域住民交流促進事業	2	692
計		16	900

- ・ 第10回人権教育研究集会 (平成23年2月20日開催)

講師: 長島はつみさん 演題: 障がい乗り越えて

会 場	事業の内容	時 間	参加者数
公民館講堂	人権講演会	2	60

(3) 活動指標の推移

- ・ 学習会などへの積極的な参加が見られ、地域社会・学校・家庭において人権問題に関する意識が高まっています。
- ・ 研修会への延参加人数 (単位: 人)

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
894	994	934	964	960



11	文化振興費	7,277,193	決算事項別明細書 P67～	
<b>小布施音楽祭開催の補助（生涯学習グループ）</b>			予算事業名：文化振興事業費	
当初予算額	1,000,000 円	最終予算額	1,000,000 円	決算額 1,000,000 円
地域に根ざした小布施音楽祭の開催を支援しました。（第11回）				
(1) 主な支出				
・音楽祭補助 100 万円				
(2) 活動指標				
・8/19～20 街角コンサート 京都大学音響楽団				
・8/21 永島義夫コントラバスリサイタル（北斎ホール）				
・8/22 アフタヌーンコンサート				
・8/28 小林沙羅ソプラノコンサート				
・9/4 加藤登紀子（野外音楽堂）				
<b>巴錦の普及（生涯学習グループ）</b>			予算事業名：文化振興事業費	
当初予算額	808,000 円	最終予算額	2,160,000 円	決算額 1,964,642 円
巴錦を町内に普及させるため、「一軒一株運動」を推進しました。				
(1) 主な支出				
・講師謝礼 6 万円				
・消耗品等 9 万円				
・パンフレットの印刷 11 万円				
・巴錦栽培委託料 50 万円				
・記念切手委託料 120 万円				
(2) 活動指標				
・巴錦苗 3,600本（全戸配布）				
<b>美術館・シャトルバスフリーパスの発行など（生涯学習グループ）</b>			予算事業名：文化振興事業費	
当初予算額	152,000 円	最終予算額	152,000 円	決算額 71,400 円
町内にある町営、民営の美術館10施設とシャトルバスを、年間通して利用できるフリーパスを作成し販売しました。				
(1) 主な支出				
・フリーパス・ポスター印刷費 6 万円				
(2) 活動指標				
・対象施設				
・町内の美術館10施設				
北斎館、高井鴻山記念館、おぶせミュージアム、千曲川ハイウェイミュージアム、				
フローラルガーデンおぶせ、歴史民俗資料館、日本のあかり博物館				
陶磁器コレクション「了庵」、おぶせ中国美術館、現代中国美術館				
・町内周遊シャトルバス				
(3) 活動指標の推移				
・フリーパスの発行数				
平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
115枚	132枚	85枚	70枚	67枚

町民ギャラリーの維持管理(生涯学習グループ)

予算事業名：町民ギャラリー管理費

当初予算額

956,000 円

最終予算額

956,000 円

決算額

804,501 円

各団体やグループ活動を行っている皆さんの発表の場として、町民ギャラリーの管理を行いました。

(1) 主な支出

・光熱水費

25 万円

・施設管理委託

24 万円

・土地借上料

20 万円

・消耗品等

10 万円

(2) 活動指標

・施設使用

19件

(ギャラリー利用11件、和室利用8件)

(ギャラリー利用の内訳)

自由工房 (木工芸品展示販売)

3回

焼物クラブ (作品展示販売)

1回

餅くらぶ (布小物・パッチワーク展示販売)

3回

その他 (個人作品展等)

4回

(3) 活動指標の推移

・利用件数

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
29件	29件	29件	20件	19件

町民ギャラリー整備事業費(生涯学習グループ)

予算事業名：町民ギャラリー整備事業費

当初予算額

0 円

最終予算額

1,167,000 円

決算額

1,168,650 円

町民ギャラリーの雨樋修繕工事を行いました。

(1) 主な支出

・雨樋修繕工事

105 万円

町民ギャラリー整備事業費(繰越分)(生涯学習グループ)

予算事業名：町民ギャラリー整備事業費

当初予算額

0 円

繰越予算額

2,268,000 円

決算額

2,268,000 円

町民ギャラリーの外壁等改修工事を行いました。

(1) 主な支出

・外壁等改修工事

210 万円

12

生涯学習推進費

7,864,889

決算事項別明細書

P67～

生涯学習入門講座「まなともカレッジ」(生涯学習グループ)

予算事業名：生涯学習入門講座事業費

当初予算額

845,000 円

最終予算額

845,000 円

決算額

691,919 円

「自分を高め、地域に生かす」をテーマに、若者からお年寄りまで幅広い層が受講できる各種講座を開き、広く学習機会と交流の場を提供しました。

(1) 主な支出

・講師謝礼

62 万円

(2) 活動指標

・学級・講座名、参加人数

学級・講座名	回	数	延参加者数 (人)
コカリナ教室	10		55
太極拳教室	10		105
吹き矢健康教室	10		62
パッチワーク教室	10		45
ヨガ教室	10		119

童謡歌を歌う教室	10	124
立体押花教室	10	78
パソコン教室	10	193
エアロビックス教室	10	83
おぶせセミナー	7	244
雁田山登山	1	39
計	98	1,147

(3) 活動指標の推移

・延べ参加者数

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
参加者数（人）	1,627	1,590	1,256	1,304	1,147
講座数	12	13	11	12	11

**カルチャー大学講座(生涯学習グループ)**

予算事業名：カルチャー大学事業

当初予算額 350,000 円 最終予算額 350,000 円 決算額 286,691 円

時代に対応した知識や教養を身につけることを目的としたカルチャー大学を開催しました。

(1) 主な支出

- ・講師謝礼（9人） 28 万円

(2) 活動指標

- ・カルチャー大学（7回）7月24日、8月6日、9月11日、10月1日、10月29日、12月11日、12月17日  
「人生・どう考え どう生きる」

講師：武田 徹 氏

ほか6講座 366人参加

(3) 活動指標の推移

・延べ参加者数

(単位：人)

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
カルチャー大学	290	375	311	442	366

**高齢者学級(生涯学習グループ)**

予算事業名：高齢者学級事業費

当初予算額 70,000 円 最終予算額 70,000 円 決算額 48,209 円

高齢者が生きがいのある生活を送るため必要な趣味や教養を身につけることを目的とした高齢者学級を開催しました。

(1) 主な支出

- ・講師謝礼（8人） 5 万円

(2) 活動指標

- ・高齢者学級（8回）

6月1日、6月15日、7月6日、7月21日、8月3日、8月24日、9月7日、9月21日

「私の生活してきた町 小布施町に住んで」

講師：D・ヒルトン 氏 ほか7講座 515人参加

(3) 活動指標の推移

・延べ参加者数

(単位：人)

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
高齢者学級	501	589	534	613	515

地域伝統文化総合活性化事業(生涯学習グループ)

予算事業名：地域伝統文化総合活性化事業費

当初予算額0円最終予算額7,406,000円決算額6,838,070円

長野県北信地方に古くから伝わる「北信流お肴謡」の保存継承や調査研究を国（文化庁）からの補助金を受けて実施しました。

(1) 主な支出

・講師謝礼122万円

・講師旅費65万円

・企画制作73万円

・撮影・記録367万円

・教材30万円

・印刷代26万円

(2) 活動指標

・講師 能楽師シテ方 佐野 登（重要無形文化財総合指定保持者）

・お肴謡教室 6回（1回約30人） 延べ180人

・能楽と農業プロジェクト 小学生と稲の収穫、能とのつながり講演

・北信流の調査・研究、発表会（3/21、中止）

13

青少年育成費

5,886,727

決算事項別明細書 P67～

青少年問題協議会委員の活動(子ども教育グループ)

予算事業名：青少年対策費

当初予算額107,000円最終予算額107,000円決算額0円

青少年の問題等が発生した場合に調査・審議を行います。

(1) 主な支出

・なし

(2) 活動指標

・平成22年度は審議案件がなく、開催しませんでした。

(3) 成果指標

・平成18～22年度開催なし

青少年育成自主活動事業への補助(子ども教育グループ)

予算事業名：青少年対策費

当初予算額300,000円最終予算額300,000円決算額299,960円

各育成会を支援するため、その活動に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

・育成会活動交付金の交付 28育成会 30万円

(2) 活動指標

・予算の範囲内で、育成会の自主的活動に対し交付 1事業 1,500円

(3) 活動指標の推移

・補助額等の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
育成会数	28育成会	28育成会	28育成会	28育成会	28育成会
補助金額	26万円	30万円	30万円	30万円	30万円

子ども会安全会費の助成(子ども教育グループ)

予算事業名：青少年対策費

当初予算額170,000 円最終予算額170,000 円決算額141,980 円

育成会事業に参加する子ども会の安全会費（保険掛金）と長野地方子ども会育成連絡協議会の会費を補助しました。

(1) 主な支出

・子ども会安全会費の補助10 万円

・需用費4 万円

(2) 活動指標

・保険内容 育成会活動の安全思想の普及に努め、活動中に生じた傷害、疾病、後遺障害または死亡に対して見舞金を支給

(3) 成果指標

・見舞金（傷害）1件（地元育成会 6年生を送る会・新入生歓迎会）

小山田杯少年少女球技大会の開催(子ども教育グループ)

予算事業名：青少年育成事業費

当初予算額332,000 円最終予算額332,000 円決算額261,109 円

青少年の心身の健全な育成を図り、地域でのふれあい交流と連帯意識を育成するため、球技大会（種目：キンボール）を開催しました。

(1) 主な支出

・入賞メダル等4 万円

・参加賞（インクペン）10 万円

・需用費12 万円

(2) 活動指標

・小学生の部 26育成会 45チーム参加

小学生の部 優勝 福原育成会(Aceチーム) 準優勝 福原育成会(Dreamsチーム) 3位 中扇育成会

・中学生の部 24育成会 31チーム参加

中学生の部 優勝 林育成会 準優勝 中町育成会 3位 横町育成会

(3) 活動指標の推移

・参加チーム数の推移

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	参加チーム数	69チーム	67チーム	74チーム	79チーム	76チーム
(内訳)	小学校	25育成会 (44チーム)	26育成会 (41チーム)	26育成会 (45チーム)	26育成会 (43チーム)	26育成会 (45チーム)
	中学校	23育成会 (25チーム)	23育成会 (26チーム)	23育成会 (29チーム)	25育成会 (36チーム)	24育成会 (31チーム)

子どもみこし大会の開催(子ども教育グループ)

予算事業名：青少年育成事業費

当初予算額20,000 円最終予算額20,000 円決算額9,634 円

夏のイベント「くりんこ祭り」に合わせて、子どもみこし大会を開催しました。

(1) 主な支出

・消耗品、クリーニング代など1 万円

(2) 活動指標

・平成22年7月31日（土）開催

(3) 活動指標の推移

・参加育成会数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
参加育成会数	27育成会	28育成会	28育成会	28育成会	28育成会

**子ども教室の管理運営(子ども教育グループ)** 予算事業名：子ども教室推進事業費、親子わんぱく教室事業費

当初予算額 5,819,000 円 最終予算額 6,223,000 円 決算額 5,174,044 円

小学生の放課後や週末の保護を行うとともに、スポーツ・文化活動や農業・福祉体験などを通じ、たくましい子どもを育むため支援しました。登録区分を、一般登録及び体験活動付きに分け、地域の皆さんとの交流や自主的な活動を実施しました。

(1) 主な支出

・嘱託職員人件費	280 万円	・臨時職員の賃金	144 万円
・講師謝礼等	12 万円	・需用費	67 万円

(2) 活動指標

- ・子ども教室（一般・体験）登録人数 102名  
受入時間 学校終了時～午後6時(冬期間・午後5時)  
長期休業日 午前10時～午後3時
- ・親子わんぱく教室 年間 5回開催 延べ189人参加

子どもたちの自主性を大切にしたい運営を心掛けており、子ども達が自ら実行する力を養うこととしています。

農業体験活動は農作業の体験及び収穫の喜びなどを勉強しながら、自ら考え、大人の手を借りず自らの力で行っています。

6 保健体育費 40,209,158

1 保健体育総務費 3,871,556

決算事項別明細書 P68～

**体育団体への支援(生涯学習グループ)**

予算事業名：保健体育総務費

当初予算額 1,510,000 円 最終予算額 1,846,000 円 決算額 1,846,000 円

スポーツの普及のために活動している各体育団体へ支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・体育団体補助金
  - ・町体育協会 100 万円
  - ・少年硬式野球連盟 10 万円
  - ・全国スポーツ大会出場補助金 54 万円
  - ・スポーツ少年団 15 万円
  - ・早起き野球連盟 5 万円

(2) 活動指標

- ・町体育協会の活動内容  
町長杯・町民大会競技開催運営（バドミントン・テニス・バレー・ゴルフほか） 分館対抗球技大会運営協力 教室開催（スキー・テニスほか） 各種行事ボランティア（見にマラソン・アートウォーク） 町民運動会運営
- ・少年硬式野球連盟の活動内容  
各種大会参加 シニア（信越秋季大会・東北信ブロック新人大会・ライオンズ杯・日本選手権予選ほか） リトル（信越マイナー大会・信越秋季大会・須高少年硬式大会 ジョイフル大会ほか）
- ・スポーツ少年団の活動内容  
各単位団競技交流（バドミントン・野球・サッカー・ソフトテニス・剣道・バレー・サッカー・ミニバスケットボール）



- ・早起き野球連盟の活動内容  
グラウンド整備 大会開催 各種大会参加（北信ダークホース・各市町村杯大会出場）

#### 海の家の開設(生涯学習グループ)

予算事業名：保健体育総務費

当初予算額 241,000 円 最終予算額 241,000 円 決算額 176,990 円

海のない長野県で、より多くの住民の皆さんに楽しんでいただくため、海の家を開設しました。

##### (1) 主な支出

- ・海の家利用料 15 万円

##### (2) 活動指標

- ・休憩 2箇所 延べ 255人利用
- ・宿泊 1箇所 延べ 0人利用

#### 体育指導委員活動の推進(生涯学習グループ)

予算事業名：体育指導委員活動費

当初予算額 523,000 円 最終予算額 523,000 円 決算額 384,030 円

町民の皆さんにスポーツへの関心や理解を深めていただくため、魅力あるスポーツ行事の企画立案やスポーツ教室での指導を行いました。

##### (1) 主な支出

- ・体育指導委員報酬 委員7人 15 万円
- ・体育指導委員ウェア 11 万円
- ・各種大会・協議会負担金 4 万円

##### (2) 活動指標

- ・体育指導委員会 10 回開催  
スポーツ教室の企画・立案などを協議
- ・レクリエーションスポーツ教室の実技指導 2回  
スポーツ教室や町民運動会の企画立案から実施まで幅広く活動しており、町のスポーツ振興、町民の体力づくりに寄与しています。

#### 楽しくできる健康づくりの推進(生涯学習グループ)

予算事業名：健康づくり事業費

当初予算額 204,000 円 最終予算額 204,000 円 決算額 39,460 円

子どもから大人まで、スポーツ経験のほとんどない人を対象にして、運動に親しむことを目的にレクリエーションスポーツ教室を開催しました。

##### (1) 主な支出

- ・スポーツ用品 4 万円

##### (2) 活動指標

- ・ニュースポーツ教室（ワンバウンド・フラーバレー）  
平成23年2月17日、2月24日開催 延べ28人参加

#### 町民運動会の開催(生涯学習グループ)

予算事業名：町民運動会事業費

当初予算額 1,167,000 円 最終予算額 1,169,000 円 決算額 1,168,778 円

町民の皆さんの親睦と交流を深めることを目的に、自治会やコミュニティ対抗で行う町民運動会を開催しました。

##### (1) 主な支出

- ・参加賞、トロフィー 83 万円
- ・大会経費 34 万円

(2) 活動指標

- ・期日：平成22年10月10日（日）
- ・場所：栗ガ丘小学校グラウンド
- ・参加：28自治会

優勝 羽場 準優勝 押羽 3位 山王島

1年に一度の体育の祭典として伝統行事となっています。大会当日だけでなく、直前まで行われる自治会ごとの練習を通じて町民の体力向上や区民どうしの交流や親睦が図られています。

**分館対抗球技大会の開催(生涯学習グループ)**

予算事業名：分館対抗球技大会事業費

当初予算額 40,000 円 最終予算額 95,000 円 決算額 94,558 円

町民の体力向上や親睦を図るため、ソフトミニバレーボールとバドミントンの分館対抗の球技大会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・大会消耗品（トロフィー、ラインテープ、シャトルなど） 9 万円

(2) 活動指標

- ・ソフトミニバレーボール大会 平成22年6月20日 25分館参加 優勝 押羽
- ・バドミントン大会 平成23年3月13日（中止）

**市町村対抗駅伝大会等への出場(生涯学習グループ)**

予算事業名：各種競技大会経費

当初予算額 253,000 円 最終予算額 253,000 円 決算額 161,740 円

県市町村対抗駅伝競走大会へ出場しました。また、県縦断駅伝競走大会へ須高チームとして出場する須高陸上協会の経費を負担しました。

(1) 主な支出

- ・県縦断駅伝競走大会負担金 7 万円
- ・市町村対抗駅伝競走大会負担金 1 万円

(2) 活動指標

- ・県市町村対抗駅伝競走大会 4月29日 総合31位（参加：60 チーム）
- ・県市町村対抗小学生駅伝競走大会 4月29日 総合43位（参加：59 チーム）
- ・県縦断駅伝競走大会 11月20日～21日 総合12位（参加：15 チーム）

2 体育施設費 36,337,602 決算事項別明細書 P68～

**体育施設の維持管理(生涯学習グループ)**

予算事業名：体育施設管理費

当初予算額 13,374,000 円 最終予算額 15,759,000 円 決算額 15,554,102 円

町民の皆さんのスポーツ活動の場として、気持ちよくご利用いただけるよう施設の維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・光熱水費 441 万円
- ・施設の清掃委託等 116 万円
- ・土地借上料 483 万円
- ・電気保安業務委託等 6 万円
- ・体育施設備品 126 万円
- ・体育施設の修繕料 266 万円
- ・消耗品等 70 万円

(2) 活動指標

- ・施設の修繕
  - ・総合体育館
  - ・松川、町営グラウンド
  - ・トレーニングセンター
  - ・テニスコート
  - ・北部体育館
  - ・ほか体育施設
- ・体育施設利用者会議 年2回（8月、2月開催）

会議により利用者の皆さんのマナーの向上が図られています。

**サマーランドの管理運営(須高行政事務組合)(生涯学習グループ)** 予算事業名：体育施設管理費  
当初予算額 4,150,000 円 最終予算額 4,041,000 円 決算額 3,490,000 円

須高行政事務組合が運営する総合プール（サマーランド）の運営に必要な経費を負担しました。

(1) 主な支出

- ・ 須高行政事務組合負担金 349万円

**体育施設の整備(生涯学習グループ)** 予算事業名：体育施設整備事業費  
当初予算額 24,825,000 円 最終予算額 17,640,000 円 決算額 17,293,500 円

文化体育館の設計、雁田山ハイキングコースの整備を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 文化体育館設計委託料 1,680 万円
- ・ 雁田山ハイキングコース整備 49 万円

7 給食センター費 40,054,289 決算事項別明細書 P69～  
1 給食センター費 40,054,289

**学校給食センターの管理運営(子ども教育グループ)** 予算事業名：給食センター管理費  
当初予算額 45,905,000 円 最終予算額 44,234,000 円 決算額 40,054,289 円

幼稚園・小中学校の給食約1,200食を、おいしく、安全で、衛生的に提供するよう努めました。また、お米は農家等の皆さんの協力を得て、小布施で収穫されたものだけを使用しました。野菜等についても、可能な限り地元産のものを取り入れ「食育」と「地産地消」を進めました。

(1) 主な支出

- ・ 光熱水費 1,025 万円
- ・ 調理器具の保守点検などの委託 317 万円
- ・ 施設用地の借上げ 170 万円
- ・ 臨時調理員賃金 1,654 万円
- ・ 施設の修繕料 321 万円
- ・ 衛生用品、調理用品 373 万円
- ・ 学校給食会への負担金 15 万円
- ・ その他の経費 130 万円

(2) 活動指標

① 給食数(延べ)及び給食費

区 分	学 級 数	給食日数	給 食 数	月額給食費 (円)		1食当たり(円)
				4月～1月	2月	
幼 稚 園	6	202	21,412	4,700	3,702	251
小 学 校	23	205	140,425	5,000	3,710	262
中 学 校	11	205	76,875	5,800	4,525	305
計	40	—	238,712	—	—	—

② 学校給食センター運営委員会の開催

- ・ 委員構成 町理事者代表 1人、小中学校長及び幼稚園長 3人、学校医代表 1人、学校薬剤師代表 1人、小中学校PTA代表 2人、幼稚園保護者会代表 1人 計9人
- ・ 委員会開催数 年2回開催（平成22年9月28日7人出席、平成23年3月22日9人出席）
- ・ 内 容 決算の認定や業務計画の決定に関すること等を審議しました。

	③ 学校給食会の開催
・ 委員構成	幼稚園 1人、小学校 4人、中学校 3人、教育委員会 4人、給食センター 1人 計13人
・ 委員会開催数	年2回開催(平成22年9月28日12人出席、平成23年3月22日12人出席)
・ 内 容	予算、決算及び給食会運営上の反省と給食に対する要望等を協議しました。

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
10			公債費	547, 202, 770	
	1		公債費	547, 202, 770	
		1	元金	470, 375, 943	決算事項別明細書 P69～
町債(借金)の返済(総務グループ)					予算事業名：償還元金
当初予算額 470, 378, 000 円 最終予算額 470, 378, 000 円					決算額 470, 375, 943 円
道路や教育施設、福祉施設、公園や美術館などを整備するために借り入れた町債(借金)の返済(元金)を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 償還元金 4億7, 038 万円					
(2) 成果指標					
・ 一般会計町債残高（平成22年度末） 41億7, 794万円					
(普通会計町債の詳細については、「4. 普通会計決算の状況」に記載)					
2			利子	76, 826, 618	決算事項別明細書 P69～
町債(借金)の返済(総務グループ)					予算事業名：支払利子
当初予算額 82, 549, 000 円 最終予算額 82, 549, 000 円					決算額 76, 826, 618 円
道路や教育施設、福祉施設、公園や美術館などを整備するために借り入れた町債(借金)の返済(利子)を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 支払利子 7, 683 万円					
3			公債諸費	209	決算事項別明細書 P69～
町債(借金)の返済(総務グループ)					予算事業名：公債諸費
当初予算額 100, 000 円 最終予算額 100, 000 円					決算額 209 円
町債借入に係る用紙代を支払いました。					
(1) 主な支出					
・ 手数料 0.1 万円					

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
11			予備費	0	
	1		予備費	0	
		1	予備費	0	
					決算事項別明細書 P69～
一般会計の予備費(総務グループ)					予算事業名：予備費
当初予算額 28,303,000 円 最終予算額 11,085,000 円					決算額 0 円
予備費は、予算外の支出または予算超過の支出に充てるための経費で、他の予算に充用して支出されるものです。（予備費としての支出はありません）					
(1) 主な支出					
・ 予備費 0 万円					

## 6. 会計別決算概要

### Ⅱ 国民健康保険特別会計

#### 1 決算規模及び収支

平成 22 年度の国民健康保険財政は、歳入で前年比 1,541 万 6 千円増の 11 億 2,575 万 5 千円、歳出では前年比 1,248 万 2 千円増の 10 億 9,864 万 4 千円となり、実質収支額は 2,711 万 1 千円となりました。

#### 2 歳入

##### (1) 国民健康保険税

国民健康保険税は 2 億 8,458 万 7 千円で、対前年比 6.2% (1,876 万 4 千円) の減となりました。

##### (2) 国庫支出金

国庫支出金は 2 億 5,539 万 2 千円で、対前年比 12.8% (3,753 万 2 千円) の減となりました。

##### (3) 前期高齢者交付金

65 歳から 74 歳までの前期高齢者に係る保険者間の費用負担の財政調整によるもので、平成 20 年度から創設され、平成 22 年度は 2 億 7,552 万円の交付があり、前年比 25.6% (5,608 万円) の増となっています。

##### (4) 県支出金

県支出金は 4,194 万 2 千円で、対前年比 17.5% (890 万 1 千円) の減となりました。

##### (5) 療養給付費交付金

療養給付費交付金は 7,716 万 6 千円で、対前年比 11.9% (822 万 3 千円) の増となりました。

##### (6) 共同事業交付金

共同事業交付金は 1 億 606 万 8 千円で、対前年比 7.2% (711 万 5 千円) の増となりました。

##### (7) その他

繰入金は、5,862 万 5 千円で、対前年比 8.9% (481 万円) の増となりました。

### 3 歳出

#### (1) 総務費

総務費は1,612万4千円で、対前年比8.1%（120万8千円）の増になりました。

#### (2) 保険給付費

保険給付費は7億4,400万3千円で、対前年比7.6%（5,257万2千円）の増になりました。

#### (3) 後期高齢者支援金等、前期高齢者納付金等

後期高齢者支援金は、1億3,886万6千円となり、対前年比6.0%（887万4千円）の減に、前期高齢者納付金等は、23万9千円を支出し、対前年比43.1%（18万1千円）の減になりました。

#### (4) 老人保健拠出金

老人保健拠出金は300万3千円で、対前年比88.3%（2,259万2千円）の減になりました。

#### (5) 介護納付金

介護納付金は6,128万2千円で、対前年比0.8%（52万4千円）の減になりました。

#### (6) 共同事業拠出金

共同事業拠出金は1億1,278万1千円で、対前年比0.7%（76万2千円）の減になりました。

#### (7) 保健事業費

保険事業費は1,291万1千円で、対前年比1.9%（25万6千円）の減になりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

# 平成22年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の状況

## 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
国民健康保険税	284,587	25.3%	303,351	27.3%	△ 18,764	△ 6.2%
使用料及び手数料	68	0.0%	67	0.0%	1	1.5%
国庫支出金	255,392	22.7%	292,924	26.4%	△ 37,532	△ 12.8%
前期高齢者交付金	275,520	24.5%	219,440	19.8%	56,080	25.6%
県支出金	41,942	3.7%	50,843	4.6%	△ 8,901	△ 17.5%
療養給付費交付金	77,166	6.9%	68,943	6.2%	8,223	11.9%
共同事業交付金	106,068	9.4%	98,953	8.9%	7,115	7.2%
財産収入	422	0.0%	720	0.1%	△ 298	△ 41.4%
繰 入 金	58,625	5.2%	53,815	4.8%	4,810	8.9%
繰 越 金	24,177	2.1%	18,897	1.7%	5,280	27.9%
諸 収 入	1,788	0.2%	2,386	0.2%	△ 598	△ 25.1%
合 計	1,125,755	100.0%	1,110,339	100.0%	15,416	1.4%

## 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総 務 費	16,124	1.5%	14,916	1.4%	1,208	8.1%
保険給付費	744,003	67.7%	691,431	63.7%	52,572	7.6%
後期高齢者支援金等	138,866	12.6%	147,740	13.6%	△ 8,874	△ 6.0%
前期高齢者納付金等	239	0.0%	420	0.0%	△ 181	△ 43.1%
老人保健拠出金	3,003	0.3%	25,595	2.4%	△ 22,592	△ 88.3%
介護納付金	61,282	5.6%	61,806	5.7%	△ 524	△ 0.8%
共同事業拠出金	112,781	10.3%	113,543	10.5%	△ 762	△ 0.7%
保健事業費	12,911	1.2%	13,167	1.2%	△ 256	△ 1.9%
基金積立金	422	0.0%	720	0.1%	△ 298	△ 41.4%
公 債 費	-	-	-	-	-	-
諸支出金	9,013	0.8%	16,824	1.5%	△ 7,811	△ 46.4%
合 計	1,098,644	100.0%	1,086,162	100.0%	12,482	1.1%

歳入歳出差引額

27,111 千円

24,177 千円





2	連合会負担金	1,362,284						
連合会負担金(健康グループ)								
医療機関への医療費の支払い等を委託している長野県国民健康保険団体連合会に対し負担金を支払いました。								
(1) 主な支出								
・長野県国民健康保険団体連合会負担金 136 万円								
(2) 活動指標								
・医療費の審査、取りまとめ、医療費支払いの代行等を委託しました。								
	徴税費	3,303,756						
1	賦課徴収費	3,303,756						
保険税の賦課・徴収(税務グループ)								
加入者に収めていただく保険税の計算と徴収を行いました。								
(1) 主な支出								
・課税及び収納業務委託（保守を含む）187 万円								
・国保業務ソフトウェア使用料130 万円								
(2) 活動指標								
・国民健康保険税の状況(過年度遡及分除く)								
税 率		医 療 分	支 援 分	介 護 分				
所 得 割		5.80 %	1.60 %	1.70 %				
資 産 割		17.00 %	5.00 %	7.50 %				
均 等 割		22,100 円	6,400 円	9,500 円				
平 等 割		20,300 円	5,700 円	6,000 円				
賦 課 限 度 額		500,000 円	130,000 円	100,000 円				
算出税額（軽減等前）		医 療 分	支 援 分	介 護 分				
所 得 割 額		10,374 万円	2,862 万円	1,496 万円				
資 産 割 額		1,884 万円	554 万円	370 万円				
均 等 割 額		7,476 万円	2,165 万円	1,241 万円				
平 等 割 額		3,238 万円	909 万円	580 万円				
計		22,972 万円	6,490 万円	3,687 万円				
軽減・限度額超過		医療分		支援分		介護分		合計
		対象数	軽減額	対象数	軽減額	軽減数	軽減額	軽減額
7 均 等 割（人）		620	959万円	620	278万円	242	161万円	1,398万円
割 平 等 割（世帯）		401	519万円	401	146万円	209	88万円	753万円
5 均 等 割（人）		295	326万円	295	94万円	103	49万円	469万円
割 平 等 割（世帯）		126	115万円	126	32万円	73	22万円	169万円
2 均 等 割（人）		405	179万円	405	52万円	144	27万円	258万円
割 平 等 割（世帯）		209	78万円	209	22万円	110	13万円	113万円
合 均 等 割（人）		1,320	1,464万円	1,320	424万円	489	237万円	2,125万円
計 平 等 割（世帯）		736	712万円	736	200万円	392	123万円	1,035万円
限 度 超 過 額（世帯）		29	879万円	35	275万円	38	190万円	1,344万円

	医 療 分	支 援 分	介 護 分
算 出 税 額	19,931 万円	5,589 万円	3,129 万円
1世帯当り国保税(円)	116,486	32,664	32,391
1人当り国保税(円)	58,914	16,520	23,940

※ 応益割合＝(均等割額＋平等割額)÷(算出税額(計)－限度超過額)

48.49％(医療分) 49.46％(支援分) 52.07％(介護分)

・収 納 率 (現年課税分)

(単位：円)

区 分	調 定 額	収入済額	収 納 率
一 般	254,641,832	246,105,181	96.6%
退 職	35,224,468	34,449,719	97.8%
計	289,866,300	280,554,900	96.8%

(3) 活動指標の推移

・1人当たり国保税の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
医 療 分	67,231	76,619	63,516	61,838	58,914
支 援 分	-	-	17,758	17,304	16,520
介 護 分	13,999	26,355	26,346	25,898	23,940

・収納率(現年度)の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
一 般	98.4%	97.5%	97.4%	97.4%	96.7%
退 職	98.8%	99.1%	99.3%	99.3%	97.8%
計	98.4%	97.8%	97.6%	97.6%	96.8%

2	滞納処分費	0	
---	-------	---	--

(1) 主な支出

なし

3	運営協議会費	28,000	
1	運営協議会費	28,000	

**国民健康保険運営協議会の開催(健康グループ)**

国保の運営上重要な事項、例えば一部負担金の負担割合、保険税の賦課方法、保健事業等の事項について協議していただきました。

(1) 主な支出

・委員報酬 19 万円

(2) 活動指標

国保運営協議会

・委員 9人(構成：被保険者代表、保険医等代表、公益代表 各3人)

・協議会の開催 1 回

開催日 平成23年3月1日

内 容 平成23年度国民健康保険当初予算(案)について

国民健康保険税条例について

国民健康保険条例について

2

1

保険給付費

744, 003, 096

療養諸費

665, 689, 944

1一般被保険者療養給付費

575, 958, 044

決算事項別明細書P84～

医療機関等へ一般被保険者の医療費の支払(健康グループ)

長野県国民健康保険団体連合会を通じ、医療機関等へ一般被保険者の医療費を支払いました。

(1) 主な支出

療養給付費

5 億 7,596 万円

(2) 活動指標

療養給付費の状況

(単位：万円)

区 分			件 数 (件)	日 数 (日)	費 用 額	保 険 者 負 担 分	一 部 他 法 分 負 担 金
被一 保 険 者 分 般	合 計		44,554	59,517	78,986	57,530	19,206
	内 訳	診 療 費	入 院	530	7,842	25,230	
		入 院 外	25,781	42,550	31,161		
		歯 科	3,897	9,042	6,426		
		調 剤	14,314	18,169	14,668		
		食事療養	517	20,955	1,410		
		訪問看護	32	83	90		

療養の給付費(診療費)等諸率

対 象	種 別	受 診 率 (ア)	1 件 当 り 日 数 (イ)	1 日 当 り 費 用 額 (ウ)	1 人 当 り 費 用 額 (エ)	1 件 当 り 費 用 額 (オ)
一 般	入 院	17.1件	14.8日	32,173円	81,466円	476,038円
	入 院 外	832.5件	1.7日	7,323円	100,617円	12,087円
	歯 科	125.8件	2.3日	7,107円	20,749円	16,490円
	計	975.4件	2.0日	10,569円	202,832円	20,795円

ア 受 診 率

= 年間診療件数 ÷ 年間平均被保険者数 … (100人当り受診件数)

イ 1件当り日数

= 診療日数 ÷ 診療件数 … (1ヶ月における平均日数)

ウ 1日当り費用額

= 診療費用額 ÷ 診療日数 … (1日当り費用単価)

エ 1人当り費用額

= 診療費用額 ÷ 年間平均被保険者数 … (年間1人当りの平均費用額)

オ 1件当り費用額

= 診療費用額 ÷ 診療件数 … (1件当りの費用単価)

(3) 活動指標の推移

1人当り費用額の推移

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
入 院	75,027円	57,346円	125,653円	111,178円	81,466円
入院外	80,625円	80,962円	152,625円	161,228円	100,617円
歯 科	16,300円	15,403円	26,960円	27,873円	20,749円
計	171,952円	153,711円	305,238円	300,279円	202,832円

2退職被保険者等療養給付費

78,088,312

医療機関等へ退職被保険者の医療費の支払(健康グループ)

長野県国民健康保険団体連合会を通じ、医療機関等へ退職被保険者の医療費を支払いました。

(1) 主な支出

療養給付費

7,809 万円

## (2) 活動指標

## ・療養給付費の状況

(単位：万円)

区 分				件 数 (件)	日 数 (日)	費 用 額	保 険 者 負 担 分	一 部 負 担 金	他 法 分
被退 保 険 者 分 職	合 計			5,283	7,647	17,555	7,785	3,297	55
	内 訳	診 療 費	入 院	97	1,852	4,264			
			入 院 外	3,110	4,818	3,721			
			歯 科	431	977	625			
		調 剤		1,645	1,976	8,610			
		食事療養		89	5,041	335			
		訪問看護		0	0	0			

## ・療養の給付費(診療費)等諸率

対 象	種 別	受 診 率 (ア)	1 件 当 り 日 数 (イ)	1 日 当 り 費用額 (ウ)	1 人 当 り 費用額 (エ)	1 件 当 り 費用額 (オ)
退 職 者	入 院	31.1件	19.1日	23,024円	136,667円	439,588円
	入 院 外	996.8件	1.5日	7,723円	119,263円	11,965円
	歯 科	138.1件	2.3日	6,397円	20,032円	14,501円
	計	1,166.0件	2.1日	11,259円	275,962円	23,667円

## (3) 活動指標の推移

## ・1人当り費用額の推移

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
入 院	105,269円	105,157円	92,620円	90,996円	136,667円
入院外	121,982円	139,022円	129,489円	125,277円	119,263円
歯 科	25,433円	22,584円	24,377円	25,351円	20,032円
計	268,427円	266,764円	246,486円	241,624円	275,962円

3 一般被保険者療養費 7,876,274

## 加入者等へ一般被保険者の療養費の支払(健康グループ)

国保加入者(一般被保険者)の方等へ、療養費を支払いました。

## (1) 主な支出

・療養費 788 万円

## (2) 活動指標

## ・療養費の内容

医療の内容	件数(件)	費用額(円)	保険者負担額(円)	一部負担金(円)
診療費	29	330,750	232,051	98,699
柔道整復師・補装具・ハリ 等	1,213	10,334,988	7,608,572	2,365,182
計	1,242	10,665,738	7,840,623	2,463,881

## (3) 活動指標の推移

## 件数と金額の推移

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	688	618	1074	1306	1,242
保険者負担額	5,319,022円	4,889,487円	7,073,528円	8,035,966円	7,840,623円

4	退職被保険者等療養費	995,980			
---	------------	---------	--	--	--

加入者等へ退職被保険者の医療費の支払(健康グループ)

国保加入者(退職被保険者)の方等へ、療養費を支払いました。

(1) 主な支出

・療養費

100 万円

(2) 活動指標

・療養費の内容

医療の内容	件数(件)	費用額(円)	保険者負担額(円)	一部負担金(円)
診療費	2	44,164	30,914	13,250
柔道整復師・補装具・ハリ 等	142	1,378,718	965,066	413,652
計	144	1,422,882	995,980	426,902

(3) 活動指標の推移

・件数と金額の推移

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	254	232	152	120	144
保険者負担額	2,627,357円	2,650,777円	1,158,213円	753,880円	995,980円

5	審査支払手数料	2,771,334			
---	---------	-----------	--	--	--

医療内容の審査(健康グループ)

長野県国民健康保険団体連合会で行っている医療内容の審査にかかる手数料を支払いました。

(1) 主な支出

・審査手数料

277 万円

(2) 活動指標

・主な審査手数料

医療の内容	件数 (件)	単価 (円)	金額 (円)
療養給付費	49,959	54	2,697,786
療養費	1,279	54	69,066
計	51,238		2,766,852

※平成22年3月診療分から平成23年2月診療分

	高額療養費	68,635,147			
1	一般被保険者高額療養費	61,030,678			
2	退職被保険者等高額療養費	7,604,469			

加入者へ高額医療費の支払(健康グループ)

医療費が高額となった場合、自己負担限度額を超えた額を加入者にお支払いしました。

(1) 主な支出

・一般被保険者高額療養費

6,103 万円

・退職被保険者等高額療養費

760 万円

(2) 活動指標

高額療養費支出状況

・一般被保険者高額療養費

933 件

・退職被保険者高額療養費

110 件

3		移送費	0					
	1	一般被保険者移送費	0					
	2	退職被保険者等移送費	0					
移送費(健康グループ)								
(1) 主な支出 なし								
4		出産育児諸費	6,741,926					
	1	出産育児一時金	6,741,926					
国民健康保険加入者の出産費の支払(健康グループ)								
国保加入者の方の出産にかかった費用を負担しました。								
(1) 主な支出 ・ 出産育児一時金                      674 万円								
(2) 活動指標 ・ 妊娠4カ月を超える出産に係るもの   1人42万円(胎児数に応じて支給)×16人 事務費手数料              3,360円								
(3) 活動指標の推移 ・ 過去の推移								
		年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
		件数	12件	13件	13件	11件	16件	
		保険者負担額	385万円	455万円	464万円	436万円	672万円	
5		葬祭諸費	900,000					
	1	葬祭費	900,000					
国民健康保険加入者の葬祭費の支払(健康グループ)								
国保加入者の方の葬祭にかかった費用の一部を負担しました。								
(1) 主な支出 ・ 葬祭費                                      90 万円								
(2) 活動指標 ・ 葬祭を行った者                      5万円×18件								
(3) 活動指標の推移								
		年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
		件数	73件	85件	23件	19件	18件	
		保険者負担額	292万円	340万円	110万円	95万円	90万円	
6		精神諸費	2,036,079					
	1	精神給付金	2,036,079					
精神給付金の支払(健康グループ)								
精神障害者の方の通院治療費の一部を負担しました。								
(1) 主な支出 ・ 精神給付金                              204 万円								

	(2)	活動指標	・ 自立支援医療（旧精神通院公費）の自己負担相当額を支給 1,309件																						
	(3)	活動指標の推移	<table><tr><td>年 度</td><td>平成18年度</td><td>平成19年度</td><td>平成20年度</td><td>平成21年度</td><td>平成22年度</td></tr><tr><td>件数</td><td>1,089件</td><td>1,220件</td><td>1,232件</td><td>1,343件</td><td>1,309件</td></tr><tr><td>保険者負担額</td><td>157万円</td><td>189万円</td><td>199万円</td><td>199万円</td><td>204万円</td></tr></table>					年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	件数	1,089件	1,220件	1,232件	1,343件	1,309件	保険者負担額	157万円	189万円	199万円	199万円	204万円
年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度																				
件数	1,089件	1,220件	1,232件	1,343件	1,309件																				
保険者負担額	157万円	189万円	199万円	199万円	204万円																				
3		後期高齢者支援金等	138,866,382																						
	1	後期高齢者支援金等	138,866,382																						
		1 後期高齢者支援金	138,848,983																						
		2 後期高齢者関係事務費拠出金	17,399			決算事項別明細書 P87～																			
後期高齢者医療保険のための負担金の支払(健康グループ)																									
後期高齢者医療保険への支援金（医療費・事務費拠出金）です。																									
	(1)	主な支出																							
		・ 後期高齢者支援金等	1 億 3,887 万円																						
4		前期高齢者納付金等	239,471																						
	1	前期高齢者納付金等	239,471																						
		1 前期高齢者納付金	222,407																						
		2 前期高齢者関係事務費拠出金	17,064			決算事項別明細書 P87～																			
前期高齢者のための負担金の支払(健康グループ)																									
前期高齢者納付金負担調整額（医療費・事務費拠出金）です。																									
	(1)	主な支出																							
		・ 前期高齢者納付金等	24 万円																						
5		老人保健拠出金	3,002,308																						
	1	老人保健拠出金	3,002,308																						
		1 老人保健医療費拠出金	2,992,520																						
		2 老人保健事務費拠出金	9,788			決算事項別明細書 P87～																			
老人保健のための負担金の支払(健康グループ)																									
老人保健への医療費拠出金と事務費拠出金です。																									
	(1)	主な支出																							
		・ 老人保健拠出金	300 万円																						
6		介護納付金	61,281,847																						
	1	介護納付金	61,281,847																						
		1 介護納付金	61,281,847			決算事項別明細書 P88～																			
介護保険のための負担金の支払(健康グループ)																									
国保被保険者のうち介護保険の第2号被保険者より徴収した保険税を社会保険診療報酬支払基金へ納付しました。																									
	(1)	主な支出																							
		・ 介護納付金	6,128 万円																						



(2) 活動指標の推移		<table><tr><td>年 度</td><td>平成18年度</td><td>平成19年度</td><td>平成20年度</td><td>平成21年度</td><td>平成22年度</td></tr><tr><td>件数</td><td>6, 935万円</td><td>6, 736万円</td><td>6, 461件</td><td>6, 181万円</td><td>6, 128件</td></tr></table>					年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	件数	6, 935万円	6, 736万円	6, 461件	6, 181万円	6, 128件
年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度													
件数	6, 935万円	6, 736万円	6, 461件	6, 181万円	6, 128件													
7	共同事業拠出金	112, 781, 228	決算事項別明細書 P88～															
1	共同事業拠出金	112, 781, 228																
1	高額医療費共同事業拠出金	18, 161, 690																
2	保険財政共同安定化事業拠出金	94, 619, 538																
3	その他共同事業拠出金	0																
市町村間の保険事業の掛金の支払(健康グループ)																		
医学、薬学の進歩、疾病構造の変化等に伴い、高額な医療費が発生する機会が増加したため、国民健康保険団体連合会が事業主体となり、各保険者からの拠出金により高額医療費の発生による保険者の財政運営の安定化を図りました。																		
(1) 主な支出																		
・ 高額医療費共同事業拠出金 1, 816 万円																		
・ 保険財政共同安定化事業拠出金 9, 462 万円																		
8	保健事業費	12, 910, 843	決算事項別明細書 P89～															
1	特定健康診査等事業費	12, 699, 898																
1	特定健康診査等事業費	12, 699, 898																
特定健康診査の実施(健康グループ)																		
生活習慣病が増え、その元となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の早期発見を目的に、「特定健診」を行い、生活習慣の改善が必要な場合は「特定保健指導」を行いました。																		
(1) 主な支出																		
・ 個別特定健診の委託 302 万円																		
・ 集団特定健診の委託 182 万円																		
・ 保健指導委託料 62 万円																		
人間ドック費用の補助(健康グループ)																		
町国民健康保険加入者の皆さんの人間ドックにかかる費用を補助しました。																		
(1) 主な支出																		
・ 人間ドック受診補助金 451 万円																		
(2) 活動指標																		
・ 人間ドック補助数																		
区 分		一 般		節 目 (40、50歳)														
		一日ドック	一泊ドック	一日ドック	一泊ドック													
補助単価 (万円)		2	3	3.5	4.5													
補助人数 (人)		184	24	3	0													
(3) 活動指標の推移																		
・ 人間ドック受診者数 (単位：人)																		
受診者数 (人)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度												
		199	229	194	209	211												

2	保健事業費		210,945	制度周知パンフレットの配付(健康グループ)		
	1	保健衛生普及費	210,945			
	10月の保険証更新に伴い、制度周知パンフレットとエイズ啓発パンフレットを配付しました。					
(1) 主な支出						
・パンフレットの購入 21 万円						
(2) 活動指標						
・制度周知パンフレット 「いつも元気に！いきいき国保」 2,300部						
・エイズ啓発パンフレット 「新AIDS基本テキスト」 1,750部						
9	基金積立金		422,000	決算事項別明細書 P89～		
	1	基金積立金	422,000			
	1	基金積立金	422,000			
財政調整基金など基金への積立(健康グループ)						
財政調整基金など、基金への積み立てを行いました。						
(1) 主な支出						
・基金積立金 42 万円						
(2) 活動指標						
・基金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成21 年度末	平成22年度			平成22 年度末
			積立金額			取崩額
			積 立	利 子	計	
財政調整基金		20,844		40	40	20,884
出産資金貸付基金		102		0.1	0.0	102
高額医療費資金貸付基金		1,019		2	2	1,021
(3) 活動指標の推移						
・基金残高の推移 (単位：万円)						
区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
財政調整基金		16,595	20,701	20,776	20,844	20,884
出産資金貸付基金		100	101	102	102	102
高額医療費資金貸付基金		1,008	1,012	1,016	1,019	1,021
10	公債費		0	決算事項別明細書 P89～		
	1	公債費	0			
	1	利子	0			
償還金(健康グループ)						
(1) 主な支出						
なし						

11		諸支出金	9,013,373	
	1	償還金及び還付加算金	9,013,373	
		1 一般被保険者保険税還付金	951,600	
		2 退職被保険者等保険税還付金	7,100	決算事項別明細書 P89～
		<b>保険税の還付(税務グループ)</b>		
		(1) 主な支出 ・ 保険税の還付 96 万円		
		3 償還金	0	
		<b>償還金(健康グループ)</b>		
		(1) 主な支出 なし		
		4 一般被保険者還付加算金	27,600	
		5 退職被保険者等還付加算金	0	
		<b>還付加算金(健康グループ)</b>		
		(1) 主な支出 ・ 還付加算金 3 万円		
		6 返納金	8,027,073	
		<b>返納金(健康グループ)</b>		
		(1) 主な支出 ・ 療養給付費等負担金返還金 803 万円		
12		予備費	0	
	1	予備費	0	
		1 予備費	0	決算事項別明細書 P90～
		<b>予備費(健康グループ)</b>		
		(1) 主な支出 なし		

## 6. 会計別決算概要

### Ⅲ 老人保健特別会計

#### 1 決算規模及び収支

歳入の主なものは繰越金 52 万円であり、歳入総額は 102 万 2 千円となりました。歳出の主なものは、精算により社会保険診療報酬支払基金からの平成 21 年度交付金、平成 20 年度国庫負担金及び平成 22 年度県費負担金の返還金、計 76 万 9 千円、一般会計への繰出金 24 万 5 千円であり、歳出総額は 102 万 2 千円となりました。

老人保健特別会計は、平成 20 年 3 月診療分をもって老人保健制度は廃止され、平成 20 年 4 月から後期高齢者医療制度に移行しましたが、平成 22 年度をもって清算し、廃止しました。

主な施策の成果は、次のとおりです。

# 平成22年度 老人保健特別会計歳入歳出決算の状況

## 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
支払基金交付金	-	0.0%	370	1.6%	△ 370	皆減
国庫支出金	-	0.0%	-	0.0%	-	-
県支出金	-	0.0%	59	0.3%	△ 59	皆減
繰 入 金	497	48.6%	-	0.0%	497	皆増
繰 越 金	520	50.9%	21,000	93.2%	△ 20,480	△ 97.5%
諸 収 入	5	0.5%	1,110	4.9%	△ 1,105	△ 99.5%
合 計	1,022	100.0%	22,539	100.0%	△ 21,517	△ 95.5%

## 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総 務 費	8	0.8%	103	0.5%	95	1187.5%
医療諸費	1,014	99.2%	21,916	99.5%	20,902	2061.3%
合 計	1,022	100.0%	22,019	100.0%	20,997	2054.5%

歳入歳出差引額

0 千円

0 千円

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
1			総務費	8,000	
	1		総務費	8,000	
		1	総務費	8,000	
総務費(健康グループ)					決算事項別明細書 P94～
平成21年度歳入歳出決算書の印刷代について支出しました。					
(1) 主な支出					
・ 決算書印刷費 0.8 万円					
2			医療諸費	1,014,277	決算事項別明細書 P94～
	1		医療諸費	1,014,277	
		1	医療給付費	0	
		2	医療支給費	0	
		3	審査手数料	0	
		4	返還金	1,014,277	
返還金(健康グループ)					
医療給付費や審査支払手数料に充当する社会保険診療報酬支払基金からの平成21年度分交付金、平成20年度分国庫負担金及び平成22年度県費負担金について、精算額が確定したため、差額を返還しました。また、平成22年度をもって老人保健特別会計を閉鎖するため、一般会計へ繰り出しました。					
(1) 主な支出					
・ 支払基金交付金返還金 55 万円					
・ 国庫負担金返還金 12 万円					
・ 県費負担金返還金 9 万円					
・ 一般会計への繰出金 25 万円					
2			高額医療費	0	高額医療費(健康グループ)
	1		高額医療費	0	
高額医療費(健康グループ)					
(1) 主な支出 なし					
3			予備費	0	決算事項別明細書 P94～
	1		予備費	0	
		1	予備費	0	
予備費(健康グループ)					
(1) 主な支出 なし					

## 6. 会計別決算概要

### IV 後期高齢者医療特別会計

#### 1 決算規模及び収支

本会計は、長野県後期高齢者医療広域連合が行う 75 歳以上の人に係る保険給付事業に対応するため、加入市町村（県内全市町村）における保険料徴収業務に係る特別会計です。

歳入の主なものは、長野県後期高齢者医療広域連合により算出された保険料 6,955 万 8 千円であり、歳入総額は 9,178 万 4 千円となりました。歳出の主なものは、広域連合への保険料納付金 6,709 万 8 千円、保険基盤安定負担金 2,025 万円であり、歳出総額は 8,879 万 3 千円となり、実質収支は 299 万 1 千円となりました。

主な施策の成果は、次のとおりです。

# 平成22年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況

## 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
保険料	69,558	75.8%	69,060	76.0%	498	0.7%
使用料及び手数料	12	0.0%	53	0.1%	△ 41	△ 341.7%
繰入金	21,608	23.5%	20,509	22.6%	1,099	5.1%
繰越金	508	0.6%	1,070	1.2%	△ 562	△ 110.6%
諸 収 入	98	0.1%	200	0.2%	△ 102	△ 104.1%
合 計	91,784	100.0%	90,892	100.0%	892	1.0%

## 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総 務 費	1,358	1.5%	2,404	2.7%	△ 1,046	△ 77.0%
後期高齢者医療広域連合納付金	87,349	98.4%	87,980	97.3%	△ 631	△ 0.7%
諸支出金	86	0.1%	－	－	86	皆増
予備費	－	－	－	－	－	－
合 計	88,793	100.0%	90,384	100.0%	△ 1,591	△ 1.8%

歳入歳出差引額

2,991 千円

508 千円



款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
1			総務費	1,358,281		
	1		総務管理費	735,678	決算事項別明細書 P98～	
		1	一般管理費	735,678		
電算事務処理委託ほか(健康グループ)						
後期高齢者医療システムの保守業務について、(株)電算に委託しました。また、8月に更新となる被保険者証を郵送しました。						
(1) 主な支出						
・電算処理委託料				53 万円		
・被保険者証の郵送				11 万円		
2			徴収費	622,603	決算事項別明細書 P98～	
	1		徴収費	622,603		
保険料納付事務(健康グループ)						
後期高齢者医療保険料納付事務に係る保険料額決定通知・納税通知書作成業務等を(株)電算に委託しました。						
(1) 主な支出						
・後期高齢者業務委託料				45 万円		
・口座振替手数料				2 万円		
(2) 活動指標						
徴収区分別納付者数（年度末現在）						
軽減区分		特別徴収		普通徴収		合計
		件数	調定額（円）	件数	調定額（円）	件数 調定額（円）
9割		195	592,800	104	241,500	299 834,300
7割		256	1,551,800	84	308,600	340 1,860,400
5割		53	976,000	26	342,800	79 1,318,800
2割		121	4,530,100	44	963,800	165 5,493,900
軽減なし		789	39,466,400	296	20,383,800	1,085 59,850,200
合計		1,219	47,117,100	450	22,240,500	1,968 69,357,600
2			後期高齢者医療広域連合納付金	87,348,546	決算事項別明細書 P98～	
	1		後期高齢者医療広域連合納付金	87,348,546		
		1	後期高齢者医療広域連合納付金	87,348,546	決算事項別明細書 P98～	
医療給付費負担金の支払(健康グループ)						
納めていただいた後期高齢者医療保険料及び保険基盤安定分の負担金について、長野県後期高齢者医療広域連合に支払いました。						
(1) 主な支出						
・保険料納付金				6,710万円		
・保険基盤安定負担金				2,025万円		
3			諸支出金	86,300	決算事項別明細書 P98～	
	1		償還金及び還付加算金	86,300		
		1	保険料還付金	84,400	決算事項別明細書 P98～	
		2	還付加算金	1,900		
諸支出金(健康グループ)						
特別徴収により納めていただいた平成21年度後期高齢者医療保険料のうち、平成21年度中に還付できなかった分について、被保険者またはその家族にお返ししました。						
(1) 主な支出						

		・保険料還付金	8 万円	
	2	繰出金	0	
	1	一般会計繰出金	0	決算事項別明細書 P99～
		<b>繰出金(健康グループ)</b>		
		(1) 主な支出	なし	
	4	予備費	0	
	1	予備費	0	
	1	予備費	0	決算事項別明細書 P99～
		<b>予備費(健康グループ)</b>		
		(1) 主な支出	なし	

## 6. 会計別決算概要

### V 介護保険特別会計

#### 1 決算規模及び収支

平成 22 年度の決算額は、歳入総額 8 億 1,883 万 5 千円、歳出総額 7 億 9,693 万 8 千円で、形式収支額、実質収支額ともに 2,189 万 7 千円となりました。

これを前年度と比較すると、歳入においては 2,431 万 8 千円、3.1%の増、歳出においては 2,591 万 3 千円、3.4%の増、実質収支においては 159 万 5 千円、6.8%の減となりました。

#### 2 歳入

##### (1) 保険料

保険料収入は、1 億 4,774 万 4 千円で、対前年比 0.2% (22 万 8 千円) の増になりました。

##### (2) 国庫支出金

国庫支出金は 1 億 7,794 万 6 千円で、対前年度比 2.5% (427 万 5 千円) の増になりました。

##### (3) 支払基金交付金

支払基金交付金は、2 億 2,456 万 8 千円で対前年比 5.5% (1,179 万円) の増になりました。

##### (4) 県支出金

県支出金は 1 億 1,182 万 8 千円で、対前年度比 4.4% (473 万 9 千円) の増になりました。

##### (5) その他

繰入金は、対前年度比 4.7% (596 万 9 千円) 増の 1 億 3,201 万 8 千円になりました。

#### 3 歳出

前年度に比べ、保険給付費全体で 3.4% (2,396 万 6 千円) の増になりました。これは、施設系サービス、地域密着型サービスが前年度より増加したことによるものです。

主な施策の成果は、次のとおりです。

# 平成22年度 介護保険特別会計歳入歳出決算の状況

## 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
保 険 料	147,744	18.0%	147,516	18.6%	228	0.2%
使用料及び手数料	1,107	0.1%	1,014	0.1%	93	9.2%
国庫支出金	177,946	21.7%	173,671	21.9%	4,275	2.5%
支払基金交付金	224,568	27.4%	212,778	26.8%	11,790	5.5%
県支出金	111,828	13.7%	107,089	13.5%	4,739	4.4%
財産収入	121	0.0%	208	0.0%	△ 87	△ 41.8%
繰 入 金	132,018	16.1%	126,049	15.9%	5,969	4.7%
繰 越 金	23,491	2.9%	26,185	3.3%	△ 2,694	△ 10.3%
諸 収 入	12	0.0%	7	0.0%	5	71.4%
町 債	-	-	-	-	-	-
合 計	818,835	100.0%	794,517	100.0%	24,318	3.1%

## 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総 務 費	34,619	4.3%	32,004	4.2%	2,615	8.2%
保険給付費	732,608	91.9%	708,642	91.9%	23,966	3.4%
地域支援事業費	25,752	3.2%	23,887	3.1%	1,865	7.8%
財政安定化基金拠出金	-	-	-	-	-	-
基金積立金	121	0.0%	208	0.0%	△ 87	△ 41.8%
諸支出金	3,838	0.5%	6,284	0.8%	△ 2,446	△ 38.9%
公 債 費	-	-	-	-	-	-
合 計	796,938	100.0%	771,025	100.0%	25,913	3.4%

歳入歳出差引額

21,897 千円

23,492 千円

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績		
1			総務費	34,619,250			
	1		総務管理費	25,713,794			
		1	一般管理費	25,713,794			
					決算事項別明細書	P105～	
介護保険運営の総務管理(福祉グループ)							
介護保険を運営するためのシステムの保守や関連団体との情報交換を行いました。							
(1) 主な支出							
・ 需用費（事務用品の購入等）				26 万円			
・ 介護保険システム委託料、改修費				142 万円			
・ 通信料（WISH接続料等）				7 万円			
(2) 活動指標							
・ 介護保険システムの概要							
資格記録管理（資格取得登録、被保険者証発行など）							
保険料納付管理（納入通知書発行、督促状発行など）							
受給者管理（認定登録など）							
給付実績管理（償還払い申請登録など）							
2			徴収費	788,857			
	1		賦課徴収費	788,857			
介護保険料の徴収(福祉グループ)							
第1号被保険者から介護保険制度を運営するための保険料徴収に要する経費を支出しました。							
(1) 主な支出							
・ 納入通知書郵送料、介護保険料口座振替手数料				23 万円			
・ 特別徴収開始通知書印刷委託料ほか				49 万円			
(2) 活動指標							
① 平成22年度保険料				(単位：円)			
	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階
年 額	23,400	23,400	35,100	41,100	46,700	58,400	70,100
20年度までは6段階だったものが、7段階になりました。							
② 平成22年度調定額							
区 分	特別徴収		普通徴収		合 計		
	人 員 (人)	調定額(万円)	人 員 (人)	調定額(万円)			
第1段階	5	11	6	13	11	内併徴者 0	
第2段階	288	635	43	70	331	内併徴者 15	
第3段階	221	749	24	57	245	内併徴者 7	
第4段階	709	2,825	87	222	796	内併徴者 24	
第5段階	560	2,575	29	92	589	内併徴者 9	
第6段階	905	5,145	117	392	1,022	内併徴者 32	
第7段階	271	1,825	52	181	323	内併徴者 19	
計	2,959	13,765	358	1,027	3,317	内併徴者106	
③ 収 納 率（現年度分）							
区 分		調 定 額 (円)		収入済額 (円)		収 納 率 (%)	
特別徴収保険料		137,653,500		137,677,000		100.0	
普通徴収保険料		10,261,000		9,889,900		96.4	
計		147,914,500		147,566,900		99.8	

## (3) 活動指標の推移

## ・収納率の推移

(単位：％)

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
特別徴収保険料	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
普通徴収保険料	97.1	97.4	97.9	97.6	96.4
計	99.6	99.8	99.8	99.8	99.8

3 介護認定審査会費 7,715,524

1 認定調査費 4,591,524

**介護認定調査(福祉グループ)**

介護保険サービスを受けるための認定調査や、主治医意見書の作成、長野広域連合への判定依頼を行いました。

## (1) 主な支出

- ・臨時職員賃金（認定調査等2人） 185 万円 ・訪問調査委託料 1 万円
- ・主治医意見書作成手数料 268 万円

## (2) 活動指標

## ・平成22年度判定件数

	区 分	単価（税込：円）	件 数	金 額（円）
在 宅	新 規	5,250	134	703,500
	継 続	4,200	344	1,444,800
施 設	新 規	4,200	63	264,600
	継 続	3,150	53	166,950

2 認定審査会共同設置負担金 3,124,000

**認定審査会共同設置負担金(福祉グループ)**

長野広域連合に認定審査会を設置するための負担金を支払いました。

## (1) 主な支出

- ・認定審査会共同設置負担金 312 万円

## (2) 活動指標

- ・介護認定申請に対し、認定審査会（保健、医療、福祉の学識経験者で構成）にて、主治医意見書や訪問調査の結果をもとに介護認定申請者がどのくらいの介護が必要かの審査・認定を行いました。

## (3) 活動指標の推移

## ・認定者数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
第1号被保険者	393	404	441	438	455
第2号被保険者	7	8	9	7	9
計	400	412	450	445	464

4 趣旨普及費 401,075

1 趣旨普及費 401,075

**制度趣旨普及のための支出(福祉グループ)**

介護保険制度に対する理解を深めてもらうために、介護保険に関するパンフレットを作成しました。

## (1) 主な支出

・ 介護保険用料パンフレット 40 万円

2	保険給付費	732,607,505
1	介護サービス等諸費	649,239,137
1	居宅介護サービス給付費	262,801,184

決算事項別明細書 P106～

#### 居宅介護サービス(福祉グループ)

訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーションなどの在宅サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護サービス給付費 2億6,280 万円

(2) 活動指標

- ・ 年間居宅介護サービス受給者延人数と給付額 (H22.4～H23.3審査)

	1号被保険者	2号被保険者	人 数	給付額 (万円)
要 介 護 1	773 人	6 人	779 人	5,341
要 介 護 2	633 人	0 人	633 人	5,903
要 介 護 3	384 人	4 人	388 人	4,731
要 介 護 4	366 人	10 人	376 人	5,523
要 介 護 5	253 人	10 人	263 人	4,782
計	2409 人	30 人	2439 人	2億6,280

(3) 活動指標の推移

- ・ 居宅介護サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
総数 (人)	2,480	2,285	2,337	2,349	2,439
給付額 (万円)	2億4,165	2億6,028	2億9,794	2億6,201	2億6,280

2	地域密着型介護サービス給付費	75,951,378
---	----------------	------------

#### 地域密着型介護サービス(福祉グループ)

認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護への給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 地域密着型介護サービス給付費 7,595 万円

(2) 活動指標

- ・ 年間地域密着型サービス受給件数と給付額

	第1号被保険者	第2号被保険者	総 数	給付額 (万円)
認知症対応型通所介護	12 件	0 件	12 件	245
認知症対応型共同生活介護	174 件	0 件	174 件	2,935
小規模多機能型居宅介護	189 件	0 件	189 件	4,415
計	375 件	0 件	375 件	7,595

(3) 活動指標の推移

- ・ 地域密着型サービス受給件数と給付額 (平成18年度以前は認知症対応型通所介護、共同生活介護による)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	83	217	322	319	375
給付額(万円)	1,499	4,089	5,980	6,420	7,595

・地域密着型サービスの制度が浸透してきたことと、平成19年に町内に地域密着型サービス事業所が開設されたことにより、利用者が増加しました。

### 3 施設介護サービス給付費 277,468,300

#### 施設介護サービス(福祉グループ)

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の施設サービスに対して給付を行いました。

##### (1) 主な支出

- 施設介護サービス給付費 2億7,747 万円

##### (2) 活動指標

- 年間施設介護サービス受給者延人数と給付額

	1号被保険者	2号被保険者	人 数	給付額 (万円)
介護老人福祉施設	536 人	32 人	568 人	1億3,817
介護老人保険施設	414 人	21 人	435 人	1億1690
介護療養型医療施設	64 人	0 人	64 人	2,240
計	1014 人	53 人	1067 人	2億7,747

##### (3) 活動指標の推移

- 施設介護サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
総数(人)	994	919	980	1,077	1,067
給付額(万円)	2億4,275	2億3,088	2億4,291	2億6,739	2億7,747

### 4 居宅介護福祉用具購入費 672,210

#### 要介護者対象の福祉用具購入費の支給(福祉グループ)

入浴や排泄などに使用する福祉用具の購入者に対し、費用の9割を支給しました。

##### (1) 主な支出

- 居宅介護福祉用具購入費 (支給限度額9万円/年度) 67 万円

##### (2) 活動指標

- 福祉用具購入費の支給 (腰掛便座、入浴補助用具) 23 件

##### (3) 活動指標の推移

- 福祉用具購入件数と給付額の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	24	25	54	36	23
給付額(万円)	39	52	81	71	67

### 5 居宅介護住宅改修費 2,088,715

#### 要介護者対象の住宅改修費の支給(福祉グループ)

手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修費の9割を支給しました。

##### (1) 主な支出



・ 居宅介護住宅改修費（支給限度額18万円）		209 万円			
(2) 活動指標					
・ 住宅改修（手すり、段差解消等）の支給		19 件			
(3) 活動指標の推移					
・ 住宅改修件数と給付額の推移					
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	17	13	13	26	19
給付額(万円)	171	141	206	250	209

6	居宅介護サービス計画給付費	30, 257, 350
---	---------------	--------------

居宅介護サービス計画作成費の支給(福祉グループ)					
介護サービスを利用される方のケアプラン作成費用を支給しました。					
(1) 主な支出					
・ 居宅介護サービス計画給付費		3, 026 万円			
(2) 活動指標					
・ 年間居宅サービス計画作成件数と給付額					
介護度	件数	給付額（万円）			
要介護1	772	864			
要介護2	624	696			
要介護3	367	542			
要介護4	370	541			
要介護5	255	383			
合計	2, 388	3, 026			
(H22. 4～H23. 3審査)					
(3) 活動指標の推移					
・ 居宅介護サービス計画作成件数と給付額の推移					
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	2, 486	2, 255	2, 307	2, 288	2, 388
給付額(万円)	2, 724	2, 599	2, 644	2, 677	3, 026

2	介護予防サービス等諸費	40, 423, 441
1	介護予防サービス給付費	34, 325, 748

居宅介護予防サービス(福祉グループ)		
訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーションなどの在宅サービスに対して給付を行いました。		
(1) 主な支出		
・ 居宅介護予防サービス費		3, 433 万円
(2) 活動指標		

・年間居宅介護予防サービス受給者延人数と給付額（H22.4～H23.3審査）

	1号被保険者	2号被保険者	総 数	給 付 額（万円）
要 支 援1	676 人	6 人	682 人	1,076
要 支 援2	875 人	4 人	879 人	2,357
計	1551 人	10 人	1561 人	3,433

(3) 活動指標の推移

・居宅介護予防サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
総数(人)	420	837	1,056	1,612	1,561
給付額(万円)	1,413	2,844	3,676	3,857	3,433

・前年度に比べて、総数、給付額ともに増加しています。これは、平成18年度に予防給付が創設され、要介護認定更新の際に介護給付から予防給付へ移行した方が増加したことが一因と考えられます。

2	地域密着型介護予防サービス給付費	119,736
---	------------------	---------

**地域密着型介護予防サービス(福祉グループ)**

(1) 主な支出

・なし

(2) 活動指標

・年間施設介護サービス受給者件数と給付額

	第1号被保険者	第2号被保険者	総 数	給付額（万円）
認知症対応型通所介護	0 件	0 件	0 件	0
認知症対応型共同生活介護	0 件	0 件	0 件	0
小規模多機能型居宅介護	2 件	0 件	2 件	12
計	2 件	0 件	2 件	12

(3) 活動指標の推移

・居宅介護予防サービス受給者件数と給付額の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	0	0	6	0	2
給付額(万円)	0	0	138	0	12

3	介護予防福祉用具購入費	340,856
---	-------------	---------

**要支援者対象の福祉用具購入費の支給(福祉グループ)**

入浴や排泄などに使用する福祉用具の購入者に対し、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

・居宅予防介護福祉用具購入費（支給限度額9万円/年度） 34 万円

(2) 活動指標

・福祉用具購入費の支給（腰掛便座、入浴補助用具） 14 件

(3) 活動指標の推移

・福祉用具購入件数と給付額の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	10	9	18	15	14
給付額(万円)	23	18	37	24	34

4	介護予防住宅改修費	952, 141
---	-----------	----------

**要支援者対象の住宅改修費の支給(福祉グループ)**

手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修をした際、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

・居宅介護予防住宅改修費（支給限度額18万円） 95 万円

(2) 活動指標

・住宅改修費（手すり、段差解消等）の支給 9 件

(3) 活動指標の推移

・住宅改修件数と給付額の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	4	14	16	9	9
給付額(万円)	37	130	179	91	95

5	介護予防サービス計画給付費	4, 684, 960
---	---------------	-------------

**介護予防サービス計画作成費の支給(福祉グループ)**

介護サービスを利用される方のケアプラン作成費用を全額支給しました。

(1) 主な支出

・居宅介護予防サービス計画給付費 468 万円

(2) 活動指標

・年間居宅サービス計画作成件数と給付額

介護度	件数	給付額(万円)
要支援 1	526	223
要支援 2	582	245
計	1, 108	468

(H22. 4～H23. 3審査)

(3) 活動指標の推移

・居宅介護予防サービス計画作成件数と給付額の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	422	831	1, 059	1, 154	1, 108
給付額(万円)	203	344	435	478	468

・介護予防受給者の増加とともに、ケアプランの作成件数も増加しました。

3	その他諸費	798, 980
---	-------	----------

1	審査支払手数料	798, 980
---	---------	----------

**国保連合会への審査依頼(福祉グループ)**

介護給付費の審査支払のための手数料を国保連合会へ支払いました。

(1) 主な支出



・所得段階別給付状況

所得段階	件数	給付額（万円）
高齢福祉年金受給者等	0	0
利用者負担第二段階	0	0
利用者負担第三段階	9	2
利用者負担第四段階	3	1
合計	12	3

(3) 活動指標の推移

・高額介護予防サービス費支給延人数と給付額の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	0	3	5	4	12
給付額(万円)	0	0.1	6	2	3

5

	高額医療合算介護サービス等費	1,205,378	
1	高額医療合算介護サービス費	1,205,378	

高額医療合算介護サービス費の支給(福祉グループ)

平成21年8月1日から平成22年7月31日までの間の医療保険と介護保険の自己負担額が一定額を超えた場合、その分について払い戻すものです。

(1) 主な支出

・ 高額医療合算介護サービス費

121 万円

2	高額医療合算介護予防サービス費	0	
---	-----------------	---	--

高額医療合算介護予防サービス費の支給(福祉グループ)

(1) 主な支出

なし

6

	特定入所介護サービス等諸費	29,549,460	
1	特定入所介護サービス給付費	29,549,460	

特定入所介護サービス費の支給（福祉グループ）

住民税の課税状況や所得額により、被保険者が介護保険施設に入所（入院）したときや短期入所サービスを利用したときの負担を軽減するため食費・居住費について補足的な給付を行いました。

(1) 主な支出

・ 特定入所介護サービス費

2,955 万円

(2) 活動指標

・ 要介護別件数と給付費

	食費	居住費	総 数	給付額（万円）
要 支 援 1	0	0	0	0
要 支 援 2	0	0	0	0
要 介 護 1	54	15	69	117
要 介 護 2	163	60	223	556
要 介 護 3	149	71	220	565
要 介 護 4	225	95	320	821
要 介 護 5	235	105	340	896
計	826	346	1,172	2,955

(3) 活動指標の推移

・件数と給付費の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	939	856	990	1,121	1,172
給付額(万円)	2,389	2,225	2,548	2,890	2,955

・施設サービスの利用者が昨年度に比べ、増加したことにより、食費や居住費への給付が増加したと思われます。

2

特定入所介護予防サービス給付費

0

特定入所介護予防サービス費の支給（福祉グループ）

(1) 主な支出

なし

3

1

地域支援事業費

25,751,577

1

介護予防事業費

12,610,033

1

介護予防特定高齢者施策事業費

3,253,009

2

介護予防一般高齢者施策事業費

9,357,024

決算事項別明細書 P109～

高齢者の介護予防(福祉グループ)

高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送れるよう、各種教室の開催を、ボランティアの皆さんにご協力をいただきながら実施しました。

(1) 主な支出

・社会福祉協議会等への事業の委託

149万円・各種教室講師、出演者等の謝礼

49万円

・敬老会「ふれあい寄席」出演者の謝礼

126万円・高齢者スポーツ大会の補助

12万円

・在宅保健師等の賃金

169万円

(2) 活動指標

①特定高齢者把握事業

特定高齢者決定者数・・・67人

	男性	女性	計
基本チェックリスト対象者	1,329	1,455	2,784
基本チェックリスト提出者	1,225	1,389	2,614
特定高齢者候補者	211	375	586
特定高齢者	27	40	67

② 介護予防事業

事業名	内容等	回数	延人員 (実人員)	
転倒予防教室	骨コツ貯筋教室：新規（特定高齢者対象）	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり 体力測定、ストレッチ、筋力づくりの運動	10回	116人 (13人)
	転倒予防教室：新規（一般高齢者対象）	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり ストレッチ、ウォーキング、歩行訓練、調理実習ほか	10回	177人 (21人)
認知症予防教室	ダンスで脳元気教室	音楽で体を動かし、脳を刺激して認知症の予防と改善 フォークダンス	9回	336人 (60人)
	チャレンジのど自慢教室	歌を歌うことで心身ともにリフレッシュし、認知症の予防 カラオケ	11回	167人 (41人)
	はつらつお笑い演芸会	6/23寸劇、コメディ 9/15ふれあい寄席 10/17千年樹の里まつり（和太鼓、寸劇、民俗芸能他）	3回	940人
	認知症学習会（はつらつお達者教室）	脳のいきいき度チェック、認知症予防の講話	4回	82人
	ボケ予防講演会	「ボケは防げる・治せる」 浜松医科大学講師・臨床心理士 高槻絹子氏 7/3 健康福祉センター	1回	47人

認知症予防教室	脳のリフレッシュ教室 交流会	2/25各教室（9地区）の交流 歌、踊り等	1回	161人
	楽しく若返り教室：新規 （脳のリハビリ教室）	脳のいきいき度チェック、個人面談、生活指導等 リズム運動、ゲーム、パズルほか	20回	231人 (18人)
	たけのこの会：継続 （脳のリハビリ教室）	脳のいきいき度チェック、個人面談、生活指導等 リズム運動、ゲーム、パズルほか	22回	197人 (13人)
	わかたけの会：継続 （脳のリハビリ教室）	脳のいきいき度チェック、個人面談、生活指導等 リズム運動、ゲーム、パズルほか	12回	85人 (11人)
	脳のリフレッシュ教室 （中町・中央地区：新規）	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等 講師・エイジングライフ研究所 高槻忠男氏、高槻絹子氏	9回	102人 (21人)
自主活動	転倒予防教室：継続 「ひまわり」	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力 づくり ストレッチ、ウォーキングピクス、歩行訓練ほか	12回	230人 (31人)
	転倒予防教室：継続 「さくら」	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力 づくり ストレッチ、ウォーキングピクス、歩行訓練ほか	12回	82人 (14人)
	ダンスで脳元気教室：継続 「フレッシュ」	音楽で体を動かし、脳を刺激して認知症の予 防と改善 フォークダンス	14回	382人 (56人)
	脳のリフレッシュ教室 （山王島：継続）	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏	14回	434人 (51人)
	脳のリフレッシュ教室 （北部：継続）	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏	12回	221人 (27人)
	脳のリフレッシュ教室 （東部：継続）	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏	11回	155人 (19人)
	脳のリフレッシュ教室 （大島：継続）	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏	12回	195人 (23人)
	脳のリフレッシュ教室 （都住：継続）	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏	12回	91人 (11人)
	脳のリフレッシュ教室 （飯田：継続）	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏	13回	163人 (16人)
	脳のリフレッシュ教室 （東町・上町：継続）	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏	13回	173人 (21人)
	脳のリフレッシュ教室 （林・中扇：継続）	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏	12回	107人 (14人)

### (3) 活動指標の推移

- ・脳のリフレッシュ教室(新規)の脳機能の改善率

中町・中央地区 50%（効果判定対象者 16人中 14人）

※参加者21名

介護予防に最も重要なのは「認知症予防」とであるという理念に立ち、他に先駆けて取り組んだ各種認知症予防教室は、上記の数字的な成果だけでなく、参加者の皆さんが目に見えて元気になられていくのが分かります。また、教室ボランティアも育ちつつあり、自主活動地区を支える大きな力となっています。

2	包括的支援事業費	9,156,373
1	介護予防ケアマネジメント事業費	7,653,700
2	総合相談支援・権利擁護事業費	1,288,445
3	包括的・継続的マネジメント事業費	214,228

### 在宅介護支援センター(地域包括支援センター)の運営(福祉グループ)

在宅介護に関する総合的な相談に応じ、各種保健福祉サービスを総合的に受けられるよう、地域住民の助け合い活動なども含め、関係機関との連絡調整を行い、高齢者とその家族等の福祉の向上を図りました。

#### (1) 主な支出

・保健師給料・手当等人件費	660万円	・臨時職員賃金	96万円
・現任研修等の旅費	4万円	・センター運営協議会委員等への謝礼	4万円
・電話料金等	29万円	・ケアマネ研修講師謝礼	15万円
・総合福祉事務支援システム等保守料・使用料	105万円		

## (2) 活動指標

- ・在宅介護等に関する総合相談・助言・指導（来所による面接・電話・訪問）

項 目	延件数	主 な 内 容
他機関との連絡調整	1,077	
状況把握	378	
福祉サービスに関する相談	213	サービス内容、利用の対象になるか等の相談
事業所からの相談	48	
予防給付に関する相談	130	
介護保険に関する相談	243	介護保険、ケアプラン、在宅サービスの内容についての問合せ
認定調査	116	新規分のみ
認知症(痴呆)に関する相談	61	認知症かどうかの判断、認知症高齢者への対応の方法について
二段階方式実施	131	
住宅改修に関する相談	45	
介護用品に関する相談	57	介護用品の紹介、使用方法について
施設入所に関する相談	66	施設の紹介、入所申込み、施設の空き具合について
介護予防に関する相談	22	
ケース検討会	90	
介護方法に関する相談	29	在宅での介護方法について（体位交換、排泄介助等）
定期訪問指導	5	健康相談、生活指導等
医療等に関する相談	20	医療費、受診する病院についての問い合わせ
健康相談（状況確認）	28	
高齢者虐待	2	
療養上の精神的支援	14	
特定高齢者把握	9	
お元気訪問	188	
その他(家庭内関係等)	109	経済、法律、家庭内関係等
計	3,081	

- ・前記件数うち時間外・祝祭日相談受付件数

- ・介護保険・町福祉サービス関係 55件

その他172件（教室等の問い合わせ、住民・業者から職員あての電話等）

※土日の昼間は社会福祉協議会の日直者が、時間外・祝祭日は携帯電話により在宅介護支援センター職員が対応

- ・要援護高齢者の情報集約と実態把握

- ・要援護高齢者の家庭訪問 延訪問件数 727件

訪問指導者（介護認定自立判定者・要観察者等）727人

予防給付に関する相談183人、介護認定調査110人、認知症関連63人

お元気訪問178人、その他193人

- ・地域ケア会議の開催

保健・福祉・医療に係るサービスの総合調整を図るため、居宅介護支援事業所、サービス事業所等関係機関が集まり、定期または随時会議を開催しました。



①在宅支援連絡会（定例会） 年12回(月1回)

各関係機関相互の情報交換、連絡調整、課題の検討等を行いました。

②ケース検討会 年90回

個別の困難事例を、関係者により相談、検討しました。

・ケアマネジャー等サービス事業者の指導支援

ケアマネジメント研修

（対象：介護保険サービス事業所に従事する職員、ケアマネジャー等）

- ・平成22年4月18日 相談援助者養成研修「援助関係に応じた面接技術」  
講師：新潟医療福祉大学 河野 聖夫 准教授 31人出席
- ・平成22年6月16日 ケアマネジメント適正化研修  
講師：介護支援専門員協会 岸田 公子 氏 14人出席
- ・平成22年7月24日相談援助者養成研修「スーパービジョン」  
講師：新潟医療福祉大学 河野 聖夫 准教授 14人出席
- ・平成22年8月18日 ケアマネジメント適正化研修  
講師：介護支援専門員協会 磯野 有樹子 氏 18人出席
- ・平成22年9月22日 ケアマネジメント適正化研修  
講師：介護支援専門員協会 中澤 茂 氏 16人出席
- ・平成22年9月26日相談援助者養成研修「援助関係に応じた面接技術」  
講師：新潟医療福祉大学 河野 聖夫 准教授 22人出席
- ・平成22年10月20日 ケアマネジメント適正化研修  
講師：介護支援専門員協会 中澤 茂 氏 15人出席
- ・平成22年11月16日 ケアマネジメント研修  
講師：介護支援専門員協会 岸田 公子 氏 中澤 茂 氏 19人出席
- ・平成22年12月14日 ケアマネジメント研修  
講師：介護支援専門員協会 岸田 公子 氏 16人出席
- ・平成22年12月25日相談援助者養成研修「スーパービジョン」  
講師：介護支援専門員協会 岸田 公子 氏 12人出席
- ・平成23年1月11日 ケアマネジメント研修  
講師：介護支援専門員協会 岸田 公子 氏 19人出席
- ・平成23年1月23日相談援助者養成研修「スーパービジョン」  
講師：新潟医療福祉大学 河野 聖夫 准教授 23人出席
- ・平成23年2月8日 ケアマネジメント研修  
講師：介護支援専門員協会 岸田 公子 氏 中澤 茂 氏 16人出席

・地域包括（在宅介護）支援センター運営協議会 年1回

6/2 平成21年度事業報告及び平成22年度事業計画について

(3) 活動指標の推移

・相談件数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
相談件数	3,239件	3,999件	4,197件	2,728件	3,081件

24時間体制の総合相談は年々利用者が増えています。中でも、介護保険外の福祉サービスに関する相談件数や関係機関との連絡調整に費やす件数が大きく伸びており、地域ケア体制の要としての大きな役割を果たしています。

3	任意事業費	3,985,171				
	1 家族介護支援事業費	590,138				
	2 その他事業費	3,395,033				
家族介護の支援(福祉グループ)						
介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るため、家庭介護に携わっている方たちの連絡会や交流事業などを行いました。						
(1) 主な支出						
・社会福祉協議会への事業の委託（家族介護支援） 58 万円						
・社会福祉協議会への事業の委託（食の自立支援） 329 万円						
(2) 活動指標						
・要援護高齢者を抱える家族の会 年6回 参加者延41人						
・在宅介護者のつどい(社会福祉協議会委託) 12月15日 参加者32人						
・在宅介護者リフレッシュの旅(社会福祉協議会委託) 1月28日 参加者9人						
フォッサマグナミュージアム、糸魚川温泉（新潟県糸魚川市）						
・介護講座 平成23年1月25日、2月1日、8日、15日、22日（計5日間） 参加者15人						
・おむつ給付サービス対象65人						
・食の自立支援（ふれあい給食対象31人 1,188食						
(3) 活動指標の推移						
・事業等への参加者数の推移 (単位：人)						
項 目		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
要援護高齢者を抱える家族の会		47	47	52	45	41
在宅介護者のつどい		46	41	42	35	32
在宅介護者リフレッシュの旅		17	14	11	7	9
介護講座		14	8	16	13	15
おむつ給付サービス		52	56	58	48	65
食の自立支援（ふれあい給食）		46	51	43	33	31
介護者間の情報交換や悩みを共有する場としての家族の会が徐々に定着しつつあります。リフレッシュのための事業への参加も誘い合って参加するなど、介護者間のコミュニケーションもより深まっています。						
4	基金積立金	121,000				
	1 基金積立金	121,000				
	1 介護給付費準備基金積立金	109,000	決算事項別明細書 P111～			
介護給付費準備基金積立金(福祉グループ)						
介護保険サービス利用増による保険料額増を抑えて、介護保険財政の健全な運営を行うため介護給付費準備基金に積み立てを行いました。						
(1) 主な支出						
・介護給付費準備基金積立金 11 万円						
2 介護保険基金積立金		12,000				
介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金(福祉グループ)						
報酬改訂による保険料額増へ備え、積み立てを行いました。						
(1) 主な支出						
・介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金 1 万円						

5		諸支出金	3,838,287	決算事項別明細書 P111～
	1	償還金及び還付加算金	3,838,287	
	1	第1号被保険者保険料還付金	62,500	
	介護保険料の還付(福祉グループ)			
	所得更正によって、過年度に賦課した保険料額に変更が生じたため、還付金を支払うものです。			
	(1) 主な支出			
		・ 過年度還付金	6 万円	
	2	償還金	3,775,787	
	交付金に対する償還(福祉グループ)			
	過年度の交付金と補助金の精算を行いました。			
	(1) 主な支出			
		・ 国に対するもの	3,776 万円	
		・ 社会保険診療報酬支払基金に対するもの	0 万円	
	3	第1号被保険者還付加算金	0	
	長期間経過後の介護保険料の還付(福祉グループ)			
	(1) 主な支出 なし			
2		繰出金	0	決算事項別明細書 P112～
	1	他会計繰出金	0	
	繰出金(福祉グループ)			
	(1) 主な支出 なし			
6		予備費	0	決算事項別明細書 P112～
	1	予備費	0	
	1	予備費	0	
	予備費(福祉グループ)			
	(1) 主な支出 なし			

## 6. 会計別決算概要

### VI 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計

#### 1 決算規模及び収支

平成 22 年度同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計は、歳入は前年比 7 万 3 千円減の 122 万 7 千円、歳出は前年比 9 万円減の 118 万 7 千円となりました。

また、1 件分・1 人（昭和 60 年度貸付）の償還が終了しました。

#### 2 歳入

諸収入は、前年度に 1 件分の償還が終了したため、前年度に比べて 30 万 2 千円の減となりました。

#### 3 歳出

公債費は、前年度と同額の 117 万 1 千円を償還しました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成22年度 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
財産収入	1	0.1%	6	0.5%	△ 5	△ 83.3%
繰入金	212	17.3%	0	0.0%	212	皆増
繰越金	23	1.9%	1	0.1%	22	2200.0%
諸 収 入	991	80.8%	1,293	99.5%	△ 302	△ 23.4%
合 計	1,227	100.0%	1,300	100.0%	△ 73	△ 5.6%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
住宅新築資金等貸付事業費	15	1.3%	100	7.8%	△ 85	△ 85.0%
積立金	1	0.1%	6	0.5%	△ 5	△ 83.3%
公債費	1,171	98.7%	1,171	91.7%	0	0.0%
合 計	1,187	100.0%	1,277	100.0%	△ 90	△ 7.0%

歳入歳出差引額

40 千円

23 千円

款	項	目	款項目名	決算額（円）				
1			住宅新築資金等貸付事業費	14,866	主要な施策の成果説明及び実績			
	1		総務費	14,866				
		1	貸付事業総務費	14,866				
					決算事項別明細書	P115～		
住宅新築資金等貸付事業(生涯学習グループ)								
予算書、決算書の印刷など、住宅新築資金等貸付事業にかかる経費です。								
(1) 主な支出								
・ 印刷製本費					1 万円			
(2) 活動指標								
・ 平成22年度予算書の印刷								
2			積立金	1,000	決算事項別明細書 P115～			
	1		積立金	1,000				
		1	積立金	1,000				
基金(貯金)利子の積立て(生涯学習グループ)								
(1) 主な支出								
・ 積立金					0.1万円			
3			公債費	1,171,366	決算事項別明細書 P115～			
	1		公債費	1,171,366				
		1	元金	922,474				
住宅新築資金等貸付事業(元金)(生涯学習グループ)								
住宅新築資金等の貸付金の徴収、借入金の返済を行いました。								
(1) 主な支出								
・ 元金償還金					922 万円			
(2) 活動指標								
・ 貸付金の徴収					82 万円			
・ 平成22年度末貸付返済件数								
・ 新築資金					4 件	うち償還猶予	2 件	
・ 宅地取得資金					4 件	うち償還猶予	1 件	
計					8 件		3 件	平成22年度末残高 2,251 万円
2			利子	248,892				
住宅新築資金等貸付事業(利子)(生涯学習グループ)								
住宅新築資金等の貸付金の徴収、借入金に対する利子を支払いました。								
(1) 主な支出								
・ 利子の支払い					25 万円			
(2) 活動指標								
・ 貸付金の徴収（利子分）					17 万円			

## 6. 会計別決算概要

### VII 霊園事業特別会計の状況

#### 1 決算規模及び収支

霊園事業特別会計は、町営霊園の維持管理を行っており、平成 22 年度においては、陽光霊園（玄照寺境内地内）、福聚霊園（伝教寺境内地内）の通路及び生け垣など共有部分の清掃・管理を実施しました。

歳入においては、清掃料収入が 70 万 3 千円で、歳入総額 616 万円、歳出総額 21 万 7 千円となり、実質収支額は 594 万円 3 千円となりました。

これを前年度と比較すると、歳入においては 47 万円、8.3%の増、歳出においては、1 万 6 千円、6.9%の減、実質収支においては、48 万 6 千円、8.9%の増となりました。

#### 2 歳入

##### (1) 使用料および手数料

使用料及び手数料は 70 万 3 千円で、対前年度比 0.4%（3 千円）の増となりました。

##### (2) 繰越金

繰越金は 545 万 7 千円で、対前年度比 9.4%（46 万 7 千円）の増になりました。

#### 3 歳出

維持管理に伴う清掃に要する経費のみ 21 万 7 千円を支出しました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

# 平成22年度 霊園事業特別会計歳入歳出決算の状況

## 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
使用料及び手数料	703	11.4%	700	12.3%	3	0.4%
繰越金	5,457	88.6%	4,990	87.7%	467	9.4%
諸収入	-	-	-	-	-	-
合 計	6,160	100.0%	5,690	100.0%	470	8.3%

## 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
霊園事業費	217	100.0%	233	100.0%	△ 16	△ 6.9%
合 計	217	100.0%	233	100.0%	△ 16	△ 6.9%

歳入歳出差引額

5,943 千円

5,457 千円

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																
1			霊園事業費	217,460																	
	1		総務費	217,460																	
		1	総務費	217,460																	
					決算事項別明細書 P118～																
霊園の管理運営(生活環境グループ)																					
陽光霊園250区画、福聚霊園97区画の管理を行いました。																					
(1) 主な支出																					
・ 清掃業務委託料 18 万円																					
(2) 活動指標																					
・ 清掃業務(草取り、植木の剪定等) 須高広域シルバー人材センターへ委託																					
(3) 活動指標の推移																					
・ 管理区画数																					
<table><tr><th>区 分</th><th>区画総数</th><th>販売済区画</th><th>残（返納） 区 画</th></tr><tr><td>陽光霊園</td><td>250</td><td>250</td><td>0</td></tr><tr><td>福聚霊園</td><td>97</td><td>97</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>347</td><td>347</td><td>0</td></tr></table>						区 分	区画総数	販売済区画	残（返納） 区 画	陽光霊園	250	250	0	福聚霊園	97	97	0	計	347	347	0
区 分	区画総数	販売済区画	残（返納） 区 画																		
陽光霊園	250	250	0																		
福聚霊園	97	97	0																		
計	347	347	0																		
2			予備費	0	決算事項別明細書 P118～																
	1		予備費	0																	
		1	予備費	0																	
予備費(生活環境グループ)																					
(1) 主な支出 なし																					



## 6. 会計別決算概要

### Ⅷ 下水道事業特別会計

#### 1 決算規模及び収支

平成 22 年度末の下水道への接続率は 93.9%となりました。

決算額は歳入総額 4 億 3,672 万 6 千円、歳出総額 4 億 3,625 万 2 千円で、実質収支額は 47 万 4 千円となりました。

これを前年と比較すると、歳入においては 3,323 万 8 千円、7.1%の減、歳出においては 3,330 万 3 千円、7.1%の減となりました。

#### 2 歳入

分担金及び負担金収入は 268 万 8 千円（前年度比 72 万 6 千円の減）になりました。

町債収入は 4,200 万円（前年度比 3,070 万円の減）になりました。

#### 3 歳出

公債費は 3 億 1,987 万 9 千円（前年度比 2,947 万 9 千円の減）になりました。これは、償還額の減によるものです。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

# 平成22年度 下水道事業特別会計歳入歳出決算の状況

## 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
分担金及び負担金	2,688	0.6%	3,414	0.7%	△ 726	△ 21.3%
使用料及び手数料	145,161	33.2%	144,342	30.7%	819	0.6%
国庫支出金	-	-	-	-	-	-
繰 入 金	243,000	55.6%	245,800	52.3%	△ 2,800	△ 1.1%
繰 越 金	409	0.1%	567	0.1%	△ 158	△ 27.9%
諸 収 入	3,468	0.8%	3,141	0.7%	327	10.4%
町 債	42,000	9.6%	72,700	15.5%	△ 30,700	△ 42.2%
合 計	436,726	100.0%	469,964	100.0%	△ 33,238	△ 7.1%

## 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
下水道費	116,373	26.7%	120,197	25.6%	△ 3,824	△ 3.2%
公 債 費	319,879	73.3%	349,358	74.4%	△ 29,479	△ 8.4%
合 計	436,252	100.0%	469,555	100.0%	△ 33,303	△ 7.1%

歳入歳出差引額

474 千円

409 千円

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績								
1			下水道費	116,373,002									
	1		総務管理費	17,507,506									
		1	一般管理費	17,507,506	決算事項別明細書 P122～								
公共下水道事業の運営(建設水道グループ)													
人件費・負担金等下水道事業を運営していくための経費です。													
(1) 主な支出													
・ 日本下水道協会等負担金 10 万円													
・ 職員人件費 472 万円													
・ 消費税納付金 865 万円													
(2) 活動指標													
公共下水道事業の概要													
区 分		整備状況		区 分									
全 体 計 画 面 積		280 ha		処 理 区 域 内 人 口									
整 備 面 積		280 ha		水 洗 化 人 口									
全 体 計 画 人 口		10,700 人		管 渠 延 長									
処 理 面 積（ 告 示 ）		280 ha											
公共下水道への接続状況 (単位：戸)													
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
接 続	2	7	8	0	8	5	1	3	10	6	0	0	50
累 計	2,707	2,714	2,722	2,722	2,730	2,735	2,736	2,739	2,749	2,755	2,755	2,755	2,755
(3) 活動指標の推移													
接続率の推移													
平成18年度末		平成19年度末		平成20年度末		平成21年度末		平成22年度末					
87.9%		89.4%		90.1%		92.0%		93.9%					
2			維持管理費	31,205,345									
	1		施設管理費	31,205,345									
公共下水道施設の維持管理(建設水道グループ)													
下水道施設の機能を維持するため管渠・マンホールの清掃・修繕、また、マンホールポンプ・雨水排水ポンプ場の修繕・保守点検を行いました。													
(1) 主な支出													
・ マンホールポンプとマンホール維持点検の委託 189 万円													
・ 雨水排水ポンプ場維持点検の委託 104 万円													
・ 汚水管渠管清掃・調査の委託 312 万円													
・ 管の補修工事（汚水・雨水） 852 万円													
・ 東町地区管渠布設工事 231 万円													
・ 職員人件費 911 万円													
(2) 活動指標													
・ マンホールポンプ管理業務 日常管理、異常時対応（年間24回対応）													
使用開始から10年以上経過しており、施設の老朽化による異常も増えてきているが、専門家による迅速な対応が来ています。													
・ 雨水排水ポンプ場保守点検業務 年5回													



## 6. 会計別決算概要

### IX 農業集落排水事業特別会計

#### 1 予算規模及び収支

平成 22 年度末の農業集落排水への接続率は、95.9%となりました。

決算額は、歳入総額 5,083 万 8 千円、歳出総額 5,033 万 7 千円で実質収支額は 50 万 1 千円となりました。これを前年と比較すると、歳入においては 68 万 1 千円、1.4%の増、歳出においては 66 万 1 千円、1.3%の増となりました。

#### 2 歳入

分担金及び負担金は 154 万 4 千円（前年度比 20 万 8 千円の減）になりました。

町債については、新規事業が無いために今年度の借入れはありませんでした。

#### 3 歳出

歳出については、新規事業が無く下水道機能を維持するための、維持管理を行いました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

# 平成22年度 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の状況

## 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
分担金及び負担金	1,544	3.0%	1,752	3.5%	△ 208	△ 11.9%
使用料及び手数料	28,313	55.7%	28,922	57.7%	△ 609	△ 2.1%
繰 入 金	20,500	40.3%	18,900	37.7%	1,600	8.5%
繰 越 金	481	0.9%	583	1.2%	△ 102	△ 17.5%
諸 収 入	-	-	-	-	-	-
町 債	-	-	-	-	-	-
合 計	50,838	100.0%	50,157	100.0%	681	1.4%

## 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
集落排水事業費	37,212	73.9%	36,844	74.2%	368	1.0%
公 債 費	13,125	26.1%	12,832	25.8%	293	2.3%
合 計	50,337	100.0%	49,676	100.0%	661	1.3%

歳入歳出差引額

501

481

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績								
1			集落排水事業費	37,212,273									
	1		総務管理費	13,640,374									
		1	一般管理費	13,640,374	決算事項別明細書 P128～								
農業集落排水事業の運営(建設水道グループ)													
農業集落排水事業を運営していくための経費です。													
(1) 主な支出													
・ 職員人件費 1,268 万円													
(2) 活動指標													
農業集落排水事業の概要													
区 分		北 部		雁 中									
事 業 名		農業集落排水事業		農業集落排水事業									
地 区 名		北 部		雁 中									
世帯数(計画)		410戸		192戸									
世帯数(現在)		449戸		238戸									
人 口(計画)		1,930人		886人									
人 口(現在)		1,536人		792人									
供用開始日		昭和63年3月1日		昭和63年3月1日									
供 用 人 口		1,536人		792人									
供 用 率		100.0%		100.0%									
処 理 方 式		J A R U S -Ⅲ		J A R U S -Ⅰ									
管 種		V U管		V U管									
管 径		150mm～350mm		150mm～200mm									
管 路 延 長		L = 10,600m		L = 5,870m									
中継ポンプ		2箇所		－									
処理施設敷地面積		1,355㎡		995㎡									
計画日平均汚水量		521㎡/日		239㎡/日									
日最大汚水量		442㎡/日		222㎡/日									
放流水質(計画)		BOD20mg/l S S 30mg/l		BOD20mg/l S S 30mg/l									
放流水質(実績)		BOD 7mg/l S S 17mg/l		BOD 5mg/l S S 15mg/l									
放 流 先		準用河川 赤川		通 堰									
農業集落排水への接続状況 (単位：戸)													
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
接 続	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	6
累 計	649	649	649	649	649	649	649	649	651	655	655	655	655
(3) 活動指標の推移													
接続率の推移													
平成18年度末		平成19年度末		平成20年度末		平成21年度末		平成22年度末					
93.8%		93.8%		93.4%		94.7%		95.9%					
2	維持管理費		23,571,899										
1	施設管理費		23,571,899										
農業集落排水施設の維持管理(建設水道グループ)													
下水道施設の機能を維持するため管渠マンホールの清掃、修繕及びマンホールポンプ及び処理場の点検、修繕を行いました。													

	(1) 主な支出													
	・ 処理施設等の修繕	533 万円												
	・ 処理場管理保守点検の委託	935 万円												
	・ 管の清掃委託	100 万円												
	(2) 活動指標													
	・ 処理施設の修繕	脱水機改修一式												
	・ 処理場運転管理	週2～3日												
	供用開始から20年を経過し、平成9年度には機能強化事業も行いました。施設のオーバーホールも必要と思われますが、日頃の運転管理及び点検による破損箇所の早期発見修繕等に対応し経費節減を図っています。													
	・ 管渠清掃業務	L=3,630m （L…延長）												
	定期的な清掃を行うことにより、施設の機能維持、破損箇所等の早期発見ができ迅速な対応が来ています。													
2	公 債 費	13,124,556	決算事項別明細書 P128～											
1	公 債 費	13,124,556												
1	元 金	8,814,740												
2	利 子	4,309,816												
農業集落排水施設の借金の返済(建設水道グループ)														
下水道施設を建設するために借りたお金の返済を行いました。														
	(1) 主な支出													
	・ 元金の返済	881 万円												
	・ 利子の支払い	431 万円												
	(2) 活動指標	(単位：万円)												
	<table><tr><th colspan="3">償 還 金 額</th><th rowspan="2">未 償 還 元 金 (平成22年度末現在高)</th></tr><tr><th>元 金</th><th>利 子</th><th>計</th></tr><tr><td>881</td><td>431</td><td>1,312</td><td>12,889</td></tr></table>		償 還 金 額			未 償 還 元 金 (平成22年度末現在高)	元 金	利 子	計	881	431	1,312	12,889	
償 還 金 額			未 償 還 元 金 (平成22年度末現在高)											
元 金	利 子	計												
881	431	1,312	12,889											
	(3) 活動指標の推移	(単位：万円)												
	・ 起債残高の推移													
	<table><tr><th>平成18年度末</th><th>平成19年度末</th><th>平成20年度末</th><th>平成21年度末</th><th>平成22年度末</th></tr><tr><td>15,190</td><td>15,394</td><td>14,586</td><td>13,770</td><td>12,889</td></tr></table>			平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末	15,190	15,394	14,586	13,770	12,889	
平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末										
15,190	15,394	14,586	13,770	12,889										
3	予備費	0	決算事項別明細書 P129～											
1	予備費	0												
1	予備費	0												
予備費(建設水道グループ)														
	(1) 主な支出	なし												



## 6. 会計別決算概要

### X 水道事業会計

#### (営業)

平成 23 年 3 月 31 日現在の給水人口は、11,489 人で普及率は 99.97%となりました。

給水戸数は 3,586 戸で、平成 21 年度と比較して給水人口は 8 人減少、給水戸数は 32 戸増加しました。

給水量については、8 月以降高温であったためか、増加したが、前半が減少したため、1,253,671 m<sup>3</sup>となり、平成 21 年度 (1,256,112 m<sup>3</sup>) と比較して 0.2%の減となりました。

給水収益を有収水量で除した給水単価は、159 円 83 銭で前年度対比 20 銭の増、総費用から受託工事費を差し引いたものを有収水量で除した給水原価は 135 円 11 銭で前年度対比 6 円 76 銭の減となりました。

#### (建設改良)

平成 22 年度の建設改良工事の総事業費は 9,988,182 円 (消費税込み) で、東町、栗ガ丘、北岡地区で配水管布設替 275.43m、栗ガ丘地区配水管布設 80.37mを行いました。

#### (経理)

平成 22 年度の収益的収支は、事業収益 208,030,266 円 (消費税抜き) に対し、事業費用 171,691,891 円 (消費税抜き) で、36,338,375 円の利益を生じました。

事業収益の内、給水収益は 200,377,518 円で、前年度対比 0.07% [200,515,071 円] の減、受託工事収益は 2,300,000 円、その他営業収益等は 5,352,748 円で前年度対比 13.3% (6,175,797 円) の減でありました。事業費用の内、営業費用は 134,707,120 円で前年度比 3.0% (138,807,030 円) の減、営業外費用は 36,984,771 円で、6.5% (39,543,189 円) の減となりました。

資本的収支は、収入 3,580,500 円 (消費税込み) に対し、支出 67,414,688 円 (消費税込み) で、不足する額 63,834,188 円は過年度分損益勘定留保資金 63,532,746 円、当年度分消費税資本的収支調整額 301,442 円で補てんしました。

資本的収入は、水道事業負担金が 3,580,500 円で前年度対比 24.2% (4,725,000 円) の減でありました。資本的支出の内、建設改良費は 9,988,182 円で前年度比 69.1% (5,906,143 円) の増、企業債償還金は 57,426,506 円で前年度比 4.7% (54,866,647 円) の増となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

## 平成22年度 水道事業会計決算の状況

### 1. 収益的収入及び支出

#### 【収 入】

(単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
第1款 水道事業収益	205,718	218,238	12,520	うち仮受消費税 10,208
第1項 営業収益	203,037	214,867	11,830	うち仮受消費税 10,125
第2項 営業外収益	2,681	3,371	690	うち仮受消費税 83

#### 【支 出】

(単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	備 考
第1款 水道事業費用	192,817	183,117	9,700	うち仮払消費税 2,756
第1項 営業費用	147,857	138,913	8,944	うち仮払消費税 2,756
第2項 営業外費用	44,256	44,204	52	うち仮払消費税
第3項 予 備 費	704	-	704	

### 2. 資本的収入及び支出

#### 【収 入】

(単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
第1款 資本的収入	2,361	3,581	1,220	うち仮受消費税 171
第2項 負 担 金	2,361	3,581	1,220	うち仮受消費税 171

#### 【支 出】

(単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	備 考
第1款 資本的支出	69,312	67,415	1,897	うち仮払消費税 472
第1項 建設改良費	11,885	9,988	1,897	うち仮払消費税 472
第2項 企業債償還金	57,427	57,427	-	

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 63,834千円は、過年度分損益勘定留保資金 63,533千円、当年度分消費税資本的収支調整額 301千円で補てんしました。

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
1			水道事業費用	174,366,556	
	1		営業費用	137,390,170	
	2		営業外費用	36,976,386	
	3		予備費	0	
水道事業費用(建設水道グループ)					
(1) 職 員 数 総括参事 1人、主幹 2 人 (0.5人分は農業集落排水事業特会で措置)					
(2) 給 水					
			計画給水人口	14,700人	現在給水人口 11,489
(3) 業 務					
			配水能力	8,400㎥/日	有収水量 1,254千㎥/年
(4) 料 金					
			基本料金（13mm 1ヶ月、消費税含む）	987円	
			10㎥当り料金（基本料金含む1ヶ月、消費税含む）	1,318円	
(5) 施 設					
			水 源 数	5箇所	浄水施設数 2箇所
			消火栓数	411基	導配送水管延長 86,250m
			配 水 池	3箇所	
水道事業の運営(建設水道グループ)					
人件費、営業経費等水道事業を運営していくための経費です。					
(1) 主な支出					
			・ ポンプの動力費	1,988 万円	
			・ 配水管などの修繕	1,913 万円	
			・ 電算システム賃借料など	340 万円	
			・ 検針業務の委託	262 万円	
			・ 職員人件費	2,217 万円	
			・ その他経費	461 万円	
(2) 活動指標					
			・ 深井戸ポンプ動力費	4カ所	送水ポンプ動力費 3カ所
			・ 水道料金・企業会計システム賃借		
			・ 検針業務委託者数	個人5人	シルバー人材センター（2人分）へ委託
水道施設の減価償却(建設水道グループ)					
水道施設の減価償却を行いました。					
(1) 主な支出					
			・ 有形固定資産減価償却費	5,113 万円	
			・ 有形固定資産除却費	79 万円	
水道施設の維持管理(建設水道グループ)					
安全な水を安定して供給できるよう、水道施設の適正な維持管理、水質の検査を行い水道水の安全を確認しました。					
(1) 主な支出					
			・ 水道施設の維持管理	1,229 万円	
			・ 水道水質検査	137 万円	

(2) 活動指標

- ・ 高圧受電盤保安業務
- ・ 雁田浄水場浄水設備点検
- ・ 水道施設保守点検
- ・ 水道施設草刈り委託
- ・ 検漏量水器交換業務

・ 平成23年3月4日付の水質調査結果

項 目	p h 値	塩化物イオン	有機物の量	一般細菌	大腸菌	臭気	味	色度	濁度
基準値	5.8以上8.6以下	200mg/l以下	5mg/l以下	100CFU/以下	検出されないこと	異常でないこと	異常でないこと	5度以下	2度以下
調査結果	6.7	24.1	0.2未満	0	検出なし	異臭なし	異味なし	0.5度未満	0.1度

**水道施設の借金の返済[企業債利息]（建設水道グループ）**

水道管や水道施設を建設するために借りたお金を返済しました。

(1) 主な支出

- ・ 利子の支払い 3,698 万円

2	資本的支出	67,414,688
1	建設改良費	9,988,182
2	企業債償還金	57,426,506

**東町・栗ガ丘・北岡地区上水道配水管の布設替(建設水道グループ)**

老朽配水管の布設替を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 布設替工事 624 万円

(2) 活動指標

- ・ 東町地区工事  $\Phi 100\text{mm}$  L=71.0m
- ・ 栗ガ丘地区工事  $\Phi 150\text{mm}$  L=3.53m
- ・ 北岡地区工事  $\Phi 100\text{mm}$  L=200.9m

耐震化も兼ね耐用年数を過ぎた老朽管の取り換えを行うことができました。

**栗ガ丘地区上水道配水管布設(建設水道グループ)**

栗ガ丘地区の配水管布設を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 布設工事 252 万円

(2) 活動指標

- ・ 栗ガ丘（その1）地区工事  $\Phi 100\text{mm}$  L=42.0m
- ・ 栗ガ丘（その2）地区工事  $\Phi 100\text{mm}$  L=38.37m

**水道施設の借金の返済[元金の返済](建設水道グループ)**

水道管や水道施設を建設するために借りたお金を返済しました。

(1) 主な支出

- ・ 元金の返済 5,743 万円

#### 量水器の購入(建設水道グループ)

古くなった量水器や新設に伴う量水器を購入しました。

(1) 主な支出

- ・ 量水器の購入 122 万円

(2) 活動指標

- ・ 計量法によるメーターの取替え 515 個

## 7. 第四次総合計画・後期基本計画評価指標の達成度

政策	施策の方向	評価指標	現況値		平成22年度	目標値	
			値	年度	値	値	年度
ゆったり歩ける歩行者空間の創出	人にやさしい道の整備	町営松村駐車場利用者の町内滞在平均時間(休日、普通車)	1時間48分	H16	2時間	2時間	H22
	和める小路の整備						
循環型社会の形成と環境保全の推進	地球環境の保全	公害に関する苦情件数	24件	H16	94件	0件	H22
	ごみの適正処理の推進	可燃ごみ年間排出量	2,616t	H16	2,256t	1,831t	H22
		資源物排出量	559t	H16	657t	727t	H22
	し尿処理対策	下水道接続率	87.2%	H16	94.3%	95%	H22
整理整頓された美しいまちの形成	環境美化の推進	狂犬病予防注射未実施犬数	11頭	H16	9頭	0頭	H22
		環境美化運動の日参加者数	4,537人	H16	4,282人	7,000人	H22
汚水・雨水排水の推進	公共下水道の整備促進	下水道接続率	87.2%	H16	94.3%	95%	H22
防災機能の強化と危機管理体制の整備	防災対策の推進と意識の高揚	総合防災訓練参加者数	1,000人	過去平均	973人	2,000人	H22
防火・救急体制の充実	火災予防対策の充実	火災発生件数(建物、車両、その他)	6件	H16	3件	0件	H22
防犯活動の推進	防犯体制の強化	犯罪に対する安全さや風紀のよさに対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	46%	H17	36%	66%	H22
交通安全の推進	交通安全対策の強化	町内交通事故発生件数	51件	H16	54件	25件	H22
		交通死亡事故発生件数	1件	H16	0件	0件	H22
		シートベルト着用率	85.6%	H16	99.5% (平均98.6%)	県下平均	H22
消費生活の安定	消費者の自立支援の充実	消費生活相談件数	60件	H16	5件	0件	H22
家庭における子育て環境の整備	子どもの健やかな成長支援	妊婦検診受診率	前期98.7% 後期94.9%	H16	100%	100%	H22
		赤ちゃん訪問(第1子)	75%	H16	100%	95%	H22
		乳幼児健診受診率	91.2%	H16	89.9%	95%	H22
子育てと仕事の両立のための環境整備	保育サービスの充実	12 時間保育実施園数 11 時間半保育実施園数	なし	なし	なし 2園	1園	H20
		特定保育実施園数	なし	なし	なし	2園	H20
		休日保育実施園数	なし	なし	1園(エンゼルランド)	1園(エンゼルランド)	H20
	子育て支援サービスの充実	エンゼルランドセンター事業への父親参加組数	7組	H17	53組	15組 30組	H18 H19
	子ども・青少年の育つ環境の整備	ファミリーサポートセンター登録人数	なし	なし	45人 (依頼会員)	50人 100人	H18 H22
	子育て支援ネットワークの構築	子育てサポーター	なし	なし	23人 (企画ボランティア)	20人	H18
健康づくりの推進	生涯を通じた健康の保持・増進	基本健診受診率(※)	36.6%	H16	44.2%	65%	H24
		健康相談利用件数	161件	H16	1,342件	250件	H22
保健・医療の充実	予防・衛生の充実	特定保健指導終了者割合(※)	なし	なし	64.7%	40%	H24
地域ぐるみの福祉の推進	福祉ボランティアの育成と人材の確保	ボランティア登録団体数	15団体	H16	37団体	50団体	H22
高齢者福祉の充実	介護予防と自立支援	脳のリフレッシュ教室(自主活動)実施箇所数	5カ所	H17	10カ所	10カ所	H22
		お茶のみサロン実施箇所	4カ所	H17	5カ所	10カ所	H22
障害者の自立と社会参加の推進	障害者の自立支援	一般就労への移行(共同作業所)	0人	H16	0人	5人	H18～22
社会保険(保障)制度の充実	国民健康保険・老人保健の充実	一人あたり医療費(一般国保)	189,245円	H16	202,832円	200,800円	H22

政策	施策の方向	評価指標	現況値		平成22年度	目標値	
			値	年度	値	値	年度
多彩な学習と交流の推進	生涯学習活動の推進	公民館事業など教養を高める機会に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	25%	H17	26%	50%	H22
	総合的な学習・情報拠点の整備	ブックスタート	年間出生数の83%	H16	年間出生数の88.2%	年間出生数の95%	H22
		開架図書数	34,316冊	H16	76,453冊	80,000冊	H22
持続的な小布施農業の振興	都市農村交流の促進	遊休荒廃農地面積(農業委員会調査面積)	14.3ha	H16	14.8ha	15ha	H22
水と緑に彩られた生活空間の整備	公園管理の充実	公園・広場・子どもの遊び場に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	45%	H17	52%	50%	H22
郷土の自然環境の保全	郷土の自然環境の保全	緑の豊かさや自然環境に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	69%	H17		75%	H22
町政への町民参加の推進	町民参加機会の拡充	町政への町民の関心度(町民アンケートで「関心がある」「やや関心がある」と答えた人の割合)	69.1%	H17		75%	H22
町民との情報の共有化の推進	情報の公開と共有化の推進	ホームページアクセス数	15,000件	H17	20,011件	30,000件	H22
		メール配信サービス読者数(上:生活情報、下:観光情報)	250人 650人	H17	368人 448人	500人 1,300人	H22
		情報公開など広報・広聴に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	32%	H17	31%	50%	H22
国際感覚の育成と異文化交流の推進	国際交流・国際教育の充実	国際交流に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	17%	H17		33%	H22
町民に親しまれる町政と行政改革の推進	役場組織の機能の強化・充実	役場窓口での対応に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	38%	H17	34%	75%	H22
効率的で安定した行政運営の推進	財政基盤の充実	町税徴収率	97.7%	H16	94.2%	98%	H22
	適正な財政運営	財政調整基金残高	4.9億円	H16	9.4億円	2.4億円	H22
		普通会計町債残高	60.8億円	H16	41.8億円	48.0億円	H22

※国による目標年が設定されたため、目標値と目標年度を変更しています。また、確定値が年末となるため、前年度確定値としています。